

acdseeTM pro 2

写真家のワークフローを加速する統合ソリューション



ユーザーガイド

ACDSee Pro 2 ユーザーガイド

賠償責任の告示

本文書の情報は、商品性、権原、特定の目的・使用への適合性に対する、明示的、暗黙的保証等を含め、表明、保証等一切なしで「現状のまま」で提供されます。本文書の製作には充分注意しておりますが、著者および ACD Systems International Inc. は、本文書に含まれている指示の使用あるいは不使用に直接的あるいは間接的に起因する、あるいは起因すると主張される損害に関し、いかなる個人あるいは団体組織に対しても一切の責任を負わないものとします。ACD Systems は、本文書を予告なく改訂する権利を留保するものです。

商標および著作権

ACDSee 2 Photo Manager Software およびドキュメンテーションは、設計・プログラムされたもので、著作権があります。Copyright (c) 2005–2007 ACD Systems International Inc. All Rights Reserved Worldwide.

ACD、ACD Systems、ACDSee、ACDSee ロゴは、ACD Systems International Inc. またはその子会社の商標で、カナダ、米国、EU、日本、その他の国で登録されている場合があります。

Adobe、Acrobat、PhotoShop、PostScript、XMP は、米国あるいはその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

本製品は、Adobe Systems Incorporated によるライセンスに基づく DNG 技術を含まれています。詳細については、以下に示されています。 <http://www.adobe.com/products/dng/main.html>. All rights reserved.

Apple、Macintosh、QuickTime は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。

Canon は、Canon Inc. の登録商標です。Canon U.S.A., Inc.、その親会社、子会社、関連企業、それぞれの販売店、取扱店は、商品性、特定目的への適合性への保証を含め、ソフトウェアの品質および性能に関する保証を、明示的であれ暗黙であれ、一切行わないものとし、そのような保証は、明示的に放棄します。

Canvas は、ACD Systems of America, Inc. の商標で、地域によっては登録されています。ACD Systems of America, Inc. の商標は、ACD Systems International Inc. またはその子会社からのライセンスにより使用されています。

Paint Shop Pro は、カナダ、米国、その他の国における Corel Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。

本ソフトウェアは、Independent JPEG Group の作品に一部基づいています。

Info-ZIP ソースコードには著作権があります。Copyright (c) 1990–2005 Info-ZIP. All rights reserved. 著作権およびライセンスのために、“Info-ZIP” は、下記の個人の集まりと定義されます： Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White. 本ソフトウェアは、明示的、暗黙的を問わず一切の保証なしで「現状のまま」で提供されます。いかなる場合であれ、Info-ZIP および寄稿者は、本ソフトウェアの使用または不使用に起因する、直接的、間接的、付随的、特殊、結果的損害に関し、一切の責任を負わないものとします。

LibTIFF による TIFF サポート。Copyright (c) 1988–1997 Sam Leffler, Copyright (c) 1991–1997 Silicon Graphics, Inc. 本公示は、ソフトウェアと関連ドキュメントのすべてのコピーに表示する必要があります。Leffler および Silicon Graphics の名称は、Sam Leffler および Silicon Graphics の特定の事前の承認なしに、ソフトウェアに関連した広告または出版物で使用することはできません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性を含めこれに限定されることなく、明示的であれ暗黙的であれ、一切の保証を行わないものとします。いかなる場合であれ、SAM LEFFLER および SILICON GRAPHICS は、本ソフトウェアの使用または性能に起因する、不使用、データ、利益の喪失の結果から生じる、特殊、付随的、間接的、結果的損害に関し、そのような損害の可能性が示唆されていたかどうかにかかわらず、一切の責任を負わないものとします。

MPEG 1 コーデックは Mainconcept AG の提供。Copyright (c) 1999/2000–2006 Mainconcept AG

一部に Microsoft Windows Media Technologies を使用しています。Copyright (c) 1999–2002 Microsoft Corporation. All Rights Reserved

DirectX、Internet Explorer Microsoft、Windows、Windows ロゴ、Windows Media、Windows Vista、Windows Vista Start ボタンは、米国あるいはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

CD/DVD レコーディングソフトウェアは、Padus, Inc. からのライセンスで開発されました。– <http://www.padus.com> Copyright 1996–2007 Padus, Inc. All Rights Reserved.

本ソフトウェアには、米国フロリダ州タンパ市の Pegasus Imaging Corp. が著作権を有する画像処理コードの一部が含まれています。Pegasus Imaging Corp., Tampa FL, ALL RIGHTS RESERVED.

その他のマーク、製品名、会社名は、それぞれの所有者の所有物です。

目次

第 1 章 : はじめに.....	1
ACDSee Pro2 へようこそ	2
はじめに.....	2
ACDSee Pro 2 のハイライト機能	2
撮影完了後の膨大な画像を容易にインポート、そしてカタログ化.....	3
画像コレクションを素早く表示、そして参照.....	3
画像を効率的に分類	4
画像を最高レベルに	4
ベストライトで画像を披露.....	4
大切な画像の保護とアーカイブ	5
ACDSee Pro 2 を起動する.....	5
ACDSee を起動するには:	5
ユーザー インターフェイスについて	6
ブラウザ	6
ビューア	6
編集モード.....	7
ブラウザを使用する.....	7
ブラウザ ペイン について.....	7
ブラウザ ペインの使い方	8
ブラウザ ペインを表示／非表示にするには:	8

ペインを移動する.....	8
ペインを移動するには:	8
固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:	9
ペインを固定する.....	9
ブラウザ ウィンドウ内でペインを固定するには:	9
ペインを重ねてタブとして表示する	9
ペインを重ねてタブとして表示するには:	9
ペインのサイズを変更する.....	9
固定されているペインのサイズを変更するには:	9
フロートしているペインのサイズを変更するには:	10
ブラウザ レイアウトをリセットする.....	10
ブラウザ レイアウトをリセットするには:	10
関連トピック	10
ビューアを使用する	10
ビューアで画像またはメディアファイルを開くには:	10
ビューアで複数の画像を開くには:	11
フルスクリーンモードで画像を表示する	11
フルスクリーン モードで画像を表示するには:	11
フルスクリーン モードを終了するには:	11
ビューア ペインを使用する	12
ビューア ペインを開くには:	12
ブラウザに戻る.....	12

ビューアからブラウザに戻るには:	12
関連トピック	12
編集モードを使用する.....	12
編集モードで画像を開くには:	13
別の画像エディタを使用して、画像を編集するには:	13
ACDSee でファイルを管理する.....	13
関連トピック	13
ACDSee で検索する.....	14
関連トピック	14
ACDSee で共有する.....	14
関連トピック	14
システムの必要条件	15
ヘルプを使用する.....	16
myACD の使い方	16
myACD コントロール パネルを開くには:	16
コンピュータに既にインストールされている試用版を製品版にアップグレードするには:	16
製品版のライセンス コードで試用版をアップデートするには:	16
フリーソフトをダウンロードおよびインストールするには:	16
試用版をダウンロードおよびインストールするには:	17
製品版のソフトウェアを購入、ダウンロード、インストールするには:	17
関連トピック	17

ACD Systems の連絡先	17
第 2 章 : 画像を取り込む	19
画像を取り込む	20
リムーバブル デバイスについて	20
ACDSee デバイス検出について	20
デバイス検出を起動するには:	21
デバイス プロファイルの使い方	21
デバイスを設定する.....	21
初めて画像を取り込む際にデバイスを設定するには:	22
ファイル名と保存先オプションをカスタマイズする	23
ファイル名と保存先オプションをカスタマイズするには:	23
デバイス格納オプションをカスタマイズする.....	23
デバイス格納オプションをカスタマイズするには:	23
設定済みデバイスから画像を取り込む	24
設定済みのデバイスからファイルを取り込むには:	24
デバイスのプロファイルを更新または削除する	24
プロファイルを更新／削除する:	24
デジタルカメラから画像を取り込む	25
画像の取り込みウィザードを使ってカメラから画像をダウンロードするには:	25
スキャナ(TWAIN) から画像を取り込む.....	26
スキャナから画像をダウンロードするには:	26

大容量記憶装置から画像を取り込む	26
画像の取り込みウィザードを使って大容量装置から画像をダウンロードするには:	26
CD から画像を取り込む	27
画像の取り込みウィザードを使って CD から画像をダウンロードするには:	27
携帯電話から画像を取り込む	28
携帯電話から画像をダウンロードするには:	28
ファイル名変更テンプレートを作成する	28
ファイル名変更のテンプレートを使用するには:	28
スクリーン キャプチャを実行する	28
スクリーン キャプチャを実行するには:	29
ソース オプション	29
出力先 オプション	30
キャプチャの実行 オプション	30
第 3 章 : 参照する	31
ブラウザ	32
ファイル一覧 ペインでファイルを参照する	32
ファイル一覧 ペインのセクションについて	32
コンテンツ バー	32
ファイル一覧ペインを最大化する	33
ファイル一覧ペインを最大化するには:	33
エクスプローラの右クリックメニューを使用する:	33

エクスプローラでファイルを開くには:	33
関連トピック	33
フォルダ ペインを使用する	34
フォルダ ペインを開くまたは閉じるには:	34
複数のフォルダを選択する	34
イージーセレクト バーを使用するには:	34
フォルダを管理するには:	34
カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、分類別にファイルを参照する	35
カテゴリに分類されているファイルを表示する:	35
イージーセレクト バーを使用するには:	35
カテゴリ ペインの分類	35
カテゴリ	35
重要度	35
自動カテゴリ	35
スペシャル アイテム	36
関連トピック	36
日時またはイベント別にファイルを参照する	36
カレンダー ペインを開くには:	36
イベントモードに説明やサムネイルを追加する	38
イベントモードの特定日に説明を追加するには:	38
イベントモードまたはフォトカレンダーの特定日にサムネイルを追加するには:	38
イベントモードで日付一覧をナビゲートするには:	38

関連トピック	38
お気に入りファイルを参照する	38
ショートカットを作成する	38
お気に入りのショートカットを作成するには:	39
新規フォルダを作成する	39
新規フォルダを作成するには:	39
ショートカットまたはフォルダを削除する	39
ショートカットまたはフォルダを削除するには:	39
関連トピック	39
RAW ファイルを参照する	40
関連トピック	40
表示モードを変更する	40
詳細表示モードをカスタマイズする	41
列を選択したり、列の順序を変更するには:	41
関連トピック	41
ファイルにフィルタを適用する	42
ファイル一覧ペインのフィルタを設定するには:	42
カスタムフィルタを作成するには:	42
ファイルをグループ化する	42
ファイル一覧でファイルをグループ化するには:	43
ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには:	43

特定グループを展開または折りたたむには:	43
全グループを展開または折りたたむには:	43
閉じられたグループの画像プレビューを表示するには:	43
複数のグループ間をスクロールするには:	43
目次を表示するには:	43
特定のグループに素早く移動するには	44
グループを並べ替えるには:	44
ファイル一覧からグループを削除するには:	44
1 つのグループを削除するには:	44
1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには:	44
グループ内のファイルを選択するには:	44
ファイルを並べ替える	45
ファイル一覧の項目を並べ替えるには:	45
列のヘッダーでファイルを並べ替える	45
列のヘッダーを使用してファイルを並べ替えるには:	45
ファイルのカスタム並び替え	45
ファイルの並び替え順序をカスタマイズするには:	46
ファイルを選択する	46
ファイルやフォルダを選択するには:	46
画像をプレビュー表示する	46
プレビュー ペインを開くまたは閉じるには:	46
プレビュー ペインにヒストグラムを表示あるいは隠すには:	47

画像を比較する.....	47
画像を比較するには:	47
関連トピック	49
バスケットに画像をまとめて表示する.....	50
バスケットを使用するには:	50
関連トピック	50
第 4 章 : 表示する.....	51
ズームする.....	52
画像をズームする	52
画像を拡大または縮小するには:	52
ズーム レベルを設定する	53
特定のズーム レベルを設定するには:	53
画像を自動拡大／自動縮小する	53
画像を自動拡大／自動縮小するには:	53
関連トピック	54
拡大された画像のサムネイルを表示する.....	54
ナビゲータ ペインを使用するには:	54
拡大された画像のパンニング	55
画像をパンニングするには:	55
パンを固定する	55
パンを固定するには:	55

関連トピック	55
画像の特定領域を拡大表示する	55
虫めがねペインを使用するには:	55
関連トピック	56
スライドショーの表示／設定	56
ブラウザからスライドショーを開始するには:	56
ビューアからスライドショーを開始するには:	56
スライドショーを設定するには:	56
関連トピック	58
スライドショーを自動再生する	58
スライドショーを自動再生するには:	58
スライドショーを自動再生する	59
例 1	59
例 2	59
画像を自動的に表示する	60
画像を自動表示するには:	60
ビューアに画像のテキストを表示する	61
ヘッダーとフッターを表示するには:	61
画像テキストにメタデータを挿入するには:	61
画像テキストを隠す	61
画像テキストを隠すには:	62

RAW 画像を表示する.....	62
関連トピック	62
ビューアとフォルダを同期する	62
フォルダを同期するには:	62
フォルダの同期を中止するには:	63
オフライン画像を表示する.....	63
フォトディスクを追加するには:	63
フォトディスクを再結合する.....	64
フォトディスクをデータベース情報と再結合するには:	64
ACDSee Quick View を使用する	64
Quick View で画像を開くには:	64
画像をデスクトップの壁紙に設定するには:	65
既定の壁紙に復元するには:	65
別のアプリケーションで画像を表示する.....	66
シェル コマンドを使用するには:	66
スクリーン セーバーを作成する	66
スクリーン セーバーを作成するには:	66
スクリーン セーバーを使用しているコンピュータでアクティブにするには:	66
関連トピック	67
画像をデスクトップの壁紙に設定する.....	68
画像をデスクトップの壁紙に設定するには:	68

壁紙を画面に合わせて自動的に拡大するには:	68
以前表示した壁紙を表示するには:	68
関連トピック	68
デスクトップ スライドショーの作成	68
ACDSee Showroom でデスクトップ スライドショーを作成するには:	69
ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方:	69
複数の ACDSee Showroom を作成するには:	69
ACDSee Showroom を閉じるには:	69
関連トピック	69
ブラシ ファイルを表示する/使用する	70
ブラシ ファイルを表示するには:	70
Adobe Photoshop でブラシ ファイルを使用するには:	70
第 5 章 : 編集する	71
編集モード	72
編集モードで画像を開くには:	72
別の画像エディタを使用して、画像を編集するには:	72
編集モードで作業する	72
編集モードを閉じる	74
編集モードを閉じるには:	74
元に戻す/やり直し機能を使用する	74
変更を元に戻すには:	74

元に戻した変更をやり直すには:	74
画像に加えられた変更をプレビューで確認する	74
プレビューバーを開くには:	75
画像のサイズを変更する	75
画像のサイズを変更するには:	75
「サイズ変更」のワンポイント:	76
関連トピック	76
画像を回転する	76
カスタム角度で画像を回転するには:	76
関連トピック	77
画像を反転する	77
画像を反転するには:	77
関連トピック	77
画像をトリミングする	78
画像をトリミングするには:	78
トリミング ウィンドウのサイズを変更する	78
ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:	78
トリミング ウィンドウのサイズを指定するには:	78
縦横比を指定してトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:	78
関連トピック	79
選択範囲を使用する	79

選択範囲 パネルを開くには:	79
選択範囲 ツール.....	79
ツールを組み合わせで使用する.....	80
[自由選択] を使用するには:	80
自動選択を使用するには:	81
マーキーを使用するには:	82
関連トピック	82
選択範囲の編集または効果を適用する	82
選択範囲の編集または効果を適用するには:	83
ブレンドモードと透明度を適用する.....	83
不透明度	84
ブレンドモード.....	84
画像の一部を選択する	85
画像の一部を選択するには:	85
テキストと透かしを追加する	86
画像にテキストを追加する	86
画像にテキストを追加するには:	86
ブレンドモードについて.....	88
画像に透かしを追加する	88
画像に透かしを追加するには:	89
保存する	89

編集モードの変更を保存/破棄する	89
オリジナルの画像を上書きするには:	90
変更された画像に新しいファイル名やフォーマットを付けて保存するには:	90
画像に加えた変更を破棄するには:	90
関連トピック	90
ツールの設定を保存する	90
ツールの設定を保存するには:	90
以前保存されたプリセットを使用するには:	91
プリセットを削除するには:	91
ピクセルのサイズ変更オプションと適用後	91
画像を修整する	92
画像を修整する	92
画像を補整するには:	92
赤目を補正する	93
赤目を補正するには:	93
関連トピック	94
傾いている画像を補正する	94
傾いている画像を補正するには:	94
透視歪みの補正	94
透視歪みを補正するには:	94
バーレル、魚眼、ピンクッションの歪み補正	95
バーレル、魚眼、ピンクッションの歪みを補正するには:	95

画像のレベルを調整する.....	96
レベルを自動調整する	96
画像の露出レベルを自動調整するには:	96
画像の露出を調整する	96
画像の露出を調整するには:	97
eV に関するテクニカル解説	97
シャドウとハイライトを調整する	97
シャドウ/ハイライト ツールを開くには:	98
「ベーシック」タブを使用する:	98
暗い領域に明るさを加えるには:	98
明るすぎる領域を暗くするには:	98
「イコライザ」タブを使用する	99
「イコライザ」タブを使用して画像を明るくまたは暗くするには:	100
「アドバンス」タブを使用する	100
スライダ	100
チェックボックス	100
グラフ	101
画像のレベルを調整する	103
画像のレベル調整を行うには:	104
トーンカーブを調整する	105
トーンカーブを調整するには:	105
画像のカラーを調整する.....	106

ヒストグラム ペインを使用する.....	106
ヒストグラム ペインを使用するには:	106
画像の色を自動調整する	106
画像の色を自動調整するには:	106
カラーキャストを削除する.....	106
画像からカラーキャストを削除するには:	107
画像の色深度を変更する	107
画像の色深度を変更するには:	107
HSL 値を変更する	108
画像の HSL 値を変更するには:	108
RGB 値を変更する.....	108
画像の RGB 値を変更するには:	108
グレースケールの画像を作成する(チャンネルミキサー)	108
ビューア内で	108
ビューアでグレースケールの画像を作成するには:	109
編集モード - チャンネルミキサー.....	109
チャンネルミキサーを使用してグレースケールの画像を作成するには:	109
画像のシャープネス/ぼかす	110
シャープネス ツールの使い方	110
シャープネス ツールを使用して画像をシャープにするには:	110
アンシャープ マスクを適用する.....	110
画像にアンシャープ マスクを適用するには:	110

画像をぼかす	111
画像をぼかすには:	111
画像ノイズの追加と削除.....	112
ノイズとノイズ除去について.....	112
画像からノイズを除去する	112
画像からノイズを除去するには:	113
画像にノイズを追加する	113
画像にノイズを追加するには:	114
一括編集.....	114
一括編集について.....	114
関連トピック	115
複数の画像を別のファイル フォーマットに変換する.....	115
複数の画像を回転／反転する	115
画像を回転／反転するには:	116
複数の画像サイズを変更する	117
複数の画像のサイズを変更するには:	117
複数の画像の露出を調整する	118
画像の露出を調整するには:	118
複数画像のカラープロファイルを変更する.....	119
画像に使用されているカラープロファイルを変更するには:	119
一括処理を使用する.....	119
一括処理 を使用するには:	120

変更をプレビュー表示するには:	120
ズーム機能を使用するには:	120
画像を追加または削除するには:	120
出力オプションの設定と処理を完了するには:	121
一括処理: 回転オプション	123
一括処理: トリミング オプション	123
一括処理: サイズ変更 オプション	124
一括処理: カラーキャスト オプション	125
カラーキャスト オプションを使用するには:	125
彩度を増やすまたは減らすには:	126
一括処理: カラーミキサー オプション	126
グレースケールの画像を作成するには:	126
一括処理: セピア	127
複数の画像をセピアに変更するには:	127
一括処理: 露出オプション	127
一括処理: シャドウ/ハイライト オプション	129
シャドウとハイライトを調整するには:	129
一括処理: ノイズ除去 オプション	129
一括処理: シャープネス オプション	130
一括処理: ヴィネット オプション	130
一括処理: テキストのオーバーレイ オプション	132
一括処理: 透かし オプション	134

透かし オプションを設定するには:	134
RAW 画像処理	135
RAW 画像処理について.....	135
関連トピック	135
RAW 画像を処理する.....	135
RAW 画像を処理するには:	135
RAW 画像をトリミングするには:	136
現在の設定をその他の画像にコピーして適用するには:	136
ズーム コントロールとヒストグラム	137
RAW 処理 オプション.....	137
関連トピック	142
RAW 画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする.....	142
RAW 画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートするには:	142
名前の変更オプション	143
エクスポートされる画像にカラー プロファイルを埋め込むには:	143
RAW 画像を一括処理する	143
複数の RAW ファイルを一括処理するには:	143
関連トピック	144
RAW 画像処理の設定を共有する	144
RAW 画像処理の設定をエクスポートするには:	144
RAW 画像処理の設定をインポートするには:	144
RAW 画像処理の設定を削除する	144

1 つの RAW ファイルから RAW 画像の処理設定を削除するには:	145
複数の RAW ファイルから RAW 画像の処理設定を削除するには:	145
RAW 画像を編集する	145
関連トピック	145
特殊効果フィルタを適用する	146
特殊効果フィルタについて	146
特殊効果を適用するには:	146
関連トピック	146
特殊効果: 曇ガラス	146
曇ガラス 効果を適用するには:	146
特殊効果: ブラインド	146
ブラインド 効果を適用するには:	147
特殊効果: 膨張	147
膨張 効果を適用するには:	147
特殊効果: カラーエッジ	148
カラーエッジ を適用するには:	148
特殊効果: 等高線	148
等高線を適用するには:	149
特殊効果: クレヨン画	149
クレヨン画効果を使用するには:	149
特殊効果: クロスハッチ	149
「クロスハッチ」効果を使用するには:	149

特殊効果: ペンキ画	149
ペンキ画 を適用するには:	149
特殊効果: エッジ検出	150
「エッジ検出」効果を適用するには:	150
特殊効果: エンボス	150
画像にエンボスを適用するには:	150
特殊効果: 柔毛エッジ	151
柔毛エッジ 効果を適用するには:	151
特殊効果: ネオン効果	152
ネオン効果を適用するには:	152
特殊効果: グラナイト	152
グラナイト効果を適用するには:	152
特殊効果: ミラー	153
ミラー効果を適用するには:	153
特殊効果: ネガティブ	153
「ネガティブ」フィルタを適用するには:	153
特殊効果: オイルペイント	153
オイルペイント効果を適用するには:	153
特殊効果: アンティーク	154
アンティーク効果を適用するには:	154
特殊効果: 輪郭	154
輪郭効果を適用するには:	154

特殊効果：鉛筆画.....	155
画像を鉛筆画のように仕上げるには:	155
特殊効果：ピクセル爆発	155
ピクセル爆発効果を適用するには:	155
特殊効果：モザイク	156
モザイク効果を適用するには:	156
特殊効果：ポスタライズ	156
ポスタライズ効果を適用するには:	156
特殊効果：光線ぼかし	157
光線ぼかし効果を適用するには:	157
特殊効果：雨.....	157
雨効果を適用するには:	157
特殊効果：波紋.....	158
波紋効果を適用するには:	158
特殊効果：飛散タイル.....	159
飛散タイル効果を適用するには:	159
特殊効果：セピア	159
「セピア」フィルタを適用するには:	160
特殊効果：金属シート.....	160
金属シート効果を適用するには:	160
特殊効果：シフト.....	160
シフト効果を適用するには:	160

特殊効果：アングル	161
アングル効果を適用するには:	161
特殊効果：ソーベル	161
「ソーベル」効果を使用するには:	162
特殊効果：ソラリゼーション	162
ソラリゼーション効果を適用するには:	162
特殊効果：ステンドグラス	162
ステンドグラス効果を適用するには:	162
特殊効果：太陽スポット	163
太陽スポット効果を適用するには:	163
特殊効果：渦巻き	163
渦巻き効果を適用するには:	163
特殊効果：モノクロ調整	164
モノクロ調整効果を適用するには:	164
特殊効果：地形図	164
地形図効果を適用するには:	165
特殊効果：ヴィネット	165
ヴィネット効果を適用するには:	165
特殊効果：ウォーター	166
ウォーター効果を適用するには:	166
特殊効果：ウォータードロップ	167
ウォータードロップ効果を適用するには:	167

特殊効果：波	168
波効果を適用するには:	168
特殊効果：織り	168
織り効果を適用するには:	168
特殊効果：風	169
風効果を適用するには:	169
特殊効果：カスタム	170
「カスタム」フィルタを作成するには:	170
第 6 章：整理する	171
ファイルをコピーまたは移動する	172
ファイルをコピーまたは移動するには:	172
関連トピック	172
画像をコピーする	173
画像をコピーするには:	173
ファイルまたはフォルダを貼り付ける	173
ファイルを切り取り、新しい場所に貼り付けるには:	173
ファイルを置き換える／上書きする	173
[ファイル置換の確認] ダイアログ ボックスを使用する:	173
関連トピック	174
ファイル名やフォルダ名を変更する	174
ファイル名またはフォルダ名を変更するには:	174

プライベート フォルダにファイルを格納する.....	174
プライベート フォルダを作成するには:	175
プライベート フォルダを開くには:	175
プライベート フォルダを閉じるには:	175
プライベート フォルダにファイルを追加するには:	175
プライベート フォルダに既存のフォルダとその内容を追加するには:	176
プライベート フォルダからフォルダやファイルを復元するには:	176
プライベート フォルダ、またはプライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには:	176
複数ファイルの名前を変更する	177
複数のファイル名を一括変更するには:	177
関連トピック	178
画像にタグを付ける.....	178
ブラウザやビューアで画像にタグを付けるには:	179
画像の比較中にタグを付けるには:	179
タグの付いた画像だけを表示するには:	179
関連トピック	179
カテゴリ.....	180
カテゴリを作成する	180
カテゴリを作成するには:	180
カテゴリを管理するには:	180
関連トピック	180

カテゴリと重要度を設定する	181
カテゴリ／重要度をファイルに割り当てるには:.....	181
分類からファイルを削除する.....	181
カテゴリ／重要度からファイルを削除するには:.....	181
キーワードを作成する/割り当てる	181
マスタ キーワード一覧を作成／管理するには:.....	182
メタデータ	182
複数のファイルにデータベース、EXIF、および IPTC 情報を追加する	182
複数のファイルに データベース、EXIF、および IPTC 情報を設定するには:.....	182
関連トピック	183
IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する	184
IPTC キーワードと補充カテゴリを削除するには:.....	184
画像プロパティの日時を変更する	184
ファイル プロパティの日付けと時間を変更するには:.....	184
ビューアにファイル プロパティを表示する	185
画像のプロパティを表示するには:.....	185
プロパティ ペインを使用する	185
プロパティ ペインを開くには:.....	186
プロパティ ペインの構成.....	186
[ファイル] タブ	186
[EXIF] タブ	186

EXIF データを編集するには:	186
[IPTC] タブ	187
IPTC データを編集するには:	187
[カスタム] タブ	187
[カスタム] タブを設定するには:	187
関連トピック	187
ファイルを別のコンピュータにバックアップする.....	188
同期ファイルを作成するには:	188
同期を更新または削除する.....	188
既存の同期ファイルを更新または削除するには:	188
保存されている同期を起動する.....	189
保存されている同期を起動するには:	189
関連トピック	189
データベース情報を管理する.....	189
ACDSee データベースについて	189
関連トピック	190
データベースからフォルダを除外する.....	190
データベースからフォルダを除外するには:	190
ファイルをカタログ化する.....	190
ファイルをカタログ化するには:	190
旧バージョンの ACDSee データベースを変換する.....	191
旧バージョンのデータベースを変換するには:	191

関連トピック	191
データベース情報をインポートする	192
ACD データベース インポート ウィザードを使用するには:	192
その他のソースからファイル情報をインポートする	192
フォトディスクをインポートする	192
フォトディスクをインポートするには:	192
アルバムをインポートする	193
アルバム情報をデータベースにインポートするには:	193
description ファイルの使い方	193
Description ファイルをインポートするには:	193
キャプションを Description ファイルにエクスポートするには:	193
データベース情報をエクスポートする	194
ACD データベース エクスポート ウィザードを使用するには:	194
ファイル一覧を作成する	195
ファイル一覧を作成するには:	195
データベース情報をバックアップする	195
データベース情報をバックアップするには:	195
「データベース情報のバックアップ」のワンポイント	196
バックアップ スケジュール	196
バックアップの保存先	197
バックアップ サイズ	197
バックアップからデータベース情報を復元する	197

データベース情報を復元するには:	197
データベースのメンテナンス	198
データベース コンテンツ アイコン	198
データベースのメンテナンスを行うには:	198
データベースを最適化する	198
データベースを最適化するには:	199
サムネイルの再構築	199
サムネイルを再構築するには:	199
ファイルを隔離する	199
隔離されたファイルを表示するには:	199
キーワードを作成する/割り当てる	199
マスタ キーワード一覧を作成/管理するには:	200
取り込もうとしているデータベース用にドライブをマップする	200
新規のドライブのマップを選択するには:	200
検索する	201
検索ペインを使用する	201
検索ペインを開くには:	201
検索ペイン	201
ファイルとテキスト	201
プロパティ	202
「プロパティ」セクションを使用するには:	202
ファイル名のパターンで検索する	202

ブラウズ検索 を使用する	203
ブラウズ検索を使用するには:	203
ブラウズ検索ペインで検索範囲を設定する	204
ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加するには:	204
「ブラウズ検索」のワンポイント:	204
ブラウズ検索ペインを非表示にする	205
自動カテゴリで検索する	205
よく使うカテゴリを識別する	205
[よく使うカテゴリ] に自動カテゴリのグループを追加するには:	205
[よく使うカテゴリ] から自動カテゴリのグループを削除するには:	206
自動カテゴリ検索を絞り込む	206
関連トピック	206
重複ファイルを検索する	207
重複ファイルを検索するには:	207
画像をすばやく検索する	208
すべての画像ファイルを一度に表示するには:	208
未分類の画像を表示するには:	208
関連トピック	208
第 7 章 : 共有する	209
電子メールで画像を送信する	210
電子メールで画像を送信するには:	210
スライドショー/スクリーン セーバーを共有する	210

スライドショーを作成するには:	210
PDF ファイルを作成する	212
PDF ファイルを作成するには:	212
CD または DVD を作成する	212
CD または DVD を作成するには:	213
ビデオファイルまたは VCD を作成する	214
ビデオまたは VCD を作成するには:	214
HTML アルバムを作成する	214
HTML アルバムを作成するには:	215
ウェブサイトに画像をアップロードする	216
承認する	216
サービスについて情報を得るためには:	216
Web サイトに画像をアップロードするには:	216
新規サービス	216
新規サービスをインストールするには:	217
コンタクトシートを作成する	217
コンタクトシートを作成するには:	217
関連トピック	218
アーカイブ ファイルを作成する	218
アーカイブを作成するには:	218
アーカイブされたファイル (.zip) を展開する	219

アーカイブされたファイルをフォルダに展開するには:	219
アーカイブされたファイルの内容を表示するには:	220
SendPix アルバムを作成する	220
画像を SendPix で共有するには:	220
フォト ウィジェットを作成するには:	220
PowerPoint プレゼンテーションを作成する	221
PowerPoint プレゼンテーションを作成するには:	221
再生する	222
オーディオとビデオ ファイルを再生する	222
オーディオ／ビデオ ファイルを再生するには:	222
オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する	222
メディア ファイルを自動再生するには:	223
メディア ツールバー	223
関連トピック	223
メディア ファイルの一部を選択する	223
オーディオまたはビデオ ファイルの一部を選択するには:	224
ビデオのフレームを画像として保存する	224
ビデオのフレームを画像として保存するには:	224
複数のビデオのフレームを複数の画像として保存するには:	224
画像オーディオを追加／編集する	225
画像にオーディオを追加するには:	225
画像に録音したオーディオを追加する:	225

オーディオ ファイルを録音し画像に追加するには:	226
関連トピック	226
第 8 章 : 印刷する.....	227
ACDSee で画像を印刷する	228
画像を印刷するには:	228
関連トピック	228
プリンタ オプションを設定する	228
画像サイズと位置を設定する	230
ページにテキストを追加する	230
印刷画像にキャプションを追加するには:	230
印刷ページにヘッダー／フッターを追加するには:	231
コンタクトシート オプションを設定する.....	231
カスタム印刷レイアウトを作成する.....	232
カスタム印刷フォーマットを作成するには:	232
第 9 章 : カスタマイズ	233
オプションを設定する	234
全般 オプションを設定する	234
ACDSee 全般 オプションを設定するには:	234
ブラウザ オプションを設定する	235
ファイル一覧ペイン オプションを設定する.....	236
ファイル一覧ペイン オプションを設定するには:	236

サムネイル情報オプションを設定する.....	238
サムネイル情報オプションを設定するには:	238
サムネイルのスタイル オプションを設定する.....	239
サムネイルのスタイル オプションを設定するには:	239
詳細表示 オプションを設定する	240
詳細表示 オプションを変更するには:	240
プレビュー オプションを設定する.....	241
プレビュー オプションを設定するには:	241
フォルダ オプションを設定する.....	242
フォルダ ペインをカスタマイズするには:	242
カテゴリ オプションを設定する.....	243
カテゴリ ペイン オプションを設定するには:	243
カレンダー オプションを設定する	244
カレンダー ペイン オプションを設定するには:	244
CD/DVD 管理 オプションを設定する.....	245
ディスクの作成 オプションを変更するには:	245
フォトディスクの ID 方法を変更するには:	245
プロパティ ペイン オプションを設定する.....	245
プロパティ ペインにカスタム タブを追加するには:	245
ファイル管理 オプションを設定する.....	246
ファイル管理 オプションを設定するには:	246
カラーマネージメント オプションを設定する.....	247

カラーマネージメント オプション	247
ファイル オプションの設定 - 露出調整	248
関連トピック	249
データベース オプションを設定する	249
データベース オプションを設定するには:	249
ビューア オプションを設定する	250
ビューア オプションを設定するには:	250
ビューアの表示 オプションを設定する	251
ビューアの表示 オプションを設定するには:	251
RAW 画像プレビュー オプションを設定する	252
RAW 画像プレビュー オプションを変更するには:	252
ACDSee Showroom オプションを設定する	253
ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーをカスタマイズするには:	253
ACDSee Quick View オプションを設定する	254
ACDSee Quick View をカスタマイズするには:	254
JPEG オプションを設定する	255
オプション	255
関連トピック	256
サイズ変更済みファイルのオプションを設定する	256
回転/反転済みファイルのオプションを設定する	256
カスタマイズと設定	258
ブラウザ レイアウトのカスタマイズ	258

カスタムのブラウザ レイアウトを作成/保存するには:	258
保存されているブラウザ レイアウトをロードするには:	258
既定のブラウザ レイアウトに戻すには:	258
ペインやパネルを自動非表示にする	258
自動非表示を設定/解除するには:	259
プロパティ ペインでカスタム タブを使用する	259
[カスタム] タブを設定するには:	259
タスクペインを使用する.....	259
タスク ペインを開くまたは閉じるには:	259
便利機能ツールバーを使用する	260
ツールバーをカスタマイズする.....	260
ツールバーを表示/非表示にするには:	260
ツールバーの内容をカスタマイズする.....	260
[カスタマイズ] ダイアログボックスを表示するには:	261
ツールバーボタンを追加/削除するには:	261
ツールバーボタンの下にラベルを表示/非表示するには:	261
ツールバーボタンの下にワンポイントを表示/非表示するには:	261
ツールバーボタンのサイズを変更するには:	262
ツールバーをリセットする	262
ツールバーをリセットするには:	262
編集パネルをカスタマイズする	262
編集パネルをカスタマイズするには:	262

画像エディタを設定する.....	263
ACDSee に画像エディタを追加するには:.....	263
画像エディタを管理するには:.....	263
キーボード ショートカットのカスタマイズ.....	263
キーボード ショートカットのカスタマイズするには:.....	264
新規のキーボード ショートカットを設定するには:.....	264
プラグイン.....	265
プラグインについて.....	265
プラグインの種類.....	265
プラグインを管理する.....	265
[プラグインの設定] ダイアログ ボックスを開くには:.....	265
プラグインを無効にする.....	265
プラグインを無効にするには:.....	265
プラグインの優先順序を変更する.....	266
プラグインの優先順序を変更するには:.....	266
プラグインのプロパティとヘルプを表示する.....	266
プラグイン プロパティを表示するには:.....	266
プラグインのヘルプファイルを表示するには:.....	266
付録.....	267
ショートカット.....	268
ブラウザのキーボード ショートカット.....	268
関連トピック.....	271

ビューアのキーボード ショートカット	272
ショートカット	272
操作	272
関連トピック	276
ビューアのマウス ショートカット	277
カレンダー ペインのショートカット	277
カレンダー ペインのショートカット	277
ファイル フォーマット	278
サポートされているファイル フォーマット	278
画像フォーマット	278
アーカイブ フォーマット	278
ビデオとオーディオ フォーマット	278
サポートされている RAW フォーマット	284
ファイルの登録と関連付け	288
Microsoft XP をご使用の場合	288
ファイル フォーマットを ACDSee に関連付けるには:	288
Microsoft Windows Vista をご使用の場合	289
ACDSee でファイルの関連付けオプションを設定するには:	289
Microsoft Windows Vista と新規のファイル拡張子を登録するには:	289
用語集	291
索引	305

第 1 章 : はじめに

ACDSee Pro2 へようこそ

ACDSee Pro2 へようこそ。また業界をリードするデジタル画像管理ソフトウェアをお選びいただき、誠にありがとうございます。

ACDSee は、デジタルカメラで撮影された写真やその他のメディア ファイルを取得、管理、表示、編集、共有するために不可欠なアプリケーションです。

ACDSee のブラウザでは、カメラからコンピュータに画像を取り入れたり、ファイルのカテゴリ化や重要度で分類だけでなく、あらゆるサイズの画像コレクション、数百から数十万もの画像を管理することができます。サムネイルのプレビューから選択したり、プロパティの詳細リストを使用してファイルを並べ替えたり、という作業も瞬時に。探している画像が見つからない？ といった場合も ACDSee では問題ありません。ACDSee には様々な検索ツールの他、重複を避けるための「画像の比較」機能が備わっています。

フル機能が搭載されているビューアとメディアプレイヤーでは、高速・高画質な画像およびメディアファイルの表示が可能です。ACDSee では、スライドショーや埋め込みオーディオの再生、マルチページ画像の表示などが可能で、50 種類以上の画像およびマルチメディア ファイル フォーマットがサポートされています。

また、ACDSee には、デジタル画像の作成、編集、加工に必要とされる充実した画像編集ツールが備えられており、赤目補正、トリミング、シャープネス、ぼかし、エンボス、美肌効果などのツールを使って、画像の編集や修正を自由に行うことができます。画像管理ツールを使えば、露出調整、変換、サイズ変更、名前の変更、回転などの機能を複数のファイルに一括して適用することも可能です。

ユーザー インターフェイスをお好みに合わせてカスタマイズすることで、ツールや機能にすばやくアクセスすることができます。画面のレイアウト、画像の順序、ツールバーの表示、その他多数のオプションをユーザー好みにカスタマイズできます。ACDSee では、ツールや機能のポップヒントが搭載されています。

ACDSee は、ビギナーからプロまで、デジタルカメラ愛用者が簡単に楽しみながら使用できる、高速でパワフルな画像管理ソフトです。

はじめに...

- [ACDSee Pro を起動する](#)
- [ユーザー インターフェイスについて](#)
- [ACDSee を使って画像を取り込む](#)
- [ACDSee の新機能](#)

ACDSee Pro 2 のハイライト機能

画像を簡単に管理、アーカイブ、編集、そしてプレゼンテーション。プロの写真家に必要なツールを包括的にカバーしたソフトウェア、ACDSee Pro 2。

撮影完了後の膨大な画像を容易にインポート、そしてカタログ化

撮影が完了したその日のうちに、カメラまたはデバイスを接続するだけで、Pro 2 のパワフルなツールは、膨大な量の画像を自動的にインポート、名前の変更、カタログ化をお手伝いします。



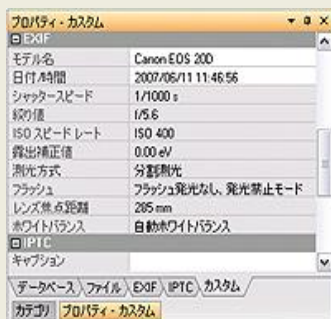
画像コレクションを素早く表示、そして参照

カスタマイズが可能なインターフェイスで、表示、並べ替え、選別、比較といったプロの写真家に必須のタスクを、プロが必要とするスピードで。RAW ファイルも JPEG ファイルと同様に素早く表示します。



画像を効率的に分類

パワフルでフレキシブルなカタログオプションを使って、大切なデジタル資産を管理。Windows® ファイル フォルダ、IPTC/EXIF/XMP メタデータ、カスタマイズしたカテゴリ、キーワード、重要度などで画像の管理と検索を行います。



画像を最高レベルに

最先端の RAW 処理技術とピクセル レベルの編集を使って、画像を完璧な作品に仕上げることができます。ホワイトバランスからシャープネスまで、すべての細かい作業はスライダをコントロールするだけで完了します。一括ツールを使用して、複数のファイルを同時に処理すれば、大幅な時間の節約につながります。



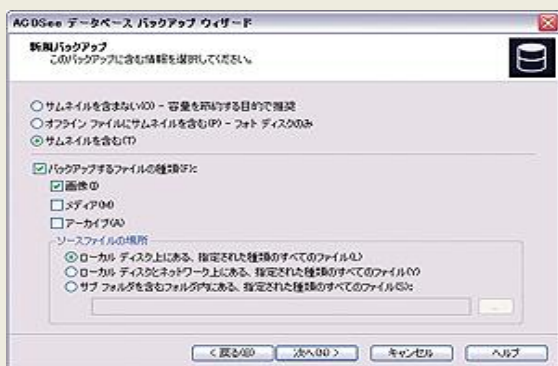
ベストライトで画像を披露

テンプレートを使用してハイクオリティのコンタクトシートを簡単に作成したり、オンラインサービスを利用してプリントをオーダーしたり。撮影された画像を電子メール、ウェブ ギャラリー、スライドショーで、友人や家族と共有。



大切な画像の保護とアーカイブ

業界のスタンダードである portable digital negatives (DNG) にメタデータを埋め込んで、大切な画像と情報を保護しましょう。コレクションは .zip フォルダ、CD または DVD にアーカイブ ファイルとして保存し、外部ハードドライブと同期して保護します。



ACDSee Pro 2 を起動する

ご使用のコンピュータに ACDSee をインストールすると、アプリケーションのアイコンがデスクトップとスタートメニューに表示されます。

ACDSee を起動するには:

次のいずれかを実行します:

- デスクトップの ACDSee アイコンをダブルクリックします。
- [スタート] をクリックし、[ACD Systems] から ACDSee Pro 2 を選択します。

ユーザー インターフェイスについて

多数の便利なツールや機能が搭載されている ACDSee ユーザー インターフェイスを使うと、画像やメディアファイルを簡単にブラウズ、表示、編集、管理することができます。ユーザー インターフェイスは次の 3 つの領域から構成されています: ブラウザ、ビューア、編集モード



ブラウザ

ACDSee ブラウザは、画像のブラウズおよび管理を行うメイン ユーザーインターフェイスです。デスクトップのショートカット アイコンをクリックして ACDSee を起動する際、常に表示されます。ブラウザでは、ファイルの検索、移動、プレビュー、並べ替え、管理／共有ツールへアクセスすることができます。

ブラウザには 12 のペインがありますが、ほとんどのペインは未使用時に閉じることができます。ACDSee では、[ファイル一覧ペイン](#)のみが常に表示されます。ファイル一覧ペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後に行った検索結果、検索条件に一致したファイルおよびフォルダが表示されます。ブラウザの下にあるステータスバーには、現在選択されているファイル、フォルダ、カテゴリの情報が表示されます。

ブラウザには、「メインツールバー」と「便利機能ツールバー」の 2 つのツールバーが搭載されています。メインツールバーには、よく使用するコマンドへのショートカットが含まれています。また、便利機能ツールバーに含まれるショートカットは、ブラウザで選択した項目によって変化します。

ブラウザのペインは、表示／非表示にしたり、スクリーン上の別の場所へ移動させたり、他のペイン上に重ねたり、ブラウザの端に固定することができます。ブラウザのほとんどのペインは、オプション設定によるカスタマイズが可能です。

ビューア

ACDSee ビューアでは、メディアファイルの再生や、フル解像度の画像を 1 枚ずつ表示することができます。また、ビューア内で画像プロパティ ペインを表示したり、画像の一部を拡大表示したり、カラー情報を詳しく表示することも可能です。

ビューアでは、Windows エクスプローラで関連付けされているファイルをダブルクリックして表示したり、フォルダのすべての画像をすばやく反転させたり、2 つの画像を並べて比較することができます。ビューアには、よく使用するコマンドへのショートカットを含むツールバーと、ビューアウィンドウの下にあるステータスバーが搭載されています。ステータスバーは現在の画像とメディアファイルに関する情報を表示します。

編集モード

ACDSee の編集モードで画像を開くと、ツールやエフェクトを使って画像を調整または変更することができます。

編集モードの編集パネルには、画像の編集に使用できるツールが表示されます。このメニューは、使用していない間は [閉じたり隠したり](#) することができるカスタムメニューです。メニューでツール名をクリックすると、そのツールが編集パネルで開かれます。オプションを設定して画像を編集します。

編集モードのステータスバーには、編集中の画像についての情報が表示されます。

ブラウザを使用する

ACDSee のブラウザ では、ファイルや画像のブラウズ、並び替え、管理、操作、共有をすることができます。異なるツールやペインを組み合わせると高度な検索やフィルタ オプションを設定したり、画像やメディア ファイルのサムネイルをプレビュー表示をすることができます。

ブラウザ ペインはカスタマイズが可能で、移動、サイズ変更、非表示、固定または閉じることができます。また、ペインを重ねてタブとして表示することも可能です。必要なペインにのみアクセスができるので、画面を効率的に使用することができます。

ブラウザ ペイン について

ACDSee のブラウザは以下のペインで構成されています：

ファイル一覧	このペインには、現在選択されている フォルダの内容 、最後に行った検索の結果、ブラウザ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。ファイル一覧ペインはカスタマイズ可能で、ファイルの表示方法やサムネイルのサイズ変更を行うことができます。
フォルダ	このペインには、Windows エクスプローラのフォルダ ツリーのような、コンピュータの フォルダ構成が表示 されます。フォルダ ペイン からフォルダを選択し、フォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。ファイル一覧に複数フォルダの内容を表示するには、左ペインにある各フォルダのイージー セレクトボックスをクリックします。
カレンダー	このペインには、ファイルと関連付けられた日付をもとにファイルを管理したり検索することのできる カレンダーが表示 されます。カレンダー ペインとツールバー ボタンの詳細については、[カレンダー ペインを使用する] を参照してください。
お気に入り	このペインには、お気に入りの画像、ファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットが表示されます。画像、ファイル、フォルダを お気に入り ペイン にドラッグすると、ショートカットが作成されます。オリジナルの画像には何の影響も与えません。
検索	このペインでは、ACDSee のパワフルな(TM) 検索機能 にアクセスすることができます。[検索ペイン] では、検索の種類を選択し、フィールドに検索項目を入力するだけです。
プレビュー	このペインには、ファイル一覧ペインで現在選択されている画像またはメディア ファイルの サムネイル プレビュー とヒストグラムが表示されます。サムネイルのサイズ変更はプレビュー ペインのサイズを変更することで可能です。また、プレビュー ペインでメディア ファイルを再生するか、または最初のフレームのみを表示するかどうか指定することができます。

ブラウズ検索	このペインでは、フォルダ／カテゴリ／カレンダー ペインに入力されている情報を元に、特定の検索条件と一致するファイルを絞り込んで検索し、 ファイル一覧ペイン に表示することができます。 [ブラウズ検索ペイン] の検索条件を細かく変更することで、検索結果のファイル数を調整することができます。
カテゴリ	このペインには、ファイルの並べ替えや管理を簡単にするために割り当てられた カテゴリや重要度 などの一覧が表示されます。また、「スペシャル アイテム」の機能を使用して、コンピュータにあるすべての画像をすばやく表示したり、現在のフォルダ内にある未カテゴリ ファイルを表示することができます。
タスク	このペインには、メニューやツールバーから、 頻繁に使われているボタンやコマンドのメニュー が表示されます。このメニューは、ACDSee 内で現在選択されているフォルダや選択ファイルによって動的に変化します。
プロパティ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルまたはフォルダの プロパティとデータベース情報が表示 されます。プロパティ ペインを使用して、ファイルやデジタル画像に含まれる EXIF メタデータのデータベース情報を表示および編集することができます。
バスケット	ファイルやフォルダをブラウズする際、バスケット内に気に入った画像を 一時保存する ことができます。バスケット内に保存されている画像を使って編集、印刷、共有することができるので、画像を移動する必要がありません。
ディスクの作成バスケット	このペインではファイルをまとめたり整理することができます。そして ACDSee 内から CD または DVD を作成 することができます。

ブラウザ ペインの使い方

お好みに合わせてブラウザ内のペインを開いたり閉じたりすることができます。また、複数のペインを移動、フロート、重ねてタブとして表示したりして、ブラウザのレイアウトをカスタマイズすることもできます。

ブラウザ ペインを表示／非表示にするには:

[表示] から表示／非表示にするペインを選択します。

ペインを移動する

固定ペインまたはフローティング ペインを新しい場所に移動することができます。1 つのペインを移動するのはもちろん、重なった複数のペインをまとめて移動することもできます。

ペインを移動するには:

1. 移動したいペインのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンをリリースします。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

次のいずれかを実行します:

- ペインのタブを新しい場所にドラッグします。この方法では 1 つのペインだけを移動することができます。
- ペインのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。この方法では、重なったペインを同時に移動することができます。

ペインを固定する

ブラウザ内でペインを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内側と外側の青い矢印で構成されています。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

ブラウザ ウィンドウ内でペインを固定するには:

1. ペインのタイトルバーまたはタブをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。
2. ブラウザ ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンをリリースします。
3. ファイラー一覧ペイン、また他のブラウザペインの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの内側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンをリリースします。

ペインを重ねてタブとして表示する

ペインを重ねて、お好きな順序のタブとして表示することができます。

ペインを重ねてタブとして表示するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ペインのタイトルバーを別のペインのタイトルバーまでドラッグし、濃い色のマーキーが表示された後にマウスボタンをリリースします。
 - ペインを別のペイン内にドラッグし、ドッキングコンパスの内側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンをリリースします。
2. ペインの順序を変更するには、タブを右または左にドラッグします。
3. ペインを別々に表示するには、ペインのタブをデスクトップ上の別の場所にドラッグします。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、ブラウザ内のすべてのペインをサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが矢印と線に表示されるまでホールドします。

2. ペインの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドした状態で、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。

ブラウザ レイアウトをリセットする

ブラウザ ペインのすべてのペインを既定のレイアウトにリセットすることができます。

ブラウザ レイアウトをリセットするには:

[表示] メニューから [レイアウトのリセット] を選択します。

関連トピック

- [ブラウザ オプションを設定する](#)
- [ブラウザ レイアウトのカスタマイズ](#)

ビューアを使用する

ビューアでは、画像やメディアファイルを実寸サイズまたは [拡大／縮小](#) して表示することができます。連続した複数の画像を表示することも可能です。

ビューア ウィンドウは、次の 4 つの領域で構成されています。

- **ビューア ツールバー:** ビューアの上、メニューバーの下に位置し、ビューア ツールバー にはズームやスクロール ツールなど、頻繁に使われるツールやコマンドのショートカット ボタンが表示されます。ツールバーのオプションを設定し、ツールバーを表示／非表示にしたり、大きいまたは小さなアイコンを選択することができます。
- **編集ツールバー:** ビューアの左手に位置し、編集ツールバーには ACDSee の編集モード で使用可能な編集ツールへのショートカットが表示されています。
- **表示領域:** ビューアのメイン領域で、現在選択されている画像またはメディア ファイルが表示されます。ビューア ウィンドウは、カスタマイズが可能です。
- **ステータス バー:** 表示領域の下に位置するステータス バーには、現在選択されている画像またはメディア ファイルの情報とプロパティが表示されます。クリック 1 つで編集が可能な、重要度やタグのオーバーレイ アイコンも表示されます。

画像またはファイルの [データベース](#)、[EXIF](#)、[IPTC 情報](#) を、ビューアのプロパティ ペインに表示することも可能です。また、[ナビゲータ](#)、[虫めがね](#)、[ヒストグラム](#) ペインを表示し、各画像の詳細情報を確認することも可能です。

ビューアで画像またはメディアファイルを開くには:

ファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- ファイルを選択して、[Enter] キーを押します。

- ファイルをダブルクリックします。
- 画像またはメディアファイルを右クリックし、**[表示]** を選択します。

ビューアで複数の画像を開くには:

1. ファイラー 一覧 ペインから、複数の画像を選択します。
2. **[Enter]** キーを押します。
3. 連続した画像を表示するには、次の操作を行います:
 - 連続した画像の次の画像を表示するには、**[表示]** メニューから **[次の画像]** を選択します。
 - 連続した画像の前の画像を表示するには、**[表示]** メニューから **[前の画像]** を選択します。



ビューアでは、既定値としてフォルダ内のすべてのファイルが表示されます。ビューアの設定をカスタマイズして、ファイラー 一覧 ペインで選択した複数の画像のみをビューアで表示することができます。

フルスクリーンモードで画像を表示する

モニタの画面全体を使用して、画像を表示することができます。フルスクリーン モードでは、ウィンドウのボーダー、メニューバー、ステータスバー、ツールバーが非表示になり、画像だけが表示されます。フルスクリーン モードで画像を常に表示したい場合は、このオプションを ビューアの既定値として設定することができます。

フルスクリーン モードで画像を表示するには:

1. ビューアで、1 つ以上の画像を開きます。
2. **[表示]** メニューから **[フルスクリーン]** を選択します。
3. 画像を右クリックして、ビューアのツールおよびオプションのショートカット メニューを表示します。

フルスクリーン モードを終了するには:

次のいずれかを実行します:

- **[F]** キーを押します。
- 画像を右クリックして、**[表示]** メニューから **[フルスクリーン]** を選択します。

ビューア ペインを使用する

ビューア ペインを開くには:

1. ビューアで画像を開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
 - [表示] メニューから [ヒストグラム ペイン] をクリックして、画像のヒストグラムを表示します。
 - [表示] メニューから [虫めがね ペイン] をクリックして、カーソルの置いてある画像領域を拡大表示します。
 - [表示] メニューから [ナビゲータ ペイン] をクリックして、拡大画像のサムネイルを表示します。
 - [表示] メニューから [プロパティ ペイン] をクリックして、画像のデータベース、EXIF、IPTC 情報を表示します。

ブラウザに戻る

ビューア ウィンドウを閉じ、いつでもブラウザに戻ることができます。

ビューアからブラウザに戻るには:

次のいずれかを実行します:

- [Esc] キーを押します。
- [Enter] キーを押します。
- 画像をダブルクリックします。
- [ファイル] メニューの [ブラウザに戻る] をクリックします。
- メインツールバーの [ブラウザ] ボタンをクリックします。

関連トピック

→ [画像の特定領域を拡大表示する](#)

編集モードを使用する

ACDSee の画像エディタに搭載されている多数の画像編集ツールを使用して、デジタル画像の赤目補正、不要なカラーキャストの削除、特殊効果の適用など色々な編集をすることができます。

また、ACDSee の画像エディタでは、画像の明るさや色のレベル調整、大き過ぎる画像のトリミング、画像の回転／反転、シャープネスの調整などをもすることも可能です。編集した画像は、プレビューで確認したり、サポートされている 10 以上のファイルフォーマットで保存することができます。

ACDSee の編集モードで画像を編集したり、ACD Photo Editor のような画像編集アプリケーションを ACDSee の既定の画像エディタとして [設定する](#) ことができます。

編集モードで画像を開くには:

次のいずれかを実行します:

- ブラウザ内で画像を選択し、[ツール] メニューから [エディタで開く] そして [編集モード] をクリックします。
- ビューアで、[修正] メニューから [編集モード] をクリックします。
- ビューアで [修正] メニューから [編集モード] をクリックし、画像編集に使用するツールの名前を選択します。選択されたツールの編集モードが表示されます。

別の画像エディタを使用して、画像を編集するには:

次のいずれかを実行します:

- ブラウザでは、[ツール] メニューから [エディタで開く] を選択して、使用する画像エディタを選択します。
- ビューアでは、[修正] メニューの [エディタで開く] を選択して、使用する画像エディタを選択します。

ACDSee でファイルを管理する

ACDSee には、ブラウズ、表示、編集機能のほかに、画像やメディア ファイルの管理や並べ替えに便利な多数の管理ツールが搭載されています。管理ツールには、複数のファイルを同時に変更できる一括処理ツール、カテゴリや重要度、大切な画像情報を保有するデータベースなどが含まれます。

ACDSee の一括処理機能では、名前変更、サイズ変更、回転、EXIF 情報の追加、露出調整を 1 つ以上の画像またはフォルダ内のすべてのファイルに対して適用することができます。カテゴリや重要度では、希望するファイル構造を作成することができるため、クリックするだけで関連した画像やメディアを検索できます。

アクセスが簡単なプロパティ ペインでは、ファイル プロパティや画像情報が表示され、メタデータやデータベース情報を直接入力したり編集することができます。ファイルに作者、キャプション、注記、キーワードを追加したり、カテゴリや重要度を同時に適用することも可能です。

関連トピック

- [ACDSee データベースについて](#)
- [プロパティ ペインを使用する](#)
- [カテゴリ、重要度、スペシャル アイテム別に参照する](#)
- [データベースのオプションを設定する](#)

ACDSee で検索する

ACDSee では、様々な方法でファイルやフォルダの検索をすることができます。「検索ペイン」では、ファイル名、キーワード、画像プロパティを検索条件として絞り込み検索することができます。また、日付や重要度に該当するファイルの検索や、「重複の検索」機能を使用して重複するファイルを検索することができます。

「カテゴリ ペイン」には、ハードディスク上のすべての画像や、カタログ化されていないフォルダ内のファイルをすばやく表示することのできる機能が搭載されています。多数の画像から検索するような場合、「ブラウズ検索ペイン」を使用すれば、ファイル一覧ペインに表示したい画像の検索条件を絞り込むことができます。

関連トピック

- [画像をすばやく検索する](#)
- [検索ペインを使用する](#)
- [ブラウズ検索 を使用する](#)
- [重複ファイルを検索する](#)

ACDSee で共有する

ACDSee を使用すれば、ご家族やお友だちと画像を簡単に共有することができます。[ファイル一覧] ペインで選択した画像を電子メールで送信したり、SendPix アルバムを使用してセキュリティで保護された ACDSystems 社のサーバーに画像を掲載したり、HTML アルバム プラグインを使用して自分で作成した Web ページに画像を掲載したりすることができます。

さらに、ACDSee の CD/DVD 作成ウィザードを使用して、大切な画像をディスクに書き込んで保存することができます。また、ACDSee が作成したスライドショーやスクリーンセーバーは、ACDSee がインストールされていないコンピュータでも表示することが可能です。また、ACDSee が作成したスライドショーやスクリーンセーバーは、ACDSee がインストールされていないコンピュータでも表示することが可能です。

関連トピック

- [電子メールで画像を送信する](#)
- [SendPix アルバムを作成する](#)
- [スライドショー／スクリーン セーバーを共有する](#)
- [PDF ファイルを作成する](#)
- [CD または DVD を作成する](#)
- [HTML アルバムを作成する](#)
- [コンタクトシートを作成する](#)

システムの必要条件

ACDSee のブラウザで、画像やビデオをブラウズ／表示したり、オーディオを再生する際、下記のシステム コンポーネントが必要となります。

	最低必要条件	推奨
ハードウェア	Pentium III(R) / AMD Athlon プロセッサまたは同等	Intel Pentium(R) 4 / AMD Athlon XP プロセッサまたは同等
	512 MB RAM	1GB RAM
	100 MB の空き容量のあるハードディスク	1 GB の空き容量のあるハードディスク
	High Color ディスプレイ アダプタ 1024x768 解像度	High Color ディスプレイ アダプタ 1280x1024 解像度
		CD/DVD 書き込み可能ドライブ
ソフトウェア	Windows(R) 2000, Windows(R) XP (各日本語版)	Windows(R) XP, Vista(R) (各日本語版)
	Microsoft Internet Explorer 6.0.0	Microsoft(R) Internet Explorer 6.0.0
		Microsoft DirectX(R) 9.0 -- Microsoft Direct X ファイル フォーマットのサポート、スライドショー、スクリーン セーバー、VCD の作成に必要
		QuickTime(R) 6.0* - QuickTime ファイルフォーマットのサポートに必要
		Ghostscript(R) 8.0 -- PDF ファイルのサポートに必要
		Windows(R) Media(TM) Player 9.0 以降

*これらのコンポーネントをダウンロードするには、[弊社のウェブサイト](#) をご覧ください。

ヘルプを使用する

myACD の使い方

myACD を使用して、ACD Systems 社のソフトウェアを管理することができます。myACD では、ソフトウェアのステータスの確認や試用版のアップデートに必要なライセンス コードの入力を行うことができます。また、他の製品をダウンロードして試用または購入することもできます。

myACD コントロール パネルを開くには:

[ヘルプ] メニューをクリックし、[myACD] を選択します。

[myACD コントロール パネル] に、現在インストールされているソフトウェアの一覧と、試用版またはフルバージョンのステータスが表示されます。myACD では、ソフトウェアの購入はもちろん、試用版をフルバージョンにアップグレードすることもできます。また、ACD Systems 社製品一覧から他の製品をダウンロードして、ハード ディスクにインストールすることも可能です。



myACD のすべての機能にアクセスするには、ご利用のコンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

コンピュータに既にインストールされている試用版を製品版にアップグレードするには:

1. [myACD コントロール パネル] ダイアログ ボックスの [インストールされている製品] 一覧から、試用版のステータスがついている製品を選択します。
2. [インストールされている製品] 一覧の下にある、[購入] ボタンをクリックします。その後、表示される指示に従います。

製品版のライセンス コードで試用版をアップデートするには:

1. [myACD コントロール パネル] ダイアログ ボックスの [インストールされている製品] 一覧から、試用版のステータスがついている製品を選択します。
2. [ライセンス コードの入力] をクリックします。
3. [ライセンス コード] ダイアログ ボックスで、ACD Systems 社から提供されたライセンス コードを入力します。
4. [OK] をクリックします。

フリーソフトをダウンロードおよびインストールするには:

1. [myACD コントロール パネル] ダイアログ ボックスの [追加可能な製品] 一覧からフリーソフトを選択します。
2. [インストール] ボタンをクリックします。その後、表示される指示に従います。

試用版をダウンロードおよびインストールするには:

1. [myACD コントロール パネル] ダイアログ ボックスの **[追加可能な製品]** 一覧から製品を選択します。
2. [追加可能な製品] 一覧の下にある、**[試用版]** ボタンをクリックします。その後、表示される指示に従います。

製品版のソフトウェアを購入、ダウンロード、インストールするには:

1. [myACD コントロール パネル] ダイアログ ボックスの **[追加可能な製品]** 一覧から製品を選択します。
2. [追加可能な製品] 一覧の下にある、**[購入]** ボタンをクリックします。その後、表示される指示に従います。

関連トピック

→ [プラグインについて](#)

ACD Systems の連絡先

ソフトウェアの購入、カスタマーサービス、テクニカルサポートに関する情報につきましては、弊社のウェブサイト、<http://ja.acdsee.com> をご覧ください。

第 2 章 : 画像を取り込む

画像を取り込む

ACDSee を使用して、デジタルカメラ、スキャナ、携帯電話、その他のリムーバブル デバイスから画像をダウンロードすることができます。また、ACDSee のスクリーン キャプチャ機能を使って画面の画像をキャプチャし、ファイルとして保存することもできます。

デジタルカメラや他のデバイスとコンピュータが接続されると、ACDSee はデバイス検出を使用して [デバイスを自動的に検出](#) し、次のいずれかの操作が選択できるダイアログを表示します：

- **デバイスから画像を取り込み、ACDSee で表示する：** このオプションを選択した後に [OK] をクリックすると、[デバイスのプロファイルを作成](#) することになります。名前、保存先などのオプションを一度設定すると、次回そのデバイスとコンピュータを接続する際、画像が新規ディレクトリに自動的にダウンロードされます。複数のデジタルカメラやカードリーダーをご利用の場合に大変便利です。
- **何も行わない：** デバイスのプロファイルを作成したくないけれども、画像の取り込みウィザードを使用して指定先に画像をコピーしたり、コピー中に名前を変更する、またコピー後にデバイスから画像を削除したいような場合には、このオプションを選択した後に [OK] をクリックします。詳細につきましては、以下の一覧から該当するデバイスの種類を選択してください：

リムーバブル デバイスについて

ACDSee には、デジタルカメラ、スキャナ、USB 大容量記憶装置から画像を取り込む方法がいくつかあります。デバイスとコンピュータの接続方法についての詳細は、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルまたはマニュアルをご参照ください。リムーバブル デバイスの種類は下記の通りです：

- **USB 大容量記憶装置：** USB 大容量記憶装置は、USB カードリーダーを使ってコンピュータで読み込むことのできるリムーバブル メモリカードや、直接コンピュータに挿入することのできるカメラの内蔵メモリカードを含みます。システムは USB 大容量記憶装置をリムーバブル ディスクとして検出します。
- **WIA (Windows Image Acquisition)：** WIA (Windows Image Acquisition) ドライバを使用して、カメラおよびスキャナから画像を取り込みます。
- **TWAIN：** TWAIN インターフェースを使用するカメラおよびスキャナから画像を取り込みます。TWAIN のサポートされているデバイスと TWIN ドライバを接続するには、TWAIN ドライバがコンピュータにインストールされている必要があります。TWAIN がデバイスによりサポートされているかについては、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルをご参照ください。



オーディオまたはビデオ ファイルをコピーおよび表示するには、DirectX および QuickTime が必要です。

ACDSee デバイス検出について

ACDSee デバイス検出は、カメラ、スキャナ、大量記憶装置または CD に保存されている画像にアクセスし、ACDSee 内でそれらの画像を表示することができます。

デバイス検出を起動するには：

【ファイル】メニューから【**画像の取り込み**】を選択し、【**ACDSee デバイス検出**】をクリックします。

デバイス検出はバックグラウンドで起動され、カメラのアイコンがタスクバーに表示されます。カメラまたはその他のデバイスとコンピュータが接続されると、デバイス検出が接続されたことを認識するためにアイコンの色が変わります。そして画像の取り扱いについてのメッセージが表示されるか、画像の転送ウィザードか画像の取り込みウィザードが自動的に起動します。

 ACDSee デバイス検出は Windows XP の自動再生機能を置き換えます。Windows の自動再生機能を再開させるには、ACDSee デバイス検出を終了してください。

ACDSee デバイス検出は、CD が CD-ROM ドライブに挿入された際や、大容量記憶装置や WIA（Windows Image Acquisition）デバイスがコンピュータに接続された際に作動します。デバイスの種類には、カメラ、カードリーダー、Web カメラ、スキャナーが含まれます。

デバイスに TWAIN または WIA ドライバがインストールされていない場合、デバイスが大容量記憶装置でない場合、またはデバイスにファイルが存在しない場合は、ACDSee デバイス検出は起動しません。

デバイス検出の使い方に関する詳細については、タスクバーに表示されているカメラのアイコンをクリックし、【ヘルプ】をご参照ください。

デバイス プロファイルの使い方

ACDSee では、リムーバブル デバイスからコンピュータにファイルを自動転送することができます。画像の取り込みウィザードは、カメラ、メモ리카ード、またはその他の記憶装置から自動的に画像をダウンロードする方法をご案内します。デバイス名の設定、デバイス接続時に毎回行う操作の指定、デバイスのプロファイルの編集または削除の設定をすることができます。

「画像の転送」ウィザードを使用するには、デバイスが大容量記憶装置として接続されている必要があります。ご利用になっているカメラ、スキャナまたはメモ리카ードとコンピュータの接続方法がわからない場合には、[リムーバブルデバイスについて](#) を参照ください。

デバイスを設定する

デバイスとコンピュータを初めて接続すると、画像の転送ウィザードと [ACDSee デバイス検出](#) が一緒に起動され、デバイスのプロファイルを設定します。初期設定を実行するには、デバイス検出がアクティブである必要があります。デバイス検出を使用したくない場合には、[画像の取り込みウィザード](#) またはファイラー一覧のフォルダペインから画像を取得します。

 デバイスにファイルが存在しない場合は、そのデバイスは検出されません。

初めて画像を取り込む際にデバイスを設定するには:

1. デバイスとコンピュータを接続します。デバイスの電源が入っているか、またケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。
2. [デバイス検出] オプションの設定によって、ウィザードが起動されるか、追加オプションを設定するメッセージが表示されます。[ACDSee デバイス検出] ダイアログ ボックスが表示されたら、**[デバイスから画像を取り込み、ACDSee で表示する]** を選択します。
3. 画像の転送ウィザードの「ようこそ」のページが表示されたら、デバイス名を入力します。**[次へ]** をクリックして続行します。
4. 「**画像の転送設定**」のページで、デバイスの接続時に毎回実行するファイルの処理方法を指定し、**[次へ]** をクリックして続行します。
5. **ファイル オプション**: [新規ファイルを自動的に選択してハードディスクにコピーする] または [コピーするファイルを常に確認する] の 2 つのオプションから選択します。
6. **ファイル名と保存先 オプション**: [デバイスで使用されているファイル名を保持して「My Pictures」フォルダに保存する]、[ファイル名と保存先を常に確認する]、[カスタム設定を使用する] の 3 つのオプションから選択します。**[設定]** をクリックして [カスタムのテンプレートを作成](#) し、以下のフォルダオプションから指定します。
7. **デバイス格納領域 オプション**: [ファイルがハードディスクにコピーされた後にすべてのファイルをデバイスから削除する]、[ファイルを削除する前に常に確認する]、[カスタム設定を使用する] の 3 つのオプションから選択します。**[設定]** をクリックして、以下で説明されているように、保存先やコピー後のオプションをカスタマイズします。
8. ファイル オプションで、**[コピーするファイルを常に確認する]** を選択した場合、「**コピーするファイル**」のページで、ハードディスクにコピーするファイルを選択して**[次へ]** をクリックします。
9. ファイル名と保存先 オプションで、**[常に確認する]** を選択した場合、「**出力オプション**」のページで、ファイル名と保存先を選択します。**[編集]** をクリックし [ファイル名のテンプレート](#) を指定します。**[次へ]** をクリックして続行します。
10. デバイス格納領域 オプションで、**[常に確認する]** を選択した場合、「**デバイス格納 オプション**」のページで、デバイスからファイルを削除する方法を指定します。設定し終わったら、**[OK]** をクリックします。
11. **[完了]** をクリックして、ウィザードを閉じます。ファイルはハードディスク上の指定されたフォルダに保存されます。また、デバイスのプロファイルは保存されます。

ファイル名と保存先オプションをカスタマイズする

デバイスのプロフィール内では、保存先や、コピーされる画像の名前を指定するオプション、ハードディスクの格納場所を指定することができます。

ファイル名と保存先オプションをカスタマイズするには：

1. 「画像の転送ウィザード」内の [画像の転送設定] ページで、ファイル名と保存先オプション領域にある **[設定]** をクリックします。
2. [ファイル名と保存先オプション] ダイアログボックス内にある [ファイル名] の領域で、次のいずれかのオプションを選択します：
3. **オリジナルファイル名を保持する**：デバイスが作成したオリジナルファイル名を使って、画像をコピーします。保存先に同名のファイルがある場合には、新しいファイルで上書きされます。
4. **テンプレートを使って名前を変更する**：コピーされる際に画像の名前を変更します。**[編集]** をクリックして [名前変更のテンプレート](#) を作成または変更します。
5. [保存先] フォルダの領域にある**[参照]** をクリックし、ハードディスク上の保存先フォルダを指定します。
6. ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択してください：
 - **今日の日付を使う**：指定されたフォルダ内に、今日の日付を付いた新規サブフォルダが作成されます。
 - **このルートをいつも使用する。**：サブフォルダを作成せずに、指定されたフォルダに直接画像をコピーします。
 - コピー中に画像を自動回転させるには、**[画像を自動回転する]** チェックボックスを選択します。
7. **[OK]** をクリックして画像の転送ウィザードに戻ります。

デバイス格納オプションをカスタマイズする

デバイスのプロフィールでは、デバイス格納オプションを設定し、デバイスの空き容量を一定に保つことができます。

デバイス格納オプションをカスタマイズするには：

1. 「画像の転送ウィザード」内の [画像の転送設定] ページで、ファイル名と保存先オプション領域にある **[設定]** をクリックします。
2. [デバイス格納オプション] ダイアログボックス内の **[削除]** オプション領域で、次のいずれかのオプションを選択します：
 - **このデバイスからファイルを削除しない**：ハードディスクにコピー後も、デバイス上に画像が残った状態になります。
 - **削除するファイルを確認する**：コピーする度に、どの画像を削除するか指定することができます。
 - **ハードディスクにコピーした後に、すべてのファイルをデバイスから削除する**：ハードディスクにコピーした後、デバイスから全画像を自動削除します。

- **ファイルを自動的に削除する**：[自動削除の設定] 領域での選択肢に基づいて、コピー後にファイルを削除します。
3. ファイルの自動削除を選択した場合には、[自動削除の設定] 領域から、次のいずれかを選択します：
- **古いファイルから削除し、__% のメディアの領域を解放する**：指定されたパーセントの空き容量が確保されるまで、最も古いファイルから順に自動削除します。（下線部分に、デバイス上で保持したい空き容量の割合を入力します。）
 - **古いファイルから削除し、およそ__つの新規画像のための領域を開放する**：指定されたパーセントの空き容量が確保されるまで、最も古いファイルから順に自動削除します。画像の転送ウィザードはデバイスを分析し、実際に必要な容量を計算します。（下線部分に、画像の数を入力します。）
 - **選択されたファイルより古いものを削除する**：デバイス上にある、指定された日付よりも古いファイルをすべて自動削除します。（最初のボックスに数字を入力し、ドロップダウン リストから日付を選択します。）
4. [OK] をクリックして画像の転送ウィザードに戻ります。

設定済みデバイスから画像を取り込む

デバイスの初期設定が完了したら、[デバイス検出](#) を起動中、あるいはブラウザの [ファイル] メニューから [画像の取り込み] を選択して、デバイスを接続するだけで自動的にアクセスできます。デバイスとコンピュータが接続するたびに、ACDSee は初期設定に基づいて新規ファイルを取り込みます。

設定済みのデバイスからファイルを取り込むには：

1. デバイスとコンピュータを接続します。ここで問題がある場合は、カメラの電源がオンになっているか、またはコンピュータにデバイスのケーブルが適切に接続されているか確認してください。
2. 次のいずれかを実行します：
 - デバイス検出がアクティブの場合、ウィザードが自動的に表示されるか、またはダイアログ ボックスが表示されます。これはデバイス検出オプションの設定により異なります。[ACDSee デバイス検出] ダイアログ ボックスが表示されたら、[デバイスから画像を取り込み、ACDSee で表示する] を選択します。
 - ブラウザの [ファイル] メニューから [画像の取り込み] を選択し、デバイスの名前を選択します。
3. ウィザードの指示に従います。初期設定で選択された設定に基づいて、異なったダイアログ ボックスが表示されます。

デバイスのプロファイルを更新または削除する

デバイスのプロファイルの設定を変更したり、ACDSee からプロファイルを削除することができます。

プロファイルを更新／削除する：

1. ブラウザで、[ファイル] メニューから [画像の取り込み] をクリックした後、[画像の転送設定を編集] を選択します。
2. [画像の転送設定を編集] ダイアログ ボックスで、一覧からデバイスを選択します。
3. 次のいずれかを実行します：

- プロファイルを変更するには、**[編集]** をクリックします。[デバイスのプロファイルを編集する] ダイアログ ボックスで、オプションを変更して、**[OK]** をクリックします。カスタム設定に関する詳しい情報につきましては、[デバイス プロファイルの使い方](#) をご覧ください。
- プロファイル名を変更するには、**[名前の変更]** をクリックします。新規プロファイル名を入力し、**[OK]** をクリックします。
- プロファイルを削除するには、**[削除]** をクリックします。

4. **[閉じる]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

デジタルカメラから画像を取り込む

画像の取り込みウィザードは、カメラからファイルをダウンロードする手順をご案内します。ダウンロードする画像のプレビューやハードディスクへの保存先を指定することができます。

画像の取り込みウィザードを使用するには、カメラを次のいずれかの状態に設定します：

- 大容量記憶装置としてカメラを接続
- デジタルカメラのプラグインを使用

カメラがリムーバブルドライブとして接続される場合には、ファイル一覧 または [フォルダ ペイン](#) から直接画像をダウンロードすることができます。ACDSee は検出されたドライブのレターを表示します。ご利用になっているカメラとコンピュータの接続方法がわからない場合には、[リムーバブルデバイスについて](#) を参照ください。

画像の取り込みウィザードを使ってカメラから画像をダウンロードするには：

1. ご利用になっているデジタルカメラとコンピュータを接続します。カメラの電源が入っているか、およびケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。
2. **[ファイル]** メニューから **[画像の取り込み]** をクリックし、**[カメラまたはカードリーダーから]** を選択します。
3. 次回ウィザード起動時に「ようこそ」のページを表示しないように設定するには、**[今後、このステップを表示しない]** チェックボックスをオンにします。**[次へ]** をクリックして続行します。
4. 「ソース デバイス」のページの **[種類]** 一覧から使用するデバイスの種類を選択します。ACDSee はデバイスをスキャンし、使用可能なオプションを表示します。**[デバイス]** 一覧から、ご利用になっているカメラの名前を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. 最後に、「出力オプション」のページで、[テンプレートを使用して取り込んだファイル名の変更](#) をするかどうか、またハード ディスクの保存先を指定します。また、特定のデジタルカメラで撮影された画像の方向を自動修正する、またコピー後はカメラから画像を削除するなどのオプションも設定できます。**[次へ]** をクリックし、画像のコピーを開始します。
6. 画像をブラウザ内で表示するには **[新しい画像を参照する]** を選択し、**[完了]** をクリックして戻ります。



カメラからオーディオやビデオ ファイルをダウンロードする際、DirectX および QuickTime が必要です。詳細に関しては [システムの必要条件](#) を参照ください。

スキャナ(TWAIN) から画像を取り込む

画像の取り込みウィザードは、スキャナからファイルをダウンロードする手順をご案内します。ダウンロードする画像のプレビューやハードディスクへの保存先を指定することができます。

画像の取り込みウィザードを使用するためには、ご利用になっているスキャナが Windows Imaging Acquisition (WIA) または TWAIN を使用している必要があります。ご利用になっているカメラとコンピュータの接続方法がわからない場合には、[リムーバブルデバイスについて](#) を参照ください。

スキャナから画像をダウンロードするには:

1. ご利用になっているスキャナとコンピュータを接続します。カメラの電源が入っているか、またケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。
2. **[ファイル]** メニューから **[画像の取り込み]** を選択し、**[スキャナから]** をクリックします。
3. 次回ウィザード起動時に **[ようこそ]** のページを表示しないように設定するには、**[今後、このステップを表示しない]** チェックボックスをオンにします。**[次へ]** をクリックして続行します。
4. **[ソース デバイス]** のページの **[種類]** 一覧から使用する TWAIN を選択します。**[デバイス]** 一覧から、ファイルを取り込むのに使用する特定のスキャナ名を選択します。**[次へ]** をクリックして続行します。
5. **[ファイル フォーマット オプション]** のページで、画像の保存に使用するファイル フォーマットを選択します。**[オプション]** ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットのオプションを選択します。すべてのファイル フォーマットに追加オプションがあるわけではありませんのでご注意ください。**[次へ]** をクリックして続行します。
6. 最後に、**[出力オプション]** のページで、[テンプレートを使用](#) して取り込んだファイル名の変更をするかどうか指定します。また、ハード ディスクへの保存先も指定します。**[次へ]** をクリックし、画像のコピーを開始します。
7. 画像をブラウザ内で表示するには **[新しい画像を参照する]** を選択し、**[完了]** をクリックして戻ります。

大容量記憶装置から画像を取り込む

ACDSee の画像の取り込みウィザードは、USB 大容量記憶装置または Windows Image Acquisition (WIA) デバイスから、画像をダウンロードする手順をご案内します。ダウンロードする画像のプレビューやハードディスクへの保存先を指定することができます。

大容量記憶装置または WIA のドライバがインストールされていない場合には、デバイス検出は検出することができませんのでご注意ください。ご利用になっているカメラとコンピュータの接続方法がわからない場合には、[リムーバブルデバイスについて](#) を参照ください。

画像の取り込みウィザードを使って大容量装置から画像をダウンロードするには:

1. USB 大容量記憶デバイスとコンピュータを接続します。
2. **[ファイル]** メニューから **[画像の取り込み]** をクリックし、**[カメラまたはカードリーダーから]** を選択します。
3. 次回ウィザード起動時に **[ようこそ]** のページを表示しないように設定するには、**[今後、このステップを表示しない]** チェックボックスをオンにします。**[次へ]** をクリックして続行します。

4. 「ソース デバイス」のページの **[種類]** 一覧から使用する大容量記憶デバイスを選択します。ACDSee はデバイスをスキャンし、使用可能なオプションを表示します。**[デバイス]** 一覧から、ファイルを取り込むのに使用する特定のデバイス名を選択します。**[次へ]** をクリックして続行します。
5. 「ファイル フォーマット オプション」のページで、画像の保存に使用するファイル フォーマットを選択します。**[オプション]** ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットのオプションを選択します。すべてのファイル フォーマットに追加オプションがあるわけではありませんのでご注意ください。**[次へ]** をクリックして続行します。
6. 最後に、「出力オプション」のページで、テンプレートを使用して取り込んだファイル名の変更をするかどうか指定します。また、ハード ディスクへの保存先も指定します。また、特定のデジタルカメラで撮影された画像の方向を自動修正する、またコピー後はカメラから画像を削除するなどのオプションも設定できます。**[次へ]** をクリックし、画像のコピーを開始します。
7. 画像をブラウザ内で表示するには **[新しい画像を参照する]** を選択し、**[完了]** をクリックして戻ります。

CD から画像を取り込む

デバイス検出、画像の取り込みウィザード、また **フォルダ ペイン** を使って、CD から画像をダウンロードすることができます。

デバイス検出のオプションを変更すれば、CD-ROM ドライブにディスクが挿入されると、画像の取り込みウィザードが自動起動されるように設定することもできます。また、ファイル一覧で画像を自動的に開いたり、CD を挿入するたびにメッセージで新規オプションを設定できるようにしたり、フォトディスクを作成したりといったオプションを設定することができます。

デバイス検出が起動していて、画像の取り込みウィザードを自動起動するように設定されている場合には、ドライブに CD が挿入されると同時にウィザードが開かれます。

画像の取り込みウィザードを使って CD から画像をダウンロードするには:

1. ドライブに CD を挿入し、デバイス検出が CD を検出し、画像の取り込みウィザードが起動されるまで待ちます。
2. ウィザードの「ようこそ」ページを次回から表示しないように設定するには、**[今後、このステップを表示しない]** チェックボックスをオンにします。
3. **[コピーするファイル]** ページでコピーしたい画像を指定し、**[次へ]** をクリックします。
4. **[出力オプション]** ページで、テンプレートを使用して取り込んだ画像の **名前変更** をするかどうかと、ハード ディスクへの保存先を指定します。また、特定のデジタルカメラで撮影された画像の方向を自動修正する、またコピー後はカメラから画像を削除するなどのオプションも設定できます。**[次へ]** をクリックし、画像のコピーを開始します。
5. 画像をブラウザ内で表示するには **[新しい画像を参照する]** を選択し、**[完了]** をクリックして戻ります。



[ACDSee でファイルを自動表示する] が **デバイス検出** オプションで選択されている場合には、CD-ROM ドライブに CD が挿入されると、ファイル一覧ペインにファイルが自動表示されます。

携帯電話から画像を取り込む

ACDSee の携帯電話取り込みウィザードでは、携帯電話から画像をダウンロードする方法をご案内します。

携帯電話から画像をダウンロードするには:

1. **【ファイル】**メニューから**【画像の取り込み】**を選択し、**【携帯電話から】**を選択します。
2. 「ようこそ」のページで、携帯電話フォルダの場所を選択し、ハードディスクの保存先を指定します。画像を日付のサブフォルダに保存する設定や、ファイルがハードディスクに保存された後に、それらのファイルをデバイスから削除する設定をオプションから選択します。**【次へ】**をクリックして続行します。
3. 「ダウンロードされた画像」のページで、ダウンロードされた画像のプレビューを表示することができます。ハードディスクへ画像を保存するには、**【次へ】**をクリックします。

ファイル名変更テンプレートを作成する

画像の取り込みウィザードの出力オプション ページでは、ハードディスクに保存する際に使うファイルの名前をテンプレートとして設定することができます。連番のテンプレートを作成したり、カスタム テキストを追加したり、ファイル特有の情報を新規ファイル名に挿入することができます。

ファイル名変更のテンプレートを使用するには:

1. 画像の取り込みウィザードの出力オプション ページで、**【編集】**をクリックします。
2. **【ファイル名のテンプレート編集】**ダイアログ ボックスで、次のいずれかまたは両方の操作を行います:
 - **【テンプレート】** フィールドに、ファイル名に使用する単語や語句を入力します。
 - **【プロパティの挿入】** ボタンをクリックし、ファイル名に使用するファイル特有のプロパティを選択します。プロパティには<Date> のようなプレースホルダが追加されます。ファイルの名前が変更される際、実際の日付がファイル名に挿入されます。
 - **【連番の挿入】** ボタンをクリックし、テンプレートに番号を追加します。テンプレートで使用されている（#）サインは、ウィザードで指定されている開始番号で始まる連番に変換されます。例えば、### と入力すると 001、002 という連番が付けられることになります。
3. **【OK】**をクリックしてウィザードに戻ります。

スクリーン キャプチャを実行する

ACDSee スクリーン キャプチャ ユーティリティを使って、画面の様々な領域から画像を作成することができます。キャプチャする領域、キャプチャの方法、キャプチャされた画像の出力先などを選択することができます。

スクリーン キャプチャを実行するには:

- 1. [ツール] メニューから [スクリーン キャプチャ] を選択します。
- 2. [スクリーン キャプチャ] ダイアログ ボックスの [ソース] セクションで、キャプチャしたい画面の領域を指定します。ソース オプションの詳細につきましては、下記の表を参照ください。
- 3. マウス ポインタも一緒にキャプチャするには、[マウス ポインタを含む] チェックボックスをオンにします。
- 4. [出力先] セクションで、キャプチャされた画像の出力先を指定します。
- 5. [キャプチャの実行] セクションで、スクリーン キャプチャの実行方法を指定します。
- 6. [開始] をクリックし、スクリーン キャプチャを起動します。タスクバーにスクリーン キャプチャのアイコンが表示されます。
- 7. キャプチャする画面の領域を表示し、スクリーン キャプチャのアイコンに表示される吹き出しの手順に従ってください。
- 8. スクリーン キャプチャを実行せずにユーティリティを終了するには、[スクリーン キャプチャ] アイコンを右クリックし、[スクリーン キャプチャの終了] を選択します。

スクリーン キャプチャのオプション

ソース オプション		
デスクトップ	現行モニタ	画面に表示されている領域全体の画像をキャプチャします。
	ウィンドウ	アクティブ ウィンドウ全体をキャプチャします。
領域	コンテンツのみ	ウィンドウ内のコンテンツをキャプチャします。(フレームまたはタイトルバーはキャプチャされません)。
	固定サイズ	画面の固定領域をキャプチャします。 ドロップダウン ボタンをクリックして、サイズの設定を選択するか、[カスタマイズ] を選択して、カスタム サイズをピクセルで入力します。
項目	選択領域	画面の選択領域をキャプチャします。マウス ポインタをクリック&ドラッグして、キャプチャしたい領域を囲みます。
	子ウィンドウ	ウィンドウの一部をキャプチャします。例: ツールバー、ボタン
	ポインタの置かれたメニュー	選択されたメニュー コマンドをキャプチャします。

出力先 オプション

クリップボード	クリップボードにキャプチャされた画像を保存します。画像をクリップボードに一時保存し、新しい場所に貼り付けることができます。
ファイル	[スクリーン キャプチャの保存] ダイアログ ボックスを表示します。場所、フォーマット、ファイル名を指定できます。
エディタ	キャプチャした画像を既定の画像エディタで表示します。

キャプチャの実行 オプション

ホットキー	スクリーン キャプチャを実行するキーの組み合わせを指定します。 ホットキーを設定するには、キーボードでキーまたはキーの組み合わせ（例: Ctrl + S）を押します。ボックスには入力しません。
タイマー	指定された時間が経過した後で、スクリーン キャプチャを実行します。デスクトップまたはウィンドウでスクリーン キャプチャの準備をするための十分な時間を設定します。最大設定時間は 60 秒間です。

第 3 章：参照する

ブラウザ

ファイル一覧 ペインでファイルを参照する

[ファイル一覧] ペインは、ブラウザの中央に位置する大きなペインを指します。このペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後の検索結果、ブラウザ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。

既定値として、ファイル一覧 ペインにはサムネイルが表示されます。表示モード は、サムネイルから詳細、ファイル一覧、アイコン、フィルム ストリップなど、希望の表示に変更することができます。名前順、サイズ、プロパティ、などでファイルを並べ替えることも可能です。フィルタ を使用して、ファイル一覧 ペインに表示されるファイルの種類を指定することも可能です。

ファイル一覧 ペインのセクションについて

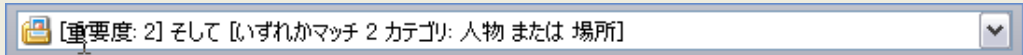
ファイル一覧 ペインは次の 2 つのセクションで構成されています: コンテンツ バー と ファイル一覧 ツールバー。

コンテンツ バー

コンテンツ バーはファイル一覧ペインの上に位置し、現在参照しているフォルダを表示します。[フォルダ ペイン] を使用している場合、コンテンツバーにはパスまたは現在参照しているフォルダのパスが下記のように表示されます。



[カテゴリ ペイン] を使用してカテゴリや重要度でファイルを参照する場合、コンテンツバーには選択されたカテゴリが下記のように表示されます。



カレンダーペイン を使用して参照する場合、コンテンツバーには日付の範囲が表示されます。また、[検索ペイン] を使用している場合、検索結果が表示されます。

ファイル一覧 ツールバー

	フィルタの条件	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。 [フィルタ オプションの設定] を選択してカスタム フィルタを作成することも可能です。
	グループ化	ファイル一覧ペインで、ファイルのグループ化に使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
	並べ替え	ファイル一覧ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
	表示モード	[表示モード] メニューを開き、ファイル一覧ペインでのファイルの表示方法を指定することができます。
	選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。



サムネイルの表示オプション

[ACDSee オプション] ダイアログの [サムネイル情報] ページを開きます。ここでサムネイルのポップアップに表示する情報を設定したり、使用するオーバーレイアイコンを選択することができます。



サムネイル サイズ

ファイル一覧ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダーをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。

ファイル一覧ペインを最大化する

画面を有効に使用するために、ブラウザの他のペインをすべて隠し、ファイル一覧ペインを最大化することができます。ブラウザで表示されるペインは、ファイル一覧ペインと使用中のツールバーのみになります。

ファイル一覧ペインを最大化するには：

1. **[表示]** メニューから **[ファイル一覧の最大化]** を選択します。
2. ファイル一覧ペインとツールバーのみを表示するには、**[表示]** メニューから **フル スクリーン** を選択します。
3. ブラウザに戻るには、**[フル スクリーンを閉じる]** ボタンをクリックします。

エクスプローラの右クリックメニューを使用する：

フォルダペイン、お気に入りペインまたはファイル一覧を使用して、ACDSee 内からファイルを Windows エクスプローラで開くことができます。フォルダ ペインで表示したいフォルダの左にあるチェックボックスをオンにします。

また、イーजीセレクト バーをブラウザ検索ペインで使用することも可能です。

エクスプローラでファイルを開くには：

1. **[ファイル一覧]** から、Windows の右クリックメニューを使用して、サムネイルを選択し、**CTRL + 右クリック** を押します。
[Windows の右クリック メニュー](#) を継続して使用したい場合、**[ツール]** メニューから **[ACD オプション]** を選択し、**[ファイル一覧]** にあるチェックボックスを選択します。
2. フォルダまたはお気に入り ペインで、該当ファイルを含んでいるフォルダを **CTRL + 右クリック** します。
3. **[Explore]** をクリックします。

そのフォルダに含まれている画像を左手のペインに一覧表示した形で、エクスプローラでフォルダが開かれます。

関連トピック

- [ファイル一覧ペイン オプションを設定する](#)
- [表示モードを変更する](#)

フォルダ ペインを使用する

フォルダ ペインには、Windows エクスプローラのフォルダ ツリーのような、コンピュータのフォルダ構成が表示されます。このペインでフォルダを選択すると、フォルダの内容がファイル一覧ペインで表示されます。

また、このペインを使用して、お気に入りファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットを作成することもできます。特定のファイルを検索することなく、[お気に入りペイン](#) ですばやくアクセスすることができます。

フォルダ ペインを使ってフォルダを参照すると、ACDSee データベースはフォルダ内の画像またはメディア ファイルをカタログ化します。

フォルダ ペインを開くまたは閉じるには:

1. **[表示]** メニューから **[フォルダ]** を選択します。
2. 大容量格納デバイスやデジタルカメラのようなリムーバブルデバイスを接続すると、フォルダ ペイン内ではドライブ名が自動的に設定された別のドライブとして認識されます。

フォルダ ペイン内をクリックするだけで、デバイスとその内容を表示することができます。

複数のフォルダを選択する

イージーセレクト バーとは、フォルダ ペインおよびカテゴリ ペインの左側にある縦列のチェックボックスのことです。イージーセレクト バーを使用して複数のフォルダやカテゴリを選択し、ファイル一覧ペインにそれらの内容を表示することができます。

イージーセレクト バーを使用するには:

フォルダ ペインおよびファイル一覧ペインでは、ハードディスクにあるフォルダの作成、削除、名前の変更、移動を実行して、ファイルを管理することができます。

フォルダを管理するには:

1. フォルダ ペインで、追加、削除、名前の変更をしたいフォルダを選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
 - 新規フォルダを作成するには、**[ファイル]** メニューから **[新規作成]** を選択し、**[フォルダ]** をクリックします。新規フォルダの名前を入力し、**[Enter]** キーを押します。
 - フォルダを削除するには、フォルダを選択して **[Delete]** キーを押します。
 - フォルダ名を変更するには、名前を変更するフォルダを選択し右クリックし、**[名前の変更]** を選択します。
3. 新規フォルダの名前を入力し、**[Enter]** キーを押します。



ドライブ、あるいは CD-ROM のような読み取り専用のファイルの名前を変更することはできません。

カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、分類別にファイルを参照する

カテゴリ ペインには、カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、スペシャル アイテムに割り当てられているファイルの一覧が表示されます。イージー セレクト バーを使用して、カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、スペシャル アイテムをミックスして選択することも可能です。

イージーセレクト バーとは、フォルダ ペインおよびカテゴリ ペインの左側にある縦列のチェックボックスのことです。イージーセレクト バーを使用して複数のフォルダやカテゴリを選択し、ファイル一覧ペインにそれらの内容を表示することができます。また、イージーセレクト バーをブラウズ検索ペインで使用することも可能です。

ファイル一覧 ペインには画像やメディア ファイルが表示されますが、フォルダから実際に移動されたわけではありません。カテゴリ、重要度、自動カテゴリ、スペシャル アイテムはファイルの場所とは別のものとして作業します。

カテゴリに分類されているファイルを表示する：

カテゴリ ペインで、1 つ以上のカテゴリ、重要度、自動カテゴリ、スペシャル アイテムを選択します。カテゴリ ペインに割り当てられたファイルは、ファイル一覧ペインで表示されます。

ファイル一覧ペインの上にあるコンテンツバーには、現在カテゴリ ペインで選択されているカテゴリまたは分類が表示されます。ブラウズ検索ペインを使用して、特定のフォルダ内にある特定の分類を絞り込んでブラウズすることができます。

イージーセレクト バーを使用するには：

カテゴリ ペインで、表示したい分類の左側にあるチェックボックスをオンにします。

カテゴリ ペインの分類

カテゴリ ペインは、次の 3 つの領域から構成されています：カテゴリ、重要度、スペシャル アイテム

カテゴリ

カテゴリ ペインを使用すれば、ファイルをコピーしたり他のフォルダに移動せずにファイルをグループ分類することができます。またカテゴリ ペインでは、新規カテゴリを作成したり、既存カテゴリの名前を変更または削除したり、複数のカテゴリをファイルに割り当てることが可能です。

重要度

重要度 1～5 を画像やファイルに設定します。情報はデータベースに保存されます。設定した重要度を活用して、ファイルを検索したり、並べ替えたり、管理することができます。

自動カテゴリ

自動カテゴリをクリックすると、ACDSee はそのカテゴリに属している画像を検索します。カテゴリは複数選択可能です。

スペシャル アイテム

スペシャル アイテムを使用して、データベース内の全画像、未分類の画像、タグの付いた画像などを素早く表示することができます。次のいずれかを選択します：

- **イメージ ウェル(すべての画像)：** ACDSee データベース内でカタログ化されたすべての画像を表示します。画像コレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。
- **未分類：** ACDSee データベース内にカタログ化された画像で、カテゴリ分類されていないものを表示します。

すべてのファイル タイプにカテゴリまたは重要度を適用することができますが、スペシャル アイテム機能では、画像のみが適用対象となります。

関連トピック

- [ACDSee データベースについて](#)
- [カテゴリを管理する](#)
- [カテゴリと重要度を設定する](#)
- [カテゴリ オプションを設定する](#)

日時またはイベント別にファイルを参照する

カレンダー ペインでは、画像に関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを管理したり参照することができます。カレンダーペインには、イベント、年、月、日のビューモードとフォトカレンダーが用意されています。フォトカレンダーは撮影日にサムネイルを表示します。カレンダー ペインの日付をクリックすると、その日と関連付けられているファイルの一覧が表示されます。

カレンダー ペインを開くには：

メニューバーで **[表示]** メニューから **[カレンダー]** をクリックします。

カレンダー ペインが、メインブラウザの左手に **[フォルダ]** と **[お気に入り]** タブの隣に開かれます。



画像が含まれているフォルダを参照したことがあるか、カタログファイル ウィザードを使用してカタログ化を行って ACDSee データベースに情報を含めない限り、カレンダーペインに画像を表示することはできません。ご注意ください。

[フォトカレンダー] を使用する場合、該当月の画像が含まれている特定日にのみサムネイルが表示されます。画像の含まれていない日は空白で表示されます。

カレンダー ペインのツールバー ボタン



イベントモード

カレンダー ペインをイベントモードに切り替えます。イベント モードでは、指定されたイベントに該当する画像またはメディアファイルが表示されます。月の横には、画像またはメディアファイルが含まれている日数が表示されます。月の領域を展開すると、該当する画像数と日にちが表示されます。説明やサムネイル画像を追加して、イベント

を区別することも可能です。



年モード

カレンダー ペインを年モードに切り替えます。年モードでは、年ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの年度が表示されます。年の横には、該当年に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている月は、ハイライト表示で区別されます。



月モード

カレンダー ペインを月モードに切り替えます。月モードでは、月ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの月が表示されます。月の横には、該当月に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。



日モード

カレンダー ペインを日モードに切り替えます。日モードでは、日ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの日が表示されます。日の横には、該当日に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。



フォトカレンダー

カレンダー ペインをフォトカレンダー モードに切り替えます。フォトカレンダーは、月別のカレンダーに画像の含まれた日をサムネイルで表示します。サムネイル上にマウスを移動すると、その日に含まれている最初の 4 画像がポップアップで表示されます。サムネイルをクリックすると、該当日に含まれているすべての画像がファイル一覧に表示されます。カレンダーの右上に、該当月に含まれる画像の合計数が表示されます。タイトルバーをドラッグ、または逆三角の矢印をクリックして [フロート] を選択して別の場所にフロートさせ、ペインのコーナーをドラッグしてサイズ変更をすると、サムネイルのサイズを大きくまたは小さく変更することができます。



オプション

カレンダー ペイン オプション を使って、ファイルの管理に使用する日を指定します。例えば以下のように日付を設定し、表示を素早く切り替えることができます：

- データベースの日付 (ACDSee がデータベースをカタログ化した日付け)
- 画像の撮影日
- ファイルの更新日
- ファイルの作成日 (コンピュータにロードされた日)

[ACDSee オプション] をクリックして [カレンダー] オプションを開き、フィルタ、週の始まりや時計の表示形式などを設定します。



前の項目

選択されている日付に一番近い前の日付のファイルを表示します。



次の項目

選択されている日付に一番近い次の日付のファイルを表示します。

イベントモードに説明やサムネイルを追加する

イベントモードに説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。

イベントモードの特定日に説明を追加するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. **[イベントの説明を入力]** をクリックし、ハイライト表示されたテキストを新規説明で置き換えます。
3. **[Enter]** キーを押すか、説明領域外の任意の場所をクリックします。これで説明の内容が保存されます。

イベントモードまたはフォトカレンダーの特定日にサムネイルを追加するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. 該当日をクリックして、ファイル一覧ペインに画像またはメディアファイルを表示します。
3. 該当日のサムネイル領域に、画像またはメディアファイルをクリック & ドラッグします。マウスボタンをリリースすると、サムネイルが保存されます。

既定サムネイルをリセットするには、該当サムネイルを右クリックし、**[既定サムネイルの復元]** を選択します。

イベントモードで日付一覧をナビゲートするには:

1. 特定グループを展開または折りたたむには、グループヘッダーの左横にある +/- をクリックします。
2. 全グループを展開または折りたたむには、**[全グループの展開]** または **[全グループの折りたたみ]** を選択します。
3. 複数のグループ間をスクロールするには、**[ファイル一覧]** スクロールバーの下にある **[次のグループ]** または **[前のグループ]** ボタンをクリックします。
4. **[カレンダー]** ペインのスクロールバーの下にある **[目次]** ボタンをクリックして、希望する日付を選択します。

関連トピック

- [ファイル一覧ペインを使用する](#)
- [ファイルをカタログ化する](#)
- [カレンダー オプションを設定する](#)

お気に入りファイルを参照する

ショートカットを作成する

お気に入りペイン内では、フォルダやファイルへのショートカットを作成したり、実行ファイルを起動することができます。また、お気に入りのショートカットはフォルダのように、コピー、移動、名前の変更、削除することができます。実行ファイルのショートカットを使用して、ACDSee 内から別のアプリケーションを起動することもできます。

お気に入りのショートカットを作成するには：

1. ファイル一覧ペインから、ファイル、フォルダまたは実行ファイルを選択します。
2. 次のいずれかを実行します：
3. 選択したアイテムを右クリックし、**【お気に入りの追加】**を選択します。
4. **【ファイル】**メニューの**【お気に入りの追加】**をクリックします。
5. 新規ショートカット名を入力し、**【OK】**をクリックします。

【ファイル】一覧ペインからファイル、フォルダあるいは実行ファイルを【お気に入り】ペインにドラッグすることでも、ショートカットを作成することができます。

新規フォルダを作成する

お気に入りペイン内では、フォルダまたはフォルダツリー全体を作成することができるため、ショートカットの管理に便利です。

新規フォルダを作成するには：

1. お気に入りペイン内で、お気に入りあるいは既に作成されているフォルダを右クリックし、**【新規作成】**、**【フォルダ】**を選択します。
2. 新規フォルダの名前を入力し、**【Enter】**キーを押します。

 お気に入りとして適用されているファイルまたはフォルダを移動すると、リンクが壊れるため、それ以降お気に入り機能が適切に起動しないことになります。

ショートカットまたはフォルダを削除する

お気に入りペイン内では、ショートカットまたはフォルダを削除することができます。

ショートカットまたはフォルダを削除するには：

お気に入りペインで、ショートカットまたはフォルダ上を右クリックし、**【削除】**をクリックします。

関連トピック

→ [フォルダ ペインを使用する](#)

RAW ファイルを参照する

RAW ファイルはネガフィルムに似ているため、表示する前にフィルムの現像、つまり RAW 処理を行わなければなりません。参照する前に RAW ファイルをすべて処理しなければならないとすると、時間の無駄はもちろん大変不便です。ACDSee は必要なプロセスを行うため、RAW ファイルを処理して画像を参照する必要はありません。

RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれている場合には、ACDSee はそのサムネイルをブラウザ内に表示します。埋め込まれているサムネイルの画質が低い場合には、ACDSee はまずそのサムネイルをブラウザ内で表示した後、高画質のサムネイルに変換して再表示します。このプロセス状況は、ウィンドウの下にあるステータスバーで確認することができます。

高画質のサムネイル表示に時間がかかりすぎる場合、このオプションをオフに設定することができます。（[ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択し、[ファイル一覧] にある [高画質のサムネイルを作成する] チェックボックスをクリアにします。）RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれていない場合には、ACDSee は高画質のサムネイルを素早く作成し、ブラウザ内に表示します。

 **[高画質のサムネイルを作成する]** オプションをオフにすると表示速度は向上しますが、RAW 画像のサムネイルが正確に表示されない可能性が高くなります。

また、ACDSee はデータベースを検索し、RAW ファイル用に処理設定が選択されているかどうかを調べます。RAW ファイル用の設定が見つかったら、ACDSee はそれらの設定を使用してブラウザ内にサムネイルを表示します。

一度サムネイルが作成されるとデータベース内にその情報が保存されるため、次回から再構築と表示時間が短縮されます。

関連トピック

- [ファイル一覧ペイン オプションを設定する](#)
- [RAW 画像を処理する](#)

表示モードを変更する

サムネイル、詳細、アイコンなどのいろいろな表示モードで、ファイル一覧ペインにファイルを表示することができます。また、サムネイルの外観やサイズをカスタマイズしたり、「詳細」モードで表示する情報を指定することができます。

表示モード

サムネイル + 詳細	一覧にファイル名と詳細を表示し、「ファイル名」列にサムネイルが加わります。
フィルム ストリップ	ファイル一覧ペインの下に、ファイルのサムネイルを横一列に表示します。拡大されたプレビュー ペインには、現在選択されている画像のプレビューが表示されます。
サムネイル	ファイル一覧ペインにあるすべての画像とメディア ファイルのサムネイルを表示します。サムネイルの外観をカスタマイズしたり、サムネイルと一緒に表示される情報を指定することができます。
タイル	サムネイルとファイル情報を含んだ「タイル」として、ファイル一覧に表示します。サムネイル サイズ スライダを使用して、タイルのサイズを変更することができます。

アイコン	ファイル一覧ペインにあるファイルを、各ファイルの種類に適用されている既定の大きなアイコンで表示します。
ファイル一覧	ファイル名とファイル拡張子の一覧を表示します。
詳細	ファイル名、サイズ、フォーマット、作成日などの各ファイルの詳細が表示されます。下記に説明されているように、「詳細」表示モードをカスタマイズしたり、ファイルに表示される情報を指定することができます。

詳細表示モードをカスタマイズする

「詳細」表示モードの列を自動サイズ変更したり、グリッドラインを表示または非表示にしたり、行のヘッダーを選択するとその行全体が選択されるように設定することができます。また、「詳細」表示モードの表示方法を変更したり、表示する列を選択したり、列の順序をカスタマイズすることも可能です。

列を選択したり、列の順序を変更するには：

1. **[表示]** メニューから **[表示モード]** を選択し、**[詳細選択]** をクリックします。
2. **[詳細選択]** ダイアログボックスで、以下のいずれかの操作を行います：
 - 列を追加するには、**[選択可能な詳細]** ペインにあるフォルダまたは詳細を選択し **[追加]** をクリックします。フォルダを追加すると、そのフォルダ内にあるすべての詳細が追加されます。
 - 列を削除するには、**[現在選択されている詳細]** ペインにあるフォルダまたは詳細を選択し **[削除]** をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの左に移動するには、**[現在表示されている詳細]** ペインで該当の列を選択し、**[上に移動]** をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの右に移動するには、**[現在表示されている詳細]** ペインで該当の列を選択し、**[下に移動]** をクリックします。
3. **[OK]** をクリックします。



既定の列のみを **[選択可能な詳細]** ペインに表示するには、**[リセット]** をクリックします。また、ファイル一覧ペインでは、列のヘッダーをそのままドラックして移動することも可能です。縦線は列が挿入される場所を示します。

関連トピック

- [ファイルにフィルタを適用する](#)
- [ファイルを並べ替える](#)
- [ファイル一覧ペイン オプションを設定する](#)

ファイルにフィルタを適用する

フィルタの条件 オプションを使用して、ファイル一覧ペインに表示されるファイルの種類を設定することができます。

ファイル一覧ペインのフィルタを設定するには:

次のいずれかを実行します:

- **【表示】** メニューから **【フィルタ】** をクリックし、フィルタ オプションを選択します。
- ファイル一覧ペインのツールバーにある **【フィルタの条件】** ボタンをクリックしてフィルタ オプションを選択します。



サムネイルが隠れてしまった場合には、**【フィルタの条件】** から **【すべて】** を選択すると再表示されます。

カスタムフィルタを作成するには:

1. 次のいずれかを実行します:

- **【表示】** メニューから **【フィルタ】**、**【フィルタ オプションの設定】** をクリックします。
- ファイル一覧ペインのツールバーにある **【フィルタの条件】** ボタンをクリックして **【フィルタ オプションの設定】** を選択します。

2. **【フィルタ適用の条件】** を選択します。

3. 以下のいずれかのオプションを選択またはクリアすると、ファイル一覧ペインに選択されたファイルの種類が表示／非表示されます:

- **画像ファイルの表示**
- **メディア ファイルの表示**
- **フォルダの表示**
- **アーカイブ ファイルの表示**
- **【隠しファイルとフォルダを表示する】** を選択して、オペレーティング システムでは通常表示されないファイルやフォルダを表示します。
- **【THM ファイルを表示する】** を選択してサムネイル ファイルを表示します。
- **【XMP ファイルを表示する】** を選択して、Adobe が RAW フォーマット用に作成する XMP サイドカーファイルを表示します。

4. **【OK】** をクリックします。

ファイルをグループ化する

【ファイル一覧】で膨大な量の画像を参照しなければならないといった場合には、**【グループ化】** を使用して別のグループに仕分けると、参照が楽になります。また画像をグループ化すると、特定の画像を探しやすくなります。例えば、複数の

カメラを使用する場合には、画像撮影に使用したカメラの機種別に画像をまとめることができます。同様に、画像を別のファイルフォーマットで保存する場合には、フォーマット別に画像をまとめることもできます。



グループ化は、[サムネイル]、[サムネイル + 詳細]、[詳細]、[タイル]、[アイコン] 表示モードでのみ利用できません。

ファイル一覧でファイルをグループ化するには：

1. ファイルが含まれているフォルダを参照します。
2. 次のいずれかを実行します：
 - [表示] メニューから [グループ化] をクリックし、グループ オプションを選択します。
 - ファイル一覧ペインのツールバーにある [グループ化] ボタンをクリックしてグループ オプションを選択します。

ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには：

特定グループを展開または折りたたむには：

グループヘッダーの左横にある [展開]  または [折りたたみ]  矢印をクリックします。

全グループを展開または折りたたむには：

[全グループの展開] または [全グループの折りたたみ] を選択します。

閉じられたグループの画像プレビューを表示するには：

グループのヘッダーにマウスを置きます。

複数のグループ間をスクロールするには：

[ファイル一覧] スクロールバーの下にある [次のグループ]  または [前のグループ]  ボタンをクリックします。

目次を表示するには：

次のいずれかを実行します：

- [表示] メニューから [グループ化] そして [目次] をクリックします。
- ファイル一覧ペインのツールバーにある [グループ化] ボタンをクリックして [目次] を選択します。
- ファイル一覧ペインのツールバー下にある [目次]  ボタンをクリックします。

特定のグループに素早く移動するには

1. 目次を表示します。
2. 表示したいグループをクリックします。

グループを並べ替えるには:

次のいずれかを実行します:

- [表示] メニューの [グループ化] をクリックし、[昇順] または [降順] を選択します。
- ファイラー一覧ペインのツールバーにある [グループ化] ボタンをクリックして [昇順] または [降順] を選択します。

ファイラー一覧からグループを削除するには:

1 つのグループを削除するには:

次のいずれかを実行します:

- [表示] メニューから [グループ化] そして [なし] をクリックします。
- ファイラー一覧ペインのツールバーにある [グループ化] ボタンをクリックして [なし] を選択します。

1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには:

グループ内のファイルを選択するには:

次のいずれかを実行します:

- グループのヘッダーをクリックし、そのグループ内の全ファイルを選択します。
- [Ctrl] キーを押しながら、他のグループのヘッダーをクリックし、それらのグループに含まれているファイルをすべて選択します。

ファイルを並べ替える

表示モードを使用してファイルを並べ替えることで、すばやく画像を管理したり、特定のファイルを検索したり、類似する属性のファイルを作成したりすることができます。

ファイル一覧の項目を並べ替えるには：

1. **【表示】**メニューから**【並べ替え】**をクリックし、以下のいずれかを選択します：
 - **ファイル名**
 - **サイズ (KB)**
 - **画像タイプ**
 - **更新日時**
 - **画像プロパティ**
 - **キャプション**
 - **重要度**
 - **タグ**
 - **詳細**(データベース、EXIF、ファイル プロパティ、画像の属性、IPTC 情報またはマルチメディアの属性で並べ替え)
2. 並べ替えの順序を設定するには、**【表示】**メニューから**【並べ替え】**をクリックし、次のいずれかを選択します：
 - **昇順に並べ替え**
 - **降順に並べ替え**



並べ替え設定は、新規の設定が選択されるまで変更されません。例えば、重要度でファイルを並べ替えた場合、他の並べ替え設定を選択するまで、重要度別にファイルが並べ替えられたままになります。

列のヘッダーでファイルを並べ替える

列のヘッダーを使用して、「詳細」表示モードのファイルをすばやく並べ替えることができます。

列のヘッダーを使用してファイルを並べ替えるには：

1. 列のヘッダーをクリックします
2. 矢印が表示されたら、並べ替える方向を指定します
3. 並べ替える方向を変更するには、列のヘッダーをもう一度クリックします。

ファイルのカスタム並び替え

「カスタム並べ替え」を使用して、ファイル一覧ペインで表示されているファイルの順序を変更することができます。「カスタム並べ替え」で変更されたファイルの順序は、順序が再度変更されるか、または「カスタム並べ替え」が削除されるまで自動的に保持されます。

ファイルの並べ替え順序をカスタマイズするには:

1. 1 つ以上のファイルを選択します。
2. 選択したファイルを、ファイル一覧の新しい場所にドラッグします。
3. [カスタム並べ替え] を削除するには、[表示] メニューから [並べ替え] を選択し、[カスタム並べ替えの削除] を選択します。

ファイルを選択する

ファイル一覧ペインでは、すべてのファイルやフォルダを一度に選択したり、現行フォルダにあるすべてのファイルを選択したり、画像ファイルのみを選択することができます。また、選択範囲をすべてクリアにすることもできます。

ファイル一覧に新規ファイルが追加されるたびに、新規ファイルが自動選択されるようにオプションを設定することも可能です。

ファイルやフォルダを選択するには:

1. [編集] をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - すべて選択: 現行フォルダ内にあるすべてのファイルとサブフォルダを選択します。
 - すべてのファイルを選択: 現行フォルダ内にあるすべてのファイルを選択します。
 - すべての画像を選択: 現行フォルダ内にあるすべての画像ファイルを選択します。
 - タグの付いた画像を選択: フォルダの場所に関係なく、タグの付いたすべての画像を選択します。
 - 重要度で選択: 重要度の一覧を表示し、選択した重要度が現在適用されているすべてのファイルを選択します。
 - 選択のクリア: 選択範囲を解除します。
 - 選択範囲の反転: 元の選択範囲以外のすべてのファイルを選択します。

画像をプレビュー表示する

プレビュー ペインでは、画像、オーディオ、ビデオ ファイルのプレビューを表示することができます。このペインには、現在選択されている画像またはメディア ファイルのサムネイルが表示されます。プレビュー ペインのサイズを変更してサムネイルのサイズを調整したり、画面のお好きな位置にペインを移動することができます。プレビュー ペインの画像の下にヒストグラムを表示/非表示するなど、プレビュー オプションを設定することも可能です。

プレビュー ペインを開くまたは閉じるには:

[表示] メニューから [プレビュー] を選択します。

プレビュー ペインにヒストグラムを表示あるいは隠すには：

プレビュー ペインを右クリックし、**[プレビュー情報の表示]** をクリックします。

画像を比較する

「画像の比較」機能を使用して、複数の画像を比較することができます。選択した画像のプロパティ、メタデータ、ピクセルの明るさを比較して、類似する部分や異なる部分をハイライトします。好きな方の画像をハードディスク上の新しい場所に保存したり、ブラウザで後で作業するために画像にタグを付けたり、削除、移動、名前の変更、編集を行うことができます。

画像を比較するには：

1. ブラウザで、比較したい複数の画像を選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[画像の比較]** を選択します。**[画像比較ビューア]** には最大 4 画像まで表示することができます。
3. 表示する画像を変更するには、次の 1 つ以上を実行します：
 - 比較リストの画像を右クリックし、**[画像比較ビューアで表示]** を選択します。(選択された画像は赤いボックスで表示されます)
 - 比較リストから、**[画像比較ビューア]** のボックスに画像を直接ドラッグします。
 - **[画像比較ビューア]** の画像を右クリックし、**[次の画像]** あるいは **[前の画像]** を選択します。
 - **[画像比較ビューア]** の画像を右クリックし、**[ファイル]** メニューから **[画像の比較から削除]** を選択するか、画像ツールバーから **[削除]** アイコンをクリックします。
4. タグを追加するには、次のいずれかを実行します：
 - 比較リストで、画像の右手下にあるチェックボックスをクリックします。
 - **[画像比較ビューア]** で、画像を右クリックし、**[タグ]** を選択するか、画像ツールバーにある **[タグ]** アイコンをクリックします。
5. **[すべてをタグ]** をクリックして全画像にタグを追加するか、**[すべてのタグを解除]** をクリックして全画像からタグを解除します。
6. 画像に重要度を設定するには、画像を右クリックし、**[重要度の設定]** をクリックしてから、その画像に適切な重要度を選択します。
7. 画像にカテゴリを設定するには、画像を右クリックし、**[カテゴリの設定]** をクリックしてから、その画像に適切なカテゴリを選択するか、必要に応じてカテゴリを作成します。
8. **[OK]** をクリックします。

画像の比較 ツールバー

	前の画像	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次の画像	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	選択された画像を拡大します。
	縮小	選択された画像を縮小します。
	ズーム メニュー	ズーム オプションのメニューを開きます。次のオプションから選択します： ● 実寸表示：実際のサイズで画像を表示します。 ● 画面に合わせて表示：画像比較ビューアに収まる最大サイズで画像を表示します。 ● 幅に合わせて表示：画像比較ビューアの左右に合わせて画像を表示します。 ● 高さに合わせて表示：画像比較ビューアの下に合わせて画像を表示します。 ● ズーム固定：現在の画像に設定されているズーム オプションで、すべての画像を表示します。ズームが調整されると、表示されるすべての画像にそのズーム レベルが適用されます。 ● 倍率指定：[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを開き、ズーム オプションを選択します。
	パンの固定	画像をズーム／パンする際、すべての画像の特定領域を固定して、画像比較ビューアで表示します。
	露出アンダー警告	ピクセルの露出がアンダーであることを示します。矢印をクリックして [しきい値の露出警告] ダイアログ ボックスを開き、しきい値を調整します。
	露出オーバー警告	ピクセルの露出がオーバーであることを示します。矢印をクリックして [しきい値の露出警告] ダイアログ ボックスを開き、しきい値を調整します。
	プロパティ	画像比較ビューアに各画像のプロパティを表示します。[メタデータの設定] ボタンをクリックして、表示させるプロパティを指定します。 画像の比較ツールは、各画像の下に指定されたプロパティを表示します。異なるプロパティの値は太字で表示されます。近い値のプロパティは通常のフォントで表示されます。
	ヒストグラム	画像比較ビューアに画像のヒストグラムを表示します。
	メタデータの設定	[プロパティの比較設定] ダイアログ ボックスを開き、画像のメタデータを選択し画像比較ビューアに表示することができます。
	1 画像	画像比較ビューアに 1 つの画像を表示します。
	2 画像	画像比較ビューアに 2 つの画像を表示します。

**3 画像**

画像比較ビューアに 3 つの画像を表示します。

**4 画像**

画像比較ビューアに 4 つの画像を表示します。

**ヘルプ**

ヘルプ ファイルを開きます。

画像ツールバー

画像の比較ツールに表示される各画像の下には、ツールバーが設定されています。このツールバーを使用して、各画像を調整することができます。

**名前を付けて保存**

新規のファイル名、異なるファイル フォーマットで保存することができるダイアログが登場します。

**前の画像**

現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。

**次の画像**

現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。

**拡大**

画像を拡大します。

**縮小**

画像を縮小します。

**削除**

ハードドライブから画像を削除します。

**削除**

比較リストから画像を削除します。

**タグ**

画像にタグを付けるため、画像の比較ツールを閉じて、画像が選択された状態になります。

**カラーマネージメント**

[カラーマネージメント] ダイアログ ボックスが表示されます。

関連トピック→ [重複ファイルを検索する](#)

バスケットに画像をまとめて表示する

別の場所やフォルダ内にある画像やメディア ファイルをバスケットに追加し、まとめて表示することができます。バスケットに追加したら、ACDSee のあらゆるツールや機能を使用して編集、共有、表示することができます。

バスケットを使用するには:

1. バスケットを開くには、**[表示]** メニューから **[バスケット]** を選択します。
2. ファイラー一覧ペインから、バスケットに追加したいファイルを選択します。選択したファイルをドラッグしてバスケットに追加するか、または右クリックして **[バスケットに追加]** を選択します。
3. ファイルを削除するには、バスケット内で選択したファイル上を右クリックして **[バスケットから削除]** を選択します。
4. すべてのファイルを削除するには、バスケットを右クリックして **[バスケットを空にする]** を選択します。



Windows エクスプローラから画像をドラッグすることでも、バスケットに画像を追加することができます。

関連トピック

- [ファイラー一覧 ペインでファイルを参照する](#)
- [HTML アルバムを作成する](#)
- [スライドショー／スクリーン セーバーを共有する](#)

第 4 章：表示する

ズームする

画像をズームする

ビューアで画像を表示する際、既定値として、画像は実寸サイズで表示されます。ズーム ツールを使用して、表示されている画像のサイズを拡大または縮小することができます。

ビューア ウィンドウよりも画像を大きく拡大した場合、マウスポインタが手のひらの形になり、画像をパンまたはスクロールすることができます。

画像を拡大または縮小するには:

次のいずれかを実行します:

- **【ズーム】** メニューをクリックして、下記の表を参考にしてズーム オプションを選択します。
- **【表示】** メニューから **【ズーム ツール】** を選択します。画像を拡大するには画像をクリックし、画像を縮小するには画像を右クリックします。

ズーム メニューのオプション

拡大	画像を拡大します。
縮小	画像を縮小します。
実寸表示	オリジナルの画像サイズで画像を表示します。
画面に合わせて表示	ビューア ウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。
幅に合わせて表示	ビューア ウィンドウの幅に合わせて画像を表示します。
高さに合わせて表示	ビューア ウィンドウの高さに合わせて画像を表示します。
ズーム固定	現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズーム レベルを変更する場合、表示するすべての画像に変更されたズーム レベルが適用されます。
倍率指定	ズーム レベル を選択することができる [ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。
パンの固定	画像の パン領域 を固定します。



[画面に合わせて表示] を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

ズーム レベルを設定する

[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスでは、ビューア や編集モード内のズーム レベルを設定することができます。

特定のズーム レベルを設定するには：

1. [ズーム] メニューから[倍率指定] を選択します。
2. [ズーム レベル] 領域から、次のいずれかを選択します：
 - 画面に合わせて表示：ビューアに画像全体が収まるように、画像を拡大または縮小します。
 - 幅に合わせて表示：ビューアの幅に合わせて、画像を拡大または縮小します。
 - 高さに合わせて表示：ビューアの高さに合わせて、画像を拡大または縮小します。
 - 倍率指定：ズームの倍率を指定して、画像を拡大または縮小します。数値をフィールドに入力するか、またはドロップダウン リストからズーム レベルを選択します。
3. この設定をビューアのズーム レベルの既定値として使用するには、[このズーム レベルで固定する] チェックボックスをオンにします。ビューアでは、すべての画像が指定されたズーム レベルで表示されます。
4. [OK] をクリックします。



[画面に合わせて表示] を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

画像を自動拡大／自動縮小する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの「ディスプレイ」のページでは、ビューアに合わせて画像を自動的に拡大または縮小する設定ができます。ズーム オプションの組み合わせについての詳細は、下の「ズーム モードとサイズ変更の結果」の表をご参照ください。

画像を自動拡大／自動縮小するには：

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [ビューア] の下にある[表示] をクリックします。
3. 「ウィンドウ サイズ」セクションで、[ウィンドウ サイズを固定する] を選択します。
4. 「ズーム オプション」セクションで、[ズーム モードの既定値] ドロップダウン リストからオプションを選択します。
 - 実寸表示：オリジナルの画像サイズで画像を表示します。
 - 画面に合わせて表示：ビューア ウィンドウに収まる最大の画像サイズで画像を表示します。
 - 幅に合わせて表示：ビューア ウィンドウの幅に合わせて画像を表示します。
 - 高さに合わせて表示：ビューア ウィンドウの高さに合わせて画像を表示します。
5. [サイズ変更] ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択してください：
 - 縮小のみ：大きな画像を縮小し、ビューアのサイズに合わせます。

- **拡大のみ**: 小さな画像を拡大し、ビューアのサイズに合わせます。
- **拡大または縮小**: 大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大してビューアのサイズに合わせます。

6. [OK] をクリックします。

ズーム モードとサイズ変更の結果

	画面に合わせて表示	幅に合わせて表示	高さに合わせて表示
縮小のみ	大きな画像を縮小し、ビューア全体に合わせます。 ビューアより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、ビューアの幅に合わせて縮小されます。 ビューアより小さな画像は、元のサイズで表示されます。	大きな画像は、ビューアの高さに合わせて縮小されます。 ビューアより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大のみ	小さな画像を拡大し、ビューア全体に合わせます。 ビューアより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像はビューアの左右に合わせて拡大されます。 ビューアより大きな画像は、元のサイズで表示されます。	小さな画像はビューアの下上に合わせて拡大されます。 ビューアより大きな画像は、元のサイズで表示されます。
拡大または縮小	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大してビューア全体に合わせます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、ビューアの左右に合わせます。	大きな画像は縮小し、小さな画像は拡大して、ビューアの下上に合わせます。



[画面に合わせて表示] を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

関連トピック

→ [ビューア オプションを設定する](#)

拡大された画像のサムネイルを表示する

ACDSee のナビゲータ ペインでは、拡大された画像のサムネイルが表示されます。ビューア内で表示されている画像の領域は、マーキーで囲まれます。

ナビゲータ ペインを使用するには:

1. ビューアの [表示] メニューから [ナビゲータ ペイン] を選択します。
2. ナビゲータ ペインのスライダをドラッグして、ビューアで表示する画像の拡大率を設定します。
3. ナビゲータ ペインのマーキーをドラッグして、ビューアの画像をパンニングします。

拡大された画像のパンニング

ACDSee のビューアでは、大きな画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分をパンニングすることができます。画像がビューア ウィンドウより大きい場合、マウスポインタは手のひらの形になります。

画像をパンニングするには：

次のいずれかを実行します：

- 表示したい画像の部分を中心にドラッグします。
- 矢印キーを使って移動します。矢印キーを押している最中に、[Ctrl] キーを押すと、移動の速度が速くなります。一方、[Shift] キーを押すと、より遅くなります。

パンを固定する

[パンの固定] 設定を使用すると、複数の画像を表示する際、画像の同じ部分をビューアの中心に自動的に表示することができます。

パンを固定するには：

1. 大きな画像で表示したい部分をビューアの中心にドラッグします。
2. [ズーム](#) メニューを使用して、画像に適切なズームになるまで調整します。
3. [ズーム] メニューから [ズームの固定] を選択して、現在のズーム レベルを保持します。
4. [ズーム] メニューから [パンの固定] を選択します。

ビューアで次の画像を表示する際、画像の同じ部分が自動拡大／自動縮小されてビューアの中心に表示されます。

関連トピック

→ [ナビゲータ ペインを使用する](#)

画像の特定領域を拡大表示する

虫めがねペインでは、画像の特定領域を拡大表示することができます。

虫めがねペインを使用するには：

1. ビューアの [表示] メニューから [虫めがねペイン] を選択します。
2. 画像の一部にマウスポインタを合わせて、虫めがねペインで表示します。
3. 虫めがねペインの設定を変更するには、次のいずれかを実行します：

- 虫めがねペインのスライダをドラッグして、拡大率を設定します。
- **[固定]** チェックボックスをオンにして、元の画像サイズにスライダの設定を適用します。**[固定]** チェックボックスをオフにして、ビューアの画像の拡大部分にスライダの設定を適用します。
- **[スムーズ]** チェックボックスをオンにして、画像の拡大部分にアンチエイリアスを適用します。画像のピクセルを表示するには、**[スムーズ]** チェックボックスをオフにします。

関連トピック

→ [ナビゲータ ペインを使用する](#)

スライドショーの表示／設定

ブラウザまたはビューアから、スライドショーを開始することができます。またスライドショーを自動実行したり、画像の表示時間、背景色の選択、トランジション効果の適用、ヘッダー／フッターの追加などのオプションを設定することができます。

ブラウザからスライドショーを開始するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ファイラー一覧 ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダ ペインで、フォルダを選択するか [イージーセレクト バー](#) を使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
2. **[ツール]** メニューから**[自動スライドショー]**を選択します。
3. **[OK]** をクリックします。

ビューアからスライドショーを開始するには:

1. **[表示]** メニューから**[自動スライドショー]**を選択します。
2. **[スライドショーのオプション設定]** ダイアログ ボックスで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
3. 現在のオプション設定をスライドショーの既定値として保存するには、**[現在の設定を既定値として保存する]** チェックボックスをオンにします。
4. **[OK]** をクリックします。

スライドショーを設定するには:

1. 次のいずれかを実行します:
2. ファイラー一覧 ペインから、複数の画像を選択します。
3. フォルダ ペインで、フォルダを選択するかイージーセレクト バーを使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。

4. [ツール] メニューから[自動スライドショーの設定] を選択します。
5. [スライドショーのオプション設定] ダイアログ ボックスで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
6. 現在のオプション設定をスライドショーの既定値として保存するには、[現在の設定を既定値として保存する] チェックボックスをオンにします。
7. [OK] をクリックします。

スライドショー オプション

ファイルの選択	スライドショーの内容	スライドショーに使用する画像と画像の場所を指定します。
	この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する	スライドショーを次回実行する際、[スライドショーの内容] 内で現在指定されている設定を使って自動再生されます。
ベーシック	トランジション効果の選択	トランジション効果の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。複数のトランジション効果が選択されている場合には、ランダムに適用されます。
	背景色	背景色を指定します。カラーピッカーの矢印をクリックして、色を選択または変更します。
	画像の表示時間 (秒単位)	各画像の表示時間を指定します。
アドバンス	トランジションクオリティ	スライダを左にドラッグするとスライドショーのスピードが速くなり、右にドラッグするとトランジション効果の質が向上します。
	全般	次のいずれかのオプションをオンまたはオフにします： ● 埋め込みオーディオの再生：画像に埋め込まれているオーディオを再生します。 ● コントロールバーの自動非表示：マウス ポインタが数秒以上動いていない場合、スライドショーのコントロール バーを自動的に隠します。 ● 繰り返す：最後の画像が表示された後、スライドショーを繰り返します。 ● 画面に合わせて画像を表示：画面サイズに合せて小さい画像を拡大します。 ● 画面に合わせてビデオを表示：画面全体に合せてビデオ ファイルを拡大します。
	スライドの順序	以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します： ● 昇順 ● 降順 ● ランダム

テキスト	ヘッダー テキストの表示	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
	フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
現在の設定を既定値として保存する	すべてのタブの現在の設定を保持し、次回スライドショーを起動する際に適用します。	
スライドショーのテキスト オプション		
配置	キャプションの配置を指定します。	
背景色	キャプションの背景色を指定します。	
テキスト	キャプションとして表示するテキストを入力します。	
フォント	[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。	
メタデータの挿入	メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。	
	クリックして [プロパティの選択] ダイアログ ボックスを開き、挿入したいメタデータを選択します。	

関連トピック

→ [スライドショー／スクリーン セーバーを共有する](#)

スライドショーを自動再生する

メニューコマンド、またはツールバーの [自動スライドショー] ボタンをクリックして、スライドショーの自動再生やその他のオプション設定をすることができます。ブラウザで選択された項目により、スライドショーの内容や自動再生について決定されます。

スライドショーを自動再生するには:

1. ブラウザで、次のいずれかの操作を行います:
 - ファイラー一覧ペインから 2 つ以上の画像を選択します。
 - ファイラー一覧ペインから 2 つ以上のフォルダを選択します。
 - ファイラー一覧ペインからファイルとフォルダの組み合わせを選択します。
 - 2 つ以上の画像をバスケット に追加します。
2. [ツール] メニューから [自動スライドショーの設定] をクリックします。
3. [スライドショーのオプション設定] ダイアログ ボックスの [ファイルの選択] タブを選択します。
4. [スライドショーの内容] ドロップダウン リストから、スライドショーに使用するアイテムを選択します。選択可能なオプションは、上記の手順 1 で選択されたファイルやフォルダの種類によって異なります。
5. [この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する] チェックボックスをオンにします。

6. [OK] をクリックします。
7. スライドショーを終了するには、[Esc] キーを押します。

スライドショーを自動再生する

ファイルまたはフォルダを選択した後、[ツール] メニューから [自動スライドショー] をクリックします。



スライドショーを起動するためのショートカットは <Ctrl> + <S> キーです。

<Esc> を押してスライドショーの最後を表示し、ブラウザに戻ります。

例 1

選択したメディア ファイルとフォルダの組み合わせのように、ファイルとフォルダが組み合わせられた際に、スライドショーを自動再生するように設定することができます。

ファイル一覧ペインで、1 つ以上の画像と 1 つ以上のフォルダを選択し、[ツール] メニューの [自動スライドショーの設定] をクリックします。[ファイルの選択] タブの [スライドショーの内容] ドロップダウン リストから、[選択されたメディアと選択フォルダ内のメディア ファイル] を選択します。

[この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する] チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックしてスライドショーを起動します。ブラウザに戻るには、[Esc] キーを押します。

ファイル一覧ペインでメディア ファイルとフォルダの組み合わせを選択します。[ツール] メニューの [自動スライドショー] をクリックすると、スライドショーが自動再生され、選択されたメディア ファイルとフォルダにあるすべてのメディアのアイテムが表示されます。スライドショーでは、現行フォルダ内にあるその他の画像またはメディア ファイル、または選択されたフォルダのサブフォルダ内にあるファイルは表示されません。

例 2

選択されたファイルだけでなく、現行フォルダ内にあるすべてのファイルを使用してスライドショーを自動再生することも可能です。

ファイル一覧ペインで、1 つ以上の画像またはメディアフォルダを選択し、[ツール] メニューの [自動スライドショーの設定] をクリックします。[ファイルの選択] タブの [スライドショーの内容] ドロップダウン リストから [現行フォルダとサブフォルダ内の全メディア ファイル] を選択します。

[この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する] チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックしてスライドショーを起動します。ブラウザに戻るには、[Esc] キーを押します。

2 つ以上の画像またはメディアファイルを選択し、[ツール] メニューの [自動スライドショー] をクリックすると、スライドショーが自動再生され、ファイル一覧ペインで開かれているフォルダ（サブ フォルダを含む）に含まれるすべてのメディア ファイルが表示されます。

画像を自動的に表示する

ビューアの「画像の自動表示」機能を使用して、複数の画像またはフォルダ内のすべての画像をプレビューするための簡単なスライドショーを作成することができます。

画像を自動表示するには:

- 1. ビューアで、複数の画像を開きます。
- 2. **[表示]** メニューから **[画像の自動表示]** を選択し **[オプション]** をクリックします。
- 3. 下で解説されているように、**[画像の自動表示]** ダイアログボックスのオプションを設定します。
- 4. **[開始]** ボタンをクリックします。
- 5. 次の画像を表示するには、**[Space]** キーを押します。
- 6. 前の画像に戻るには、**[Backspace]** キーを押します。
- 7. 自動表示を一時停止または再開するには、**[Pause]** キーを押します。

画像の自動表示 オプション

順序	画像の表示順序を指定します。次のいずれかのオプションを選択します: ● 昇順 ● 降順 ● ランダム
繰り返し	スライドショーの最後の画像が表示された後に、スライドショーを自動的に繰り返し表示します。
表示間隔	各画像間の表示時間を指定します。スライダをドラッグまたは 0 から 864000000 ミリ秒の値を入力して、画像の表示時間を指定します。
サウンド	[オーディオ クリップの再生] のチェックボックスをオンにすると、選択した画像に埋め込まれているオーディオが再生されます。

ビューアに画像のテキストを表示する

ヘッダー／フッター ツールを使用して、ビューアの画像にテキストを追加することができます。テキストは画像を表示している間だけ表示され、オリジナルの画像を変更するわけではありません。また、設定を変更することなく、テキストの表示を切り替えることができます。

テキストを画像に直接追加し、画像の一部として保存する方法につきましては、[画像にテキストを追加する](#) をご覧ください。

ヘッダーとフッターを表示するには：

1. ビューアの **[表示]** メニューから **[ヘッダー/フッターの編集]** を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します：
 - **[ヘッダー]** チェックボックスをオンにすると、画像の上にテキストが追加されます。
 - **[フッター]** チェックボックスをオンにすると、画像の下にテキストが追加されます。
 - 下の解説を参照して、テキスト オプションを選択または変更します。
3. **[OK]** をクリックします。

テキスト オプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景	テキストに背景色を追加します。 [カラー] をクリックして色を指定します。
テキスト	画像に表示するテキストを入力します。表示させたいテキストを入力するか、フィールド内をクリックしてメタデータを挿入するように設定します。
メタデータの挿入	各画像特有の情報を挿入します。
フォント	テキストのフォント、サイズ、色を設定します。

画像テキストにメタデータを挿入するには：

1. **[テキスト]** フィールドで、ファイルの情報を表示したい場所へカーソルを合わせ、**[メタデータの挿入]** をクリックします。
2. **[プロパティの選択]** ダイアログ ボックスで、画像に表示するファイル情報を選択します。
3. **[OK]** をクリックします。情報はプレースホルダとして挿入されるため、各画像に固有のテキストが表示されます。
4. メタデータを追加するには、1 から 3 の手順を繰り返します。

画像テキストを隠す

ヘッダーまたはフッターを非表示にしたり、テキスト フィールドの情報を変更／削除しないで無効にすることができます。

画像テキストを隠すには:

1. ビューアの **[表示]** メニューから **[ヘッダー/フッターの編集]** を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します:
 - **[ヘッダー]** チェックボックスをオフにすると、画像の上のテキストが削除されます。
 - **[フッター]** チェックボックスをオフにすると、画像の下にテキストが削除されます。
3. **[OK]** をクリックします。
4. ヘッダーとフッターの両方を表示または隠すには、**[表示]** メニューから **[ヘッダー/フッターの表示]** をクリックして切り替えます。

RAW 画像を表示する

RAW 画像ファイルは、カメラのネガティブに似ています。そのため、画像として表示させるには、ネガを現像する、つまり RAW 画像ファイルを処理する必要があります。ブラウザ内で RAW 画像ファイルのサムネイルをダブルクリックすると、ACDSee はその RAW ファイルが以前処理されたことがあるかを確認します。処理されたことがあれば、ACDSee はビューアに処理済の画像を表示します。処理されたことがなければ、ACDSee は RAW 画像ファイルを素早く処理し、ビューアに RAW ファイルの仮画像を表示します。

関連トピック

- [RAW 画像プレビュー オプションを設定する](#)
- [RAW 画像を処理する](#)
- [RAW ファイルを参照する](#)

ビューアとフォルダを同期する

[フォルダと同期] オプションを使用して、ビューアに表示される画像を変更することができます。ニュースリーダーが使用するフォルダを同期すると、フォルダにダウンロードされた画像がビューアで自動表示されます。

フォルダを同期するには:

1. ビューアの **[ツール]** メニューから **[フォルダの同期]** を選択します。
2. 同期したいフォルダのパスを入力するか、**[参照]** ボタンをクリックしてフォルダを探します。
3. 下記で解説されているように、**[新規画像]** オプションをオンまたはオフにします。
4. **[OK]** をクリックします。

フォルダ内のすべての画像は、スライドショーとしてビューアで表示されます。フォルダから画像を追加または削除すると、スライドショーは自動的に更新されます。

新規画像 オプション

新規画像をすぐに表示する	フォルダに追加された新規画像をすぐに表示します。このオプションのチェックボックスがオフの場合、新規画像はスライドショーの最後に追加されます。
現行ファイル無視する	転送中のアプリケーションがファイルの移動またはダウンロードを終了するまで、新規ファイルはスライドショーに追加されません。
ファイル名で並べ替える	スライドショーに表示される画像をファイル名で並べ替えます。

フォルダの同期を中止するには：

ビューアの [ツール] メニューにある [フォルダの同期] に付いているチェックマークをオフにします。

オフライン画像を表示する

ACDSee は、CD またはフォトディスクのような他のリムーバブル メディアに保存された画像のサムネイルやデータベース情報をデータベースに保存します。そのため、CD-ROM ドライブにディスクが入っていない場合でもそれらの画像のサムネイルを参照したり、画像情報を表示することができます。

フォトディスクを追加するには：

1. 画像を含むディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
2. 次のいずれかを実行します：
 - デバイス検出 が起動中の場合は、表示される手順に従って ACDSee フォトディスク を作成します。
 - デバイス検出が起動していない場合は、[ファイル] メニューから[新規作成] を選択し、[フォトディスク] をクリックします。
3. [新規ディスク] ダイアログ ボックスで、「タイトル」フィールドにディスク名を入力し、[OK] をクリックします。
4. フォルダペイン内の [オフライン メディア] から、作成したフォトディスクをブラウズすることができます。



フォトディスクとして ACDSee に追加されたディスクから画像を追加または削除する場合、データベースに保存されている情報を更新することができます。CD-ROM ドライブにディスクを挿入し、フォルダ ペインでディスク名を右クリックして [フォトディスクの更新] を選択します。

既定では、ACDSee はフォトディスクをシリアル番号で区別します。特に ACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポートあるいは変換する場合、この既定設定はフォトディスクを作業する最も確実な設定と言えます。

しかしながら、マルチセッションのディスクを作業中、あるいは近い将来そういったディスクと作業する予定がある場合などでは、ディスクの内容が変更されるたびにシリアル番号が再生成、あるいは変更されてしまう、という可能性があります。そのため、ボリュームラベルがマルチセッションのフォトディスクを識別するために使用されます。

フォトディスクを再結合する

フォトディスクを識別するために設定されたオプションによっては、ACDSee で識別できないフォトディスクが見つかることがあります。これは、フォトディスクの識別にシリアル番号が使用されていないが、マルチセッションのディスクを挿入した場合に発生します。マルチセッション ディスクを更新した際にシリアル番号も変更されたために、ACDSee で認識することができません。

このような場合は、再結合オプションを使用して ID 情報を更新し、ディスクと適切なデータベース情報とを関連付けます。

フォトディスクをデータベース情報と再結合するには:

1. [フォトディスクの再結合] ダイアログボックスから、現在のディスク情報に目を通して、ドライブに適切なディスクが挿入されているか確認します。
2. [フォトディスクの名前] 一覧から、現在のディスクと再結合したいフォトディスクの記録を選択します。
3. [再結合] をクリックします。

ACDSee Quick View を使用する

ACDSee Quick View は、ACDSee を開かずに画像を素早く表示するためのクイック ビューアです。例えば、電子メールの添付ファイルとして、誰かから画像を受け取ったような場合、その画像をダブルクリックするだけで、Quick View に表示されます。Quick View は、ACDSee ビューアの縮小版といったところです。

Quick View では、画像間のスクロール、画像を一時的に回転、拡大または縮小表示が可能です。Quick View でお気に入りの画像を見つけたら、デスクトップの壁紙として設定することも可能です。

Quick View から ACDSee へ簡単に切り替えることができます。ブラウザまたはビューアで画像を表示するオプションもご用意しています。

ACDSee ビューアのキーボードとショートカットに慣れているユーザーは、それらのほとんどを Quick View でも使用することができます。

Quick View で画像を開くには:

1. ACDSee を閉じたままの状態、画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラで参照中の画像、または電子メールに添付されている画像をダブルクリックします。
2. 以下に説明されている表示オプションを使用して、画像を表示します。

ACDSee Quick View の表示オプション

	開く	コンピュータの特定フォルダからファイルを開きます。
	前の画像	前の画像を表示します。

	次の画像	次の画像を表示します。
	左回転	画像を左に回転します。
	右回転	画像を右に回転します。
	拡大	画像を拡大表示します。
	縮小	画像を縮小表示します。
	削除	該当の画像をコンピュータのごみ箱に移動します。
 Photo Manager	Photo Manager	ACDSee のブラウザを開きます。
 フル ビューア	フル ビューア	ACDSee のビューアを開きます。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには：

1. デスクトップの壁紙として表示させたい画像が Quick View 内で表示されるまで、**【前の画像】** あるいは **【次の画像】** をクリックします。
2. **【ツール】** メニューから **【壁紙の設定】** をクリックし、以下のいずれかを選択します：
 - **中央に表示**：画像を画面の中央に配置します。
 - **並べて表示**：画面が覆われるように、1 つ以上の画像を並べて配置します。画像が小さい場合には、複数のタイルとして、画像が大きい場合には、1 つまたは 2 つのタイルとして表示されます。
 - **拡大表示**：画面全体を最大限に覆うように、縦横比を保ったまま画像を拡大表示します。

既定の壁紙に復元するには：

【ツール】 メニューから **【壁紙を設定】** 次に **【復元】** を選択します。

別のアプリケーションで画像を表示する

ACDSee 内から別のプログラムでファイルを開くことができます。例えば、ドキュメントを作成したアプリケーションでそのドキュメントを開くことができます。

シェル コマンドを使用するには:

- 1. [ファイル] メニューから [シェル コマンド] を選択します。
- 2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **開く:** ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開きます。
 - **編集:** 既定のシステム アプリケーションでファイルを開いたり、アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開きます。

スクリーン セーバーを作成する

お気に入りの画像を使用してスクリーン セーバーを作成することができます。スクリーン セーバー オプションでは、各画像の表示時間、背景色の設定、トランジション効果の適用、ヘッダー／フッターの追加+を設定することができます。

スクリーン セーバーを作成するには:

- 1. ファイラー一覧ペインから複数の画像を選択して、[ツール] メニューから [スクリーン セーバーの設定] を選択します。
- 2. [ACDSee スクリーン セーバー] ダイアログ ボックスの [追加] をクリックして、スクリーン セーバーに使用する画像を選択します。スクリーン セーバーから画像を削除するには、画像を選択して [削除] をクリックします。
- 3. [設定] をクリックします。
- 4. [ACDSee スクリーン セーバー] ダイアログ ボックスのオプションを指定して [OK] をクリックします。
- 5. スクリーン セーバーをデスクトップで自動的に起動させるには、[既定のスクリーン セーバーとして保存する] チェックボックスをオンにします。
- 6. 選択した項目を確認したら、[OK] をクリックします。

スクリーン セーバーを使用しているコンピュータでアクティブにするには:

Windows のコントロール パネルから [画面] をクリックし、[スクリーン セーバー] タブを選択した後、スクリーン セーバーのドロップダウンリストから [ACDSee スクリーン セーバー] を選択します。

スクリーン セーバー オプション

ベーシック タブ	トランジション 効果の選択	トランジション効果の横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。複数のトランジション効果が選択されている場合には、ランダムに適用されます。
	背景色	背景色を指定します。カラーピッカーの矢印をクリックして、色を選択または変更し

ます。

アドバンス
タブ

画像の表示時間 (秒単位)	各画像の表示時間を指定します。
トランジションクオリティ	スライダを左にドラッグするとスクリーン セーバーのスピードが速くなり、右にドラッグするとトランジション効果の質が向上します。
全般	次のいずれかのオプションをオンまたはオフにします： ● 埋め込みオーディオの再生：画像に埋め込まれているオーディオを再生します。 ● 繰り返し：最後の画像が表示された後も、スクリーン セーバーを繰り返し表示します。 ● 画面に合わせて画像を表示：画面サイズに合わせて小さい画像を拡大します。
スライドの順序	以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します： ● 昇順 ● 降順 ● ランダム
ヘッダー テキストの表示	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。

テキスト
タブ

関連トピック

- [画像をデスクトップの壁紙に設定する](#)
- [スライドショー／スクリーン セーバーを共有する](#)

画像をデスクトップの壁紙に設定する

お気に入りの画像を Windows デスクトップの壁紙に設定することができます。壁紙の画像を画面に合せて自動的に拡大させたり、以前使用した壁紙を復元することができます。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ブラウザで、画像を選択し、[ツール] メニューから **【壁紙の設定】** をクリックします。
 - ビューアの [ツール] メニューから **【壁紙の設定】** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **中央に表示**: 画像を画面の中央に配置します。画像が画面より大きい場合、画面の大きさに合わせて縮小します。
 - **並べて表示**: デスクトップ全体に画像を並べて表示します。

選択した画像は、「ACD Wallpaper.bmp」として Windows フォルダに保存されます。ACDSee は、コントロール パネルの壁紙の設定を自動的に変更して画像を表示します。

壁紙を画面に合わせて自動的に拡大するには:

1. [ツール] メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **【全般】** をクリックします。
3. [全般] ページで、**【壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する】** チェックボックスを選択します。
4. **【OK】** をクリックします。

以前表示した壁紙を表示するには:

[ツール] メニューから **【壁紙の設定】** を選択し **【復元】** をクリックします。

関連トピック

- [画像の一部を選択する](#)
- [スクリーン セーバーを作成する](#)

デスクトップ スライドショーの作成

ACDSee Showroom を使用して、お気に入り画像のスライドショーを作成し、デスクトップに小さなウィンドウとして表示することができます。一度に最大 16 のスライドショーを起動することができます。

ACDSee Showroom のウィンドウは、他のアプリケーションの上に常に表示するように設定することができます。また、コンピュータを起動時に ACDSee Showroom 0 のウィンドウを自動実行するように設定することも可能です。ACDSee Showroom を使用するために ACDSee を開く必要はありません。

ACDSee Showroom でデスクトップ スライドショーを作成するには：

1. ACDSee 内で、デスクトップ スライドショーに追加したい画像を含んでいるフォルダを参照します。
2. 次のいずれかを実行します：
 - **【作成】** メニューから **【ACDSee Showroom の作成】** を選択します。
 - **【スタート】** ボタンから **【プログラム】**、次に **【ACD Systems】** から **【ACDSee Showroom】** をクリックします。即時にスライドショーが開始されます。

ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方：

ACDSee Showroom ウィンドウには次のようなコントロールが含まれています。

- スライドショーの前の画像、あるいは次の画像を表示するには、**【戻る】** または **【次へ】** オタンをクリックします。
- 特定の画像が表示されている際、**【一時停止】** ボタンをクリックしてその画像を一時的に停止することができます。

 ACDSee Showroom ウィンドウにコントロールが見つからない場合には、ウィンドウ内の任意の場所をクリックします。スライドショー再生時は、フルで画像をお楽しみいただけるように、コントロールが非表示になります。

複数の ACDSee Showroom を作成するには：

ACDSee Showroom が開かれている状態で、次のいずれかの操作を行います：

- ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、**【Showroom の新規作成】** を選択します。
- タスクバーの **【ACDSee Showroom】** アイコンをクリックし、**【Showroom の新規作成】** を選択します。

ACDSee Showroom を閉じるには：

次のいずれかを実行します：

- ACDSee Showroom ウィンドウの **【閉じる】** をクリックします。
- タスクバーの **【ACDSee Showroom】** アイコンをクリックし、**【ACDSee Showroom の終了】** を選択します。

 コンピュータ起動時に ACDSee Showroom を自動実行するよう設定している場合には、次回コンピュータを起動すると ACDSee Showroom が自動的に実行されます。

関連トピック

→ [ACDSee Showroom オプションを設定する](#)

ブラシ ファイルを表示する/使用する

フォントや他のファイルのように、ブラウザでブラシ ファイルを表示することができます。これは、ACDSee で他のファイルのように重要度を適用したり、管理したりできることを意味します。.abr は、1 つのファイル内に複数の画像を含んでいるファイルであるため、個々の画像を表示するにはビューア内でそれらを開く必要があります。

 ACDSee では、.abr ブラシ ファイルはこのアイコンで表示されます。

ブラシ ファイルを表示するには:

1. ブラウザで、ブラシ ファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。
2. .abr ファイルの最前面にある画像を表示するには、そのサムネイルの上にマウスを移動してポップアップ表示するか、サムネイルをクリックしてプレビュー ペインに表示します。
3. .abr ファイルのその他の画像を表示するには、ダブルクリックしてファイルをビューアで開きます。

左手のペインに各画像を表示した形で、ビューア内にファイルが開かれます。

4. サイドバー上部の下矢印をクリックすると、ブラシ ファイルに含まれている合計画像数が表示されます。特定番号の画像を表示するには、この下矢印をクリックし希望する番号を選択します。
5. 画像間をスクロールするには、サイドバー上部または各画像にある右または左矢印をクリックします。

Adobe Photoshop でブラシ ファイルを使用するには:

With both Adobe Photoshop と ACDSee の両方を開いた上で、ブラウザのファイル一覧から Photoshop のウィンドウにファイルをドラッグします。

何も起こっていないかのように見えますが、ドラッグされたファイルは、Photoshop のブラシ ライブラリにロードされます。新規ブラシ ファイルを表示するには、ライブラリを開いてから、ペイン下部までスクロールします。



Photo Shop を既定のエディタとして設定 すると、Photo Shop でブラシ ファイルを扱いやすくなります。既定のエディタとして設定すると、[Ctrl] +[E] キーを使用して Photoshop を開き、ブラシファイルをすぐに使用することができます。

第 5 章：編集する

編集モード

ACDSee の画像エディタに搭載されている多数の画像編集ツールを使用して、デジタル画像の赤目補正、不要なカラーキャストの削除、特殊効果の適用など色々な編集をすることができます。

また、ACDSee の画像エディタでは、画像の明るさや色のレベル調整、大き過ぎる画像のトリミング、画像の回転／反転、シャープネスの調整などをする事も可能です。編集した画像は、プレビューで確認したり、サポートされている 10 以上のファイルフォーマットで保存することができます。

ACDSee の編集モードで画像を編集したり、ACD Photo Editor のような画像編集アプリケーションを ACDSee の既定の画像エディタとして [設定する](#) ことができます。

編集モードで画像を開くには：

次のいずれかを実行します：

- ブラウザ内で画像を選択し、[ツール] メニューから [エディタで開く] そして [編集モード] をクリックします。
- ビューアで、[修正] メニューから [編集モード] をクリックします。
- ビューアで[修正] メニューから [編集モード] をクリックし、画像編集に使用するツールの名前を選択します。選択されたツールの編集モードが表示されます。

別の画像エディタを使用して、画像を編集するには：

次のいずれかを実行します：

- ブラウザでは、[ツール] メニューから [エディタで開く] を選択して、使用する画像エディタを選択します。
- ビューアでは、[修正] メニューの [エディタで開く] を選択して、使用する画像エディタを選択します。

編集モードで作業する

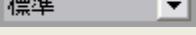
編集モードでは、画面の左に表示される編集パネルからすべての編集ツールや特殊効果にアクセスすることができます。編集ツールを使用して画像を編集するには、編集パネルのツールをクリックします。編集パネルには、アプリケーションの使用方法について説明するヘルプ ファイルが多数含まれています。[ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのツールに関するヘルプ ファイルのページが表示されます。

画面の上、編集モードのツールのすぐ下には、[オリジナル] [現行] および[プレビュー] のタブが表示されます。これらのタブをクリックして、オリジナル画像と編集後の画像を比較してから、ハードディスクに保存することができます。

編集モードのツールバーからは、よく使用するコマンド、スクロール、ズーム コントロールにアクセスすることができます。

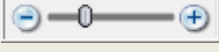
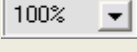
編集モード ツールバー

	編集の完了	変更の保存を確認するメッセージが表示された後、編集モードを閉じ、ビューアに戻ります。
	名前を付けて保存	[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスを開き、新規画像として保存します。

	前の画像	前の画像を表示します。
	次の画像	次の画像を表示します。
	拡大	現在の画像を拡大します。
	縮小	現在の画像を縮小します。
	ズーム メニュー	ズーム オプションのメニューを開きます。
	印刷	[印刷] ダイアログ ボックスを開きます。
	ヘルプ	ヘルプ ファイルを開きます。
	ブレンドモード	オリジナル画像と編集済み画像の ブレンドモード を変更します。各ブレンドモードは、画像の上下にあるピクセルを混ぜ合わせ、特有の効果を作成します。
	不透明度	編集済み画像の透明度を変更するため、編集または効果を引き立たせる、あるいは目立たなくなります。

ズーム コントロール

画像を編集する際には、編集モードの右上にある [ズーム コントロール] を調整して画像を拡大／縮小表示することができます。

	ヒストグラム	現在の画像のヒストグラム プレビューを表示します。ヒストグラム プレビューは、画像に見られるレッド、グリーン、ブルーのカラーチャンネルの輝度を表しています。1 つのカラーチャンネルのみ、またはコンビネーションでプレビューを表示することができます。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。
	実寸表示	現行の画像を原寸で表示します。
	画面に合わせて表示	編集モードの領域に合わせて画像を縮小します。
	ナビゲータ	現行画像のサムネイル プレビューを表示します。サムネイルをクリック／ドラッグして画像の領域を選択します。この機能は、画像が拡大されている場合に便利です。
	ズーム スライダー	右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
	ズーム ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストから、希望のズームを選択します。



スライダ上にマウスを置いて、マウスホイールをワン クリック前後に移動することで、編集モードのあらゆるスライダを微調整することができます。

編集モードを閉じる

編集モードを閉じて、ビューアまたはブラウザにいつでも戻ることができます。

編集モードを閉じるには:

次のいずれかを実行します:

- ツールバーの **[編集の終了]** ボタンをクリックします。
- **[Esc]** キーを押します。



ツールを使用中の場合には、**[編集の終了]** ボタンがグレイアウトしている可能性があります。まずツールの使用を終了してから、**[編集の終了]** ボタンをクリックしてブラウザかビューアに戻ってください。

元に戻す/やり直し機能を使用する

画像の編集では、画像の変更を元に戻したり、やり直すことができます。

変更を元に戻すには:

次のいずれかを実行します:

- ビューアでは、**[編集]** メニューの **[元に戻す]** をクリックします。
- 編集モードでは、編集パネルの **[元に戻す]** ボタンをクリックします。

元に戻した変更をやり直すには:

次のいずれかを実行します:

- ビューアでは、**[編集]** メニューの **[やり直し]** をクリックします。
- 編集モードでは、編集パネルの **[やり直し]** ボタンをクリックします。

画像に加えられた変更をプレビューで確認する

[編集モード] の編集ツールの中にはプレビューバーが用意されていますので、ツールの効果を目で確認することができます。「プレビューバー」には、オリジナル画像と変更後の画像が表示されます。ペイン内をドラッグして画像をパンニングしたり、プレビューバーの角またはエッジをドラッグして、サイズを変更することができます。



プレビューバー ボタン

プレビューバーを開くには：

1. 編集パネルで、編集ツールを開きます：
2. 編集ツールのタブの **【プレビューバー】** ボタンをクリックします。

プレビューバーの上部ペインには、オリジナル画像が表示され、下部ペインには、編集された画像が表示されます。ペインの中間には、ツールバーが表示されます。

画像のサイズを変更する

【サイズ変更】 ツールを使用して、ピクセル、比率、出力/印刷サイズに合わせて画像のサイズを変更することができます。画像のサイズを変更する際に、縦横比およびリサンプリング フィルタを指定して、サイズ変更後の画像の外観を調整することも可能です。また、現在のオプション設定を **プリセット** として保存することも可能です。

画像のサイズを変更するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **【サイズ変更】** をクリックします。
2. 次のいずれかのサイズ変更オプションを選択します：
 - **ピクセル**：特定のピクセル サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。
 - **パーセント**：元のサイズの比率に合わせて、画像のサイズを変更します。
 - **実寸/印刷サイズ**：特定の出力サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。ドロップダウン リストをクリックして、使用する単位を指定します。
3. 特定の幅や高さを保持したい場合、**【縦横比を保持する】** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択します：
 - **オリジナル**：元の画像の幅と高さの比率を保持します。
 - **1 x 1**：幅と高さの比率を同じにします。
 - **2 x 3**：幅と高さの比率を 2:3 にします。
 - **3 x 2**：幅と高さの比率を 3:2 にします。
 - **3 x 5**：幅と高さの比率を 3:5 にします。
 - **5 x 3**：幅と高さの比率を 5:3 にします。
 - **カスタム**：カスタム比率を適用します。**【縦横比のカスタマイズ】** ダイアログ ボックスで、幅と高さの比率を入力します。
4. **【フィルタのサイズ変更】** ドロップダウン リストから、リサンプリング フィルタを選択します。
5. 手順 2 で選択したサイズ変更オプションの **【幅】** と **【高さ】** スピンボックスに、画像の新規サイズを入力します。**【実寸/印刷サイズ】** を選択した場合、**【解像度】** ドロップダウン リストから出力画像の解像度(ドット/インチ)を選択します。
6. 出力画像の予想サイズを確認するには、**【新規ファイルの予想サイズ】** ボタンをクリックします。
7. 次のいずれかを実行します：

- 変更を適用して [サイズ変更] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

「サイズ変更」のワンポイント:

- 画質を保持するには 33%、50% または 66% で縮小します。他の倍率を選択すると、縦横比が変更される可能性があります。
- サイズ変更を繰り返し行わないようにします。サイズ変更を行うたびに、微妙に異なる方向の画像ピクセルが配置されます。サイズ変更を繰り返し行うことによって、画像の全体の色と外観が変更されてしまう可能性があります。最初のサイズ変更が満足 of いく結果でなかった場合には、**[元に戻す]** ボタンをクリックします。
- 画像サイズの拡大を行わないようにします。画像サイズを大きくすると、画像内のピクセルが目立ち、粒状のノイズが追加されてしまうことがあります。

関連トピック

- [複数の画像サイズを変更する](#)
- [ピクセルのサイズ変更オプションと適用後](#)
- [一括処理を使用する](#)

画像を回転する

[編集] モードでは、プリセット、あるいはカスタム角度で画像を回転することができます。また、現在のオプションを [プリセット](#) として保存することも可能です。

カスタム角度で画像を回転するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ビューアで該当の画像を開き、**[回転]** をクリックします。画像は編集モードで表示されます。
 - 編集モードで、編集パネルの **[回転]** をクリックします。
2. **[反転]** タブで、次の 1 つ以上の操作を実行します:
 - 既定の方向オプションを選択します。
 - **[まっすぐに調整する]** スライダを左右にドラッグして、画像がまっすぐに見えるように調整します。
 - **[上下]** または **[左右]** ボタンをクリックし、マウスポインタを使って縦横の基本線を画像上に描きます。
 - 画像がまっすぐに調整された後、トリミングしたい場合は、**[まっすぐに調整された画像のトリミング]** を選択します。
 - 画像がまっすぐに調整された後、トリミングをしたくない場合は、**[まっすぐに調整された画像を保持する]** を選択します。まっすぐに調整された画像の背景に表示する色を、**[塗りつぶしの色]** ドロップダウンから選択します。

- [グリッドのオーバーレイを表示する]を選択すると、画像上にグリッドが表示されます。画像をまっすぐに調整するものさしとして使用したり、どのようにトリミングされたかを把握したりするために便利です。

3. 次のいずれかを実行します：

- 変更を適用するには[適用]をクリックし、「回転/反転」ツールの別のタブのオプションを設定します。
- 変更を適用してツールを閉じるには、[完了]をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

関連トピック

- [複数の画像を回転／反転する](#)
- [一括処理を使用する](#)

画像を反転する

[編集] モードでは、画像を上下左右に反転することができます。

画像を反転するには：

1. 編集モードで、編集パネルの [回転] をクリックします。
2. [反転] タブで、次のいずれか、または両方の操作を実行します：
 - [上下に反転] ボタンをクリックします。
 - [左右に反転] ボタンをクリックします。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用するには[適用]をクリックし、「回転/反転」ツールの別のタブのオプションを設定します。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了]をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル]をクリックします。

関連トピック

- [複数の画像を回転／反転する](#)
- [一括処理を使用する](#)

画像をトリミングする

編集モードの [トリミング] ツールを使用して、画像の不要な部分を削除したり、特定のサイズに縮小したりすることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像をトリミングするには:

1. 編集モードで、編集パネルの **[トリミング]** をクリックします。
2. トリミング ウィンドウの [サイズを変更](#) して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。
3. トリミング ウィンドウの外部を暗くするには、**[トリミング範囲外を暗くする]** スライダーを左にドラッグします。スライダーを右にドラッグすると、トリミング ウィンドウの外部が明るくなります。
4. 次のいずれかを実行します:
 - 画像をトリミングして [トリミング] ツールを閉じるには、トリミング ウィンドウをダブルクリックします。
 - 変更を適用して [トリミング] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずに [トリミング] ツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズを変更する方法は 3 通りあります:

- トリミング ウィンドウのエッジをドラッグして希望するサイズに変更する方法。
- ピクセル、インチ、センチ、あるいはミリ単位で、トリミング ウィンドウのサイズを指定する方法。
- 縦横比を使って、トリミング ウィンドウの比率を保ちながらサイズ変更する方法。

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミング ウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせると、ポインタが双方向矢印に変わります。
2. トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング ウィンドウのサイズを指定するには:

1. **[単位]** ドロップダウン リストから、使用する単位を選択します。
2. **[ドット／インチ]** スピンボックスで、解像度を指定します。
3. **[幅]** と **[高さ]** スピンボックスに希望するトリミング ウィンドウのサイズを入力します。

縦横比を指定してトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. **[トリミング縦横比の設定]** チェックボックスをオンにします。

2. ドロップダウン リストから比率を選択し、トリミング ウィンドウを横にする場合は **【横】** チェックボックスをオンにします。
3. 次のいずれかを実行します：
 - トリミング ウィンドウの端または角にマウスポインタを合わせ、ポインタが双方向矢印に変わったら、トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。
 - **【幅】** または **【高さ】** スピンボックスを使用して、トリミング ウィンドウの縦または横のサイズを指定します。設定された比率に基づいて、自動的に縦または横のサイズが変更されます。

関連トピック

→ [一括処理を使用する](#)

選択範囲を使用する



[選択範囲] ツールは、[編集モード] ツールバーの一番上で見つけることができます。[選択範囲] ツールは、その他の編集ツール合わせて作業することを目的にデザインされています。

[選択範囲] ツールを使用すれば、画像全体ではなく、画像のある特定領域だけを選択して編集やフィルタを適用することができます。3 つの選択ツールから選択することができます。また、各ツールは固有の方法で領域を選択します。選択したツールによって、利用できるオプションやコントロールが変更します。

選択範囲 パネルを開くには：

1. 次のいずれかを実行します：
 - ブラウザで、[ツール] メニューから **【エディタで開く】** そして **【編集モード】** をクリックします。
 - ビューアでのツールバーから、**【画像の編集】** そして **【編集モード】** をクリックします。
2. **【編集パネル】**：メインメニュー から **【選択範囲】** をクリックします。

選択範囲 ツール

- **自由選択** – 左マウスをクリックしながら、カーソルをドラッグして選択範囲を描くようにして選択します。描いた領域を示す線が表示されます。マウスをリリースすると、線の開始点と終了点が自動的に結ばれ、選択範囲の領域を完了します。選択された領域は、蟻が行進しているようなラインで表示されます。
- **自動選択** – 画像上の任意の場所をクリックすると、その色に似たピクセルすべてが選択範囲として表示されます。クリックした色と同じカラーピクセルのものだけを選択する、あるいは似たカラーピクセルすべてを含むかのいずれかを指定することができます。しきい値を増やして、選択範囲に含むピクセル数を増やすことができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに似たピクセルの数を制限することになります。しきい値が大きいほど、クリックされたピクセルに似たピクセルの数を増やすことになります。
- **マーキー** – クリック&ドラッグで選択範囲の開始点を長方形または楕円で指定し、マウスをリリースして終了点を指定します。

ツールを組み合わせて使用する

選択範囲ツールは、複数のツールと組み合わせて使用することも可能です。例えば、[自動選択] を使用して特定の色を含んだ大まかな領域を選択した後、[自由選択] に切り替えて、選択範囲を細かく調整します。あるいは、[マーキー] を使用して大まかな領域を選択した後、[自由選択] で微調整を行います。

[自由選択] を使用するには:

1. [自由選択] をクリックして自由選択ツールを選択します。
2. 画像上で、左マウスボタンをホールドしながら、選択したい領域の周りを描きます。
3. マウスボタンをリリースすると、選択範囲が完了します。



4. 選択範囲をクリアするには、画像上の任意の場所をクリックし（自由選択とマーキーの場合）あるいは [クリア] をクリックします。
5. 既に選択されている範囲に追加するには、[SHIFT] キーをホールドした状態で、オリジナルの選択ラインを含みながら希望する形を描きます。

マウスをリリースすると、オリジナルの選択範囲に描かれた形が追加され、新しい選択範囲として表示されます。



6. 複数の領域を選択範囲に追加するには、[SHIFT] キーを押しながら該当の領域を描きます。
その他の選択範囲のラインに触れない限り、離れた領域を選択範囲に追加することができます。



7. 選択範囲から任意の領域を削除するには、[CTRL] キーを押した状態で、オリジナルの選択ラインを含みながら形を描くか、ラインを取り囲みます。

マウスをリリースすると、描かれた形の領域がオリジナルの選択範囲から削除されます。

8. 選択領域の外側を編集または効果を適用したい場合、[反転] をクリックして、選択範囲を反転します。

これで、オリジナルの選択範囲の外側が全て選択されることになります。



9. 選択範囲に満足したら、[完了] をクリックします。

編集パネル：メインメニュー に戻って、編集ツールや特殊効果を [選択範囲に適用](#) します。

自動選択を使用するには：

1. **[自動選択]** をクリックして自動選択ツールを選択します。
2. 画像上にある任意の色をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します：

- **[しきい値]** スライダーを調整して、選択範囲に含むピクセル数を指定します。**[しきい値]** スライダーは、クリックされたピクセルに似たカラーピクセルをどれだけ選択範囲に含むかを指定するためのものです。
 - クリックしたピクセルのみを含む場合は、**[接続]** ラジオボタンをクリックします。
 - クリックしたピクセルに似たカラーピクセルすべてを含む場合は、**[接続しない]** ラジオボタンをクリックします。
 - **[SHIFT]** キーをホールドし、選択範囲の周りをクリックして含むピクセルを増やします。
 - **[CTRL]** キーをホールドし、選択範囲の周りをクリックしてピクセルを削除します。
 - **[反転]** をクリックして、オリジナルの選択範囲の外側に選択範囲を切り替えます。
4. 選択範囲に満足したら、**[完了]** をクリックします。

編集パネル：メインメニュー に戻って、編集ツールや特殊効果を [選択範囲に適用](#) します。

マーキーを使用するには：

1. **[マーキー]** をクリックしてマーキーツールを選択します。
2. マーキーの形として **[長方形]** または **[楕円]** のいずれかを選択します。
3. クリック&ドラッグで、選択範囲を描きます。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 既に選択されているマーキーの範囲に追加するには、**[SHIFT]** キーをホールドした状態で、オリジナルの選択ラインを含みながら希望する形を描きます。マウスをリリースすると、選択範囲が追加された形で表示されます。
 - 選択範囲に複数のマーキーを追加するには、**[SHIFT]** キーをホールドした状態で、ドラッグを繰り返し、複数のマーキーを追加していきます。選択範囲のエッジに触れない限り、継続して選択範囲を追加することができます。
 - 既存の選択範囲のマーキーから、希望する領域を削除するには、**[CTRL]** キーをホールドした状態で、削除したい領域を含んだ別のマーキーをドラッグします。マウスをリリースすると、新規マーキーに含まれていたあらゆる領域が選択範囲より削除されます。
5. 選択範囲に満足したら、**[完了]** をクリックします。

編集パネル：メインメニュー に戻って、編集ツールや特殊効果を [選択範囲に適用](#) します。

関連トピック

→ [選択範囲の編集または効果を適用する](#)

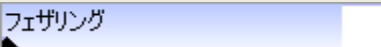
選択範囲の編集または効果を適用する

[選択範囲] ツールを使用して、画像の特定部分のみを孤立されることができます。選択が完了したら、その選択範囲内にのみカラーやハイライトといった編集ツールや、特殊効果フィルタを適用することができます。画像上でアクティブになっている選択範囲は、蟻が行進しているようなラインで表示されます。

選択範囲の編集または効果を適用するには：

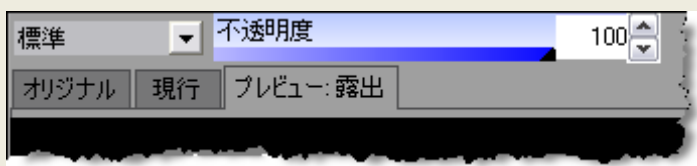
1. 選択範囲 ツール を使用して希望する領域を選択したら、[完了] をクリックして編集パネルに戻ります：メインメニュー
2. 選択範囲がアクティブの状態が表示されます。
3. 次のいずれかのアイコンをクリックします：
 - 露出
 - カラー
 - シャープネス
 - ノイズ
 - 効果
4. ツールを使って画像を編集します。

選択範囲の特別オプションのいずれかを使用します：

選択範囲の表示 	クリックして、蟻の行進のように示される選択範囲のラインを表示または非表示に設定します。選択範囲を非表示に設定すると、様々な効果の確認を簡単に行うことができます。
選択範囲の使用 	クリックして、選択範囲を使用、あるいは画像全体に編集または効果を適用します。このコントロールは選択範囲のみに編集を適用した後、選択範囲を解除して、別の編集を画像全体に適用する場合に便利です。一度選択した選択範囲をクリアする必要はありません。
フェザリング 	ドラッグして、選択範囲のエッジ、編集または効果にみられるぼかしを増加または減少します。 フェザリングは選択範囲と画像の間に見られるエッジをブレンドするため、不自然またはシャープなトランジションを防ぐことになります。また、このコントロールによって、選択したい範囲のエッジを完璧にまた緻密に選択する必要がなくなります。

ブレンドモードと透明度を適用する

[編集モード] のほとんどの編集パネルの中央には、「ブレンドモード」と「不透明度」の 2 つのコントロールが用意されています。



フィルタを適用する、あるいは画像を編集する際、実際は「オリジナル」と「編集済み」の 2 つの画像を扱っていることになります。「ブレンドモード」と「不透明度」は、この両方の画像をコントロールし、2 つを混ぜ合わせて新しい画像を作成します。「ブレンドモード」と「不透明度」は、画像全体、あるいは画像の選択された部分のみに適用することができます。

不透明度

「不透明度」スライダは、編集済み画像の透過度を変更するためのものです。オリジナルと編集済み画像が、最終画像で使用される割合を 1 ~ 100% で指定します。

- 10% の設定では、オリジナルが 90%、編集済み画像が 10% の割合になります。
- 50% の設定では、オリジナルと編集済み画像の割合が等しくなります。
- 100% の設定では、最終画像が編集済み画像と同じになります。

ブレンドモード

オリジナルと編集済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

標準	編集済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	編集済みの画像とオリジナル画像の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	編集済み画像 とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
焼き込み	編集済み画像 の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーパレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差の絶対数	オリジナル画像の色から編集済みの色を減算します。編集済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
比較(暗)	オリジナル画像よりも暗い編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも明るい画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています。)
比較(明)	オリジナル画像よりも明るい編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも暗い画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています。)
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。

色相	編集済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	編集済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	編集済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	編集済み画像の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	編集済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダーで斑点の強度をコントロールします。

「ブレンドモード」と「不透明度」は、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、これらのコントロールが必要ない場合には表示されません。ブレンドモード」と「不透明度」が表示されないツールは以下の通りです：トリミング、サイズ変更、レンズ補正、透視補正、RAW 処理、回転、反転、透かし、テキストの追加、赤目補正、画像の修整

画像の一部を選択する

ビューアの [選択ツール] を使用して、画像の一部をマーキー (四角形の枠) で選択することができます。選択した画像の一部を新しい画像として保存したり、デスクトップ壁画として使用したり、ズーム、コピー、印刷することができます。

画像の一部を選択するには：

1. マウスポインタをドラッグしてマーキーを作成し、ビューアの画像の一部を選択します。
2. マーキーの内部を右クリックして、次のいずれかのオプションを選択します。
3. 選択範囲をクリアするには、マーキーの外部をクリックします。

選択範囲のオプション

倍率指定	選択範囲を拡大します。
コピー	選択範囲をクリップボードにコピーします。
名前を付けて保存	選択範囲を新規画像として保存します。
印刷	選択範囲を印刷します。
壁紙として中央に表示	選択範囲を使用して壁紙を作成し、デスクトップの中央に表示します。必要であれば縮小します。
壁紙として並べて表示	選択領域を使用してタイル壁紙を作成します。

テキストと透かしを追加する

画像にテキストを追加する

[編集] モードの [テキストの追加] ツールを使って、画像にテキストを追加したり、吹き出しテキストを加えて漫画のように面白く仕上げるすることができます。特殊効果を適用してよりアーティスティックに仕上げたり、変更を加えるたびにプレビューで確認することができます。不透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を入れる際に便利です。

また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像にテキストを追加するには:

1. 編集モード で、編集パネルの **[テキストの追加]** をクリックします。
2. [テキストの追加] タブの **[テキスト]** フィールドに、追加したいテキストを入力します。
3. [フォント] 領域では、使用するフォント、斜体や中央揃えなどのフォーマット オプション、テキストの色を指定します。**[サイズ]** スライダをドラッグしてフォントのサイズを、**[不透明度]** スライダをドラッグしてテキストの透明度を指定します。
4. マーキーをクリック&ドラッグしてテキストの場所を変更したり、マーキーにある四角をドラッグしてサイズ変更したりします。
5. **[ブレンドモード]** ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。
6. 次のいずれかを実行します:
 - **[会話吹き出し]** チェックボックスを選択し、以下の一覧で解説されているように設定を行います。会話吹き出しを選択すると、特殊効果などを選択できなくなります。予めご了承ください。
 - **[効果]**、**[ドロップシャドウ]**、**[斜角縁]** チェックボックスをオンにして、テキストをカスタマイズします。**[設定]** ボタンをクリックして、各オプションの設定を調整します。オプションの詳細につきましては、以下の一覧をご覧ください。
7. 次のいずれかを実行します:
 - **[適用]** をクリックして画像にテキストを追加します。**[テキストの追加]** ツールを開いたままにすると、継続してテキストを追加することができます。**[テキストの追加]** ツールは、空白の新規マーキーを作成します。上記手順 2 に戻ります。
 - **[完了]** をクリックしてテキストの追加を終了し、**[編集モード]** に戻ります。空白のマーキーが開かれている場合、マーキーは自動的に削除されます。
 - 変更を適用しない場合は、**[キャンセル]** をクリックして**[編集モード]** に戻ります。

テキストの追加オプション

会話吹き出しの設定	話言葉	漫画でよく見られる、角度の付いた話し言葉の吹き出しにテキストを入力します。
	考え	漫画でよく見られる、角度の付いた考えの吹き出しにテキストを入力します。
	角度	吹き出しの角度を設定します。矢印をドラッグして角度を調整します。
	厚さ	吹き出しボーダーの幅を指定します。
	長さ	吹き出しの角度の長さを設定します。
	フィル	吹き出しの背景色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。
	ボーダー	吹き出しのボーダーに使う色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。
効果の設定	効果	テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。
ドロップシャドウの設定	距離	ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	角度	ドロップシャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、テキストの影を調整することができます。
斜角縁の設定	斜角縁	各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強度	テキスト上の最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
	明るさ	傾斜シャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
	角度	傾斜効果を作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。

ブレンドモードについて

ブレンドモードは、[テキストの追加] ツールを使用する際、画像に追加されたテキストの外観を変更するためのフィルタです。以下の表は、[テキストの追加] ツールで使用可能なブレンドモードと、その簡単な説明を示しています。

ブレンドモード

標準	指定された色で、画像上にテキストを追加します。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	画像レイヤーの逆の色とテキストの色を混ぜ合わせるため、似たようなあるいは軽めの色に仕上がります。
乗算	画像のレイヤーの色とテキストの色を混ぜ合わせて、暗い色に仕上げます。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	画像のレイヤーのピクセルとテキストの色を混ぜ合わせて、明るい色に仕上げます。
焼き込み	画像のピクセルとテキストの色を混ぜ合わせて、暗い色に仕上げます。
オーバレイ	下にあるレイヤーの影やハイライトを保ったまま、画像レイヤーの色によって乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差の絶対数	画像のレイヤーの色からテキストの色を減算します。テキストに含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
比較(暗)	テキストに画像のレイヤーよりも暗いピクセルを適用します。テキストのピクセルがレイヤーよりも明るい場合には、効果が見られません。(RGB 値を基準にしています。)
比較(明)	テキストに画像のレイヤーよりも明るいピクセルを適用します。テキストのピクセルがレイヤーよりも暗い場合には、効果が見られません。(RGB 値を基準にしています。)
ハードライト	強調したハイライトまたは影を加え、画像レイヤーの色によって乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたは影を加え、画像レイヤーの色によって暗くまたは明るく仕上げます。
色相	テキストツールの色相値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
彩度	テキストツールの彩度値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
カラー	テキストの色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはレイヤーの明度に影響しません。
明度	テキストツールの明度値を画像レイヤーの領域の色に適用します。

画像に透かしを追加する

[編集] モードの [透かし] ツールを使用して、画像に透かし模様を追加することができます。透かしは、画像上のあらゆる場所に移動することができる他、透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像に透かしを追加する前に、透かしとして使用する画像を作成する必要があります。

画像に透かしを追加するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[透かし]** をクリックします。
2. **[参照]** をクリックして、透かしとして使用する画像を選択し、**[開く]** をクリックします。
既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。
3. 透かしをクリック & ドラッグして、画像上の希望する位置に移動するか、**[中央]** をクリックして透かしを画像の中央に移動します。
4. マーキーのハンドル部分をドラッグして、透かしのサイズを変更します。
透かしの縦横比を変更せずにサイズ変更したい場合には、**[縦横比を保持してサイズ変更する]** を選択します。
5. 透かしにアルファ チャンネルが存在し、それを適用したい場合には、**[アルファ チャンネルを適用する]** を選択します。
(TIF、PNG、ICO の透かしファイルのみ、アルファ チャンネルを含むことができます。
6. 透かしの色を透明にしたい場合には、**[透過を使用する]** を選択します。
既定の色は白です。RGB の値を入力することもできますが、RGB の値がわからない場合には、**[編集]** パネルのプレビューにある透かし上にマウスを動かし、透明にしたい色をクリックします。
7. **[ブレンドモード]** ドロップダウンからオプションを選択して、画像と透かしをどのようにブレンドするかを指定します。
8. **[不透明度]** スライダをドラッグして、透かしの透明度を指定します。
9. 次のいずれかを実行します：
 - **[適用]** をクリックして画像に透かしを追加し、**[透かし]** ツールを開いたままの状態にします。
 - **[完了]** をクリックしてテキストの追加を終了し、**[編集モード]** に戻ります。
 - 変更を適用しない場合は、**[キャンセル]** をクリックして**[編集モード]** に戻ります。

保存する

編集モードの変更を保存/破棄する

編集モードで画像を編集したら、次の 3 つの方法のいずれかを実行します：

- 変更を適用してオリジナルの画像を上書きする。
- 変更された画像に新しいファイル名やフォーマットを付けて保存する。
- 画像に加えた変更を破棄する。

オリジナルの画像を上書きするには:

1. ツールバーの **【編集の終了】** ボタンをクリックします。
2. **【変更を保存する】** ダイアログボックスで、**【保存】** をクリックします。

変更された画像に新しいファイル名やフォーマットを付けて保存するには:

1. ツールバーの **【編集の終了】** ボタンをクリックします。
2. **【変更を保存する】** ダイアログボックスで、**【名前を付けて保存】** をクリックします。
3. **【ファイル名】** フィールドに、画像名を入力します。
4. **【ファイルの種類】** ドロップダウン リストから、新しい画像に使用するファイル フォーマットを選択します。**【オプション】** ボタンをクリックすると、選択したフォーマットのオプションを設定することができます。
5. **【保存】** ボタンをクリックします。

画像に加えた変更を破棄するには:

1. ツールバーの **【編集の終了】** ボタンをクリックします。
2. **【変更を保存する】** ダイアログボックスで、**【破棄】** をクリックします。

関連トピック

- [元に戻す/やり直し機能を使用する](#)
- [複数の画像を別のフォーマットに変換する](#)

ツールの設定を保存する

ACDSee では、多数の編集ツールや特殊効果の設定をプリセットとして保存することができます。よく使用する特定のツールや効果の設定を保存することができるのでとても便利です。

ACDSee のほとんどのツールでは、**【適用】** または **【完了】** をクリックすると設定が自動的に保存されます。プリセットは「最終使用」を意味します。

ツールの設定を保存するには:

1. ツールを選択してオプションを設定します。
2. **【プリセット】** の **【保存】** ボタンをクリックします。
3. **【新規プリセット】** ダイアログ ボックスで、プリセット名を入力して **【OK】** をクリックします。

以前保存されたプリセットを使用するには：

- 1. プリセットが作成されたツールを選択します。
- 2. **【プリセット】**ドロップダウン リストから、適用するプリセットを選択します。

プリセットを削除するには：

- 1. プリセットが作成されたツールを選択します。
- 2. **【プリセット】**ドロップダウン リストから、削除するプリセットを選択します。
- 3. **【削除】** ボタンをクリックします。
- 4. **【削除の確認】** ダイアログ ボックスで、**【はい】** をクリックします。

ピクセルのサイズ変更オプションと適用後

ピクセルの大きさを新しく設定することで、ブラウザの複数の画像を拡大／縮小することができます。ピクセル単位でサイズ変更する詳しい情報につきましては、[画像のサイズを変更する](#) あるいは [複数の画像サイズを変更する](#) をご覧ください。

サイズ変更 オプション ▼	オプションに合わせる ▼	処理 ▼
拡大のみ	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。 幅の値が増加すると、縦横比を保つために高さの値も増加します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。 高さの値が増加すると、縦横比を保つために幅の値も増加します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。 縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ (最大画像)	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。 縦横比を保ちながら、画像サイズを最大にするために、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
縮小のみ	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。 幅の値が減少すると、縦横比を保つために高さの値も減少します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。 高さの値が減少すると、縦横比を保つために幅の値も減少します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。 縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整

		整します。
拡大または縮小	幅または高さ (最大画像)	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最小にするために、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅のみ	指定された値に幅を変更し、縦横比を保つために高さも変更します。
	高さのみ	指定された値に高さを変更し、縦横比を保つために幅も変更します。
	幅と高さ	画像サイズを指定された幅と高さに変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ (最大画像)	画像サイズを指定された幅と高さに変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大／最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

画像を修整する

画像を修整する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます：

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫

[画像の修整] ツールには次の 2 つのオプションがあります：[美肌効果] と [クローン]

[美肌効果] ツールは画像の一部を別の領域にコピーしますが、コピーする前にソース元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としっかりなじむことになります。美肌効果ツールは肌や毛皮など、表面が細かい画像の修整に効果的です。

[クローン] ツールは、画像の一部を別の領域にコピーするためのツールで、同一の画像領域を作成することになります。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像を補整するには：

1. 「画像の修整」タブから次のいずれかを選択します
2. 編集モード で、編集パネルの [画像の修整] をクリックします。

- **美肌効果**：ソースのピクセルをコピー先にコピーしながら、領域の周りにあるピクセルとブレンドして色をなじませます。
 - **クローン**：コピー先にソースのピクセルを忠実にコピーします。
3. **【ペン先の幅】**と**【フェザリング】**のスライダをドラッグします。以下の表を参照ください。
 4. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。
 5. コピーしたい領域をクリック／ドラッグします。美肌効果ツールを選択した場合には、マウスボタンをリリースした際にピクセルの分析と置き換えが行われます。
 6. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用する場合は、**【完了】**をクリックして**【ビューア】**または**【編集モード】**に戻ります。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

画像の修整オプション

ペン先の幅	ブラシの幅を設定します。(単位:ピクセル)
フェザリング	ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。 フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることになります。

赤目を補正する

編集モードの**【赤目補正】**ツールを使用して、デジタル画像に見られがちな赤目を補正することができます。補正したい領域をクリックするか、ドラッグするだけで補正が完了します。

瞳孔ではなく、目の虹彩や目の周辺にある肌の色を補正する場合には、色を変更することができます。

クリックまたはドラッグして補正する強度を指定することも可能です。そのため、補正を正確にコントロール、また増分で変更することができます。強度を低く設定し、何度もクリックまたはドラッグして微調整をしたほうが、よりよい結果を期待できます。

赤目を補正するには：

1. 編集モードで画像を開きます。
2. 編集パネルの**【赤目補正】**をクリックします。
3. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目の中心を拡大表示します。
4. 目の赤い領域をクリックするか、目の上をドラッグします。
5. 赤い領域上を何度もクリック、あるいはドラッグして赤みを削除します。赤みをわずかに残したほうが、より自然に仕上がります。

6. 赤い色がまぶたの上、あるいは目の虹彩をカバーしている場合、**[塗りつぶしの色]** をクリックして該当の領域に適切な色を選択します。
7. また、**[カスタム]** を選択して必要な色の値を入力します。
8. カスタムカラーを使用する場合、拡大表示してドラッグを何度か繰り返し、増分補正を行います。
9. 塗りつぶしの強度を設定するには、**[補正の強度]** スライダーを右に(適用される色の量を増やす)、あるいは左に(適用される色の量を減らす)移動します。
10. 変更を適用して**[赤目補正]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。

関連トピック

→ [編集モードを使用する](#)

傾いている画像を補正する

編集モードでは、自由設定の角度で画像を回転したりトリミングをして、傾いている画像をまっすぐに補正することができます。

傾いている画像を補正するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ビューアで該当の画像を開き、**[回転]** をクリックします。画像は編集モードで表示されます。
 - 編集モードで、編集パネルの**[回転]** をクリックします。
2. **[回転]** タブの**[カスタム回転]** の角度領域で、次のいずれかの操作を行ってください:
 - 矢印をクリックし希望する角度になるまでドラッグするか、正確な角度を数値として入力します。
 - **[上下]** または **[左右]** ボタンをクリックし、マウスポインタを使って縦横の基本線を画像上に描きます。
3. **[自動トリミング]** をクリックします。
4. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用するには**[適用]** をクリックし、「回転/反転」ツールの別のタブのオプションを設定します。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

透視歪みの補正

[透視補正] ツールを使用して、デジタル撮影に見られがちな透視歪みを補正することができます。透視歪みはワイドアングルとテレフォト レンズによって引き起こされる歪みで、大型あるいは遠方のオブジェクトが歪んで見えます。例えば、高層ビルを撮影した場合、ビルの上部ほど幅が狭く見えます。

透視歪みを補正するには:

1. 編集モードで、編集パネルの**[レンズ補正]** をクリックします。

2. 編集パネルの **[透視補正]** をクリックします。
3. 画像の周りにアウトラインが表示されます。アウトラインの 4 つの角と、各サイドの中心にはハンドルが表示されますので、これらのハンドルをドラッグして透視を補正します。
4. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
5. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

透視補正 オプション

背景色	歪み補正を行うと、画像の角が膨張あるいは縮小してしまうことがあります。 [背景色] オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます： ● 画像：未補正の画像を背景に置いて、修正後の画像にできた隙間を埋めたい場合にこのオプションを選択します。隙間が比較的小さい場合に便利です。
グリッドの表示	歪み補正時に、グリッドを表示して補正したい場合にこのオプションを選択します。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。

バーレル、魚眼、ピンクッションの歪み補正

[歪み補正] ツールを使用して、デジタル撮影で発生しがちなバーレル、魚眼、ピンクッションの歪みを補正することができます。バーレルでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

バーレル、魚眼、ピンクッションの歪みは、ワイドアングルやズームレンズを用いて撮影した画像でよく見られます。

バーレル、魚眼、ピンクッションの歪みを補正するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[レンズ補正]** をクリックします。
2. 編集パネルの **[歪み補正]** をクリックします。
3. **[歪みの種類]** セクションから、**バーレル**、**ピンクッション** または **魚眼** のいずれかを選択します。
4. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
5. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

歪みの補正 オプション

左右の位置	スライダを左右にドラッグして、画像の中心となる位置を指定します。

上下の位置	スライダを左右にドラッグして、画像の中心となる位置を指定します。
補正の強度	画像が真っ直ぐに見えるまで、スライダを右にドラッグして調整します。
ズーム	スライダを左右にドラッグして、画像の倍率を調整します。
背景色	歪み補正を行うと、画像の角が膨張あるいは縮小してしまうことがあります。[背景色] オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます： ● 画像：未補正の画像を背景に置いて、修正後の画像にできた隙間を埋めたい場合にこのオプションを選択します。隙間が比較的小さい場合に便利です。
グリッドの表示	歪み補正時に、グリッドを表示して補正したい場合にこのオプションを選択します。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。

画像のレベルを調整する

レベルを自動調整する

[自動レベル] タブでは、画像の露出レベルを自動的に調整することができます。自動レベルは、画像で最も暗いピクセルをより暗く、最も明るいピクセルをより明るく調整します。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像の露出レベルを自動調整するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[露出]** をクリックし、**[自動レベル]** タブを選択します。
2. 次のいずれかのオプションを選択します：
 - **自動コントラストと自動カラー**：色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
 - **自動コントラスト**：色の違いと明るさのみを自動調整します。
3. **[強度]** スライダを使って、適用する露出の量を微調整します。
4. **[露出警告を表示する]** をクリックすると、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。
5. 次のいずれかを実行します：
 - 別のタブを選択して、オプションを設定します。
 - 変更を適用して[露出] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

画像の露出を調整する

[露出] ツールを使用して、画像の露出、コントラスト、ガンマを調整することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像の露出を調整するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[明るさ]** をクリックし、**[露出]** タブを選択します。
2. **[露出]** スライダを右にドラッグし、画像の全領域にハイライトを追加します。
3. **[コントラスト]** スライダを左にドラッグしてコントラストの量を減らすか、右にドラッグしてコントラストの量を増やします。
4. **[ライトの塗りつぶし]** スライダを右にドラッグし、画像の暗い領域にハイライトを追加します。
5. **[露出警告を表示する]** をクリックすると、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。
6. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
 - 変更を適用して **[露出]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダ上にマウスを置いて、マウスホイールをワンクリック前後に移動することで、編集モードのあらゆるスライダを微調整することができます。

eV に関するテクニカル解説

eV は exposure value (露出値) を略したものです。画像を撮影する際、露出は F 値 つまり絞り値、そしてシャッタースピードの 2 つの要素によって決定されます。一般的に、カメラは内蔵された光測定に基づいて、最適な露出を自動的に検出した後、その値に合わせて F 値とシャッタースピードを設定します。しかしながら、晴天あるいは暗い場所での撮影でカメラの光測定が適切に行われなかった結果、F 値とシャッタースピードが不適切に設定され、露出オーバーまたはアンダーの画像が出来上がることがあります。**[明るさ]** ツールの **[露出]** スライダを使用すれば、画像撮影時の不適切な設定によって引き起こされた露出问题を補正することができます。

例えば、F4、シャッタースピード 1/125 秒で画像を撮影したと仮定しましょう。**[露出]** スライダを -1eV まで左にドラッグすると、F5.6 とシャッタースピード 1/250 秒に増やすことになり、画像内の光の量が効率よく減少されるのが確認できます。**[露出]** スライダを $+1\text{eV}$ まで右にドラッグすると、F2.8 とシャッタースピード 1/60 秒に減らすことになり、画像内の光の量が効率よく増加されるのが確認できます。

シャドウとハイライトを調整する

[シャドウ/ハイライト] ツールを使用して、画像内で光が適切に表示されている領域を変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域を調整することができます。また同時に暗すぎる領域の暗さを明るく、明るすぎる領域を明るさを暗くすることができます。例として、海や窓など明るい背景で人物を撮影した場合が挙げられます。現実問題として、ほとんどの写真は曇天あるいはフラッシュ発光で撮影されるため、シャドウとハイライトを使用して微調整をすると出来上がりに大きな差がでます。

設定をプリセットとして保存し、次回以降使用することも可能です。

[シャドウ/ハイライト] はとても多機能なツールです。3 つのタブから選択することができ、各タブの設定によって異なる結果を生み出します。また、画像の特定領域を調整するためのキーボードとマウスのショートカットもご利用いただけます。

- **ベーシック タブ** - 2 つのスライダを調整するだけのクイック編集です。ACDSee は画像を分析し、画像全体を自動調整します。例えば、暗い画像は明るく仕上がります。**[自動設定を使用する]** ボタンをクリックすると、ACDSee は画像を分析し、スライダの位置を自動設定します。画像のある領域 (通常は画像の被写体) を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。
- **イコライザ タブ** - サウンド イコライザの光 (ライト) バージョンと例えるのがふさわしいタブです。画像の異なるトーンバンド (相対的に明るいまたは暗い領域) の明るさとコントラストを、該当するトーンバンドのスライダを使用して個別に調整します。グラフには、トーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングや詳細が失われないことを目的としています。赤い領域は調整されたスライダのうち、クリッピングが引き起こされた領域を示しています。
- **アドバンス タブ** - 画像の明るさとコントラストを完全にコントロールすることができます。4 つのスライダを使用して基本的なカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接クリック & ドラッグしてカーブを手動調整します。

シャドウ/ハイライト ツールを開くには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ブラウザで、[ツール] メニューから **[エディタで開く]** そして **[編集モード]** をクリックします。
 - ビューアでのツールバーから、**[画像の編集]** そして **[編集モード]** をクリックします。
 - ビューアで、**[修正]** メニューから **[編集モード]** を選択します。
2. 編集モードで **[シャドウ/ハイライト]** をクリックします。

「ベーシック」タブを使用する:

暗い領域に明るさを加えるには:

1. **[明るくする]** スライダを右にドラッグし、画像の暗い領域にハイライトを追加します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

明るすぎる領域を暗くするには:

1. **[暗くする]** スライダを右にドラッグし、明るすぎる領域を暗くし、詳細を復元します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

シャドウ/ハイライトのコントロール

画像上を左または右クリック

該当領域をクリックすると、クリックされた領域の明るさとコントラストを最適にするため、「明るくする」と「暗くする」スライダが自動的にリセットされます。この操作は、特に顔といった特定の領域を明るくさせたい場合に便利です。比較的明るい領域をクリックすると、最もよい結果を得ることができます。

露出警告を表示する



「露出警告を表示する」をクリックすると、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。〈E〉 キーをホールドすることで、露出警告を一時的にオン/オフに切り替えることができます。

自動設定



クリックして、ACDSee に画像を分析させ、画像の明るさと暗さのピクセルの量を基準に最適な設定を適用します。既に明るい領域はあまり変更されず、暗い領域が明るく設定されます。

リセット

変更をすべてキャンセルし、元の画像に戻します。

完了

変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。

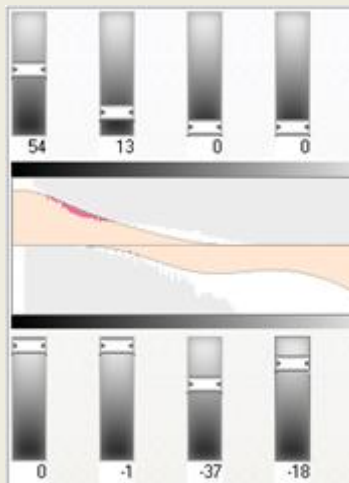
キャンセル

変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



スライダ上にマウスを置いて、マウスホイールをワンクリック前後に移動することで、編集モードのあらゆるスライダを微調整することができます。

「イコライザ」タブを使用する



「イコライザ」タブには 2 セットのスライダがあります。上部のセットは明るさで、下部のセットは暗さ用です。各スライダのグラデーションはそのトーンバンドの明るさを示します。上部セットのトーンバンドのスライダを上動かすと明るく、下部セットのトーンバンドのスライダを下動かすと暗くなります。

2 つのセットの間には、ブラックとホワイトにグラデーションのかかった 2 つの水平軸があります。これらのバーは、左側のスライダほど、暗いトーンバンドに反映されることを示しています。右側のスライダは明るいトーンバンドに反映されます。スライダを動かして、特定トーンバンド内の明るさを変更します。

バンドには 2 つのオレンジ色のグラフがあり、スライダを調整するにつれ変更されます。このグラフは、画像のそのトーンレンジの明るさや暗さの量を表しています。2 つのグレーのグラフは、クリッピングを発生させずに適用できる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。スライダを大幅に移動すると、クリッピングが明るいピンクで表示されます。

明るさを変更せずにトーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部セットのトーンバンドを上、下部セットのトーンバンドを下に移動させ、明るさと暗さを同時に、同量適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

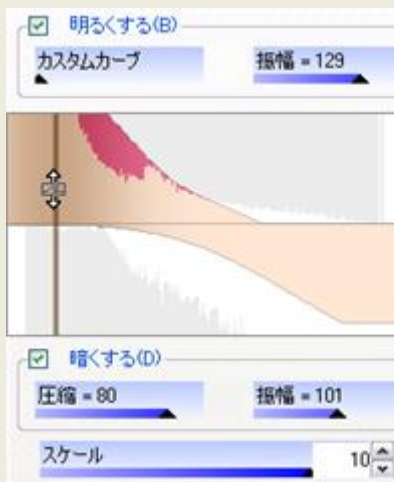
「イコライザ」タブを使用して画像を明るくまたは暗くするには:

1. 次のいずれかを実行します:

- 調整したいトーンバンドのスライドを上下に移動します。
- ボックスに数値を直接入力、または数値を増分して、精確な調整を行います。
- [トーンバンド数] のドロップダウン リストをクリックして、トーンバンドの数を選択します。
-  をクリックして 露出オーバーまたはアンダーのピクセルを表示します。
-  をクリックして、設定を自動適用します。

2. 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。

「アドバンス」タブを使用する



スライダー

「アドバンス」タブには明るくする用、および暗くする用に各 2 つのスライダーがあり、それらのスライダーには「圧縮」と「振幅」という名前が付けられています。[圧縮] スライダーは明るくする/暗くするのカーブの形をコントロールする一方、[振幅] スライダーはカーブの高さをコントロールします。

圧縮の値を高くするほど、画像内の明るい領域に対する暗さのバランスを増やすことになります。[振幅] スライダーは明るくする、または暗くする効果の強さを増やします。

ツールの下に位置する [スケール] スライダーは、どのくらいの度合いで全体の調整を行うかを指定するためのものです。スライダーを左に移動すると、より細かい調整を行うことができますが、ほとんどの画像では、既定値の位置のままにしておくのが最良の結果を得ることができます。

チェックボックス

チェックボックスの選択を解除して、明るくする、または暗くするを個々に使用不可能にすることができます。これは、明るくする、または暗くするの効果を個別に表示したい場合に大変便利です。

グラフ

[明るくする] と [暗くする] コントロールの間にある 2 つのグレーのグラフは、クリッピング (明るいピンクで表示されます) を発生させずに適用できる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。

[圧縮] および [振幅] のスライダをドラッグするにつれ、2 つのオレンジ色のカーブが変更されます。これらのカーブは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示しています。暗いトーンの領域は左手に、明るいトーンの領域は右手に位置します。画像上にカーソルを移動するにつれ、グラフの垂直線は、そのトーンレンジ内のカーソルの下にある領域のトーンレベルを示していることが理解できます。カーソルの移動では、通常 2 つのトーンレベルが表示されます。これは、明るさと暗さのトーンレベルが必ずしも同じではないためです。また、明るさが最大カラー値を区別するのに対し、暗さが最小カラー値を区別することからも発生します。

「アドバンス」タブは、グラフ自体、あるいは実際の画像上で、カーブを手動調整できるという点が独特です。画像上で行った調整は、グラフのカーブに反映され、グラフ上で行った調整は、画像に反映されます。

明るさを変更せずにトーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部のカーブを上、下部のカーブを下に移動させ、明るさと暗さを同時に適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

調整オプション - 「アドバンス」タブ

領域:	操作: ▼	結果: ▼
▼		
スライダ	[明るくする] の [圧縮] をドラッグ	右にドラッグ - 暗い領域に適用されるハイライトが増加します。 左にドラッグ - 画像のすべての領域にハイライトが一様に増加します。 (カーブを手動で変更する、あるいは画像上で調整を行うと、スライダの名前が [カスタムカーブ] に変わります。)
	[暗くする] の [圧縮] をドラッグ	右にドラッグ - 画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左にドラッグ - 画像のすべての領域に暗さが一様に増加します。
	[明るくする] の [振幅] をドラッグ	右にドラッグ - 画像のすべての領域に適用される明るさが増加します。グラフ内で、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左にドラッグ - 明るさとカーブの高さが減少します。 [振幅] スライダが 0 に設定されると、明るさは全く適用されません。 [振幅] が 100 ~ 200 の間に設定されると、クリッピングの量が増加します。 ほとんどのケースでは、110 が適切な振幅の値です。ハイライトの領域に詳細が見られる画像では、[明るくする] の [振幅] の値

を下げると、その詳細を保つことができます。

ほとんどの場合、振幅を調整する必要はありません。

		[暗くする] の [振幅] をドラッグ	
		右にドラッグ - 画像のすべての領域に適用される暗さが増加します。グラフ内で、オレンジ色のカーブの高さが増加します。	
		左にドラッグ - 暗さとカーブの高さが減少します。	
		[スケール] をドラッグ	
		左にドラッグ - ツールがより細かい領域を調整するように設定します。	
		これで、より小さな領域を個別に調整することができます。通常、既定スケール値 10 で最良の結果になりますが、明るくするべき領域に詳細が含まれているような場合には、スケール値を小さくするとよりよい結果になります。	
グラフ	オレンジのグラフ(上部)をドラッグ		ドラッグするにつれ、グラフが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフはクリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる、最大量を示します。
			グラフの高さは、各トーンレベルに適用された明るさのレベルを表します。(トーンは左がブラックで、右に向かうほどホワイトになります。)
			グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「圧縮」のスライダが <i>[カスタムカーブ]</i> に変わります。この時点でスライダのポジションを変更すると、グラフまたは画像上で直接調整された変更はすべて破棄されますのでご注意ください。
			グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振幅」のスライダが、現在のカーブの振幅を示した値に変わります。(振幅の値 100 はクリッピングを発生させない最大の振幅値です。)
画像	オレンジのグラフ(下部)をドラッグ		ドラッグするにつれ、グラフが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフはクリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる、最大量を示します。
	以下 のすべてのショートカットを使用して、画像 とグラフに直接適用することができます。		グラフのトーンバンドを変更すると、画像にその変更が反映されるため、特定のトーンバンドを微調整する場合に便利です。
	左 マウスボタンを押しながら SHIFT+ ダブルクリック		画像のその領域に最も最適な「明るくする」の「圧縮」値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、

	最良の結果になります。
右 マウスボタンでダブルクリック (または SHIFT+ ダブルクリック 左 マウスボタンを押した状態で)	画像のその領域に最も最適な「暗くする」の「圧縮」値を自動設定します。
CTRL+ ダブルクリック 左 マウスボタンを押した状態で	そのトーンレベルの周りにある明るさの量を増やし、それ以外の画像領域を暗くします。 特定のサブジェクトを素早く明るくする、または特定のサブジェクトを画像から浮き立たせたい場合に使用します。
CTRL+ ダブルクリック 右 マウスボタンを押した状態で	そのトーンレベルの周りにある暗さの量を増やし、それ以外の画像領域を明るくします。
画像上をマウス ホイールでスクロールアップまたはダウン	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
画像上をマウス ホイールで SHIFT+スクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
“A”をホールド +スクロール または+ドラッグ 左 マウスボタンを押した状態	[振幅] のスライダが直接設定されます。
“A” +SHIFT をホールド+スクロール または+ドラッグ 右マウスボタンを押した状態	「暗くする」の[振幅] のスライダが直接設定されます。
左マウスボタンを押した状態で画像を上下に クリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
左マウスボタンを押した状態で画像を上下に SHIFT+クリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
CTRL + あらゆる調整 (上述)	一定の振幅を自動的に保ち、クリッピングを防ぎます。 Ctrl キーを押しながらあらゆる調整を行うと、カーブの形が強制的に変更されます。例えば、画像のミッドトーンの明るさを増やそうとしている場合、暗い領域の明るさと明るい領域の明るさが減少します。

画像のレベルを調整する

[露出] ツールの [レベル調整] タブでは、画像のコントラストや明るさのレベルを細かく調整することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像のレベル調整を行うには:

1. 編集モードで、編集パネルの **[露出]** をクリックし、**[レベル調整]** タブを選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
 - 以下の一覧を参照にしてオプションを設定し、コントラストおよび明るさのレベルを手動で調整します。
 - **[自動...]** をクリックしてオプションを選択し、画像のプロパティを自動調整します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
 - 変更を適用して **[レベル調整]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダ上にマウスを置いて、マウスホイールをワン クリック前後に移動することで、編集モードのあらゆるスライダを微調整することができます。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
ミッドポイント	画像のガンマ補正值を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ~ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正值を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	[ブラックポイント] ピッカーをクリックした後、ブラックポイント(シャドウ)として設定したい画像の部分をクリックします。 
ミッドポイント ピッカー	[ミッドポイント] ピッカーをクリックした後、ガンマ補正值(ミッドトーン)として設定したい画像の部分をクリックします。 

ハイライト ピッカー



【ホワイトポイント】ピッカーをクリックした後、ホワイトポイント(ハイライト)として設定したい画像の部分をクリックします。

自動

次のいずれかのオプションを選択します：

- **コントラストの調整**：画像のコントラストを自動分析および自動調整します。
- **色とコントラストの調整**：各カラーチャンネルを自動分析および調整してから、コントラストを調整します。
- **色と明るさの調整**：画像の色と明るさを自動分析および調整します。
- **トレランス**：【トレランスの設定】ダイアログ ボックスが開かれます。**シャドウ** と **ハイライト** の最大トリム率を指定し、**[OK]** をクリックします。ACDSee により画像のレベルが自動調整されます。

リセット

変更をすべてキャンセルし、元の画像レベルに戻します。

トーンカーブを調整する

【露出】ツールの【トーンカーブ】タブでは、画像の色合いを細かく調整することができます。RGB チャンネルを選択または特定の色を選択して、画像全体の明るさを調整します。

また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

トーンカーブを調整するには：

1. 編集モード で、編集パネルの【露出】をクリックし、【トーンカーブ】タブを選択します。
2. 下の一覧を参照して、【トーンカーブ】タブのオプションを設定します。
3. ヒストグラムの線をドラッグして、画像を調整します。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
 - 変更を適用して【トーンカーブ】ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダ上にマウスを置いて、マウスホイールをワン クリック前後に移動することで、編集モードのあらゆるスライダを微調整することができます。

トーンカーブ オプション

チャンネル

調整するカラーチャンネルを指定します。

ヒストグラムを表示する

ズーム固定のオンとオフを切り替えます。

ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。カーブをクリックするたび、新しいノードが追加されます。ノードをカードの上下にドラッグして調整します。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元の画像に戻します。
露出警告を表示する	画像の露出オーバー／アンダー部分をハイライトします。[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。

画像のカラーを調整する

ヒストグラム ペインを使用する

ヒストグラムは、画像の明るさと各カラー チャンネルのレベルをグラフィックで表します。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. ビューアの [表示] メニューから [ヒストグラム ペイン] を選択します。
2. ヒストグラム ペイン内の次のチェックボックスをオンまたはオフにします:
 - R: 赤色チャンネルを表示または非表示にします。
 - G: 緑色チャンネルを表示または非表示にします。
 - B: 青色チャンネルを表示または非表示にします。
 - L: 画像の明るさを表示または非表示にします。

画像の色を自動調整する

[カラー] ツールの [自動カラー] タブでは、画像の色を自動的に調整することができます。

画像の色を自動調整するには:

1. 編集モードで、編集パネルの [カラー] をクリックします。
2. [自動カラー] タブを選択します。
3. スライダーをドラッグして、調整する色の量を設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して [カラー] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

カラーキャストを削除する

[カラー] ツールの [カラーキャスト] タブでは、画像から不要な色合いを削除することができます。例えば、撮影した夕焼けの写真に赤みがかかっている場合、[カラーキャスト] タブのオプションを設定して、赤みを取り除くことができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像からカラーキャストを削除するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[カラー]** をクリックします。
2. **[カラーキャスト]** タブをクリックします。
3. 画像で白またはグレーであるべき部分をクリックします。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
4. 必要に応じてスライダをドラッグし、削除するカラーキャストの量を指定します。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
5. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



希望する効果が得られない場合には、画像上にある別の色合いの白またはグレーをクリックして試してください。

画像の色深度を変更する

ビューアでは、画像の色深度を変更することができます。色深度とは、画像に含まれる色の数のことです。

画像の色深度を変更するには：

[修正] メニューから **[色深度の変更]** を選択し、下記で説明されているオプションの 1 つを選択します。

色深度 オプション

モノクロ	白と黒の 2 色を使用します。
16 色グレースケール	16 色のグレースケール パレットを使用します。
256 色グレースケール	256 色のグレースケール パレットを使用します。
16 色	16 色のパレットを使用します。
256 色	256 色のパレットを使用します。(GIF フォーマットでは、既定値として 256 色が使用されています。)
High Color	32,768 色のパレットを使用します。
True Color	人間の目で認識可能なすべての色を含む 16,777,216 色のカラー パレットを使用します。
16 色グレースケール	16 ビット グレースケール
48 色	48 ビット カラーパレット

ACDSee では、これらの色深度に画像を変換することができます。しかし、特定の画像編集ツール、フィルタ、ブレンド、調整オプションを使用するには、画像が High Color または True Color である必要があります。画像を編集するには、画像を High Color または True Color に変更し、編集後に画像を元の色深度に戻してください。

HSL 値を変更する

[カラー] ツールの [HSL] タブでは、画像の HSL <色合い(H)、鮮やかさ(S) そして明るさ(L)> の値を変更することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像の HSL 値を変更するには:

1. 編集モードで、編集パネルの **[カラー]** をクリックします。
2. **[HSL]** タブをクリックし、スライダをドラッグして、色合い、鮮やかさ、明るさ の値を変更します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

RGB 値を変更する

画像の赤、緑、青 (RGB) の値を変更することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像の RGB 値を変更するには:

1. 編集モードで、編集パネルの **[カラー]** をクリックします。
2. **[RGB]** タブをクリックし、スライダをドラッグして赤、緑、青 の値を変更します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

グレースケールの画像を作成する(チャンネルミキサー)

ビューア内で

ビューア内で、グレースケールの画像を素早く作成することができます。

ビューアでグレースケールの画像を作成するには：

1. ブラウザで、画像のサムネイルをダブルクリックし、ビューア内で開きます。
2. 編集ツールバーにある **[グレースケール]** アイコン  をクリックします。

編集モード - チャンネルミキサー

編集モードのカラーツールにある「チャンネルミキサー」では、リッチなグレースケール画像を作成することができます。レッド、グリーン、ブルーチャンネルの輝度、および全体の明るさを調整するため、画像の異なる領域やアスペクトを強調するだけでなく、画像のモードやトーンを変更することも可能です。

各スライダの上にマウスを移動すると、スライダの下に位置する小さなプレビューウィンドウが変わるのを確認できます。各チャンネルによって画像のどの部分に変更されるのかを示します。画像における各スライダの効果を確認するために便利です。

チャンネルミキサーを使用してグレースケールの画像を作成するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[カラー]** をクリックします。
2. **[チャンネル ミキサー]** タブを選択します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - **[レッドのパーセント]** スライダを左または右にドラッグします。
 - ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
 - **[グリーンのパーセント]** スライダを左または右にドラッグします。
 - ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
 - **[ブルーのパーセント]** スライダを左または右にドラッグします。
 - ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
 - **[輝度のパーセント]** スライダを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

画像のシャープネス/ぼかす

シャープネス ツールの使い方

[シャープネス] ツールを使用して、隣接したピクセルの色の違いを強調することで、画像をシャープに仕上げます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

シャープネス ツールを使用して画像をシャープにするには:

1. 編集モード で、編集パネルの [シャープネス] をクリックし、[シャープネス] タブを選択します。
2. 画像のシャープネスを強くするには、スライダを右に動かします。画像のシャープネスを弱くするには、スライダを左に動かします。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、[適用] をクリックします。
 - 変更を適用して [シャープネス] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

アンシャープ マスクを適用する

[アンシャープ マスク] を使用して、画像のエッジ上の明るい部分と暗い部分のコントラストを高くすることで、画像をシャープに上げることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像にアンシャープ マスクを適用するには:

1. 編集モードで、編集パネルの [シャープネス] をクリックし、[アンシャープ マスク] タブを選択します。
2. 以下に解説されているように、スライダをドラッグして画像を調整します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して [シャープネス] ツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

アンシャープマスクのオプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。値が高くなるほどエッジが暗くなります。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えます。
しきい値	シャープにする前に、近隣ピクセル間の明るさの違いを指定します。値が高くなるほど浮き出しが深くなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。

画像をぼかす

[ぼかし] ツールを使用して、画像に異なる種類のぼかしを適用することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像をぼかすには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[シャープネス]** をクリックし、**[ぼかし]** タブを選択します。
2. **[ぼかしの種類]** ドロップダウン リストから、適用するぼかしの種類を選択します。
3. 下の表を参考にして、ぼかしの種類を指定します。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して [ぼかし] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ぼかしの種類

ガウス	画像全体を均等にスムーズにぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
リニア	画像に動きをつけてぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	角度	ぼかし効果が適用される方向を指定します。
放射状	画像の中心を基点にして円状にぼかします。画像をクリックしてぼかしの中心を設定します。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	時計回り	時計回りにぼかします。
	反時計回り	反時計回りにぼかします。
	左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
	上下の位置	垂直軸にぼかしの中心を指定します。
スプレッド	画像全体を曇ガラスのようにぼかします。	

ズーム

度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
拡大	画像の中心に向かってぼかします。
ズームアウト	画像の中心から外に向かってぼかします。
左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
上下の位置	垂直軸にぼかしの中心を指定します。

画像ノイズの追加と削除

ノイズとノイズ除去について

ノイズとは、例えば夜空のように無地であるべき場所に、黒、白、あるいは色のついたピクセルがランダムに発生することを指します。デジタル画像では、ノイズは通常暗い部分によく見られます。

ノイズが発生する原因をいくつか挙げてみましょう。ISO 設定が例えば ISO 400 など高い値に設定されている場合、あるいは露出時間を長くした場合。(暗い明かりの元で撮影しようとする場合、ISO 設定を高く、露出時間を長く設定するのが通常です。)しかしながら、デジタルカメラのセンサー内にあるピクセルの残骸が原因にもなります。似たような状況では、カメラのレンズやスキャナ ベッドについたほこりが光を遮断あるいは反射することでも引き起こされます。

ノイズは目障りな現象なため、ノイズを除去しようとするのがカメラマンの常です。しかしながら、ノイズを除去しすぎると、画像のシャープネスが失われてしまうため注意が必要です。

ACDSee Pro 2 はメディアン ノイズ除去をサポートしています。このノイズ除去法は、ノイズを認識し、その近隣のピクセルとの中間値を元にノイズを調整するという数学的アルゴリズムから、その名前が付けられています。メディアン ノイズ除去は、デジタルカメラのセンサーが原因で、デジタル画像の撮影で最も頻繁に起こるノイズの種類であるガウスノイズの除去に便利です。

四角の領域内にある全ピクセル、対角線に沿ったピクセル、あるいは縦横の線に沿ったピクセルの除去にメディアン ノイズ除去を適用します。ACDSee Pro 2 は、メディアン ノイズ除去を画像のより多くのピクセルに適用したい場合や、ノイズが原因のカラーバリエーションを減らしたい場合などに使用するハイブリッドオプションも備わっています。

画像からノイズを除去する

[ノイズ除去] フィルタを使用して、画像の詳細を保持しながら画像からノイズを除去することができます。

画像からノイズを除去するには：

1. 編集モードで、編集パネルの **[ノイズ]** をクリックし、**[ノイズ除去]** タブを選択します。
2. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して **[ノイズ]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



CCD アレイセンサーが機能していない時のデジタルカメラ、あるいはほこりの付いたスキャナやカメラレンズで撮影された画像の強烈に明るいピクセルを削除するのに、ノイズ除去フィルタを使います。

メディアン ノイズ除去 オプション

ノイズ除去	ノイズを除去します。
正方形	正方形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。
X	X 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。
+	+ 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使います。
ハイブリッド	正方形の 3 × 3 ピクセル、X 形の 3 × 3 ピクセルおよび + 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、対角線、縦横線を保持したい場合に使います。[ハイブリッド] を選択すると、以下の追加オプションを指定することができます： ● 度合い：スライダを左右にドラッグして、ノイズとして認識されるピクセルの範囲を選択します。通常、しきい値を 10 ～ 20 の間に設定します。 ● 半径：スライダを左右にドラッグして、メディアン ノイズ除去の領域の大きさを指定します。例えば、[半径] の値を大きくして大きな領域のノイズを除去することができますが、同時に画像の詳細も除去されてしまうため注意が必要です。 ● カラーノイズの減少：スライダを左右にドラッグして、画像から削除されるカラーバリエーションの量を調整します。例えば、スライダを右にドラッグするとカラーバリエーションの量が減ります。カラーバリエーションの量を減らすと、画像内の実際のカラーバリエーションも減らしてしまう結果になるため、十分注意します。

画像にノイズを追加する

[ノイズ追加] フィルタを使用して、画像に粒状のノイズを追加することができます。少量のノイズを加えると、オリジナル画像に見られるかすかな欠点が目立たなくなります。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像にノイズを追加するには:

1. 編集モードで、編集パネルの【ノイズ】をクリックし、【ノイズ追加】タブを選択します。
2. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して【ノイズ】ツールを閉じるには、【完了】をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。

ノイズ追加 オプション

強度	画像に追加するノイズの量を指定します。ノイズの量が多くなるほど、オリジナル画像のピクセルがノイズと置換される可能性が高くなります。
色の近接度	画像に追加するノイズの色を指定します。値が小さくなるほど、置換されるピクセルに近い色のノイズが追加されます。値が大きくなるほど、ノイズの色はランダムに選択されます。
ノイズの色	次のいずれかのオプションを選択して、ノイズの色を指定します: ● ランダム: ランダムにノイズの色を選択します。 ● モノクロ: 白黒のノイズが追加されます。 ● 調整: ノイズの色をランダムに選択しますが、ほとんどのノイズの色は指定した色と同じになります。【カラーピッカー】をクリックして、ノイズの色を指定します。
ノイズの配置	指定された色に近い画像部分に、ノイズを追加します。ノイズの配置を有効にするには、【色の設定】チェックボックスをオンにします。【カラーピッカー】をクリックして、ノイズの色を選択します。
ランダム表	画像のノイズをランダムに配置します。 画像にノイズを追加する際、ノイズはランダム表に基づいて配置されます。そのため、ノイズを追加する度に画像は変化します。ランダム表を作成して、同じように画像ノイズを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、【ランダム表】をクリックします。

一括編集

一括編集について

ACDSee では次のような作業が可能です:

- **編集操作を複数の画像にまとめて行う**: 例えば、複数の画像のサイズを変更する必要がある場合、【サイズの一括変更】ツールを使用します。別の例として、複数の画像を 90 度回転する必要がある場合、【回転/反転の一括変更】ツールを使用します。
- **複数の編集操作を複数の画像にまとめて行う**: 例えば、複数の画像のサイズ変更、トリミング、カラーキャストの変更、回転する必要がある場合、【一括処理】機能を使って、すべての編集操作をすべてのファイルに、一括して行うことができます。

ファイルにタグを付けると、一括編集のワークフローをスピードアップすることができます。例えば、変更したいファイルにタグを付けてからカテゴリペインで [タグ] をクリックすると、[ファイル一覧] ペインにタグの付けられたすべてのファイルが表示されます。そしてファイルを選択し、[一括編集] ツールまたは [一括処理] ウィザードを選択します。

関連トピック

- [一括処理を使用する](#)
- [画像にタグを付ける](#)

複数の画像を別のファイル フォーマットに変換する

複数の画像ファイルを、サポートされている別のファイル フォーマットに変換することができます。各フォーマット用のオプション、マルチページ画像の取り扱い方法の設定、既定値に自動変換などを設定することができます。「ファイル フォーマットの変換ウィザード」の指示に従ってください。

「ファイル フォーマットの変換ウィザード」で機能のヘルプを参照するには、ウィザードの右上にある [ヘルプ] ボタンをクリックした後、ヘルプが必要な機能をクリックします。

画像を別のファイル フォーマットに変換するには：

1. 次のいずれかを実行します：
 - ブラウザで、1 つ以上のファイルを選択し、[ツール] メニューから [ファイル フォーマットの一括変換] 選択します。
 - ビューアで、[修正] メニューから [ファイル フォーマットの変換] を選択します。
2. 「フォーマットの選択」のページで、新規画像フォーマットを選択するか、[フォーマット] タブの一覧から画像フォーマットを選択します。[詳細オプション] タブをクリックして、ウィザードの設定を変更するか、[次へ] をクリックして続行します。
3. 「出力オプションの設定」のページで、変換済み画像の保存先を指定します。重複ファイル名の対処方法を指定するには、[既存ファイルの上書き] ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択してください：
 - **確認する**：ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。
 - **スキップ**：同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。
 - **置換**：確認メッセージを表示せずに、ファイルを上書きをします。
 - **名前の変更**：ファイル名の変更の際、メッセージを表示します。
4. 「マルチページ画像のオプション設定」ページでは、変換するマルチページ画像の取り扱い方法を指定することができます。マルチページ画像を選択していない場合や、マルチページ画像フォーマットを出力ファイル フォーマットとして指定していない場合は、このページのオプションをスキップしてください。
5. 設定が完了したら、[変換を開始する] をクリックして変換を開始します。画像を変換されるまで数秒お待ちください。

複数の画像を回転／反転する

複数の画像をプリセットの角度で回転／反転することができます。

画像を回転／反転するには:

1. ブラウザで、1 つ以上の画像を選択し、[ツール] メニューから **[回転／反転の一括変更]** を選択します。
2. [回転／反転の一括変更] ダイアログ ボックスで、適用する角度を選択します。各角度についての説明は、下記を参考にしてください。
3. マルチページ画像を選択した場合、すべてのページに同じ回転／反転の角度を適用するには、**[マルチページ画像の全ページに適用する]** チェックボックスをオンにします。
4. 次のいずれかを実行します:
 - **[次の画像]** をクリックして、次の画像の設定に進みます。
 - 複数の画像を選択した場合、すべての画像に同じ回転／反転の角度を適用するには、**[選択されたすべての画像に適用する]** チェックボックスをオンにします。
 - **[オプション]** をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 画像の回転／反転を実行するには、**[回転を開始する]** をクリックします。

回転／反転の角度

	画像を反時計回りに 90 度回転させます。
	画像を 180 度回転させます。
	画像を時計回りに 90 度回転させます。
	EXIF データに基づいて画像を回転します。(EXIF 情報のない画像では回転は行われません。)
	画像を垂直軸に対して反転させます。
	画像を水平軸に対して反転させます。
	画像を垂直軸に対して反転させ、反時計回りに 90 度回転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、時計回りに 90 度回転させます。



編集モードの [回転] ツールを使用すれば、カスタム角度を使用して画像を回転させることも可能です。

複数の画像サイズを変更する

ACDSee では、ピクセル サイズ、元のサイズに対する比率、印刷サイズに調整して複数の画像のサイズを変更することができます。サイズの一括変更 ツールの指示に従って操作してください。

複数の画像のサイズを変更するには：

1. ブラウザで、1 つ以上の画像を選択し、[ツール] メニューから **[サイズの一括変更]** を選択します。
2. [サイズの一括変更] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します：
 - **元の比率**：元の比率を使って、画像のサイズを変更します。
 - **ピクセル**：指定されたピクセル サイズを使って、画像のサイズを変更します。
 - **実寸／印刷サイズ**：指定された印刷サイズに、画像のサイズを変更します。
3. 下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[オプション]** をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 選択した項目に満足したら、**[サイズ変更を開始する]** をクリックします。



[編集モード] にあるサイズ変更フィルタを使用して、画像のサイズを変更することもできます。

サイズ変更 オプション

元の比率	パーセント	画像のサイズ変更方法を指定します。画像を縮小するには 100 以下の数値を入力し、拡大するには 100 以上の数値を入力します。
	適用部分	サイズ変更を適用する部分（高さ、幅、または両方）を指定します。
ピクセル	幅	画像の新しい幅をピクセルで指定します。
	高さ	画像の新しい高さをピクセルで指定します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： ● 拡大のみ：指定した幅と高さより画像が小さい場合のみ画像を拡大します。 ● 縮小のみ：指定した幅と高さより画像が大きい場合のみ画像を縮小し

ます。

- **拡大または縮小:** すべての画像を指定された高さと幅にサイズを変更します。

実寸／印刷
サイズ

オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 ピクセルのサイズ変更オプションと適用後 をご参照ください。
単位	使用する単位を指定します。
幅	画像の新しい幅を指定します。
高さ	画像の新しい高さを指定します。
解像度	画像の印刷解像度を指定します。
オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更オプションと適用後] をご参照ください。

複数の画像の露出を調整する

ACDSee の「画像の露出調整ウィザード」では、複数の画像の色を明るく、または暗くすることができます。画像の変更を適用する前に各画像のプレビューを確認したり、1 つの画像に行った調整を選択したすべての画像に適用することができます。

また、現在のオプションを [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像の露出を調整するには:

1. ブラウザで、1 つ以上の画像を選択し、[ツール] メニューから **[露出の一括調整]** を選択します。
2. [露出の一括調整] ダイアログ ボックスで、次のいずれかの操作を行ってください:
 - 画像の露出を自動的に調整するには、**[自動レベル]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の明るさ、コントラスト、ガンマを調整するには、**[露出]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の明るさやコントラストを正確に調整するには、**[レベル調整]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の RGB チャンネルを正確に調整するには、**[トーンカーブ]** タブをクリックしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオンにして、現在の設定を選択されているすべての画像に適用します。

- [この設定をすべての選択画像に適用する] チェックボックスをオフにして、[次の画像] をクリックし次の画像に移り、調整したい各画像に対して手順 2 を繰り返します。

4. [オプション] をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. [すべての画像をフィルタする] をクリックします。



編集モードでも画像の露出とカラーレベルを調整することができます。

複数画像のカラープロファイルを変更する

[カラープロファイルの一括変換] ツールを使用して、複数画像のカラープロファイルを変更することができます。



現時点で、ACDSee Pro は CMYK カラープロファイルをサポートしていません。

画像に使用されているカラープロファイルを変更するには：

1. ブラウザで、1 つ以上のファイルを選択します。
2. [ツール] メニューから [ICC プロファイルの一括変換] をクリックします。
3. [カラープロファイルの変換元] 一覧から、現在画像と関連付けられているカラープロファイルを選択します。例えば、デジタルカメラのカラープロファイルを、より一般的な sRGB カラープロファイルに変換する場合に、[プロファイルの一括変換] を使用します。[JPEG と TIFF 画像にカラープロファイルがある場合その情報を使用する] を選択すると、画像に埋め込まれているカラープロファイルから変換を行います。
4. [カラープロファイルの変換先] 一覧から、画像と関連付けたいカラープロファイルを選択します。
5. [レンダリングの方法] 一覧から、レンダリングを選択します。最も一般的に使用されているレンダリングは、[知覚] です。カラープロファイルのなかには、レンダリングを無視するものもあるため、選択されたプロファイルによって結果が異なります。
6. [ACDSee オプション] をクリックして、画像ファイルを上書きするか(オリジナルのカラープロファイルは削除されます)、新規のカラーファイルと関連付けられた新規ファイルとして保存するかを指定します。また、JPEG 圧縮のオプションを設定することも可能です。
7. [開始] ボタンをクリックします。
8. [完了] をクリックします。

一括処理を使用する

[一括処理] を使用して、複数の画像に複数の編集作業をまとめて行うことができます。また、現在のオプションを [プリセット](#) として保存することも可能です。各編集ツールの詳細オプションにつきましては、以下のリンクをご覧ください。

一括処理 を使用するには:

1. ブラウザで、編集したい画像を選択した後 **【ツール】** メニューから **【一括処理】** をクリックします。
[一括処理] ウィザードが表示されます。
2. **【画像の一括処理オプション】** ページで、**【処理プロファイル】** タブをクリックし、画像に適用する編集の種類を選択します。
3. 各編集名の上、例えば **【回転】** をクリックすると、その編集用に設定できるオプションが表示されます。

変更をプレビュー表示するには:

編集オプションの画像プレビューを **【プレビュー】** 領域で確認することができます。

1. **【一括処理】** ウィザードでは、**【適用前】** と **【適用後】** タブをクリック、あるいは **【プレビュー】** アイコンをクリック & ホールドして**【適用前】** と **【適用後】** タブを切り替え、選択されたオプションの適用前と適用後を比較します。
2. **【操作】** 一覧の上下にある**【オリジナル画像】** あるいは **【最終画像】** をクリックして、オリジナル画像とすべての編集オプションが適用された後の画像を比較します。
3. 選択された編集オプションの各画像での結果を確認するには、**【画像一覧】** タブをクリックし、画像を選択して **【プレビュー】** 領域に表示させます。

ズーム機能を使用するには:

1. **【ズーム】** スライダを左右にドラッグして、画像全体を表示したり、特定部分を拡大表示します。
2. **【画面に合わせて表示】** ボタンをクリックして **【プレビュー】** 領域に合わせて画像を表示します。
3. **【実寸表示】** ボタンをクリックして **【プレビュー】** 領域に画像を実際のサイズで表示します。**【実寸表示】** ボタンをクリックする場合には、スクロール バーを使って画像を表示させる必要があります。

画像を追加または削除するには:

1. ある画像の編集をする必要がなくなった場合には、**【画像一覧】** タブをクリックし、該当の画像を選択してから **【削除】** をクリックします。
2. 編集する画像を追加したい場合には、**【画像一覧】** タブをクリックしてから、**【追加】** をクリックします。
3. 追加したい画像が含まれているフォルダを参照します。
4. **【選択可能な項目】** 領域から、該当の画像を選択した後 **【追加】** をクリックします。
5. **【OK】** をクリックします。
6. 選択された画像と編集オプションに満足したら、**【次へ】** をクリックします。

出力オプションの設定と処理を完了するには：

1. **[出力オプション]** ページでは、編集された画像の保存先、名前変更の有無やその他のオプションを設定します。出力オプションの詳細は以下をご覧ください：
2. 出力オプションの設定に満足したら、**[次へ]** をクリックします。
3. **[一括処理の状況]** ページでは、進行状況バーに作業が現在の画像と編集の状況が表示されます。
4. **[一括処理の完了]** ページでは、次のオプションを設定することができます：
5. **[概要]** 領域から **[ログの表示]** をクリックして、処理中に発生した警告やエラーを表示します。
6. **[Explorer で参照する]** をクリックすると、Windows Explorer が開かれ、編集された画像を表示することができます。
7. **[プリセットの保存]** をクリックして編集オプションのすべてを保存すれば、次回以降プリセットとして使用することができます。
8. 編集された画像をファイル一覧ペインで表示したい場合、**[ACDSee Pro で出力フォルダを参照する]** を選択します。
9. **[完了]** をクリックします。

編集オプション

[一括処理] の各ツールにおけるオプション詳細につきましては、次のヘルプ トピックをご覧ください：

- [回転](#)
- [トリミング](#)
- [サイズ変更](#)
- [カラー](#)
- [チャンネル ミキサー \(グレースケール\)](#)
- [セピア](#)
- [露出](#)
- [シャドウ/ハイライト](#)
- [ノイズ除去](#)
- [シャープネス](#)
- [ヴィネット効果](#)
- [テキストのオーバーレイ](#)
- [透かし](#)

出力オプション

保存先	ソース フォルダ内	編集後の画像を、オリジナル画像と同じフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。
	フォルダの指定	編集後の画像を特定のフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。
	新規のサブフォルダを作成する：	[フォルダの指定] ドロップダウンから選択されたフォルダ内に、新規のサブフォルダを作成します。 [新規のサブフォルダを作成する] テキストボックスに、新規フォルダの名前を入力します。

ファイル名	オリジナルのファイル名を保持する	編集後の画像を、オリジナル画像と同じファイル名で保存したい場合に、このオプションを選択します。
	次の名前変更テンプレートを使用する	編集後の画像に、テンプレートを使って名前を変更したい場合に、このオプションを選択します。
画像ファイルフォーマット	ファイル フォーマット	編集後の画像のファイル フォーマットを変更したい場合に、ファイル フォーマットを選択します。
	ピクセル フォーマット	編集後の画像の BPP (Bit Per Pixel) 値と、画像のカラーまたはグレースケールを指定するためのオプションです。編集後の画像を、オリジナル画像と同じピクセル フォーマット (あるいは最も近いフォーマット) にしたい場合には、 [自動] を選択します。また、カラーの画像をグレースケールに変換する、あるいは他のソフトウェアで対応できるピクセル フォーマットに変換する場合も、このオプションを使用します。
メタデータ	メタデータを保持する	オリジナル画像にメタデータが含まれていて、編集後の画像にも同一のメタデータを含ませたい場合に、このオプションを選択します。
	埋め込みオーディオを保持する	オリジナル画像にオーディオが埋め込まれていて、編集後の画像にも同一のオーディオを埋め込ませたい場合に、このオプションを選択します。
	カラープロファイルを保持する	オリジナル画像にカラープロファイルが含まれていて、編集後の画像にも同一のカラープロファイルを含ませたい場合に、このオプションを選択します。
オプション	最終更新日を保持する	オリジナル画像に最終更新日のデータが含まれていて、編集後の画像にも同一の最終更新日を含ませたい場合に、このオプションを選択します。
	データベース情報をコピーする	オリジナル画像のデータベース情報を、編集語の画像にもコピーしたい場合に、このオプションを選択します。
	出力ファイルが存在する際の処理法:	このオプションを使用して、出力フォルダに編集後の画像と同名のファイルが存在する場合の処理方法を指定します: ● 確認する: 画像によって異なるオプション、例えばスキップする、名前を変更する、上書きするなどを選択したい場合に、このオプションを選択します。 ● スキップ: その画像の処理をキャンセルし、次の画像の編集を行う場合に、このオプションを選択します。 ● 置換: 保存先の画像を、編集後の画像で置き換える場合に、このオプションを選択します。 ● 名前の変更: 編集後の画像の名前を変更したい場合に、このオプションを選択します。

一括処理：回転オプション

[回転] セクションのオプションを使用して、プリセットの角度、あるいはカスタムの角度で画像を回転することができます。

オプション

回転なし	このオプションは既定として設定されていますので、ユーザーが回転オプションを選択するまで画像は回転されません。
180	画像を 180 度回転させます。
左 90 度	画像を左に 90 度回転します。
右 90 度	画像を右に 90 度回転します。
カスタム回転	このオプションを選択してスピンボックスにカスタムの角度を入力するか、希望する角度に画像が回転されるまで矢印をクリック & ドラッグします。
背景色	選択された色が、回転された画像の背景に表示されます。
縦横の基本線として使うための線を画像上に描いてください。	[上下] または [左右] ボタンをクリックし、マウスポインタを使って縦横の基本線を画像上に描きます。
自動トリミング	カスタム角度で画像を回転する場合、[自動トリミング] を選択します。回転後の画像を、最も大きな長方形にトリミングします。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理：トリミング オプション

[トリミング] セクションのオプションを使用して、トリミング領域のサイズや方向を指定することができます。

オプション

トリミングの縦横比	トリミング領域のサイズ、あるいは縦横比を選択します。[カスタム] を選択して、カスタムのトリミング領域を指定します。
方向	トリミング領域の方向を選択します： ● 自動：オリジナル画像の方向に基づいて、トリミング領域の方向を指定します。例えば、オリジナル画像の方向が横になっている場合、トリミング領域も横に設定されます。 ● 横：トリミング領域の方向に横を使用します。 ● 縦：トリミング領域の方向に縦を使用します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理: サイズ変更 オプション

[サイズ変更] セクションのオプションを使用して、画像のサイズを変更することができます。

オプション

サイズの変更方法	メガピクセル	オリジナルの縦横比を保持しながら、特定のメガピクセル数に画像を拡大/縮小する場合に、このオプションを使用します。例えば 6 メガピクセルで縦横比が 3000 X 2000 の画像を 1.5 メガピクセルに設定すると、画像のサイズは 1500 X 1000 に縮小されます。 ドロップダウンには、プリセットのメガピクセル サイズの一覧が表示されます。別の方法として、[メガピクセル] スピンボックスに値を入力することもできます。[縮小/拡大] ドロップダウンでは、画像のサイズ変更方法を指定します: ● 縮小のみ: 画像のサイズを縮小します。 ● 拡大のみ: 画像のサイズを拡大します。 ● 拡大または縮小: 画像のサイズを拡大、または縮小します。
	パーセント	オリジナル画像の割合でサイズを変更する場合に、このオプションを選択します。画像を縮小したい場合には 100 よりも小さい値を、拡大したい場合には 100 よりも大きな値を入力します。 [パーセント]、[ピクセルの寸法]、[印刷の寸法] オプションを選択した場合に設定できる [調整方法] では、サイズ変更後の調整方法を指定します: ● オリジナルの縦横比を保持して合わせる: オリジナル画像の縦横比を保持する場合に、このオプションを選択します。例えば、オリジナル画像の縦横比が 4:3 の場合には、サイズ変更後の縦横比も 4:3 のままになります。
	ピクセルの寸法	ピクセル単位で、特定の幅や高さに画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。
	印刷の寸法	特定の印刷の寸法、例えば写真の印刷サイズに合わせて画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。ドロップダウンには、プリセットの印刷サイズの一覧が表示されます。別の方法として、特定の高さ、幅、解像度を入力することも可能です。 [縮小/拡大] ドロップダウンでは、画像のサイズ変更方法を指定します: ● 縮小のみ: 画像のサイズを縮小します。 ● 拡大のみ: 画像のサイズを拡大します。 ● 拡大または縮小: 画像のサイズを拡大、または縮小します。 ● 拡大して合わせる: 指定の幅や高さに画像を拡大したい場合に、このオプションを選択します。 ● バーを追加して合わせる: サイズ変更後の画像が指定サイズよりも小さい場合に、このオプションを選択します。画像と指定サイズ間の余白を埋めるためのバーの色は、指定することができます。

サンプル変更方式

このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式を指定します：

- **Box**：画像のサイズを変更した際、タイリング または ジャギーが目立ちがちになります。
- **Triangle**：画像の拡大と縮小に適していますが、シャープなラインが表示される場合があります。
- **Bicubic**：写真のような画像、複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。
- **Bell**：画像をスムーズにします。
- **B-spline**：画像をスムーズにしますが、ぼかし効果が強くなる場合もあります。
- **Lanczos**：最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然な結果に仕上がることもあります。
- **Mitchell**：写真のような細かい画像を拡大する際、スムーズに仕上げます。[Lanczos] フィルタの不自然な仕上がり和其他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。
- **ClearIQZ**：Bicubic と Lanczos よりも処理時間がかかりますが、ベストな仕上がりになります。

リセット

すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理：カラーキャスト オプション

[カラーキャスト] タブのオプションを使用して、画像から不要な色合いを削除することができます。[彩度] タブを使用して、複数画像の彩度を変更することも可能です。

カラーキャスト オプションを使用するには：

1. 画像で白またはグレーであるべき部分をクリックします。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
2. 次の [ホワイトポイント] 補正のカラーキャスト オプションから 1 つのオプションを選択します：
 - **カスタム**：ユーザーがクリックした、画像の領域を色温度で表示します。
 - **晴れ**：晴れの日の正午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。
 - **曇り**：少し曇っている日の値に近い 6500 K に色温度を調整します。
 - **影**：雲が多い曇りの日の値に近い 7500 K に色温度を調整します。
 - **タングステン**：一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。
 - **蛍光灯**：蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。
 - **フラッシュ**：カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。
3. [強度] スライダをドラッグして、削除するカラーキャストの量を指定します。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
4. [温度] スライダをドラッグして、特定の色温度を指定します。
5. [濃淡] スライダを左（緑を強く）あるいは右（マゼンタを強く）にドラッグして、画像撮影時に使用した設定に近くなるよう調整します。
6. [リセット] をクリックして、すべてのオプションを既定値にリセットします。

彩度を増やすまたは減らすには:

1. [彩度] スライダを左または右にドラッグすると、画像の色相 (カラー) の強度を増減することができます。
2. すべてのカラーを削除してグレースケールの画像を作成するには、スライダを左端にドラッグします。

一括処理: カラーミキサー オプション

一括処理の [チャンネルミキサー] を使用して、複数の画像をリッチなグレースケールに仕上げることができます。レッド、グリーン、ブルーチャンネルの輝度、および全体の明るさを調整するため、画像の異なる領域やアスペクトを強調するだけでなく、画像のムードやトーンを変更することも可能です。

各スライダの上にマウスを移動すると、スライダの下に位置する小さなプレビューウィンドウが変わるのを確認できます。各チャンネルによって画像のどの部分が変更されるのかを示します。画像における各スライダの効果を確認するために便利です。

グレースケールの画像を作成するには:

1. 編集モードで、編集パネルの [カラー] をクリックします。
2. [チャンネル ミキサー] タブを選択します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - [レッドのパーセント] スライダを左または右にドラッグします。
ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
 - [グリーンのパーセント] スライダを左または右にドラッグします。
ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
 - [ブルーのパーセント] スライダを左または右にドラッグします。
ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
 - [輝度のパーセント] スライダを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。
4. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

一括処理：セピア

[一括処理] を使用して、複数の画像をまとめてセピアに仕上げることができます。

複数の画像をセピアに変更するには：

1. [処理プロファイル] の [セピア] の横にあるチェックボックスをクリックします。
即時に、[プレビュー] にセピアカラーの画像プレビューが表示されます。
2. [画像一覧] タブをクリックし、選択されている他の画像のセピアカラーを確認します。

一括処理：露出オプション

[露出] セクションのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の 4 つのタブから構成されています：自動露出、露出、レベル調整、トーンカーブ

自動露出 オプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動コントラストと自動カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
露出警告を表示する	画像の露出オーバー／アンダー部分をハイライトします。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元の画像レベルに戻します。

露出 オプション

輝度	画像の明るさの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
コントラスト	画像の色と明るさの違いを指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
ガンマ	画像の光のスペクトルの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
露出警告を表示する	画像の露出オーバー／アンダー部分をハイライトします。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元の画像の明るさレベルに戻します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
ミッドポイント	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ~ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	[ブラックポイント] ピッカーをクリックした後、ブラックポイント(シャドウ)として設定したい画像の部分をクリックします。
ミッドポイント ピッカー	[ミッドポイント] ピッカーをクリックした後、ガンマ補正値(ミッドトーン)として設定したい画像の部分をクリックします。
ハイライト ピッカー	[ホワイトポイント] ピッカーをクリックした後、ホワイトポイント(ハイライト)として設定したい画像の部分をクリックします。
自動	次のいずれかのオプションを選択します： ■ コントラストの調整：画像のコントラストを自動分析および自動調整します。 ■ 色とコントラストの調整：各カラーチャンネルを自動分析および調整してから、コントラストを調整します。 ■ 色と明るさの調整：画像の色と明るさを自動分析および調整します。 ■ トレランス：[トレランスの設定] ダイアログ ボックスが開かれます。シャドウ と ハイライト の最大トリム率を指定し、[OK] をクリックします。ACDSee により画像のレベルが自動調整されます。
露出警告を表示する	画像の露出オーバー／アンダー部分をハイライトします。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元の画像レベルに戻します。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示を切り替えます。

ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。
露出警告を表示する	画像の露出オーバー／アンダー部分をハイライトします。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元の画像レベルに戻します。

一括処理 : シャドウ/ハイライト オプション

[シャドウ/ハイライト] セクションのオプションを使用して、画像の他の領域を変更せずに、画像内の明るすぎるまたは暗すぎる領域を調整することができます。変更を行う際、[効果適用後 シャドウ/ハイライト] タブで画像のプレビューを確認したり、[画像一覧] タブをクリックして一覧にある他の画像がどのように変更されるかを表示したりします。

シャドウとハイライトを調整するには:

1. [シャドウ/ハイライト] の自動設定を使用するには、[各画像に自動設定を適用する] オプションを選択します。
2. [明るくする] または [暗くする] ツールを完全にオフにするには、[明るくする] または [暗くする] チェックボックスからチェックマークを外します。
3. 画像の暗い部分を明るくするには、明るくする [圧縮] スライダを右にドラッグします。
4. 画像の明るい部分を暗くするには、暗くする [圧縮] スライダを右にドラッグします。
5. 調整済みピクセルのカラーレベルをブーストするには、[カラーブースト] スライダを右にドラッグします。
6. [露出警告を表示する] をクリックすると、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。

一括処理 : ノイズ除去 オプション

[ノイズ除去] セクションのオプションを使用して、画像の詳細を保持しながら画像からノイズを除去することができます。

オプション

ノイズ除去	ノイズを除去します。
正方形	正方形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。
X	X 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。
+	+ 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使います。
ハイブリッド	正方形の 3 x 3 ピクセル、X 形の 3 x 3 ピクセルおよび + 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、対角線、縦横線を保持したい場合に使います。[ハイブリッド] を選択すると、以下の追加オプションを指定することができます:

- **度合い**: スライダを左右にドラッグして、ノイズとして認識されるピクセルの範囲を選択します。通常、しきい値を 10 ～ 20 の間に設定します。
- **半径**: スライダを左右にドラッグして、メディア ノイズ除去の領域の大きさを指定します。例えば、[半径] の値を大きくして大きな領域のノイズを除去することができますが、同時に画像の詳細も除去されてしまうため注意が必要です。
- **カラーノイズ補正**: スライダを左右にドラッグして、画像から削除されるカラーバリエーションの量を調整します。例えば、スライダを右にドラッグするとカラーバリエーションの量が減ります。カラーバリエーションの量を減らすと、画像内の実際のカラーバリエーションも減らしてしまう結果になるため、十分注意します。

一括処理: シャープネス オプション

[ノイズ除去] セクションのオプションを使用して、画像の中～高コントラストのエッジを強調して、画像をシャープに仕上げるすることができます。

オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。値が高くなるほどエッジが暗くなります。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えます。
しきい値	シャープにする前に、近隣ピクセル間の明るさの違いを指定します。値が高くなるほど浮き出しが深くなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。
しきい値 のフェザリ ング	シャープにされたピクセルと、シャープにされなかったピクセル間のトランジションをスムーズにします。このオプションを選択すると、シャープにされたピクセルと、シャープにされなかったピクセル間に見られがちな線の発生を防止します。

一括処理: ヴィネット オプション

[ヴィネット] セクションのオプションを使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できる他、ボーダーの外観をコントロールすることができます。

オプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリア ゾーン	焦点の周りにあるクリア ゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリア ゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリア ゾーンのサイズが大きくなります。
トランジション ゾーン	クリア ゾーンとフレーム間のトランジション ゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなり、スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広がります。
形	フレームの形を指定します： ● 丸：丸みを帯びたフレームに仕上がります。 ● 四角：四角形のフレームに仕上がります。
輪郭を表示する	クリア ゾーンの外枠とフレームの内枠を示す輪郭を表示したい場合に、この [輪郭を表示する] オプションを選択します。
フレーム	焦点の周りにあるフレームに追加する、特殊効果を指定します： ● カラー：フレーム領域の人物やオブジェクトに色を適用します。 ● 彩度：フレーム領域の人物やオブジェクトから、色を取り除きます。 ● ぼかし：フレーム領域の人物やオブジェクトをぼかします。 ● 雲：フレーム領域の人物やオブジェクトの上に雲を表示します。 ● エッジ：フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、蛍光色でエッジ検出します。 ● 光線ぼかし：焦点からフレームに向かって、光線が表示されます。 ● 放射状ぼかし：フレーム領域の人物やオブジェクトを回転/引き伸ばします。 ● ズームぼかし：フレーム領域の人物やオブジェクトをぼかします。 ● クレヨン画：フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、クレヨンで書いたように検出します。 ● ペンキ画：フレーム領域の人物やオブジェクトが、ペンキで描かれたような効果を加えます。 ● モザイク：画像のピクセルサイズを大きくして、画像をぼかします。 ● アンティーク：年季が入ったような画像に仕上げます。 ● ネオン効果：画像内の人物やオブジェクトの線や詳細を、色の付いた線で検出します。ネオンサインのようにハイライト表示されます。 ● 波紋：小石を水に落とした時に見られるような同心の円で、画像を分割したような効果を加えます。
フィルタの設定	[設定] 領域に表示される設定は、選択される各フレームの効果によって変わります。例えば、[フレーム] 領域から [カラー] を選択すると、[フィルタの設定] 領域にカラーピッカーが表示され、[フレーム] 領域から [ぼかし] を選択すると、[フィルタの設定] 領域にスライダが表示されます。

一括処理：テキストのオーバーレイ オプション

[テキストのオーバーレイ] セクションのオプションを使用して、画像に書式付きテキストを追加することができます。特殊効果を適用して、テキストをアートの的に仕上げることも可能です。不透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。

テキスト オプション

テキスト		与えられた領域にテキストを入力した後、太字、斜体、下線などのフォント スタイルを指定します。[テキスト] 領域の右にあるドロップダウンをクリックすると、登録、著作権、商標記号あるいは画像メタデータを挿入することができます。 (残念ながら、日本語版ではこれらの記号を挿入することはできません。)
	サイズ	スライダをドラッグしてテキストのサイズを指定します。
	カラー	テキストの色を指定します。
	不透明度	スライダをドラッグして、テキストの透明度を調整します。
	配置	四角をクリックして、テキストの配置を指定します。
テキスト ボックス	回転	テキストを回転するか指定します。
	左	テキストボックスの配置を、各画像の左端に設定します。
	右	テキストボックスの配置を、各画像の右端に設定します。
	上	テキストボックスの配置を、各画像の上に設定します。
	下	テキストボックスの配置を、各画像の下に設定します。
	ボーダー	ボーダーの色を選択し、スライダをドラッグしてボーダーの透明度を指定します。
	フィル	テキストボックス内を塗りつぶす色を選択し、スライダをドラッグしてフィルの透明度を指定します。

Box 効果 オプション

特殊効果	ボックスに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、ボックスの外観を調整します。	
斜角縁	角度	傾斜効果を作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。

ドロップシャドウ	明るさ	傾斜シャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。値が低くなるほどボックスのシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
	斜角縁	各ボックスのエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強度	ボックスの最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、ボックスの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
	角度	ドロップシャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ボックスの影を調整することができます。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	距離	ドロップシャドウとボックス間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、ボックスがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、ボックス枠のサイズを大きくします。
ブレンドモード	[ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。	

テキスト効果オプション

特殊効果	テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。	
斜角縁	角度	傾斜効果を作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。
	明るさ	傾斜シャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。

ドロップシャドウ	斜角縁	各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強度	テキスト上の最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
	角度	ドロップシャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、テキストの影を調整することができます。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	距離	ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。
ブレンドモード	[ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。	

一括処理: 透かし オプション

[透かし] セクションのオプションを使用して、画像に透かしを追加することができます。透かしは、画像上のあらゆる場所に移動することができる他、透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。

透かし オプションを設定するには:

1. [参照] をクリックして、透かしとして使用する画像を選択し、[開く] をクリックします。既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。
2. 透かしをクリック & ドラッグして、画像上の希望する位置に移動します。あるいは、[場所 & ブレンドモード] タブをクリックし、オプションを使って透かしの位置を変更することができます。
3. マーキーのハンドル部分をドラッグして、透かしのサイズを変更します。透かしの縦横比を変更せずにサイズ変更したい場合には、[縦横比を保持してサイズ変更する] を選択します。
4. 透かしにアルファ チャンネルが存在し、それを適用したい場合には、[アルファ チャンネルを適用する] を選択します。(TIF、PNG、ICO の透かしファイルのみ、アルファ チャンネルを含むことができます。)
5. 透かしの色を透明にしたい場合には、[透過を使用する] を選択します。既定の色は白です。RGB の値を入力することもできますが、RGB の値がわからない場合には、[編集] パネルのプレビューにある透かし上にマウスを動かし、透明にしたい色をクリックします。
6. [場所 & ブレンドモード] タブをクリックします。

7. **【ブレンドモード】** ドロップダウンからオプションを選択して、画像と透かしをどのようにブレンドするかを指定します。
8. **【不透明度】** スライダーをドラッグして、透かしの透明度を指定します。

RAW 画像処理

RAW 画像処理について

RAW 画像ファイルは、カメラのネガティブに似ています。画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが収集した全データが含まれているという点で、ネガフィルムに似ています。RAW 画像の処理を行わずに画像を表示すると、真っ暗な画像として表示されます。そのため、画像として表示させるには RAW 画像ファイルを処理する必要があります。

RAW 処理ツールを使って、RAW 画像ファイルの露出、カラー、シャープネスを設定することができます。各 RAW ファイル特有の設定を選択/保存したり、一般的な設定をプリセットとして選択/保存することができます。一般的な設定をプリセットとして保存すると、[RAW 一括処理] ツールを使って複数の RAW ファイル処理に適用することができます。

RAW 処理ツールを使用して、オリジナルの RAW ファイルを永久的に変更することはできません。RAW ファイルは RAW 処理後もオリジナルの設定を変更しないため、カメラで撮影した全データが保存されたままになります。特定の RAW 画像用に選択した RAW 処理設定はデータベースに保存され、その画像と関連付けられることになります。そのため、画像に対して設定を何度も適用することができますが、処理時間がかかるという難点も伴ってしまいます。

RAW ファイルへの変更を保存したい場合には、別のファイル形式、例えば JPEG や TIFF ファイルなどのフォーマットを使って保存する必要があります。RAW 処理後に行った編集作業などを保存したい場合にも、同じことが言えます。処理済のファイルを同時に複数のフォーマットで保存したい場合は、複数のフォーマットオプションを使用します。

関連トピック

- [サポートされている RAW フォーマット](#)
- [RAW 画像を表示する](#)
- [RAW 画像を一括処理する](#)
- [RAW 画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする](#)

RAW 画像を処理する

ACDSee Pro では、RAW ファイルは予め処理されてからブラウザとビューアに表示されます。RAW 処理中、カラーレベルとトーンカーブは、ブラウザとビューアで表示するために最も適切な露出度に調整されます。RAW 処理ツールを使用して、露出を向上させたり、カラーとシャープネスを調整したり、ノイズを除去することができます。

RAW 画像を処理するには：

1. 次のいずれかを実行します：
 - ブラウザで、1 つ以上の画像を選択し、[ツール] メニューから **[RAW 処理]** を選択します。
 - ビューアで、**[修正]** メニューから **[RAW 処理]** を選択します。
2. **[サムネイル]** セクションから、処理の対象となる画像を選択します。
3. **[RAW 処理]** ツールから、[露出](#)、[イコライザ](#)、[カラー](#)、[詳細](#)、[トリミング/回転](#) の設定を選択します。

4. 露出、イコライザ、カラー、詳細、トリミング/回転 の設定を選択する際には次のボタンをクリックすることができます:

- **[露出警告]** 、またはキーボードの <E> キーを押すと、画像の露出オーバーまたは露出アンダー領域がハイライトで表示されます。
- **[リセット]** をクリックすると、選択された設定がオリジナル画像の設定に戻されます。すべてのタブ、あるいは各タブ (露出、イコライザ、カラー、詳細、トリミング/回転) が対象となります。
- **[エクスポート]** をクリックして、別のファイルフォーマットや解像度として保存します。
- **[未処理の表示]** 、またはキーボードの <Z> キーを押す、あるいは **[未処理]** タブを選択すると、RAW 処理のプレビューとオリジナルの画像を比較することができます。
- **[元に戻す]** は現在開かれているタブ (露出、イコライザ、カラー、詳細、トリミング/回転) で行われたすべての変更を破棄し、最後に保存された状態に戻ります。
- **[やり直し]** は、**[元に戻す]** をクリックする前に選択されたオプションに戻ります。
- **[ヘルプ]** は、そのウィンドウのヘルプトピックを開きます。

5. 次のいずれかを実行します:

- **[名前を付けて保存]** をクリックし、RAW ファイルから画像を作成し、別のファイル名とフォーマットで保存します。
- **[完了]** をクリックし、RAW 処理をデータベースに保存します。(画像は作成されませんのでご注意ください。) 後で同一の RAW 画像を開く際、これらの設定が再適用されます。
- **[キャンセル]** をクリックし、RAW 処理の設定を破棄してブラウザまたはビューアに戻ります。

RAW 画像をトリミングするには:

1. 画像上をマウスでクリック & ドラッグします。
2. トリミング領域のハンドルをドラッグして、トリミング領域を調整します。

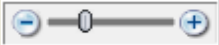
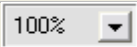
画像をフリーハンドで回転するには、トリミング領域の外をクリックし、左、右、上または下にドラッグします。

現在の設定をその他の画像にコピーして適用するには:

1. [サムネイル] セクションから、設定を含んでいる画像を右クリックし、**[RAW 設定のコピー]** をクリックします。
2. コピーしたい設定の横にあるチェックボックスをクリックします。
3. 設定のコピー先となる画像を右クリックし、**[RAW 設定の貼り付け]** をクリックします。

ズーム コントロールとヒストグラム

画像を編集する際、編集モードの右上にある [ズーム コントロール] を調整して画像のズームを調整したり、ヒストグラムのプレビューを表示または非表示に設定することができます。

	ヒストグラム	現在の画像のヒストグラム プレビューを表示します。ヒストグラム プレビューは、画像に見られるレッド、グリーン、ブルーのカラーチャンネルの輝度を表しています。1 つのカラーチャンネルのみ、またはコンビネーションでプレビューを表示することができます。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。
	実寸表示	現行の画像を原寸で表示します。
	画面に合わせて表示	編集モードの領域に合わせて画像を縮小します。
	ナビゲータ	現行画像のサムネイル プレビューを表示します。サムネイルをクリック／ドラッグして画像の領域を選択します。この機能は、画像が拡大されている場合に便利です。
	ズーム スライダー	右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
	ズーム ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストから、希望のズームを選択します。

RAW 処理 オプション

[前処理の露出] オプションは、RAW 処理ツールで重要な役目を果たしています。前処理中に適用された露出オプションを使用するかどうかをコントロールします。詳細につきましては、以下の [露出](#) オプションを参照ください。



スライダー上にマウスを置いて、マウスホイールを 1 クリック前後に移動することで、RAW 処理ツールのあらゆるスライダーを微調整することができます。

露出 オプション



露出の調整中は、[露出警告]  および [ヒストグラム]  プレビューを開くと大変便利です。

露出 =+0.00 eV	画像に露出補正を適用します。eV は、露出の 1 補正值です。
ハイライトの回復	スライダーを右にドラッグしてハイライトの詳細を暗く、また小さい領域に圧縮します。そのため、露出オーバーのハイライト詳細が回復されます。シャドウとミッドポイントは相対的に変更されないため、最大 2 eV のハイライト詳細を回復することができます。

	画像のメイン対象の露出は良い半面、ハイライトの詳細をより浮き立たせたい場合に、[ハイライトの回復] スライダを使用します。
コントラスト	スライダをドラッグして、画像のミッドポイントを調整します。
ライトの塗りつぶし	スライダを右にドラッグして、ハイライトの詳細をクリップせずに画像を明るくします。シャドウトーンの範囲を拡大し、ハイライトトーンの範囲を圧縮した形で、トーンカーブが適用されます。主に画像の暗い領域で明るさが多くなり、主に画像の明るい部分でコントラストが減ることになります。
状況に応じた明るさ	スライダを右に動かすと、状況に応じて画像が明るくなります。画像の暗い領域は、画像の明るい領域よりも明るさが増します。そのため、コントラスト、彩度、ハイライトの詳細が失われるのを最小限に抑えながら、画像を明るく調整することができます。
状況に応じた暗さ	スライダを右に動かすと、状況に応じて画像が暗くなります。画像の明るい領域は、画像の暗い領域よりも暗さが増します。そのため、コントラスト、彩度、ハイライトの詳細が失われるのを最小限に抑えながら、画像を暗く調整することができます。
チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。 ヒストグラムのカーブをドラッグして、あらゆるチャンネルを手動で調整することができます。カーブ上の任意の場所をクリックしてハンドルを表示し、カーブに沿ってスライドします。調整前のオリジナル カーブは黄色の線で表示されます。
露出の前処理	前処理中に適用されたレベルとカーブを元に、それらのレベルとカーブを調整したい場合、このオプションを選択した後に [リセット] をクリックします。前処理に適用されたレベルとカーブを使用せず、全く新しいレベルとカーブを選択したい場合には、このオプションをクリアします。露出オプションの調整には時間がかかります。既定として [露出の前処理] オプションが選択されていますので、調整を行う前のスタート地点としてこれらのレベルとカーブを使用するようお勧めします。 (このオプションは詳しい知識のあるユーザー用に設定されています。)
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、カラー値 ゼロ (ブラック) となる値を指定します。このレベルよりも低いカラー値はゼロにクリップされるため、画像全体が暗く同時にコントラストが激しくなります。
ミッドポイント	画像のミッドポイントを指定します。ガンマ カーブが適用されるため、新規ミッドポイントの上下にあるコントラストと輝度の領域が、相対的に増減します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ~ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ~ 255 の値を入力して、カラー値 255 (ホワイト) となる値を指定します。このレベルよりも低いカラー値は 255 にクリッ

	プされるため、画像全体が明るく同時にコントラストが激しくなります。
クリップ %	ブラックポイントとホワイトポイントの補正によって失われる画像詳細の割合を示します。このパーセントを調整すると、対応するブラックまたはホワイトポイントが変更されます。
ブラックポイント ピッカー 	[ブラックポイント] ピッカーをクリックした後、ブラックポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ミッドポイント ピッカー 	[ミッドポイント] ピッカーをクリックした後、ミッドポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ホワイトポイント ピッカー 	[ホワイトポイント] ピッカーをクリックした後、ホワイトポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
自動	次のいずれかのオプションを選択します： ● コントラストの調整：ルミナンス チャンネルで画像のブラックおよびホワイトポイントを自動設定します。 ● 色とコントラストの調整：各カラーチャンネル用にブラックおよびホワイトポイントを自動分析し設定します。 ● 色と明るさの調整：画像の色と明るさを自動分析および調整します。 ● トレランス：選択されたブラックおよびホワイトポイントで、クリップされるべき画像のピクセルの割合を設定することができる [トレランスの設定] ダイアログを開きます。



[露出] タブのピッカーのいずれかをクリックした後、画像上にマウスを移動すると、カーソルがスポイトになります。ステータスバーを見ると、スポイトを動かすたびに 2 つの R G B の値が変わるのを確認することができます。2 セットの R G B 値は、カーソルの下にあるピクセル値を表しています。R G B 値はソース (未処理) のピクセル値と、スクリーン上でカーソルの置かれているピクセル値を表しています。

イコライザ オプション

明るさのスライダ (上に位置するスライダ)	スライダをドラッグして、各トーンバンドの輝度を増加します。左手にあるスライダは暗いトーンを、右手にあるスライダは明るいトーンを表しています。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある輝度の量のみが変更します。 ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。
暗さのスライダ (下に位置するスライダ)	スライダをドラッグして、各トーンバンドの暗さを増加します。左手にあるスライダは暗いトーンを、右手にあるスライダは明るいトーンを表しています。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある暗さの量のみが変更します。

ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。

オレンジのグラフ	オレンジのグラフは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示します。水平軸の上にある部分は明るさを、水平軸の下にある部分は暗さを表しています。同一のトーンバンドで明るさと暗さが変更された場合、コントラストが激しくなります。つまり、グラフの上部の明るい領域と、グラフの下部の暗い領域は、そのトーンレンジのコントラストが相対的に増えていることを示します。
トーンバンド数	ドロップダウン リストをクリックして、調整するトーンバンドの数を変更します。

カラー オプション

ホワイトバランス	RAW 画像を撮影する場合、ホワイトバランス用に選択した設定は画像には適用されず、画像のメタデータ内に保存されます。ACDSee Pro 2 が RAW 画像を処理する際、既定設定として、この保存された設定が画像に適用されます。そして、オリジナルの設定に調整を加えることができます。 以下のホワイトバランスの補正オプションから 1 つを選択します： ● カスタム： [色温度] と [ティント] スライダを調整するか、グレーとなるべき画像の領域をクリックして、特定のホワイトバランスを設定します。 ● 晴れ： 晴れの日の正午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。 ● 曇り： 少し曇っている日の値に近い 6500 K に色温度を調整します。 ● 影： 雲が多い曇りの日の値に近い 7500 K に色温度を調整します。 ● タングステン： 一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。 ● 蛍光灯： 蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。 ● フラッシュ： カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。 ● 自動： 画像を分析した後、色温度とティントを自動的に設定します。 ● ショット： 自動的に選択されます。写真の撮影時に使用されたカメラのホワイトバランス設定を適用します。  画像上の中間色 (グレー) をクリックして、カスタム ホワイトバランスを設定することができます。

自動	[自動] ボタンをクリックすると、ホワイトバランスが選択されている画像用に自動補正されます。どのホワイトバランス設定が使用されたかを確認するには、[色温度] と [ティント] の値を見ます。
撮影時 (ホワイトバランス)	クリックして、撮影時に選択されたホワイトバランスの設定を使用します。[撮影時] ボタンをクリックすると、撮影時に使用された設定が表示されます。例：撮影時 (自動) は画像撮影時に自動ホワイトバランスが選択されたことを、撮影時 (晴れ) は画像撮影時に晴れのホワイトバランスが選択されたことを示します。
色温度	[色温度] スライダを左右にドラッグして、色温度を指定します。
ティント	[ティント] スライダを左 (緑を強く) あるいは右 (マゼンタを強く) にドラッグして、画像撮影時

に使用した設定に近くなるよう調整します。

撮影時 (彩度)	クリックして、撮影時に選択された彩度の設定を使用します。[撮影時] ボタンをクリックすると、撮影時に使用された設定が表示されます。例：撮影時（低）は画像撮影時に彩度が低く設定されたことを示します。
彩度	[彩度] スライダを左または右にドラッグすると、画像の色相（カラー）の強度を増やしたり減らすことができます。
色空間を使用する	このオプションを選択した後、ドロップダウンから任意の色空間を選択し、RAW 画像の処理に使用する色空間を指定します。



[カラー] タブをクリックした後、画像上にマウスを移動すると、カーソルがスポイトに変わります。ステータスバーを見ると、スポイトを動かすたびに 2 つの RGB の値が変わるのを確認することができます。2 セットの RGB 値は、カーソルの下にあるピクセル値を表しています。RGB 値はソース（未処理）のピクセル値と、スクリーン上でカーソルの置かれているピクセル値を表しています。

詳細 オプション

シャープネス	撮影時	クリックして、撮影時に選択されたシャープネスの設定を使用します。[撮影時] ボタンをクリックすると、撮影時に使用された設定が表示されます。例：撮影時（標準）は画像撮影時に標準のシャープネスが設定されたことを示します。
	度合い	エッジの各サイドにライトを増減することで、適用するシャープネスの量を指定します。
	半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が荒く仕上がりが、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細かく仕上がります。
	しきい値	エッジ内のピクセルをシャープする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。
ノイズ除去	度合い	画像から削除するノイズの量を指定します。値が高くなるほど削除されるノイズが増えますが、詳細を失う結果になります。
	半径	スライダを左右にドラッグして、ノイズ除去に使用するノイズの粗さを指定します。[半径] の値を増やすとより粗いノイズが削除されますが、同時に詳細を失う結果になります。
	カラーノイズの除去	スライダを左右にドラッグして、カラーチャンネルに適用されるノイズ除去の相対量を増減します。画像に見られるノイズがカラートーンにシフトしている場

合は値を増やし、画像に見られるノイズが輝度のみにシフトしている場合は値を減らします。

トリミング/回転 オプション

回転	回転なし	撮影時の画像方向を保つには、このオプションを選択します。
	180	画像を 180 度回転するには、このオプションを選択します。
	左 90 度	画像を左に 90 度回転するには、このオプションを選択します。
	右 90 度	画像を右に 90 度回転するには、このオプションを選択します。
トリミング	トリミング縦横比の設定	このオプションを選択すると、特定の比率でトリミングを行うことができます。ドロップダウン リストから比率を選択します。
	傾きを直す	スライダをドラッグするか、またはスピンボックスに 0 ～ 450 の値を入力して、トリミング領域を回転し画像をまっすぐに調整します。
	配置グリッドの表示	このオプションを選択して、画像上にグリッドを表示します。
	トリミング領域をクリア	このボタンをクリックして、傾きを直すやトリミングの調整を元に戻します。

関連トピック

- サポートされている RAW フォーマット
- RAW 画像を表示する
- RAW 画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする

RAW 画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする

ACDSee Pro を使用して、RAW 画像を複数の画像フォーマットと解像度にエクスポートすることができます。

RAW 画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートするには:

1. [RAW 処理] で、希望する処理設定を選択します。
2. [エクスポート] をクリックします。
3. 画像のエクスポートに使用するファイル フォーマットを選択します。
4. 各画像ファイル フォーマット用に、最大 3 つの解像度を選択することができます。
5. JPEG フォーマットにエクスポートする場合、[フォーマット設定] をクリックして [JPEG オプション](#) を指定します。

6. **【参照】** ボタンをクリックし、エクスポートされる画像の保存先フォルダを選択します。
7. 次のいずれかを実行します：
 - **【リセット】** をクリックし、すべてのエクスポート設定を既定値に戻します。
 - **【OK】** をクリックして画像をエクスポートします。
 - **【キャンセル】** をクリックし、エクスポート設定を破棄してブラウザまたはビューアに戻ります。

名前の変更オプション

[ファイルの名前変更] セクションでは、エクスポートされる画像のファイル名の始まりに付ける接頭番号を入力することができます。出力先フォルダにエクスポートされる画像と同一のファイル名が存在する場合、どのように対応するかを設定します。

- **【確認する】** を選択すると、ファイルを上書きする前に確認メッセージが表示されます。
- **【名前の変更】** を選択すると、エクスポートされるファイルの名前を変更することができます。
- **【置換え】** を選択すると、ファイルが置換えられます。
- **【スキップ】** を選択すると、名前の重複を避けるためファイルはエクスポートされません。

エクスポートされる画像にカラー プロファイルを埋め込むには：

1. **【カラー プロファイル】** セクションで **【サポートされているフォーマットに ICC プロファイルを埋め込む】** を選択します。
2. ドロップダウン リストからカラー プロファイルを選択します。

RAW 画像を一括処理する

[RAW 処理] ツールでは、露出、色、シャープネスの設定をプリセットとして保存することができます。一般的な設定をプリセットとして保存すると、[RAW 画像の一括処理] ツールを使って複数の RAW ファイル処理に適用することができます。また、[RAW 画像の一括処理] ツールを使用して、複数の RAW ファイルから処理された設定を取り除くことも可能です。

複数の RAW ファイルを一括処理するには：

1. ブラウザで、編集したい画像を選択した後 **【ツール】** メニューから **【RAW 画像の一括処理】** をクリックします。
2. 複数の RAW 画像ファイルにプリセットの設定を適用するには、**【処理オプション】** セクションから、プリセットを選択します。
3. RAW 画像から、既に処理された設定を取り除きたい場合、**【設定処理を元に戻す】** を選択します。
4. RAW ファイル処理後、JPEG、TIFF など別のファイル フォーマットで保存したい場合には、**【処理完了後、別のフォーマットに変換する】** を選択します。**【オプション】** をクリックして [RAW の一括処理オプション](#) ダイアログを開き、フォーマットやその他のオプションを選択します。

5. RAW 処理をバックグラウンドで実行しながら ACDSee で他のタスクを継続したい場合には、**[バックグラウンドで実行する]**を選択します。
6. 次のいずれかを実行します：
 - **[処理]** をクリックして RAW 処理の設定を保存あるいは削除します。
 - **[キャンセル]** をクリックして変更をすべてキャンセルし、ブラウザに戻ります。

関連トピック

- [サポートされている RAW フォーマット](#)
- [RAW 画像を表示する](#)

RAW 画像処理の設定を共有する

RAW 画像処理の設定は、他の ACDSee Pro ユーザーと共有することができます。共有するには、データベースから処理設定を .rpp 拡張子の付いたファイルにエクスポートします。そして、該当の RAW ファイルとその処理設定を、別の ACDSee Pro ユーザーに送信します。受け取ったユーザーは .rpp 設定を ACDSee データベースにインポートします。受け取ったユーザーが ACDSee で該当の RAW ファイルを開くと、送信したユーザーの設定で画像が開かれます。

RAW 画像処理の設定をエクスポートするには：

1. ブラウザで、共有したい RAW ファイルを選択します。(複数選択可)
2. **[データベース]** メニューから **[エクスポート]** を選択し、**[RPP ファイル]** をクリックします。
3. **[概要]** ダイアログに、エクスポート作業の概要が表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。
5. .rpp ファイルは、ソースとなる RAW ファイルと同じフォルダ内に保存されます。RAW ファイルと .rpp ファイルを別の ACDSee Pro ユーザーに送信する際、RAW ファイルと .rpp ファイルを同一ファイル内に格納するように指示してください。

RAW 画像処理の設定をインポートするには：

1. ブラウザで、共有された RAW ファイルを選択します。(複数選択可)
2. **[データベース]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[RPP ファイル]** をクリックします。
3. **[概要]** ダイアログに、インポート作業の概要が表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。
5. 共有された RAW 画像のサムネイルは、処理設定を反映するように更新されます。

RAW 画像処理の設定を削除する

RAW 画像ファイルを一度処理すると、その際使用された設定がデータベース間に保存され、ファイルを開くたびにその設定が適用されます。。1 つまたは複数の RAW 画像ファイルから、RAW 画像処理の設定を削除することができます。

1 つの RAW ファイルから RAW 画像の処理設定を削除するには：

1. ブラウザで、該当の RAW ファイルをダブルクリックします。画像がビューアに表示されます。
2. ビューアで、**[修正]** メニューから **[RAW 処理を元に戻す]** を選択します。
3. これで ACDSSee データベースから、RAW 画像の処理設定が削除されます。
4. ビューアを閉じます。

複数の RAW ファイルから RAW 画像の処理設定を削除するには：

1. ブラウザで、1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[RAW の一括処理]** を選択します。
2. **[設定処理を元に戻す]** を、**[処理オプション]** 領域から選択します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - **[処理]** をクリックして RAW 処理の設定を削除します。
 - **[キャンセル]** をクリックして変更をすべてキャンセルし、ブラウザに戻ります。

RAW 画像を編集する

ACDSSee では、RAW ファイルを選択して **[編集モード]** で開くことができます。

開こうとしている RAW ファイルが以前処理されたことがある場合、ACDSSee はそれらの処理設定を適用して **[編集モード]** に表示します。ユーザーが RAW 処理設定を指定しない場合、ACDSSee は一般設定を使用して **[編集モード]** に表示します。

[編集モード] では、あらゆるツールを使用して RAW ファイルを編集することができます。

[編集の終了] をクリックすると、別のファイル形式、例えば JPEG や TIFF ファイルとして保存するようにメッセージが表示されます。

関連トピック

- [サポートされている RAW フォーマット](#)
- [RAW 画像を表示する](#)
- [RAW 画像処理について](#)

特殊効果フィルタを適用する

特殊効果フィルタについて

[特殊効果] フィルタを使用して、画像にユニークな効果を追加することができます。ACDSee には、平行線模様、ピクセル爆発、ソラリゼーションを始めとする 20 以上の特殊効果フィルタが含まれています。

特殊効果を適用するには:

編集モードで、編集パネルの **[特殊効果]** をクリックします。

各特殊効果についての詳細は、**[ヘルプ]** ボタンをクリックして、ヘルプ ファイルをご参照ください。

関連トピック

- [選択範囲を使用する](#)
- [選択範囲の編集または効果を適用する](#)
- [ツールのプリセットについて](#)
- [元に戻す/やり直し機能を使用する](#)

特殊効果: 曇ガラス

「曇りガラス」効果は、画像をバー状に分割することで、浴室の曇りガラスを通して見たような画像に仕上げることができます。曇りガラス オプションを選択または変更して画像に適用したり、[プリセット](#) として保存して後で使用することも可能です。

曇ガラス 効果を適用するには:

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[曇りガラス]** をダブルクリックします。
2. **[曇りガラス]** ダイアログボックスの **[バーの方向]** 領域で、次のいずれかを選択してバーの方向を指定します:
 - 上下
 - 左右
3. **[バーの幅]** スライダーをドラッグして、バーの幅を設定します。バーの幅が狭いと、画像はより歪んだ仕上がりになります。
4. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して **[曇りガラス]** フィルタを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

特殊効果: ブラインド

「ブラインド」効果は、画像をバー状に分割することで、ベネチアン ブラインドやバーチカル ブラインドのような外観に仕上げるできます。ブラインドのオプションを選択または変更して画像に適用したり、[プリセット](#) として保存し、後でその設定を使用することも可能です。

ブラインド 効果を適用するには：

1. 編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【ブラインド】** をダブルクリックします。
2. **【ブラインド】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して **【ブラインド】** タブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

ブラインド オプション

ブラインド の幅	ブラインドの幅を指定します。1 から 1000 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの幅を調整します。大きな値ほど、ブラインドの幅は広がります。
ブラインド の開閉度	ブラインドの開閉度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの開閉度を調整します。開閉度が高くなるほど、画像は暗くなります。
角度	ブラインドの角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
ブラインド の色	ブラインドの色を指定します。

特殊効果：膨張

「膨張」効果を使用して、画像を縦横に引き伸ばしたり、縮めたりすることができます。また、歪みの半径や位置の現在の設定を **プリセット** として保存し、次の作業で使うことができます。

膨張 効果を適用するには：

1. 編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【膨張】** をダブルクリックします。
2. **【膨張】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して **【膨張】** フィルタを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

膨張 オプション

左右の位置	歪みの中心を左右に移動して設定します。小さい値では画像の左側が歪み、大きい値では画像の右側が歪みます。
上下の位置	歪みの中心を上下に移動して設定します。小さな値では画像の下側が歪み、大きな値では画像の上側が歪みます。

半径	歪みの半径を設定します。小さな値ほど歪みの半径は小さくなり、大きな値ほど歪みの半径は大きくなります。
強度	歪みの強度を設定します。マイナス値では歪みの中心は収縮し、プラス値では歪みの中心は膨張します。
背景色	画像の背景色を指定します。 [画像] チェックボックスをオンにして画像のオリジナルの色を使用するか、カラーピッカーをクリックして別の色を選択します。
膨張の方向	歪みの方向を設定します。以下のオプションからいずれか、または両方のオプションを選択します。 ■ 左右: 歪みが左右に発生します。 ■ 上下: 歪みが上下に発生します。

特殊効果: カラーエッジ

「カラーエッジ」効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細をトレースすることができます。また現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し、次回以降で使用することもできます。

カラーエッジ を適用するには:

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[カラーエッジ]** をダブルクリックします。
2. [カラーエッジ] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して [カラーエッジ] フィルタを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

カラーエッジ オプション

強度	画像のエッジに追加する色の強度を調整します。大きな値ほど、画像に適用される色は濃くなります。
エッジの色	エッジに適用する色を選択します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
ぼかし	画像のエッジをぼかします。 [ぼかしの使用] チェックボックスをオンにし、ぼかしの設定を選択してエッジに適用するぼかしの量を指定します。

特殊効果: 等高線

等高線 効果を使用して、画像の輪郭を抽出することで、漫画のような画像に仕上げるすることができます。等高線のオプションを選択または変更して画像に適用したり、[プリセット](#) として保存し、次回以降で使用することも可能です。

等高線を適用するには：

1. 編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【等高線】**をダブルクリックします。
2. **【等高線】**タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して**【等高線】**フィルタを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

等高線 オプション

丸み度	等高線の線の丸みを調整します。大きな値ほど、線は丸くなります。
線の頻度	等高線の幅を調整します。大きな値ほど、線の間隔が小さくなります。
線の強さ	線の濃さを調整します。大きな値ほど、線は濃くなります。
線の色	線の色を選択します。

特殊効果:クレヨン画

クレヨン画効果を使用して、画像をクレヨンで描いたような外観にすることができます。

クレヨン画効果を使用するには：

編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【クレヨン画】**をダブルクリックします。

特殊効果:クロスハッチ

「クロスハッチ」効果では、画像全体にクロスハッチ効果を加えることができます。

「クロスハッチ」効果を使用するには：

編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【クロスハッチ】**をダブルクリックします。

特殊効果:ペンキ画

ペンキ画 効果を使用すると、ペンキで塗りつけたような画像に仕上げるすることができます。ペンキ画のオプションを選択または変更して画像に適用したり、[プリセット](#)として保存して次回以降に使用することも可能です。

ペンキ画 を適用するには：

1. 編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【ペンキ画】**をダブルクリックします。
2. **【ペンキ画】**タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：

- 変更を適用して [ペンキ画] フィルタを閉じるには、[完了] をクリックします。
- 変更を破棄して閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

ペンキ画 オプション

強度	使用するペンキの量を調整します。
頻度	ペンキを塗りつける回数を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像のオリジナルの色を使用するには、[画像] チェックボックスをオンにし、別の色を使用するにはカラーピッカーをクリックして設定します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。 ペンキ画効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、[ランダム表] をクリックします。

特殊効果:エッジ検出

「エッジ検出」効果では、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(「ソール」効果は [エッジ検出] 効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

「エッジ検出」効果を適用するには:

編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[エッジ検出] をダブルクリックします。

特殊効果:エンボス

エンボス効果を使用して、画像をグレーに変換して、型押しされたような立体感のある画像に上げることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像にエンボスを適用するには:

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[エンボス] をダブルクリックします。
2. [エンボス] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して [エンボス] フィルタを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

エンボス オプション

明るさ	画像の明るさを指定します。小さな値ほど、画像にかかる影の量が多くなるため、画像は暗くなります。大きな値ほど、画像にかかる影の量が少なくなるため、画像は明るくなります。
強さ	画像の凹凸を調整します。大きな値ほど、画像に適用される凹凸は大きくなります。
方向	画像のエッジから伸びる影の方向を指定します。0 の値では影は左に伸び、180 の値では影は右に伸びます。

特殊効果: 柔毛エッジ

柔毛エッジ効果を使用して、人物やオブジェクトの境界線に柔毛や剛毛を追加することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

柔毛エッジ 効果を適用するには:

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[柔毛エッジ]** をダブルクリックします。
2. **[柔毛エッジ]** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して **[柔毛エッジ]** フィルタを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

柔毛エッジ オプション

頻度	画像に使用される柔毛の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される柔毛の量は多くなります。
しきい値	柔毛適用前のエッジのシャープネスを指定します。小さな値ほど、柔毛が追加される領域は広くなります。
柔毛の長さ	柔毛線の長さを調整します。大きな値ほど、柔毛線は長くなります。
相違	[柔毛の方向] で設定した方向に伸びる柔毛の量を調整します。大きな値ほど、柔毛の伸びる方向はランダムになります。
柔毛の方向	柔毛の伸びる一般的な方向を指定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
柔毛の色	柔毛の色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。

ランダム表

ランダム表とは、柔毛線がランダムに伸びることを指します。

柔毛エッジ効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成することで、画像を同じ結果に仕上げるすることができます。

ランダム表を新規作成するには、[ランダム表] をクリックします。

特殊効果：ネオン効果

ネオン効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細にカラーを加えることができます。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。また現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し、次回以降で使用することもできます。

ネオン効果を適用するには：

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[ネオン効果] をダブルクリックします。
2. [ネオン効果] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

ネオン効果 オプション

強度	画像のエッジに追加する色の強度を調整します。大きな値ほど、画像に使用される色の量は多くなります。
カラー	エッジに適用する色を選択します。

特殊効果：グラナイト

グラナイト効果は、岩壁の表面に描かれたように画像を仕上げます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

グラナイト効果を適用するには：

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[グラナイト] をダブルクリックします。
2. [グラナイト] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

グラナイト オプション

光の角度	画像の上を、想像上の光が照らす角度を指定します。矢印をドラッグして角度を調整します。光の角度を変更すると、グラナイト(岩)の上に現れる凸凹のハイライトやシャドウが変化します。

特殊効果：ミラー

ミラー効果を使用して、画像を水平軸または垂直軸に対して反映させることができます。ミラー オプションを選択してミラー効果を画像に適用したり、[プリセット](#) として保存して次回以降に使用することも可能です。

ミラー効果を適用するには：

1. 編集パネルの[特殊効果] をクリックし、[ミラー] をダブルクリックします。
2. [ミラー] タブで、[ミラー方向] 領域から、次のいずれかのオプションを選択し、画像のミラー方向を指定します：
 - 左右
 - 上下
3. [ミラー軸] スライダをドラッグして、画像を反映するミラー軸の位置を調節します。500 の値では、ミラー軸の位置は画像の中心になります。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して [ミラー] フィルタを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

特殊効果：ネガティブ

「ネガティブ」フィルタでは、画像のネガティブを作成することができます。また、ネガティブ フィルタを使用して、フィルムからスキャンされたネガティブをポジティブ画像に変換することも可能です。

「ネガティブ」フィルタを適用するには：

編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[ネガティブ] をダブルクリックします。

特殊効果：オイルペイント

オイルペイント効果を使用して、画像をオイルペイントように仕上げることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

オイルペイント効果を適用するには：

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[オイルペイント] をダブルクリックします。
2. [オイルペイント] タブの [ブラシの幅] スライダをドラッグして、使用するブラシの幅を指定します。
大きな値ほど、ブラシの幅は広がります。

3. **【相違】** スライダーをドラッグして、ブラシで描かれる色の違いを調整します。
大きな値ほど、ブラシで塗られる色の量が増えます。
4. **【明るさ】** スライダーをドラッグして、画像の明るさを調整します。
5. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して**【オイルペイント】** フィルタを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

特殊効果：アンティーク

アンティーク効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。（**【アンティーク】** 効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。）

アンティーク効果を適用するには：

1. 編集パネルの**【特殊効果】** をクリックし、**【アンティーク】** をダブルクリックします。
2. **【アンティーク】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

アンティーク オプション

年	アンティークに仕上げる強度、または度合いを指定します。（数値は、画像がどれほど古く見えるかといった年季数とはマッチしませんのでご注意ください。）

特殊効果：輪郭

輪郭は、エッジ検出に似た特殊効果です。輪郭効果は画像の輪郭をハイライトするだけでなく、エッジの輪郭の有無に関わらず輪郭幅を設定したり、背景色を指定したりと、ユーザーによるより細かいコントロールが可能です。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

輪郭効果を適用するには：

1. 編集パネルの**【特殊効果】** をクリックし、**【輪郭】** をダブルクリックします。
2. **【輪郭】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

輪郭 オプション

線の幅	輪郭線の幅を指定します。大きな値ほど、輪郭の幅は広がります。
しきい値	輪郭されるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、輪郭されるエッジの量が多くなります。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

特殊効果：鉛筆画

「鉛筆画」フィルタでは、画像を鉛筆画のように仕上げることができます。

画像を鉛筆画のように仕上げるには：

編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[鉛筆画]** をダブルクリックします。

特殊効果：ピクセル爆発

ピクセル爆発効果を使用して、画像の中心点からピクセルを爆発させたような効果に仕上げることができます。ピクセル爆発 オプションを設定して画像に適用したり、設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

ピクセル爆発効果を適用するには：

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[ピクセル爆発]** をダブルクリックします。
2. **[ピクセル爆発]** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して **[ピクセル爆発]** タブを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ピクセル爆発 オプション

左右の位置	爆発の中心を左右に設定します。500 の値では、爆発の位置は垂直軸の中心になります。
上下の位置	爆発の中心を上下に設定します。500 の値では、爆発の位置は垂直軸の中心になります。
強度	爆発の強度を設定します。大きな値ほど、ピクセルの爆発は大きくなります。

爆発の方向 爆発の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します：

- **左右**：爆発が左右に発生します。
- **上下**：爆発が上下に発生します。

ランダム表 ランダム表とは、ランダムにピクセルを配置することです。

ピクセル爆発効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム シードを作成して、画像を同一のピクセル パターンに仕上げるすることができます。

ランダム表を新規作成するには、[ランダム表] をクリックします。

特殊効果：モザイク

ピクセルとは、縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のことです。画像の解像度を減らすと、ピクセルが大きくなるため、画像がぼやけてしまいます。モザイク オプションを設定して画像に適用したり、設定を [プリセット](#) として保存し次回以降に使用することもできます。

モザイク効果を適用するには：

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[モザイク] をダブルクリックします。
2. [モザイク] タブの [幅] および [高さ] スライダーをドラッグして、画像のピクセルのサイズを調整します。四角形の長さを等しくするには、[正方形] チェックボックスをオンにします。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して [モザイク] フィルタを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

特殊効果：ポスタライズ

ポスタライズ効果を使用して、画像の明るさを調整することができます。ポスタライズ オプションを選択または変更して画像に適用したり、設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

ポスタライズ効果を適用するには：

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[ポスタライズ] をダブルクリックします。
2. [ポスタライズ] タブの [明るさのレベル] スライダーをドラッグして、画像の明るさを調整します。小さな値ほど、画像に使用される色の量は少なくなります。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して [ポスタライズ] フィルタを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

特殊効果：光線ぼかし

光線ぼかし効果を使用すると、画像の中心から外に向かって波が発生しているような効果を与えます。画像の中心となる位置を変更できる他、波の外観も設定できます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

光線ぼかし効果を適用するには：

1. 編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【光線ぼかし】** をダブルクリックします。
2. **【光線ぼかし】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

光線ぼかし オプション

左右の位置	波の中心を左右に設定します。500 の値では、画像の中心に設定されます。
上下の位置	波の中心を上下に設定します。500 の値では、画像の中心に設定されます。
度合い	波の深さと高さを設定します。
波の幅	波と波の間の幅を設定します。
光の強度	各波の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波の方向	波が発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します： ● 左右：波が左右に発生します。 ● 上下：波が上下に発生します。

特殊効果：雨

雨効果を使用して、画像撮影時に雨が降っていたかのように仕上げることができます。雨の量、雨の降っている角度、不透明度などを設定することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

雨効果を適用するには：

1. 編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【雨】** をダブルクリックします。
2. **【雨】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：

- 変更を適用してタブを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を破棄して閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

雨 オプション

強度	雨だれの長さを指定します。スライダを右へ動かすほど雨だれの長さが長くなります。
不透明度	雨だれの不透明度を指定します。0 から 100 までの数字を入力、またはスライダをドラッグして雨だれの不透明度を調整します。開閉度が高くなるほど、画像は暗くなります。
度合い	雨だれの量を指定します。
角度の相違	雨だれの角度を指定します。0 から 50 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
強度の相違	雨だれの長さの相違を指定します。雨だれの長さを揃えたい場合、スライダを左へドラッグします。大小様々な長さの雨だれを指定したい場合、スライダを右へドラッグします。様々な長さの雨だれが含まれるほど、画像は自然に仕上がります。
背景ぼかし	画像におけるぼかしの量を調整します。雨の量を多く設定すると、背景の画像が見えにくくなります。このオプションを使って画像をぼかすと、より自然に仕上がります。
角度	雨の降ってくる角度を指定します。
カラー	雨だれの色を指定します。

特殊効果 : 波紋

波紋効果は、小石を水に落とした時に見られるような円状を画像に加えます。波紋オプションを設定して画像に適用したり、設定を [プリセット](#) として保存して次回以降に使用することも可能です。

波紋効果を適用するには:

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[波紋]** をダブルクリックします。
2. **[波紋]** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して **[波紋]** タブを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

波紋 オプション

左右の位置	波紋の位置を左右に設定します。500 の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
上下の位置	波紋の位置を上下に設定します。500 の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
度合い	波紋の深さと高さを設定します。

波の幅	波の幅を設定します。
光の強度	波紋の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには【画像】チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波紋の方向	波紋の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します： ● 上下：波紋が上下に発生します。 ● 左右：波紋が左右に発生します。

特殊効果：飛散タイル

飛散タイル効果を使用して、画像を四角形のタイルに分割して散らばしたり重ねることができます。飛散タイル オプションを選択または変更して画像に適用したり、設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

飛散タイル効果を適用するには：

1. 編集パネルの【特殊効果】をクリックし、【飛散タイル】をダブルクリックします。
2. 【飛散タイル】タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して【飛散タイル】フィルタを閉じるには、【完了】をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。

飛散タイル オプション

タイル サイズ	タイルのサイズを設定します。
飛散の度合い	タイルを飛散する度合いを調整します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムにタイルを配置することです。 タイルがランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して配置のパターンを指定することで、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、【ランダム表】をクリックします。

特殊効果：セピア

「セピア」フィルタでは、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。（「アンティーク」効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。）

「セピア」フィルタを適用するには:

編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【セピア】** をダブルクリックします。

特殊効果 : 金属シート

金属シート効果を使用して、画像を金属シートのように仕上げることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

金属シート効果を適用するには:

1. 編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【金属シート】** をダブルクリックします。
2. **【金属シート】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して **【金属シート】** タブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

金属シート オプション

丸み度	画像のエッジの丸みを調整します。
詳細	画像の詳細を調整します。大きな値ほど、より細かな詳細になります。
角度	金属シートの模様が流れる角度を指定します。
金属の色	金属シートの色を指定します。
プレス	金属がプレスされる表面を指定します。次のいずれかのオプションを選択します: ● 上から下へ: 画像の上から金属をプレスします。 ● 下から上へ: 画像の下から金属をプレスします。

特殊効果 : シフト

シフト効果を使用して、画像をバー状に分割し、ランダム方向にシフトさせることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

シフト効果を適用するには:

1. 編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【シフト】** をダブルクリックします。
2. **【シフト】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して **【シフト】** フィルタを閉じるには、**【完了】** をクリックします。

- 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

シフト オプション

強度	バー間のシフト距離を調整します。
幅	バーの幅を調整します。
角度	バーの角度を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。

特殊効果：アングル

アングル効果を使用して、画像が斜めに傾いているかのように仕上げることができます。例えば、画像の上部を左に、画像の下部を右に引っ張って、画像を歪ませることが可能です。同様に、画像の左上部を上、右下部を下に引っ張って、画像を歪ませることも可能です。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

アングル効果を適用するには：

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[アングル] をダブルクリックします。
2. [アングル] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

アングル オプション

度合い	アングルの度合いを指定します。
支点	アングルの中心となる位置を指定します。スライダを左にドラッグするとアングルの支点が画像の下部に、スライダを右にドラッグするとアングルの支点が画像の上部に移動されます。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
アングルの方向	アングルの方向を指定します。 ● 左右：画像の上部または下部を、左右に歪ませたい場合に選択します。 ● 上下：画像の左部または右部を、上下に歪ませたい場合に選択します。

特殊効果：ソーベル

「ソーベル」効果では、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。（[ソーベル] 効果は [エッジ検出] 効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。）

「ソーベル」効果を使用するには:

編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【ソーベル】**をダブルクリックします。

特殊効果：ソーリゼーション

ソーリゼーションを使用すると、現像する前にフィルムが光に当たったかのような露出効果を画像に追加することができます。ソーリゼーション オプションを選択または変更して画像に適用したり、[プリセット](#)として保存して次回以降に使用することも可能です。

ソーリゼーション効果を適用するには:

1. 編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【ソーリゼーション】**をダブルクリックします。
2. **【ソーリゼーション】** タブの **【しきい値】** スライダをドラッグして、画像の明るさのしきい値を調整します。
3. 「効果」のセクションで、次のいずれかのオプションを選択してピクセルを指定します:
 - **ソーリゼーション**: しきい値オプションで指定された値より高いピクセルを調整します。ソーリゼーション フィルタは、しきい値を越えたピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ソーリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は明るくなります。つまり、露出オーバー画像にするためには、色が明るくなくてはなりません。
 - **ルナリゼーション**: しきい値オプションで指定された値より低いピクセルを調整します。ルナリゼーション フィルタはしきい値より低いピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ルナリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は暗くなります。つまり、露出オーバー画像にするのに、色が明るい必要はありません。
4. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して **【ソーリゼーション】** タブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

特殊効果：ステンドグラス

ステンドグラス 効果を使用して、大小様々なサイズと形に分割された、ステンドグラスの窓のように画像を仕上げることができます。フラグメントのサイズや位置を設定することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

ステンドグラス効果を適用するには:

1. 編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【ステンドグラス】**をダブルクリックします。
2. **【ステンドグラス】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

ステンドグラス オプション

フラグメント サイズ	フラグメントのサイズを設定します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムにフラグメントを配置することです。 ステンドグラス効果を適用すると、フラグメントがランダムに適用されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して配置のパターンを指定することで、画像を同一のフラグメント パターンに仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、[ランダム表] をクリックします。

特殊効果：太陽スポット

太陽スポット効果を使用して、画像に太陽のような明るい円光を加えることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

太陽スポット効果を適用するには：

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[太陽スポット]** をダブルクリックします。
2. **[太陽スポット]** タブの **[左右の位置]** および **[上下の位置]** スライダーをドラッグして、太陽スポットの位置を指定します。
3. **[明るさ]** スライダーをドラッグして、太陽スポットの明るさを調整します。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して **[太陽スポット]** フィルタを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

特殊効果：渦巻き

渦巻き効果を使用して、画像の人物やオブジェクトを渦巻きのように回転させたり引き伸ばしたりすることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

渦巻き効果を適用するには：

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[渦巻き]** をダブルクリックします。
2. **[渦巻き]** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して **[渦巻き]** タブを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

渦巻き オプション

左右の位置	渦巻きの位置を左右に設定します。500 の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
上下の位置	渦巻きの位置を上下に設定します。500 の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
半径	渦の半径を設定します。
強度	渦巻きの強さを調整します。プラス値では渦巻きの方向は時計回りで、マイナス値では渦巻きの方向は反時計回りになります。
フォーカス	半径に対する渦巻きの焦点を設定します。大きな値ほど、渦巻きの焦点は半径の中心に置かれます。小さな値ほど、渦巻きが画像全体に散らばります。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
渦巻きの方向	渦巻きが発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します： ・ 左右：渦巻きが左右に発生します。 ・ 上下：渦巻きが上下に発生します。

特殊効果：モノクロ調整

モノクロ調整を使用して、モノクロの画像を作成することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

モノクロ調整効果を適用するには：

1. 編集パネルの **【特殊効果】** をクリックし、**【モノクロ調整】** をダブルクリックします。
2. **【モノクロ調整】** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

モノクロ調整 オプション

しきい値	スライダをドラッグして、モノクロ画像の黒、白の基点を定義します。選択されたしきい値よりも明るいピクセルは白に、暗いピクセルは黒に表示されます。

特殊効果：地形図

地形図効果を使用して、画像の詳細を輪郭線で表して地形図のように仕上げるすることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

地形図効果を適用するには：

1. 編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【地形図】**をダブルクリックします。
2. **【地形図】**タブの**【丸み度】**スライダをドラッグして、輪郭線の丸み度を調整します。
3. **【線の数】**スライダをドラッグして、地形図に使用される線の数进行调整します。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して**【地形図】**フィルタを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

特殊効果：ヴィネット

ヴィネット効果を使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できる他、ボーダーの外観をコントロールすることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

ヴィネット効果を適用するには：

1. 編集パネルの**【特殊効果】**をクリックし、**【ヴィネット】**をダブルクリックします。
2. **【ヴィネット】**タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ヴィネット オプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれ ます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれ ます。
クリア ゾーン	焦点の周りにあるクリア ゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリア ゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリア ゾーンのサイズが大きくな ります。
トランジション ゾーン	クリア ゾーンとフレーム間のトランジション ゾーンの幅を指定します。スライダを左に動か すと、トランジションの幅が狭くなり、スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広くな ります。
形	フレームの形を指定します： ● 丸：丸みを帯びたフレームに仕上がります。

	● 四角：四角形のフレームに仕上がります。
輪郭を表示する	クリア ゾーンの外枠とフレームの内枠を示す輪郭を表示したい場合に、この [輪郭を表示する] オプションを選択します。
フレーム	焦点の周りにあるフレームに追加する、特殊効果を指定します： ● カラー：フレーム領域の色を指定します。 ● 彩度：人物またはオブジェクトから色を取り除きます。 ● ぼかし：フレーム領域をぼかします。 ● 雲：フレーム領域に雲を追加します。 ● エッジ：フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、蛍光色でエッジ検出します。 ● 光線ぼかし：焦点からフレームに向かって、光線が表示されます。 ● 放射状ぼかし：フレーム領域が回転/引き伸ばされたように仕上がります。 ● ズームぼかし：フレーム領域をぼかします。 ● クレヨン画：フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、クレヨンで描いたようにトレースします。 ● ペンキ画：フレーム領域の人物やオブジェクトが、ペンキで描かれたような効果を加えます。
設定	[設定] 領域に表示される設定は、選択される各フレームの効果によって変わります。例えば、 [フレーム] 領域から [カラー] を選択すると、 [フィルタの設定] 領域にカラーピッカーが表示され、 [フレーム] 領域から [ぼかし] を選択すると、 [フィルタの設定] 領域にスライダが表示されます。

特殊効果：ウォーター

ウォーター 効果を使用して、画像内オブジェクトの下に水面を足し、その水面にオブジェクトを反映させることができます。水面の位置はユーザーがコントロールすることができます。例えば、人物の顔の顎下から、あるいは人物の上半身の下から、など開始点を変更します。また、波の幅、波の明るさもコントロール可能です。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

ウォーター効果を適用するには：

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[ウォーター]** をダブルクリックします。
2. **[ウォーター]** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ウォーター オプション

位置	ウォーターの開始位置を指定します。
度合い	水面上の波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなり、スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなり、スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
透視	オブジェクトから発生する波のサイズを変更します。スライダを左にドラッグすると、オブジェクトから最も離れた位置にある波のサイズが大きくなり、距離感が増えます。
光源	水面の光の量を調整します。

特殊効果：ウォータードロップ

ウォータードロップを使用すると、画像の表面に水滴が表示されます。ユーザーは、ウォータードロップの数やサイズ、場所をコントロールすることができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

ウォータードロップ効果を適用するには：

1. 編集パネルの **[特殊効果]** をクリックし、**[ウォータードロップ]** をダブルクリックします。
2. **[ウォータードロップ]** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ウォータードロップ オプション

密度	画像に追加する、ウォータードロップの数を指定します。スライダを左にドラッグするとウォータードロップの数が減り、スライダを右にドラッグするとウォータードロップの数が増えます。
半径	ウォータードロップのサイズを設定します。スライダを左にドラッグするとウォータードロップのサイズが小さくなり、スライダを右にドラッグするとウォータードロップのサイズが大きくなります。
高さ	画像の表面上に現れるウォータードロップの高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、ウォータードロップの高さと、ウォータードロップによって形成される歪みが小さくなり、スライダを右にドラッグすると、ウォータードロップの高さと、ウォータードロップによって形成される歪みが大きくなります。
ランダム表	ランダムにウォータードロップを配置することを指します。 ウォータードロップ 効果では、ウォータードロップがランダムに適用されるため、適用する度に

画像は変化します。特定のランダム表を作成して配置のパターンを指定することで、画像を同じ結果に上げることができます。

ランダム表を新規作成するには、[ランダム表] をクリックします。

特殊効果：波

波効果を使用して、画像全体をに波を加えることができます。波と波の間の距離を設定することができます。この波の間の距離は、波の幅として知られています。波の高さ、波の角度も設定することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

波効果を適用するには:

- 1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[波] をダブルクリックします。
- 2. [波] タブで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
- 3. 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

波 オプション

波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の幅が小さくなり、波によって形成される歪みが大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波の幅が大きくなり、波によって形成される歪みが小さくなります。
度合い	波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
角度	波が発生する角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
背景色	背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。

特殊効果：織り

織り効果を使用すると、画像が布に織り込まれたように上げることができます。縦横のストリップの幅、織りの間にあるすき間、すき間を埋める背景色を指定することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存し次回以降で使用することも可能です。

織り効果を適用するには:

- 1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[織り] をダブルクリックします。

2. [織り] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用してタブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

織り オプション

ストリップの幅	縦横のストリップの幅を指定します。
すき間の幅	ストリップ間にできるすき間の幅を指定します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

特殊効果：風

風フィルタを使用して風の線を加え、静止画像を動きのある画像のように仕上げるすることができます。風 オプションを設定して画像に適用したり、[プリセット](#) として保存し次回以降に使用することも可能です。

風効果を適用するには：

1. 編集パネルの [特殊効果] をクリックし、[風] をダブルクリックします。
2. [風] タブで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 変更を適用して [風] フィルタを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

風 オプション

強度	風の強さを設定します。大きな値ほど、風の線は濃く、強く表示されます。
しきい値	風のエッジのシャープネスを設定します。大きな値ほど、エッジはシャープになります。
風の量	適用される風の量を設定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の色	風の線の色を選択します。画像のオリジナルの色を使用するには [画像] チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の向き	エッジから伸びる風の向きを設定します。

強度	風の強さを設定します。大きな値ほど、風の線は濃く、強く表示されます。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムに風の線を配置することです。 風の線がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、[ランダム表] をクリックします。

特殊効果：カスタム

「カスタム」フィルタでは、自分だけの特殊効果を作成することができます。作成した特殊効果を画像に適用したり、現在のオプションをプリセットとして保存することも可能です。

「カスタム」フィルタを作成するには:

- 編集パネルの[特殊効果] をクリックし、[カスタム] をダブルクリックします。
- [カスタム] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
- 次のいずれかを実行します:
 - 変更を適用して [カスタム] タブを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してタブを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

カスタム オプション

コンボリューション マトリックス	数式を使用して画像を変更します。 [コンボリューション マトリックス] のフィールドに値を入力し、画像のピクセルを変更します。特殊効果の作成には、数学的な計算式を使用し、マトリックス値に画像の各ピクセルのカラー値を乗算して作成します。
分割係数	マトリックスの分数係数を使用します。 [分割係数] のフィールドに値を入力し、マトリックスの分数係数を使用します。マトリックスの効果は、ピクセルに適用される前に分割係数に分割されます。
バイアス	画像の明るさを指定します。 [バイアス] フィールドに値を入力し、画像の明るさを変更します。バイアスの数字は、各ピクセルのRGB (赤・緑・青) の値に追加されます。プラス値は画像を明るくし、マイナス値は画像を暗くします。
マトリックスのクリア	マトリックスをリセットします。
サンプル フィルタ	サンプル フィルタをロードして、カスタム フィルタの元として使用することができます。

第 6 章：整理する

ファイルをコピーまたは移動する

[フォルダにコピー] および [フォルダに移動] コマンドを使用して、ハードディスク上にあるファイルやフォルダの位置を変更したり、重複ファイルの取扱い方法を指定することができます。また、最近使ったフォルダの一覧を使用すれば、フォルダの検索時間を短縮することができます。



ACDSee を使用してファイルを再配置する場合、それらのファイルに関連付けられているデータベース情報が新しい保存先に自動更新されます。



ACDSee を使用せずにファイルを移動あるいはコピーした場合、それらのファイルに追加されているデータベース情報とのリンクが壊れることになります。これは ACDSee がファイルを追跡できないためです。そのため、カテゴリやその他のデータベース情報など重要な情報が失われてしまうことになります。結合の変更とデータベースの再構築を行うことで、この問題を解決することができます。

ファイルをコピーまたは移動するには:

- 次のいずれかを実行します:
 - ファイラー一覧ペインで、1 つ以上のファイルを選択し、[編集] メニューから [フォルダにコピー] または [フォルダに移動] を選択します。
 - ビューアで画像またはメディア ファイルを表示しながら、[編集] メニューから [フォルダへコピー] または [フォルダへ移動] を選択します。
- [ファイルのコピー] または [ファイルの移動] ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します:
 - [フォルダ] タブを選択し、保存先となるハードディスク上のフォルダを指定します。
 - [履歴] タブを選択し、最近使ったフォルダの一覧からフォルダを選択します。
- [重複ファイルを上書きする] ドロップダウン リストをクリックし、次のいずれかのオプションを選択して、ファイルの上書き方法を指定します:
 - **確認する**: ファイルを上書きする際、確認のメッセージを表示します。
 - **名前の変更**: ファイルの名前変更をする際、確認のメッセージを表示します。
 - **置換**: 同じファイル名と拡張子がついたファイルを上書きします。
 - **スキップ**: 同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。
- [OK] をクリックします。

関連トピック

- [ファイラー一覧ペインを使用する](#)
- [データベースのメンテナンス](#)

画像をコピーする

画像をクリップボードにコピーし、ACD Photo Editor のような他のアプリケーションに貼り付けることができます。画像のコピー コマンドを使うと、画像データのみがクリップボードにコピーされることになります：つまりデータベース、EXIF、IPTC 情報は保持されませんのでご注意ください。

画像をコピーするには：

1. ファイラー一覧ペインから、コピーする画像ファイルを選択します。
2. **[編集]** メニューから **[画像のコピー]** を選択します。
3. 他のアプリケーションに画像を貼り付けます。

ファイルまたはフォルダを貼り付ける

ファイルをコピーまたは切り取ってクリップボードに保存し、データベース情報を失うことなく別のフォルダに貼り付けることができます。

ファイルを切り取り、新しい場所に貼り付けるには：

1. ファイラー一覧ペインまたはフォルダ ペインから 1 つ以上のファイルまたはフォルダを選択します。
2. **[編集]** メニューから **[コピー]** または **[切り取り]** を選択します。
3. フォルダ ペインを使って、新しい場所にフォルダを指定します。
4. **[編集]** メニューから **[貼り付け]** を選択し、新しい場所にファイルまたはフォルダを貼り付けます。

ファイルを置き換える／上書きする

コピーまたは移動するファイルの保存先に同じファイル名や拡張子が既存する場合、ファイル名の重複が起こります。ACDSee の **[ファイル置換の確認]** ダイアログ ボックスでは、関係する 2 つのファイルを表示し比較することができます。それらのファイルが画像ファイルである場合、サムネイルのプレビューが表示されます。そして、重複するファイル名の取扱い方法を、ファイルの置換、名前変更、コピーまたは移動しているファイルのスキップ、すべての操作の中止のオプションから選択します。

[ファイル置換の確認] ダイアログ ボックスを使用する：

1. 複数のファイルを移動する際、起こりうる重複ファイル名すべての扱い方を同じ方法で設定するには、**[すべてに適用]** チェックボックスをオンにします。
2. 2 つのファイルの違いを比べるには、プレビュー ウィンドウの中央にあるツールバーを使用して、プレビューのサイズを拡大または縮小します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - ソースファイルと保存先ファイルを置き換えるには、**[置換]** ボタンをクリックします。

- ファイルを保存先フォルダに移動する前にファイル名の変更をするには、**[変更名]** フィールドに新規ファイル名を入力し、**[名前の変更]** をクリックします。
- ファイルをスキップするには、両方のフィールドを空白に残し、**[スキップ]** をクリックします。
- ソースファイルまたは保存先ファイルを削除するには、ハードディスクから削除するファイルの下にある **[削除]** ボタンをクリックします。
- ファイルをコピーまたは移動する操作を中止するには、**[キャンセル]** ボタンをクリックします。



[ファイル置換の確認] ダイアログ ボックス内では、「保存先ファイル」はターゲットフォルダに既存するファイルを、「ソースファイル」はコピーまたは移動させようとしているファイルを指します。

関連トピック

→ [ファイル管理 オプションを設定する](#)

ファイル名やフォルダ名を変更する

[フォルダ] ペインまたは[ファイル一覧] ペインでは、ハードディスク上にあるファイルまたはフォルダの名前を変更することができます。

ファイル名またはフォルダ名を変更するには:

1. [ファイル一覧] ペインまたは [フォルダ] ペインから、名前を変更するアイテムを選択します。
2. **[編集]** メニューから **[名前の変更]** をクリックします。
3. 「.jpg」のようなファイル拡張子を削除あるいは変更しないよう注意し、新規ファイル名を入力します。
4. **[Enter]** キーを押します。



ACDSee の [名前の一括変更](#) ツールを使用して、複数のファイル名をまとめて変更することができます。

プライベート フォルダにファイルを格納する

プライベート フォルダは、秘密のファイルを格納することができるセキュリティ保護されたフォルダです。プライベートフォルダにファイルを格納すると、ACDSee は現在のフォルダまたは場所から、画像をプライベートフォルダに移動します。プライベート フォルダはパスワード保護されており、ACDSee 内でのみ表示することができます。

プライベートフォルダにファイルやフォルダを追加すると、それらに関する全情報がデータベースから完全に削除されることとなります。プライベートフォルダからファイルやフォルダを復元しても、情報がデータベースに復元されることはありません。ファイルやフォルダに関するデータベース情報を保存したい場合には、データベースをバックアップするかエクスポートしてから、プライベートフォルダへ移動します。

プライベート フォルダを作成するには:

1. 開かれているプライベート フォルダがある場合には全て閉じます。
2. [プライベート フォルダ] ペインにある [プライベート フォルダ] アイコンを右クリックし、**[プライベート フォルダを作成する]**を選択します。
3. プライベート フォルダに使用するパスワードを入力します。パスワードに使用できる最大文字数は 40 文字です。
4. パスワードを再入力して確認します。
5. **[OK]** をクリックします。

新規作成されたフォルダは、プライベート フォルダ ペインには表示されません。プライベート フォルダは隠れているため、パスワードを入力することでのみ表示することができます。プライベート フォルダを開くと、そのフォルダ内に含まれているサブフォルダも表示されますが、プライベート フォルダとこれらのサブフォルダを区別するようにしてください。

プライベート フォルダを開くには:

1. 開かれているプライベート フォルダがある場合には全て閉じます。
2. [プライベート フォルダ] ペインのヘッダーにある **[開く]** ボタンをクリックします。
3. 開こうとしているプライベート フォルダに該当するパスワードを入力します。
4. **[OK]** をクリックします。



開かれているプライベート フォルダの内容は、そのフォルダを閉じるまで表示されます。コンピュータから離れる可能性があり、他の人にそのプライベート フォルダを見られたくない場合には、フォルダを閉じてから席を外すように気をつけてください。

プライベート フォルダを閉じるには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - [プライベート フォルダ] ペインのヘッダーにある **[閉じる]** ボタンをクリックします。
 - **[ファイル]** メニューから **[終了]** をクリックして ACDSsee を終了します。プライベート フォルダが自動的に閉じられます。

プライベート フォルダにファイルを追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
 - [プライベート フォルダ] ペインの [プライベート フォルダ] アイコンに該当ファイルをクリック & ドロップします。
 - 追加するファイルを選択し、それらのファイルの 1 つを右クリックしてから、**[プライベート フォルダに追加]**を選択します。警告メッセージが表示されます。

3. **[はい]** をクリックして、フォルダとその内容をプライベート フォルダに移動します。



ファイルやフォルダをプライベート フォルダに追加すると、それらのファイルはシステムのオリジナル場所から削除され、パスワード保護されたプライベート フォルダに追加されることになります。パスワードを忘れてしまうと、プライベート フォルダからファイルやフォルダを復元することはできません。覚えやすいパスワード、忘れにくいパスワードを選択するように気をつけてください。

プライベート フォルダに既存のフォルダとその内容を追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
 - [プライベート フォルダ] ペインの [プライベート フォルダ] アイコンに該当ファイルをクリック & ドロップします。
 - 追加するファイルを選択し、それらのファイルの 1 つを右クリックしてから、**[プライベート フォルダに追加]** を選択します。警告メッセージが表示されます。
3. **[はい]** をクリックして、フォルダとその内容をプライベート フォルダに移動します。

プライベート フォルダからフォルダやファイルを復元するには:

1. 復元したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
 - フォルダまたはファイルを選択し、**[ファイル]** メニューから **[プライベート フォルダから復元する]** をクリックします。
 - フォルダまたはファイルを右クリックし、**[プライベート フォルダから復元する]** をクリックします。
3. **[参照]** ボタンをクリックして、フォルダまたはファイルの移動先フォルダを参照し、**[OK]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックします。

ACDSee は、指定された場所にプライベートフォルダのフォルダまたはファイルを移動します。これで、コンピュータにアクセスできる全ユーザーが、これらのフォルダやファイルを見ることができます。

プライベート フォルダ、またはプライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには:

1. 削除したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
 - プライベート フォルダそのものを削除するには、[プライベート フォルダ] アイコンを右クリックし、**[削除]** を選択します。
 - プライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには、削除したいフォルダやファイルを右クリックし、**[削除]** を選択します。警告メッセージが表示されます。

3. **【はい】** をクリックしてプライベート フォルダとその内容を削除する、あるいはプライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除します。



プライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除する場合、細心の注意が必要です。プライベート フォルダからフォルダやファイルを削除すると、これらは完全に破壊されます。プライベート フォルダからこれらを移動したい場合には、コンピュータの保護されていない場所に移動して復元するようにしてください。

複数ファイルの名前を変更する

[名前の一括変更] ツールを使用して、複数のファイル名をまとめて変更することができます。ファイル名の一括変更では、テンプレートを使用したり、ファイル名を特定の文字／語句に置換えることができます。テンプレートを使用する場合、ファイル名にファイル特有情報を挿入したり、連番やアルファベット順に変更することが可能です。また、テンプレートを保存して次の操作で使うことができます。

複数のファイル名を一括変更するには:

1. ブラウザで、複数のファイルを選択し、**【ツール】** メニューから **【名前の一括変更】** を選択します。
2. **【名前の一括変更】** ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します:
 - **【テンプレート】** タブを選択して、テンプレート オプションを設定します。
 - **【検索と置換】** タブを選択して、検索と置換オプションを設定します。
 - **【詳細オプション】** タブを選択して、名前の一括変更のオプションを設定します。
3. **【プレビュー】** フィールドで、ファイル名の変更を確認します。
4. **【名前の変更を開始する】** をクリックします。



CD-ROM のような読み取り専用ファイルの名前変更はできませんのでご注意ください。

名前の一括変更 オプション

テンプレート タブ

【テンプレートを使って名前を変更する】 チェックボックスをオンにして、名前変更のテンプレートを作成します。テンプレート名には連番やアルファベット順を使用したり、元のファイル名、新規ファイル名、メタデータに基づいたファイル名などを使用することができます。

# を数字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号 (#) を数字に置き換えます。
# を文字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号 (#) をアルファベットに置き換えます。
開始位置	最初の文字あるいは連番の開始位置を指定します。
メタデータの挿入	ファイル名のテンプレートにファイル特有情報(メタデータ)を挿入します。
[テンプレート] フィールドにカーソルを合わせて 【メタデータの挿入】	

[検索と置換] タブ	入] ボタンをクリックし、[プロパティの選択] ダイアログ ボックスを開きます。挿入したいメタデータを選択し、[OK] をクリックします。	
	テンプレート	ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 アスタリスク マーク (*) を入力すると、テンプレートにオリジナルのファイル名を挿入することができます。選択したオプションによっては、1 つ以上のシャープ記号 (#) を使用して、数字またはアルファベットを挿入します。 ドロップダウン リストの矢印をクリックして、最近使用したテンプレートを選択します。
	テンプレートのクリア	[テンプレート] ドロップダウン リストから、最近使用したテンプレートを削除します。
	ファイル名の大文字/小文字	ファイル名と拡張子に使用する大文字/小文字を指定します。
	[検索／置換を使って名前を変更する] チェックボックスをオンにし、ファイル名の特定文字や語句を置き換えます。スペースを下線に置換えたり、大文字を小文字に変更したり、テンプレートと変更を組み合わせたりすることができます。	
	検索する文字列	ファイル名で置換えたい文字を指定します。
	置換後の文字列	元の文字列と置換える文字を指定します。
	大文字／小文字を区別する	[検索する文字列] フィールドで、入力した文字と完全一致する文字だけを検索するかどうか指定します。
	[詳細オプション] で名前の一括変更ウィザードの動作設定をします。	
	完了後ウィザードを自動的に閉じる	名前の変更作業が完了したら、[名前の一括変更] ダイアログ ボックスを自動的に閉じます。
[詳細オプション] タブ	現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回ファイル名を変更する際に使用します。
	名前の重複を自動的に対処する	各ファイル名の語尾にアンダースコアや連番を加えることで、名前の重複を自動的に対処します。

関連トピック

→ [EXIF やデータベース情報を設定する](#)

画像にタグを付ける

結婚式やマラソンなどの大きな行事では、通常、数百枚という大量の画像が撮影されます。撮影が完了したら、コンピュータにそれらの画像を転送して表示し、ベストショットを選択する必要がある場合がほとんどです。タグは、ベストショットを素早く表示させる最も簡単な方法です。またこれらのベストショットをまとめて表示し、編集あるいは確認することができます。

タグが付けられたことを示すチェックボックスは、サムネイルの右下に位置しています。チェックボックスをクリックして、タグの設定/解除を切り替えます。一度タグの付けられた画像は、チェックボックスからチェックマークを解除しない限り、タグが付けられたままの状態になります。

クリックひとつでタグの付いた全画像を表示できます。カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。

 タグの付いた画像にカテゴリや重要度を適用した後、必要がなくなった時に、画像からタグをクリアする習慣をつけましょう。長期間にわたって画像を管理したり、グループ分けするためには、カテゴリと重要度を使用したほうが効果的です。

ブラウザやビューアで画像にタグを付けるには:

1. ブラウザでは、該当画像のサムネイルの右下にあるチェックボックスをクリックします。
2. ビューアでは、画面の一番下にあるステータスバーの右端にあるアイコンをクリックします。
3. ビューアでは、[表示] メニューから [プロパティ] をクリックしてプロパティ ペインを表示し、[データベース] タブをクリックして [タグ] チェックボックスをクリックします。+

画像の比較中にタグを付けるには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - [画像の比較] で該当画像をクリックし、ツールバーにある [タグ] ボタンをクリックします。
 - [比較リスト] で、該当画像のサムネイルの右下にあるチェックボックスをクリックします。
2. [OK] をクリックします。[画像の比較] を閉じます。該当画像のチェックボックスにチェックマークが付いたことを確認します。

タグの付いた画像だけを表示するには:

ブラウザの [表示] メニューから [カテゴリ] を選択して、[タグ] をクリックします。

タグの付いた画像ファイルがすべて、ブラウザの [ファイル一覧] ペインに表示されます。

関連トピック

- [ACDSee データベースについて](#)
- [カテゴリ ペインを使用する](#)
- [プロパティ ペインを使用する](#)

カテゴリ

カテゴリを作成する

[カテゴリ ペイン](#) では、カテゴリの作成、名前変更、削除、移動ができます。

カテゴリを作成するには:

1. 次のいずれかを実行します:
2. **[編集]** メニューから **[カテゴリの設定]** そして **[新規カテゴリ]** をクリックします。
3. カテゴリ ペインで、**[カテゴリ]** を右クリックし、**[新規カテゴリ]** を選択します。
4. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - トップ階層に新規カテゴリを作成する
 - 選択したカテゴリにサブ カテゴリを作成する
5. トップ階層に新規カテゴリを作成した場合、**[アイコン]** ドロップダウン リストからアイコンを選択します。
6. サブ カテゴリを作成した場合、ドロップダウン リストからトップ階層を選択します。(カテゴリ ペイン内のカテゴリを右クリックすると、既定設定として、サブ カテゴリがそのカテゴリの下に追加されます。)
7. **[名前]** フィールドに新規カテゴリ名を入力します。
8. **[OK]** をクリックします。

カテゴリを管理するには:

カテゴリ ペインにあるカテゴリを選択し、次のいずれかの操作を実行します:

- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリを新規の場所にドラッグします。
- 名前を変更するには、カテゴリを右クリックで選択し、**[カテゴリの編集]** を選択します。
- カテゴリを削除するには、削除したいカテゴリを右クリックし、**[削除]** を選択します。

関連トピック

- [ACDSee データベースについて](#)
- [カテゴリ ペインを使用する](#)
- [プロパティ ペインを使用する](#)

カテゴリと重要度を設定する

カテゴリや重要度をファイルに割り当てる際、ファイルを移動する必要がありません。

カテゴリ／重要度をファイルに割り当てるには：

1. カテゴリ/重要度を設定したいファイルを選択します。
2. [ファイル一覧] ペインで、選択したファイルをカテゴリ ペインの [カテゴリ] または [重要度] ヘッドラッグします。
3. ビューアで、次のいずれかの操作を行います。
 - [編集] メニューから [カテゴリの設定] をクリックし、該当のカテゴリをクリックします。
 - 選択したファイルを右クリックし、[カテゴリの設定] を選択し、該当のカテゴリをクリックします。
 - [編集] メニューから [重要度の設定] をクリックし、該当のカテゴリをクリックします。
 - 選択したファイルを右クリックし、[重要度の設定] を選択し、該当の重要度をクリックします。
4. ステータス バーから、重要度アイコンをクリックし、該当の重要度をクリックします。重要度が設定されるとアイコンが表示されます。
5. 複数の画像を比較した後、カテゴリ/重要度を設定したい場合には、次のいずれかの操作を行います：
 - ファイルの 1 つを右クリックし、[カテゴリの設定] を選択し、該当のカテゴリをクリックします。
 - ファイルの 1 つを右クリックし、[重要度の設定] を選択し、該当の重要度をクリックします。

分類からファイルを削除する

オリジナルのファイルや他のファイルに影響を与えずに、あるいはそのクラスに適用されている他のファイルに影響を与えずに、カテゴリや重要度からファイルを削除することができます。

カテゴリ／重要度からファイルを削除するには：

1. ファイル一覧ペインで、削除したいファイルを選択します。
2. 次のいずれかを実行します：
 - 選択したファイルを右クリックして [重要度の設定] を選択し、[重要度のクリア] をクリックします。
 - 選択したファイルを右クリックして [カテゴリの設定] を選択し、削除したいファイルの含まれているカテゴリの名前をクリックします。
 - カテゴリ ペインで、[カテゴリ] または [重要度] を右クリックし、[項目を削除する] を選択します。

キーワードを作成する/割り当てる

ACDSee では、マスタ キーワード一覧を作成して、その一覧をデータベースに保存することができます。マスタ キーワード一覧を使用することで、キーワードの重複やスペルミスを防ぎ、画像検索および管理を向上することができます。マスタ キーワード一覧に変更がある場合、キーワードが適用されているすべてのファイルを自動的に更新します。

マスタ キーワード一覧を作成／管理するには:

1. プロパティ ペインで、キーワード フィールドの右にある **[キーワード ピッカー]** ボタンをクリックします。
2. **[キーワード ピッカー]** ダイアログ ボックスで、**[一覧の編集]** をクリックします。
3. **[キーワードエディタの一覧]** ダイアログボックスで、次のいずれかの操作を行ってください:
 - 新規キーワードを作成するには、**[新規値]** フィールドに新しいキーワードを入力し、**[追加]** をクリックします。
 - キーワードを削除するには、**[値の一覧]** フィールドからキーワードを選択して **[削除]** をクリックします。
 - キーワードの名前を変更するには、**[値の一覧]** フィールドからキーワードを選択します。**[名前の変更]** をクリックして新しいキーワードを入力し、**[Enter]** をクリックします。
 - ファイルにキーワードを適用するには、**[選択可能な項目]** 一覧から 1 つ以上のキーワードを選択して、**[追加]** をクリックします。
 - ファイルからキーワードを削除するには、**[選択された項目]** 一覧からキーワードを選択して、**[削除]** をクリックします。
4. 変更を確認したら、**[OK]** をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

メタデータ

複数のファイルにデータベース、EXIF、および IPTC 情報を追加する

情報の一括設定ツールを使用して、複数ファイルのデータベース、EXIF、IPTC 情報を一括して追加／変更することができます。情報は選択されたすべてのファイルに適用するか、各ファイルに個別の情報を適用することができます。また、設定をテンプレートとして保存して、別の画像に使用することも可能です。



CD-ROM のような読み取り専用ファイルに情報を設定することはできませんので、ご注意ください。

複数のファイルに データベース、EXIF、および IPTC 情報を設定するには:

1. ブラウザで、複数のファイルを選択し、**[ツール]** メニューから **[情報の一括設定]** を選択します。
2. **[情報の一括設定]** ダイアログボックスで、以下のいずれか、またはすべてを実行します:
 - **[データベース]** タブをクリックして、データベース情報を追加あるいは変更します。
 - **[EXIF]** タブをクリックして、EXIF 情報を追加あるいは変更します。
 - **[IPTC]** タブをクリックして、IPTC 情報を追加あるいは変更します。
 - **[詳細オプション]** タブをクリックして**[情報の一括設定]** ツールのオプションを調整します。各オプションの詳細につきましては、[下の表](#) を参照ください。
3. **[情報の設定を実行]** をクリックします。

【情報の一括設定】 ダイアログボックスのフィールドに情報を入力するには、次のいずれかを実行します：

- フィールドに設定したい情報をそのまま入力します。例えば、キャプション、注記、コメント、画像の説明などのフィールドに直接設定したい情報を入力します。データを入力すると、選択された全ファイルの該当フィールドにその情報が設定されます。
- カレンダーまたは一覧から情報を選択します。例えば、特定の日時を選択したり、重要度を適用することができます。選択された全ファイルの該当フィールドに、同一の情報が設定されることになります。
- アスタリスクマーク<*>を挿入して、該当するフィールドのオリジナルあるいは既存データを保持します。例えば、ほとんどのデジタルカメラでは、画像の撮影日時が記録されます。フィールドにアスタリスクマーク を入力して[情報の設定を実行する]をクリックすると、各ファイルのオリジナルデータ(撮影日時)が EXIF 情報あるいはデータベースに追加されます。
- シャープ記号<#>を入力します。情報が設定される際、これらのシャープ記号が連番文字に置き換えられますので、各ファイルに固有の番号が付けられます。
- メタデータのプレースホルダを選択します。例えば、メタデータのプレースホルダである <Camera:Model> を EXIF タブの「入力機器のメーカー名」に挿入します。情報が設定される際、各画像を撮影したカメラの機種が、EXIF 情報に挿入されることになります。また、[注記] や[コメント] フィールドに、ファイルの保存先やファイルの種類、絞り値など、メタデータのプレースホルダを挿入することもできます。
- 与えられたフィールドに情報をマップします。例えば、[実効画像幅] フィールドに幅を、[実効画像高さ] フィールドに高さをマップすることができます。情報が設定される際、選択された全ファイルの EXIF フィールドに各画像の幅と高さが挿入されることになります。

詳細オプション

空白の項目を編集する	情報を含んでいない空白のフィールドにのみ、情報を設定します。既に情報が設定されているフィールドは、上書きされません。
完了後ダイアログを閉じる	情報設定後、ダイアログを自動的に閉じるように設定します。
設定を初期設定として保存する	現在の [詳細オプション] 設定を保存し、次回情報を設定する際に使用します。
増分数の開始数	シャープ記号<#> が挿入される場合、開始する数字を設定します。

関連トピック

- [ACDSee データベースについて](#)
- [プロパティ ペインを使用する](#)

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する

ACDSee データベースから、画像の IPTC キーワードと補充カテゴリを削除することができます。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除するには:

1. ブラウザで、該当の画像を選択します。
2. プロパティ ペインが表示されていない場合は、**[表示]** メニューから **[プロパティ]** を選択して、プロパティ ペインを表示します。
3. 画像が読み取り専用ファイルでないことを確認します:
 - **[ファイル]** タブをクリックします。
 - **[読み取り専用]** にチェックマークが付いている場合、そのファイルを書き込むことはできません。
 - **[読み取り専用]** チェックマークを解除し、ファイルを書き込み可能にします。
4. **[IPTC]** タブをクリックします。
5. キーワード領域の左手にある **[キーワード ピッカー]** ボタン、または補充カテゴリ 領域の左手にある **[補充カテゴリ ピッカー]** ボタンをクリックします。
6. **[選択された項目]** ボックスから、削除したいキーワード、または補充カテゴリを選択します。(複数のキーワード、あるいは補充カテゴリを選択するには、**[Ctrl]** キーを押しながらマウスを使って該当のキーワードや補充カテゴリを選択します。)
7. **[削除]** をクリックします。
8. **[OK]** をクリックします。

画像プロパティの日時を変更する

「更新日時の一括変更」ツールを使用して、ブラウザやビューアで表示される 1 つ以上の画像ファイルのプロパティの日時を変更することができます。

ファイル プロパティの日付けと時間を変更するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ブラウザで、1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[更新日時の一括変更]** を選択します。
 - ビューアで、**[修正]** メニューから **[更新日時の変更]** をクリックします。
2. **[変更する更新日時を選択する]** のページで、**[変更する日付]** タブから、変更したいファイル プロパティを選択します。
3. **[変更する更新日時を選択する]** ページの **[詳細オプション]** タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[次へ]** をクリックして続行します。

5. 「**新規の更新日時を選択する**」のページで、次のいずれかのオプションを選択します：
- **別の日時を使用する**：ファイルの日時を別のプロパティの日時と置換えます。**[日時の選択]** ドロップダウンリストから、使用したいファイル プロパティを選択します。
 - **指定された日時を使用する**：選択した画像の更新日時を指定された日時に変更します。新規更新日時を**[日付]**と**[時間]** スピンボックスで指定します。
 - **新規の開始日時に変更する**：最も古いファイルの更新日時と指定された日時と置換えて、残りの画像の更新日時をそれより後の日時に変更します。最も古いファイルの更新日時を**[日付]**と**[時間]** フィールドで指定し、開始日時として設定します。
 - **指定された数に日時を移動する**：指定された時間の数で更新日時を前後に設定します。**[前に調整]** または**[後に調整]** のいずれかを選択し、**[時間]** スピンボックスに値を入力します。
6. **[更新日時を変更する]** をクリックして、ファイルに変更を追加します。ウィザードが完了したら、**[完了]** をクリックして ACDS_{ee} に戻ります。

【詳細オプション】タブ

既定値を使って変換を開始する	新規の更新日時オプションに既定値を使用します。画像の日時を変更するには、 [更新日時を変更する] ボタンをクリックします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	変換が完了したら、更新日時の変更ウィザードを閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回更新日時を変更する際に使用します。

ビューアにファイル プロパティを表示する

ビューア内に画像のプロパティ ペインを開き、プロパティの情報を編集することができます。

画像のプロパティを表示するには：

ビューアの **[表示]** メニューから **[プロパティ]** をクリックします。

プロパティ ペインに関する詳細、およびデータベースの追加や編集に関する情報につきましては、[プロパティ ペインの使い方](#) をご覧ください。

プロパティ ペインを使用する

プロパティ ペインは、選択されたファイルと関連付けられたデータベース情報を表示します。また、ファイルのプロパティ (ファイル サイズ、作成日時、読み取り専用、隠しファイル、EXIF や IPTC メタデータ) も表示します。プロパティ ペインでは、ファイルおよびメディアファイルのデータベース情報を追加、変更、削除したり、メタデータを編集することができます。

プロパティ ペインを開くには:

ブラウザまたはビューア内で、**[表示]** メニューから **[プロパティ]** を選択します。

プロパティ ペインは、既定レイアウトとしてブラウザおよびビューアの右側に表示されます。

プロパティ ペインの構成

プロパティ ペインは 次の 5 つのタブで構成されています: データベース、[ファイル](#)、[EXIF](#)、[IPTC](#)、カスタム

[データベース] タブ

キャプション	ファイルに簡単な説明を加えて、データベースに保存します。
日時	日時を指定して、該当のファイルに日時を関連付け、データベースに保存します。
作者	作者名を入力し、ファイルに作者名または撮影者名を加えて、データベースに保存します。
重要度	ファイルに適用する重要度を選択します。重要度を使って、データベース内のファイルの検索や並べ替えができます。
注記	ファイルに詳細または追加テキストを加えて、データベースに保存します。最高半角で 4,095 文字まで入力できます。
キーワード	ファイルにキーワードを関連付けて、データベースに保存します。 [キーワードの選択] ボタンをクリックして、キーワードの一覧から選択することができます。複数のキーワードを使用する場合は、コンマで区切ります。
カテゴリ	ファイルにカテゴリを適用して、データベースに保存します。カテゴリを適用するには、該当のカテゴリの横にあるチェックボックスをオンにします。新規カテゴリを作成するには、カテゴリのフィールドを右クリックし、 [新規カテゴリ] を選択します。

[ファイル] タブ

[ファイル] タブでは、選択されたファイルの詳細および画像の属性が表示されます。読み取り専用／隠しファイル(フォルダ)の設定および変更や、ファイルの EXIF メタデータ(概要)の確認をすることができます。

[EXIF] タブ

[EXIF] タブでは、スキャナまたはデジタル カメラから取り込んだ画像の EXIF メタデータ情報が表示されます。メタデータはファイルに埋め込まれており、ACDSee は画像と一緒に読み込むことができます。特定のメタデータは編集が可能です。

EXIF データを編集するには:

編集したい メタデータのタグ をダブルクリックします。編集可能なタグは青色で表示されます。

[IPTC] タブ

[IPTC] タブでは、スキャナまたはデジタルカメラから取り込んだ画像の IPTC メタデータ情報が表示されます。メタデータはファイルに埋め込まれており、ACDSee は画像と一緒に読み込むことができます。特定の IPTC メタデータは編集が可能です。

IPTC データを編集するには:

編集したい メタデータのタグ をダブルクリックします。編集可能なタグは青色で表示されます。

[カスタム] タブ

[カスタム] タブには、ユーザーが指定したファイルプロパティ、データベース、EXIF または IPTC メタデータ情報が表示されます。ファイルを参照する際に表示されるべきデータを 1 つのグループにまとめて、ユーザーの使い勝手に合わせることができます。

[カスタム] タブを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] をクリックし、[プロパティ ペイン] を選択します。
2. [カスタム プロパティ タブ を表示する] が選択されているか確認します。
3. [表示情報の選択] をクリックして [カスタム タブ表示情報の選択] ダイアログを開きます。ここで [カスタム] タブに表示するデータを選択します。
4. [OK] をクリックします。



メタデータやデータベース情報は、情報の一括設定 ツールを使用して複数の画像にまとめて追加することができます。

関連トピック

- [プロパティ ペインでカスタム タブを使用する](#)
- [ACDSee データベースについて](#)
- [ファイルをカタログ化する](#)
- [複数のファイルにデータベース、EXIF、IPTC 情報を追加する](#)
- [プロパティ ペイン オプションを設定する](#)

ファイルを別のコンピュータにバックアップする

「同期の作成ウィザード」では、ローカル ハード ディスクのエラーからファイルを保護するために、ファイルを同期する方法をご案内します。このウィザードでは、ネットワーク、リモート コンピュータ、外部ハードドライブに保存されているローカル フォルダを同期することができます。さらに、同期名の指定、同期を実行する際の設定、同期スケジュールの設定、既存の同期の編集／削除などのオプション設定が可能です。

 **ファイルが新しい保存場所にコピーされる場合は、データベース情報は同期されません。ファイルとデータベース情報を一緒にバックアップするには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#) をご利用ください。**

同期ファイルを作成するには:

1. ブラウザで、**[ファイル]** メニューから **[同期]** をクリックした後、**[同期の作成]** を選択します。
2. 「ようこそ」のページで、**[次へ]** ボタンをクリックして続行します。
3. 「同期オプション」のページで、コピーしたいファイルを含むフォルダと、ファイルの保存先となるネットワークドライブ、リモート コンピュータ、または外部ドライブ上のフォルダを設定します。「オプション」セクションで、同期時のエラーとログの対処方法を設定します。「確認」のセクションで、重複ファイルの対処方法について設定します。**[次へ]** をクリックして続行します。
4. 「同期スケジュール」のページで、同期名を入力し、同期をすぐに開始するかまたはスケジュールを設定するか選択します。ウィザードを完了するには、**[完了]** をクリックします。

 **スケジュール:** パスワードの設定されていないアカウントは、スケジュールを設定できません。スケジュールを設定するためには、ご利用のアカウントにパスワードを設定する必要があります。空白のパスワードは無効です。1 文字以上を含むパスワードを作成してください。

同期を更新または削除する

同期の設定の変更、定期的なスケジュールの設定、同期の削除のオプション設定ができます。

既存の同期ファイルを更新または削除するには:

1. ブラウザで、**[ファイル]** メニューから **[同期]** をクリックした後、**[同期の編集]** を選択します。
2. **[既存の同期]** ダイアログ ボックスで、一覧から同期を選択します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - 同期スケジュールを設定するには、**[スケジュール]** をクリックします。同期を起動する頻度を指定したら、**[OK]** をクリックします。
 - 設定を変更するには、**[編集]** をクリックします。「同期の編集」のダイアログ ボックスで、コピーしたいファイルを含むフォルダと、ファイルの保存先となるネットワークドライブ、リモート コンピュータ、または外部ドライブ上のフォルダを設定します。「オプション」セクションで、同期時のエラーやログの対処方法について設定

します。「**確認**」のセクションで、重複ファイルの対処方法について設定します。設定し終わったら、**[OK]** をクリックします。

4. 同期名を変更するには、**[名前の変更]** をクリックします。
5. 新規同期名を入力し、**[OK]** をクリックします。
6. 同期を削除するには、**[削除]** をクリックします。
7. **[閉じる]** をクリックします。

保存されている同期を起動する

スケジュールが定期的に設定されている場合でも、一度同期を作成したら、いつでも起動することができます。

保存されている同期を起動するには:

ブラウザから、**[ファイル]** メニューをクリックし、**[同期]** メニューから起動したい同期名を選択します。

関連トピック

- [データベース情報をエクスポートする](#)
- [データベース情報をバックアップする](#)

データベース情報を管理する

ACDSee データベースについて

ACDSee でフォルダを参照する際、画像やメディアファイルの情報は ACDSee データベースに保存されます。データベースはブラウズ速度の向上するだけでなく、画像やメディアファイルの並べ替え、管理、検索、フィルタ条件といった情報を格納します。また、データベース情報をバックアップ、復元、共有することも可能です。

キャッシュされたサムネイルのプレビューを格納したり、コンピュータ上の各画像またはメディアファイルに、次のような情報を追加や編集を行うことができます。

- カテゴリ
- 注記
- キーワード
- 作者
- 日時
- 重要度
- キャプション

データベースからフォルダを除外したり、ファイルの内容を画像またはメディアファイルの内容と区別して保存することも可能です。



ACDSee 以外のプログラム (Windows エクスプローラ など) を使用して、ファイルのコピー、移動、名前変更を行うと、ACDSee データベースに保存されているデータベース情報を失われてしまいます。

関連トピック

- [プロパティ ペインを使用する](#)
- [データベースのオプションを設定する](#)

データベースからフォルダを除外する

ACDSee では、データベースからフォルダを除外したり、画像またはメディアファイルの内容と区別して保存することができます。既定値として、ハードディスク上にある Program Files や Windows フォルダは自動的にデータベースから除外されるように設定されています。

データベースからフォルダを除外するには:

1. **[データベース]** メニューから **[フォルダの除外]** を選択します。
2. **[フォルダの除外]** ダイアログ ボックスで、以下のいずれかの操作を行います:
 - データベースからフォルダを除外するには、**[追加]** をクリックします。ハードドライブから除外するフォルダを選択して、**[OK]** をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧からフォルダを削除するには、一覧から削除するフォルダを選択して **[削除]** をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧を既定値にリセットするには、**[既定値にリセット]** をクリックします。
3. 選択した項目を確認したら、**[閉じる]** をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルをカタログ化する

ACDSee でブラウズされたファイル情報やサムネイルは、データベースに自動的に追加されます。「ファイルのカタログ化ウィザード」を使用すれば、複数のファイルをデータベースに追加することができます。ACDSee でファイルを参照する必要はありません。特に、ACDSee を初めて使用する場合や大きな画像コレクションをブラウズしたり管理する場合、ファイルのカタログ化によりフォルダのロード時間が短縮されるのでとても便利です。

ACDSee を初めて起動すると、ファイルのカタログ化ウィザードが自動的に表示されます。この時点で、「My Pictures」フォルダ内のファイルをカタログ化し、ACDSee データベースを作成されることをお勧めします。



既定の列のみを **[選択可能な詳細]** ペインに表示するには、**[リセット]** をクリックします。また、ファイル一覧ペインでは、列のヘッダーをそのままドラックして移動することも可能です。縦線は列が挿入される場所を示します。

ファイルをカタログ化するには:

1. **[データベース]** メニューから、**[ファイルのカタログ化]** を選択します。

2. ファイルのカタログ化ウィザードの「ようこそ」のページで、カタログの対象となるフォルダを選択します。**[次へ]**をクリックして続行します。
3. [指定したフォルダをカタログ化します]を選択した場合、「**カタログ化するフォルダの選択**」のページで、データベースのカatalogにフォルダを追加します。次に、「**データベース情報の追加**」のページで、カタログ化するファイルに追加するデータベース情報（キャプション、注記、作者、日付）をカスタマイズします。**[次へ]**をクリックして、カタログ化を開始します。

 比較的サイズの大きい画像ファイルをカタログ化している間は、そのプロセスを妨害しない、あるいはその他のソフトウェアを使用しないようにします。プロの写真家のように莫大な数のコレクションを扱う場合、夜中など妨害される可能性の少ない時間帯にカタログ化を行うようお勧めします。

旧バージョンの ACDS_{ee} データベースを変換する

「ACD データベースの変換ウィザード」を使用して、旧バージョンの ACDS_{ee} または ACD mPower Tools のデータベース情報を現在のデータベース情報に追加することができます。そのため、旧バージョンのファイルのデータベース情報を、現在のバージョンのデータベース情報として確認することができます。

 既に ACDS_{ee} データベースに新しい情報が追加されている場合、旧 ACDS_{ee} データベースを変換する前に、データベースをバックアップされることをお勧めします。

旧バージョンのデータベースを変換するには:

1. **[データベース]**メニューから、**[データベースの変換]**を選択します。
2. 「ようこそ」のページで、**[次へ]**をクリックしてデータベースの変換オプションへ進みます。
3. 「**データベースの変換オプション**」のページで、変換するデータベース ファイルのバージョンとハードディスク上の保存先を指定します。**[次へ]**をクリックして続行します。
4. 変換後、画像サムネイルと EXIF 情報を自動的に再構築するには、**[サムネイルと EXIF 情報の再構築]** チェックボックスをオンにします。
5. 変換後、データベースを自動的に更新するには、**[変換後、データベース ファイルを最適化する]** チェックボックスをオンにします。
6. **[次へ]**をクリックして続行します。
7. 「**概要**」のページで選択項目を再確認したら、**[次へ]**をクリックしてデータベースを変換します。

関連トピック

- [「データベース情報のバックアップ」のワンポイント](#)
- [取り込もうとしているデータベース用にドライブをマップする](#)

データベース情報をインポートする

ACD データベース インポート ウィザード を使って、アーカイブされたデータベース情報をインポートしたり、他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートしたりすることができます。情報がインポートされると、ACDSee は画像とその情報を関連付けます。



既に ACDSee データベースに新しい情報が追加されている場合、旧 ACDSee データベースを変換する前に、データベースのバックアップ を作成することをお勧めします。

ACD データベース インポート ウィザードを使用するには:

1. **[データベース]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[データベース]** をクリックします。
2. **[次へ]** をクリックして、ウィザードの使用を開始します。
3. **「インポート オプション」** のページで、インポートするデータベース情報の種類を選択します。
データベースの圧縮版、あるいは XML ベース テキスト ファイルから画像情報をインポートすることができます。
4. **[参照]** ボタンをクリックし、データベースのインポート元を指定して **[OK]** をクリックします。
5. **[インポート後、データベース ファイルを最適化する]** のチェックボックスをオンにすると、ウィザード終了後にデータベースの最適化を実行することができます。**[次へ]** をクリックします。
6. **「概要」** のページで選択した項目を再確認します。選択されている項目を変更するには、**[戻る]** をクリックします。
データベース情報のインポートを開始するには、**[次へ]** をクリックします。
7. **[完了]** をクリックして、ACD データベース インポート ウィザードを閉じます。



他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートするには、インポートされるファイルのパスと保存先のパスが完全に一致しなければなりません。

その他のソースからファイル情報をインポートする

[ACDSee フォトディスク](#) や旧バージョンの ACDSee を含むその他のソースからファイル情報をデータベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートする

旧バージョンの ACDSee (バージョン 4.0 および 5.0) では、フォトディスクは別のデータベース ファイル「.ddf」として作成されます。フォトディスク データベース ファイルを ACD データベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートするには:

1. **[データベース]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[フォトディスク]** をクリックします。
2. **[ファイルを開く]** ダイアログボックスで、インポートしたいフォトディスク ファイルを選択します。

3. **【開く】** をクリックします。



ACDSee 6.0 以降のバージョンで作成したフォトディスクから情報をインポートするには、データベース全体を 変換してインポート する必要があります。

アルバムをインポートする

旧バージョンの ACDSee のアルバムには「.ais」ファイル フォーマットが使用され、画像へのショートカットが含まれていました。新バージョンの ACDSee では、アルバムの作成に別のファイルフォーマットを必要としないため、カテゴリを使って画像アルバムを作成することができます。旧バージョンの ACDSee で作成されたアルバムをインポートし、アルバムの情報をデータベースに追加することができます。アルバムをインポートする際、新しいカテゴリが ACDSee に作成されます。

アルバム情報をデータベースにインポートするには:

1. **【データベース】** メニューから **【インポート】** を選択し、**【アルバム】** をクリックします。
2. **【ファイルを開く】** ダイアロ ボックスで、インポートしたい「.ais」ファイルを選択します。
3. **【開く】** をクリックします。

description ファイルの使い方

旧バージョンの ACDSee では、ファイルの説明は「Description」ファイルとして画像を含む各フォルダごとに保存されていました。今バージョンの ACDSee では、ファイルの説明はキャプションとしてその他のファイル情報（注記やキーワードなど）と共にデータベースに格納されます。

「Description」ツールを使えば、以前作成した Description ファイルをインポートしてデータベースに追加したり、既存のファイル キャプションを Description ファイルへエクスポートすることができます。

Description ファイルをインポートするには:

1. **【データベース】** メニューから **【インポート】** を選択し、**【Description ファイル】** をクリックします。
2. **【ファイルを開く】** ダイアログ ボックスで、インポートしたい Description ファイルを選択します。
3. **【開く】** をクリックします。

キャプションを Description ファイルにエクスポートするには:

1. **【データベース】** メニューから **【エクスポート】** を選択し、**【Description ファイル】** をクリックします。
2. **【名前を付けて保存】** ダイアログ ボックスの **【ファイル名】** フィールドに Description ファイルの名前を入力します。
3. **【保存】** ボタンをクリックします。

データベース情報をエクスポートする

「ACD データベース エクスポート ウィザード」では、選択したデータベース情報を圧縮フォーマットとして保存したり、バックアップとして保存したり、他の ACDSee ユーザーと共有することができます。また、カテゴリやキーワード定義をテキスト ファイルとしてエクスポートすることができます。

データベース情報のエクスポートはバックアップの作成とは違い、CD など共有または格納したい特定ファイルのデータベースの一部を選択してエクスポートすることができます。他の ACDSee ユーザーは既存のデータベースに問題なく情報をインポートすることができます。

画像またはメディアファイルを含むデータベース全体のバックアップを作成するには、「ACD データベース バックアップ ウィザード」を使用します。ローカル フォルダの内容をネットワークのような遠隔地にバックアップするには、ACD 同期ウィザードを使用します。

ACD データベース エクスポート ウィザードを使用するには:

1. 特定の画像またはメディアファイルのデータベース情報をエクスポートする場合、[ファイル一覧](#) ペインでファイルを選択します。
2. **[データベース]** メニューから **[エクスポート]** を選択し、**[データベース]** をクリックします。
3. **[次へ]** をクリックして、ウィザードの使用を開始します。
4. **「コンテンツとフォーマット オプション」** のページで、以下のオプションのいずれかを選択してデータベース情報のエクスポート方法を指定し、**[次へ]** をクリックします:
 - **データベース全体を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする**: ACDSee データベース全体を、他の ACDSee ユーザーと共有可能な圧縮版にしてエクスポートします。
 - **選択されたデータベース情報を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする**: ファイラー一覧ペインで選択されている画像のすべてのデータベース情報をエクスポートします。
 - **テキスト ファイルにデータベース情報をエクスポートする**: XML 形式のテキスト ファイルに選択された情報をエクスポートします。エクスポートしたい情報の横にあるチェックボックスをオンにします。
5. **「ロケーション オプション」** のページで、情報のエクスポート先を指定し(必要であればテキスト ファイル名も入力)、**[次へ]** をクリックします。
6. **「概要」** のページで選択した項目を確認します。選択されている項目を変更するには、**[戻る]** をクリックします。データベース情報のエクスポートを開始するには、**[次へ]** をクリックします。
7. **[完了]** をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

ファイル一覧を作成する

「ファイル一覧の作成」機能は、ファイル一覧ペインで現在表示されているフォルダ内の全ファイルの一覧をテキスト ファイルとして作成します。ファイル一覧はファイル名、サイズ、ファイル フォーマット、更新日時、プロパティ、キャプション、重要度が含んでおり、1 つのテキスト ファイルとして作成されます。

ファイル一覧を作成するには:

[データベース] メニューから [エクスポート] を選択し、[ファイル一覧の作成] を選択します。

テキスト ファイルがメモ帳で自動的に開かれるので、必要に応じて編集または保存します。

データベース情報をバックアップする

「ACD データベース バックアップ ウィザード」では、データベース情報をバックアップすることができます。システム障害などが起こった場合、作成したバックアップを使用してデータベースを復元することができます。また、画像、メディア、アーカイブ ファイルと関連するデータベース情報を一緒にバックアップすることも可能です。

ACD データベース バックアップ ウィザードは、すべてのデータベースを含むファイルを指定場所に作成します。フォルダの構造通りにバックアップが作成されるので、コンピュータによって異なります。データベースの一部をバックアップしたり、他の ACDSee ユーザーとデータベース情報を共有するには、「ACD データベース エクスポート ウィザード」を使用します。

データベースのバックアップ管理に関する詳細につきましては、[「データベース情報のバックアップ」のワンポイント](#) をご覧ください。

データベース情報をバックアップするには:

1. [データベース] メニューから [データベースのバックアップ] を選択します。
2. 「ようこそ」のページで、[新規バックアップを作成する] または [既存バックアップを更新する] を選択します。
[次へ] をクリックして続行します。[既存バックアップを更新する] を選択した場合、手順 5 に進んでください。
3. [新規バックアップ] のページで、バックアップする情報を選択します。[次へ] をクリックして続行します。
4. 「バックアップの保存先」のページで、[参照] をクリックしてバックアップの保存先を指定し、バックアップ名を入力します。[次へ] をクリックして続行します。
5. 「バックアップの概要」のページで設定を再確認します。[既存バックアップを更新する] を選択した場合、[バックアップの更新] ドロップダウン リストから更新する既存バックアップを選択します。[次へ] をクリックして続行します。

バックアップ情報オプション

サムネイルを含まない	バックアップからサムネイルを除くため、ディスクまたはハードディスクの格納領域を大幅に節約することになります。
オフライン ファイルにサムネイルを含む	フォトディスクのようにハードディスクに記録されないファイルのサムネイルのみを含みます。
サムネイルを含む	データベースにあるすべてのサムネイルを含みます。このバックアップを格納するには、ハードディスクまたはディスクに十分な領域が必要です。
バックアップ ファイルの種類	指定されたデータベース情報とファイルの種類をバックアップします。次のファイルの種類から選択します： ● 画像：画像ファイルをバックアップに含みます。 ● メディア：オーディオとビデオ ファイルをバックアップに含みます。 ● アーカイブ：アーカイブ ファイルをバックアップに含みます。
ローカル ディスク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスク上にある指定されたすべてのファイルをバックアップします。
ローカル ディスクとネットワーク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスクおよびネットワーク上にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。
サブ フォルダを含むフォルダ内にある、指定された種類のすべてのファイル	指定されたフォルダ内にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。 [参照] ボタンをクリックし、バックアップするフォルダを選択します。



ご利用になっている CD/DVD ドライブで、CD-R/DVD-R のフォーマットにパケット ソフトウェアが使用されている場合、ACDSee はバックアップをディスクに作成することはできません。その代わりに、ACDSee は CD/DVD ドライブをハードディスクとして認識するため、「バックアップの保存先」のページで選択することができます。

「データベース情報のバックアップ」のワンポイント

プロパティ ペイン で入力した EXIF 情報、ファイル名、保存先、サムネイル、カテゴリ、重要度やその他のファイル情報は、ACDSee データベースに保存されます。情報入力に費やした時間やデータベース情報が多いければ多いほど、データベース情報のバックアップは重要となります。また、作成したバックアップの管理も大切です。システム障害やその他の予期または回避できないエラーの発生により、すべての作業を損失してしまうことがあります。バックアップはそれらの損失を最小限に抑える、また回避するために行います。

バックアップ スケジュール

データベース情報を追加あるいは更新する頻度により、バックアップ スケジュールを設定します。情報の再入力といった二度手間を省くために、バックアップは頻繁に行うようお勧めします。[ACDSee オプション] ダイアログボックス内の

「データベース」のページで、バックアップ アラームの表示 でバックアップのスケジュールを必要に応じて設定します。ビジネス環境やプロフェッショナルのユーザーは、毎日バックアップされることをお勧めします。

別の ACDSsee ユーザーから情報をインポートする、あるいは ACDSsee の古いバージョンからデータベースを変換するといった大きな変更をデータベースに追加する前には、既存のデータベースをバックアップするように推奨します。

バックアップの保存先

バックアップの保存場所の設定は、バックアップのスケジュール設定と同様に重要です。もし、バックアップをハードディスクに保存する場合は、バックアップの新規フォルダが毎日作成されます。これはバックアップ ファイルの上書きを回避するため、増分された項目を加えることで復元が可能です。週 1 回の CD/DVD へのデータベースの保存は、ハードディスクが破損された際に効果的です。また、月 1 回は、ご自分のコンピュータ以外の場所（例：ネットワークなど）にバックアップを保存されることをお勧めします。

バックアップ サイズ

バックアップ サイズを最小限にするには、データベース情報と画像を別々にバックアップするようにします。画像のバックアップも規則的に行うようにします。

バックアップからデータベース情報を復元する

「ACD データベース復元ウィザード」では、以前バックアップしたデータベース情報を復元することができます。バックアップが 1 枚のディスクに収まらない場合、複数のディスクに分けて保存されます。データベース情報を復元する際、ディスクは順序通りである必要がありません。ディスクの一部を紛失または損失した場合でも、残りの情報を復元することができるので便利です。

データベース情報を復元するには:

1. **[データベース]**メニューから、**[データベースの復元]** をクリックします。
2. **「ようこそ」**のページで、**[次へ]** をクリックしてバックアップを選択します。
3. **「復元オプション」**のページで、復元するバックアップをバックアップ名と日時から選択するか、またはバックアップの保存先からファイル(拡張子.bkup)を選択します。

ディスクから復元する場合には、複数のディスクがスキャンされますので、順番で一番最後のディスクを選択してください。**[次へ]** をクリックして、データベースの復元を実行します。



複数のディスクまたはバックアップ ファイルからバックアップを復元する際、選択されているディスクまたはバックアップ ファイルに含まれる情報のみが復元されます。そのため、最後に使用したディスクまたはファイルを選択されることをお勧めします。

データベースのメンテナンス

ハードディスクの空き容量を増やすため、また不要な情報を削除し、ACDSee の全体パフォーマンスを向上させるために、定期的にデータベースのメンテナンスおよび最適化を行うことをお勧めします。

[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、フォルダの更新やフォルダ内にあるサムネイルと不要なデータベース情報を識別して削除することができます。[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、システム内のフォルダー一覧が表示され、特定フォルダ内にあるデータベース情報のステータスがアイコンで表示されます。

データベース コンテンツ アイコン



このフォルダには、データベースに格納され、キャッシュされたサムネイル ファイルが含まれています。



このフォルダには、データベースの更新以外で変更されたファイルが含まれています。(例: ACDSee を使わずにフォルダ名またはファイル名の変更された、移動されたなど)

データベースのメンテナンスを行うには:

1. **[データベース]** メニューから **[データベースのメンテナンス]** を選択します。
2. **[データベースのメンテナンス]** ダイアログ ボックスで、データベース コンテンツ アイコンの付いたフォルダを参照します。アイコンの付いたフォルダが存在しない場合は、データベースのメンテナンスを行う必要はありません。**[データベースのメンテナンス]** ダイアログを終了します。
3. フォルダを選択し、次のいずれかのボタンをクリックして実行するメンテナンスを指定します:
 - **サムネイルの削除:** 選択されたフォルダからすべてのサムネイル情報が削除されます。
 - **すべて削除:** 選択されたフォルダから、すべてのデータベース情報が削除されます。
 - **オーファン フォルダの削除:** 選択されたフォルダから、不足しているファイルや情報や古いまたは破損されたリファレンスが削除されます。ユーザーのコンピュータに格納されているフォルダ内のみ、オーファンのチェックが可能です。ネットワーク上のフォルダを選択すると、このオプションを選択することはできません。ご注意ください。
 - **結合の変更:** 選択されたオーファン フォルダのすべての参照場所を別のフォルダに変更し、すべてのデータベース情報を保持します。既定の結合フォルダは My Pictures です。
4. データベースのメンテナンスツールは、データベースの空き容量を増やすために履歴を削除します。空き容量を再構成するには、**[データベースの最適化]** をクリックしてウィザードの指示に従ってください。
5. **[閉じる]** をクリックします。

データベースを最適化する

[データベースの最適化] ウィザードを使用して、不要なデータベースや古いデータベース情報を素早く削除することができます。データベースの最適化と [データベースのメンテナンス](#) を定期的に行うことで、ハードドライブの容量を増やし、ACDSee 全体のパフォーマンスを向上することができます。



定期的に大量のファイルをカタログしている場合、毎週、あるいはカタログが終わってからデータベースの最適化を行うようにします。その際、データベースをバックアップするとより効率的です。

データベースを最適化するには:

1. ブラウザで、[データベース] メニューから [データベースの最適化] をクリックします。
2. [ACD データベースの最適化] ウィザードで、[次へ] をクリックします。
3. ウィザードが完了したら、[完了] をクリックして ACDSee に戻ります。

サムネイルの再構築

ACDSee で作業をする際、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル画像と、実際の画像との同期が適切に行われないう状況が起こることがあります。そのような状況が発生した場合、サムネイルの再構築機能を使用して、選択した画像のサムネイルをすばやく再構築することが可能です。

サムネイルを再構築するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - [ファイル一覧](#) から 1 つ以上の画像を選択します。
 - [フォルダ](#) ペインからフォルダを選択します。
2. [データベース] メニューから [サムネイルの再構築] をクリックします。

ファイルを隔離する

ACDSee は、破損または不完全なために読み込みが不可能な画像／メディアファイルやプラグイン エラーの原因となるファイルを隔離します。隔離ファイルの一覧からファイルを削除することができます。

隔離されたファイルを表示するには:

1. [データベース] メニューから [ファイルの隔離] をクリックします。
2. ファイルを削除するには、一覧から削除したいファイルを選択して [削除] をクリックします。
3. 「ファイルの隔離」機能を無効にするには、[隔離を行う] チェックボックスをオフにします。
4. [OK] をクリックして [ファイルの隔離] ダイアログ ボックスを閉じ、ACDSee に戻ります。

キーワードを作成する/割り当てる

ACDSee では、マスタ キーワード一覧を作成して、その一覧をデータベースに保存することができます。マスタ キーワード一覧を使用することで、キーワードの重複やスペルミスを防ぎ、画像検索および管理を向上することができます。マスタ キーワード一覧に変更がある場合、キーワードが適用されているすべてのファイルを自動的に更新します。

マスタ キーワード一覧を作成／管理するには:

1. プロパティ ペインで、キーワード フィールドの右にある **[キーワード ピッカー]** ボタンをクリックします。
2. **[キーワード ピッカー]** ダイアログ ボックスで、**[一覧の編集]** をクリックします。
3. **[キーワードエディタの 一覧]** ダイアログボックスで、次のいずれかの操作を行ってください:
 - 新規キーワードを作成するには、**[新規値]** フィールドに新しいキーワードを入力し、**[追加]** をクリックします。
 - キーワードを削除するには、**[値の一覧]** フィールドからキーワードを選択して **[削除]** をクリックします。
 - キーワードの名前を変更するには、**[値の一覧]** フィールドからキーワードを選択します。**[名前の変更]** をクリックして新しいキーワードを入力し、**[Enter]** をクリックします。
 - ファイルにキーワードを適用するには、**[選択可能な項目]** 一覧から 1 つ以上のキーワードを選択して、**[追加]** をクリックします。
 - ファイルからキーワードを削除するには、**[選択された項目]** 一覧からキーワードを選択して、**[削除]** をクリックします。
4. 変更を確認したら、**[OK]** をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

取り込もうとしているデータベース用にドライブをマップする

ACDSee Pro にアップグレードする、あるいは ACDSee Pro データベースをインポート/復元する場合、**[データベース ドライブのマップ]** ダイアログに、データベース内でドライブの設定がどのように再確立されるか表示されます。このダイアログを使用して、データベース内における各ドライブのマップを変更することができます。

新規のドライブのマップを選択するには:

1. **[データベース ドライブのマップ]** ダイアログで、ドライブを選択し、次のいずれかを実行します:
 - 新規ドライブのマップを作成するには、**[新規ドライブとして作成]** を選択します。
 - ドライブをローカル ドライブとマップするには、**[ローカル ドライブ]** ドロップダウン リストからドライブを選択します。
2. **[完了]** をクリックします。

検索する

検索ペインを使用する

「検索ペイン」を使用して、ファイルやフォルダを検索することができます。ファイル名やキーワードで基本的な検索をしたり、フォルダ、カテゴリ、画像のプロパティで検索範囲を絞り込んで検索することができます。また、ファイル名のパターンやワイルドカードを使って検索したり、重複ファイルを検索することも可能です。



検索ペインは、データベースにカタログ化 されていないものは検索しませんのでご注意ください。

検索ペインを開くには:

[表示] メニューから [検索] を選択します。

検索ペイン

検索ペインの検索条件は、3 つの基本的なセクションで構成されています。検索では指定された **すべての** 検索条件に該当するファイルのみが検索されます。

ファイルとテキスト

「ファイルとテキスト」セクションでは、検索条件と検索場所を指定することができます。

ファイルまたはフォルダの名前	検索したいファイルまたはフォルダの名前の一部を入力するか、または前回の検索で使用した用語をドロップダウン リストから選択します。また、ワイルドカードを使用して ファイル名のパターン を検索することも可能です。画像ファイル以外のすべてを除外するには、入力フィールドの横にある右矢印ボタンをクリックし、[画像のみ] チェックボックスをオンにします。
含まれる文字列	ACDSee データベース 内で検索するテキストを入力します。検索したいファイルのキャプションまたはキーワードの一部、あるいはフォルダまたはカテゴリの名前の一部がテキストに含まれている必要があります。ファイル名とキーワードの両方を検索条件として使用する場合、両方 の検索条件に該当するファイルのみが検索されます。 データベースで検索するアイテムを指定するために、入力フィールドの横にある右矢印をクリックして、フィールドに入力されたテキストの取扱い方法を次のオプションから選択します: ● すべての文字にマッチするものを検索: 入力されたすべての文字にマッチするファイルのみを検索します。 ● 文字全体にマッチするものを検索: 入力された文字全体（入力された通り）にマッチするファイルのみを検索します。 ● キャプション検索: データベース内のファイルのキャプション フィールドを検索します。

- **キーワード検索**: データベース内のファイルのキーワード フィールドを検索します。
- **注記検索**: データベース内のファイルの注記フィールドを検索します。
- **カテゴリ検索**: データベース内のファイルのカテゴリ フィールドを検索します。
- **フォルダ検索**: データベース内のフォルダ名を検索します。

検索場所	次のいずれかのオプションを選択します: ● データベース全体: ACDSee データベース全体を検索します。データベース内でカタログ化されていないフォルダは検索されませんのでご注意ください。 ● 特定のカテゴリとフォルダ: 指定されたカテゴリとフォルダのみを検索します。このオプションを選択すると、[カテゴリとフォルダ] セクションが開かれ、検索したい場所とカテゴリを選択することができます。
ブラウザ設定に同期する	ブラウザ検索 設定を含む現在のブラウザ設定を検索ペインにインポートします。検索ペインの検索条件が削除される場合がありますのでご注意ください。

プロパティ

「プロパティ」セクションでは、検索したいファイルに含まれるプロパティの内容、検索に含むあるいは除外する条件を指定することができます。

「プロパティ」セクションを使用するには:

1. **[ファイル プロパティの検索]** フィールドの下にある、**[追加]** をクリックします。
2. **[選択条件の追加]** ダイアログ ボックスで、検索条件とする 1 つ以上のプロパティを選択します。
3. **[OK]** をクリックします。
4. **「プロパティ」** セクションのハイパーリンクをクリックして、各プロパティの詳細を設定します。
5. **[開始]** をクリックして、検索を開始します。

ファイル名のパターンで検索する

検索ペインの **[ファイルまたはフォルダの名前]** フィールドにパターンを入力し、ファイル名で検索することができます。ファイル名の一部のような単純なパターンから、ワイルドカードを使用した高度なパターンまで、幅広い検索が可能です。

ファイル名パターンのワイルドカード

ワイルドカード	検索結果 ▼	例 ▼
?	ファイル名の 1 文字を検索します。	ca?.jpg cat.jpg、cap.jpg、car.jpg と照合しますが、cats.jpg と照合しません。
*	ファイル名のゼロ以上の文字を検索します。	cat* は cat.jpg、cats.jpg、cathy.jpg と一致します。
[...]	指定されている文字を検索します。	ca[tr] は cat.jpg、または car.jpg と一致しますが、cap.jpg とは一致しません。
[!...]	指定されている文字以外の文字を検索します。	cat[!0] は cata.jpg、catb.jpg と一致しますが、cat0.jpg とは一致しません。
[...-...]	指定された範囲の文字を検索します。	cat[a-f0-9] は cata.jpg、catb.jpg、catf.jpg および cat0.jpg、cat1.jpg、cat9.jpg と一致します。
¥	ファイル名として使用できるワイルドカードの使用を避けます。[]。例:[] []。また、(*) や (?) はファイル名として認識されないので、この機能で使うことはできません。	ワイルドカードである [] を含むファイル名を検索する場合は、¥ と [] を組み合わせて検索します。 ACD¥[123¥] では ACD[123].gif と一致します。



パターンでは、大文字と小文字の区別をする必要はありません。

複数のパターンを使用するには、ファイル名をスペースまたは「;」で区切ります。

スペースまたはセミコロンを含むパターンを検索するには、“ ” でパターンを囲みます。

パターンにワイルドカードの「*」が含まれない場合、そのパターンはサブストリングとして検索されます。例えば、cat は cat、cathy および bobcat および*cat*と同様のパターンと照合します。

ブラウズ検索 を使用する

ブラウズ検索ペインは、特定のフォルダ、カテゴリ、特定の日付に該当するファイルをすばやく検索してファイル一覧ペインに表示することができます。ブラウズ検索の範囲を設定して、ファイル一覧ペインにファイルを含むあるいは除外し、ブラウズしたいファイルのみを表示します。

ブラウズ検索を最大に活用するには、[カタログ化](#) および [管理](#) されたファイルが [ACDSee データベース](#) に入っていることが必要です。ブラウズ検索は、ファイルの情報が多ければ多いほど便利な機能と言えます。

ブラウズ検索を使用するには:

[表示] メニューから [ブラウズ検索] をクリックし、ブラウズ検索ペインを開きます。

ブラウズ検索ペインで検索範囲を設定する

ブラウズ検索ペインは、次の 3 つのセクションで構成されています：フォルダ、カテゴリ、カレンダー。各セクションは、該当名のブラウザ ペインと一致します。ブラウズ検索ペインを開くと、ファイル一覧ペインの [コンテンツ バー](#) は、現在の検索範囲を表示する「ブラウズ検索バー」に置換えられます。ここで、現在のブラウズ分類のすべてが表示されます。

ブラウザ検索ペインの検索範囲にフォルダ、日付の範囲、カテゴリを追加して、検索範囲とマッチしないファイルを除外します。検索範囲にアイテムを追加または削除することで、検索結果を絞り込むことができます。

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加するには：

ブラウズ検索ペインを開き、次のいずれかの操作を行います：

- [フォルダ ペイン](#) から、1 つ以上のフォルダを選択します。
- [カテゴリ ペイン](#) から、1 つ以上のカテゴリ、そして必要に応じて重要度も選択します。
- [カレンダー ペイン](#) から、1 つ以上の日付を選択します。

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムが追加されるたびに、検索範囲とマッチするファイルがデータベースから検索され、ファイル一覧ペインに表示されます。表示されたファイルは、ACDSee で自由自在に編集、共有、移動、表示することができます。

ブラウズ検索ペインの検索範囲を設定し直すことができます：

- ブラウザ検索ペインの検索範囲からアイテムを削除するには、削除したいアイテムを右クリックして **【検索範囲から削除】** を選択します。
- 検索範囲からすべてのアイテムを除外するには、検索範囲のフォルダ／カテゴリ／カレンダーのバーをクリックして **【検索範囲に含む】** をオフにします。例えば、検索範囲からすべてのフォルダを除外するには、**【フォルダ】** バーをクリックして **【選択範囲に含む】** を選択します。ブラウザ検索ペインの検索範囲にはフォルダが表示されたままですが、検索結果として表示されません。
- 検索範囲からすべてのアイテムを削除するには、検索範囲のフォルダ／カテゴリ／カレンダーのバーをクリックして **【すべてクリア】** を選択します。
- ブラウザ検索ペインのカテゴリでは、検索範囲に指定されているカテゴリのいずれかとマッチするファイルが表示されるように、既定で設定されています。特定のカテゴリのファイルだけを表示するには、検索範囲を設定し直します。検索範囲を切り替えるには、カテゴリを右クリックで選択して **【いずれかマッチ】** または **【すべてマッチ】** を選択します。

「ブラウズ検索」のワンポイント：

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加する場合、ブラウズしたいファイルにその属性が含まれていなければなりません。例えば、フォルダ ペインからフォルダを選択すると、そのフォルダ内にあるファイルのみがファイル一覧ペインに表示されます。カテゴリ ペインの「重要度」を選択すると、その重要度が適用されているファイルのみがファイル一覧ペインに表示されます。

ブラウザ検索の検索範囲を組み合わせて、検索範囲を絞り込むことができます。例えば、「カテゴリ」と「日付」を選択すると、そのカテゴリと日付の両方とマッチするファイルのみが表示されます。検索範囲として、日付が該当してもカテゴリが該当しない場合、ファイル一覧ペインにファイルは表示されません。

ブラウザ検索ペインを非表示にする

ブラウザ検索ペインの[自動非表示] ボタンを使って、ブラウザ検索ペインを自動的に非表示にし、ファイル一覧ペインの作業領域を広げることができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン外をクリックするとロールアップされ、ペインの端のみが表示されます。ペインの端にマウスポインタを合わせると、ペインが表示されます。

自動カテゴリで検索する

何百、あるいは何千という画像を扱ったり、複数のカメラで撮影するような場合。あるいは家族全員でカメラを共有したり、コンピュータには家族や友人が撮影した画像が格納されているような場合。上記いずれかに該当する場合には、自動カテゴリを使用して画像検索を素早く行うことができます。

自動カテゴリは[カテゴリ ペイン]の[重要度]のすぐ下に表示されます。ダブルクリックまたはプラスサイン(+)をクリックして、自動カテゴリのグループを展開します。ダブルクリックまたはマイナスサイン(-)をクリックして、自動カテゴリのグループを閉じます。

自動カテゴリ情報の一部は、撮影したカメラによって画像に追加されます。例えば、カメラのメーカー名、モデル名、使用されたホワイトバランス設定、レンズ焦点距離、絞り値などがその例です。それらの情報だけでなく、画像を撮影した都市名や国名、キーワードや著作権など、補足情報を加えることもできます。これらの補足情報は、[情報の一括処理] ツールを使用するか、[プロパティ] ペインで手動入力して追加します。

自動カテゴリをクリックすると、ACDSee はそのカテゴリに属している画像を検索します。例えば、複数のカメラを使って撮影していると仮定しましょう。[フォト プロパティ] と [カメラのメーカー名] を展開し、該当のカメラに属するカテゴリを選択します。これで、そのカメラで撮影された全画像が表示されます。同様に、弟がカメラ撮影に凝っていてそれらの画像をいつも送ってくると仮定しましょう。[フォト プロパティ] と [撮影者] のグループを展開し、撮影者の一覧から弟の名前を選択します。これで、弟が撮影した全画像が表示されます。

以下は、自動カテゴリの検索ヒントを紹介しています。

よく使うカテゴリを識別する

[フォト プロパティ] で頻繁に使用する自動カテゴリがある場合には、[よく使うカテゴリ] としてそれらを追加し、検索時間を短縮することができます。既定では、[フォト プロパティ] グループの一部が [よく使うカテゴリ] のグループで使用できるように設定されています。[よく使うカテゴリ] には希望する数の自動カテゴリを追加できる他、使用しなくなった場合にはそれらを簡単に削除することができます。

[よく使うカテゴリ] に自動カテゴリのグループを追加するには:

1. [フォト プロパティ] のグループを展開します。
2. [よく使うカテゴリ] に追加したい自動カテゴリのグループを右クリックし、[よく使うカテゴリに追加] を選択します。これで、該当のグループが [よく使うカテゴリ] に追加されます。同様に、[フォト プロパティ] のグループでも表示されます。

「よく使うカテゴリ」から自動カテゴリのグループを削除するには:

1. 「よく使うカテゴリ」のグループを展開します。
2. 「よく使うカテゴリ」から削除したい自動カテゴリのグループを右クリックし、**「よく使うカテゴリから削除」**を選択します。これで、該当のグループが「よく使うカテゴリ」から削除されます。

自動カテゴリ検索を絞り込む

複数の自動カテゴリを選択することで、検索を絞り込むことができます。例えば、特定の絞り値とシャッタースピードの設定で、様々な光の下で大量の画像を撮影し、特定の設定で撮影された画像だけを表示したいと仮定しましょう。f/16 絞り値と 1/30 s のシャッタースピードの左横にあるボックスをクリックすると、ACDSee は両方のカテゴリに属する画像を検索します。

複数のカテゴリを選択する場合、[カテゴリ ペイン] の上部にある [完全/部分一致] ドロップダウンから、**「完全一致」** または **「部分一致」** を選択して、検索をより一層絞り込むことができます。[部分一致] を選択すると、選択されたカテゴリと関連付けられているあらゆる画像が表示されます。[完全一致] を選択すると、選択された全カテゴリと関連付けられている画像のみが表示されます。

また、カテゴリあるいは重要度を選択することで、検索を絞り込むことも可能です。例えば、[撮影者] のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。その撮影者が撮影したベストの画像だけを表示させたいとします。[カテゴリ ペイン] の **「重要度」** 領域から 1 を選択します。その結果、特定の撮影者と重要度 1 の画像のみが表示されます。

また、[ブラウズ検索] ペインを使用して、検索を絞り込むことも可能です。例えば、[カメラのメーカー名] のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。そのカメラで撮影した、特定日の画像だけが見たいとします。**「表示」** メニューから **「ブラウズ検索」** をクリックして **「カレンダー」** 領域を展開して、特定日を選択します。その結果、特定のカメラと特定日の画像のみが表示されます。

関連トピック

- [ファイルをカタログ化する](#)
- [複数のファイルにデータベース、EXIF、IPTC 情報を追加する](#)

重複ファイルを検索する

「重複の検索」プラグインを使って、ハードディスク上にある重複ファイルを検索することができます。検索された重複ファイルの名前を変更したり削除することで、より簡単にファイルの管理をすることができます。

次の手順は、「重複の検索」機能の基本的な使用方法です。詳細については、プラグインに搭載されている [ヘルプ] をご参照ください。



フォルダ内の画像のみを選択して、検索範囲を絞ります。

重複ファイルを検索するには:

1. ブラウザの [ツール] メニューから [重複の検索] をクリックします。
2. [検索方法の選択] ダイアログ ボックスで、検索したいファイルまたはフォルダを追加 します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - リストに追加したファイルおよびフォルダの重複を検索するには、[このリストから重複を検索する] を選択 します。
 - 作成したリストと別のリストを比較して重複を検索するには、[このリストと別のリストを比較して重複を検索 する] を選択します。
4. [次へ] をクリックします。
5. 別のリストのファイルと比較する場合、比較したいファイルまたはフォルダを第 2 リストに追加して [次へ] をクリッ クします。
6. 「検索パラメータ」のページで、完全に一致する重複を検索するか、または同じファイル名の重複を検索するか 指定します。
また、画像ファイルのみを検索することも可能です。検索の準備ができたなら、[次へ] をクリックして続行します。
7. 重複が検索されなかった場合は、検索をやり直すか、または [キャンセル] をクリックして [重複の検索] を閉じま す。
8. 重複が検索された場合は、どちらのリストからファイルを削除するか決め、削除したい重複ファイルの横のチェッ クボックスをオンにします。また、ファイル名を右クリックして、ファイルを開いたり、名前を変更をしたり、削除する ことができます。
9. [次へ] をクリックして変更を確認し、[完了] をクリックして操作を終了します。

画像をすばやく検索する

[カテゴリ ペイン](#) の「スペシャル アイテム」を使用すれば、[データベース](#) 内にあるすべての画像や、すべての [未分類の画像](#) をすばやく表示することができます。

すべての画像ファイルを一度に表示するには:

1. ブラウザの **[表示]** メニューから **[カテゴリ]** を選択して、カテゴリ ペインを開きます。
2. カテゴリペインの **[スペシャル アイテム]** から **[イメージ ウェル]** を選択します。

未分類の画像を表示するには:

1. ブラウザの **[表示]** メニューから **[カテゴリ]** を選択して、カテゴリ ペインを開きます。
2. カテゴリペインの **[スペシャル アイテム]** から **[未分類]** を選択します。
3. 「イメージ ウェル」と「未カテゴリ」機能では、[データベース](#) 内のカタログ化された画像のみが表示されます。これらの機能は、ハードディスクから特定のファイルタイプを検索しません。

関連トピック

- [カテゴリ ペインを使用する](#)
- [カテゴリと重要度を設定する](#)

第 7 章：共有する

電子メールで画像を送信する

電子メールの画像共有ウィザードを使用すれば、他の電子メールのアプリケーションを開かずに ACDSee 内から電子メールで画像を直接送信することができます。電子メールの画像共有ウィザードを使用するには、有効な電子メールアカウントが電子メールアプリケーションの既定値として設定されているか、SMTP サーバーにアクセスされるように設定されている必要があります。

電子メールで画像を送信するには:

1. ファイル一覧ペインから共有したい画像を選択して、**[ファイル]** メニューから **[電子メール]** をクリックします。
2. 電子メールの画像共有ウィザードで、**[次へ]** をクリックします。
3. 「**画像の追加およびオプション設定**」のページでは、一覧に画像を追加／削除したり、電子メールの最大サイズ、画像サイズ、圧縮率を設定することができます。変更を確認したら、**[次へ]** をクリックします。
4. 「**電子メール クライアントの選択**」のページで、既定の電子メール アプリケーションを使用して電子メールを送信するか、または SMTP サーバーを使用して送信するか指定します。送信方法について不明な場合は、[既定の電子メール クライアントを使って画像を送信する] をお試しください。**[次へ]** をクリックして続行します。
5. 次のいずれかを実行します:
 - 「画像を送信しています」のページで、画像がフォーマットされ、送信メッセージが準備されるまでしばらくお待ちください。メッセージのウィンドウが開かれたら、メッセージの宛先およびテキストを入力して、**[送信]** をクリックします。**[完了]** をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。
 - 「**SMTP アカウントの選択と作成**」のページで、**[ユーザーアカウントの作成]** ボタンをクリックし、新規 SMTP アカウントを作成するか、またはドロップダウン リストから既存のアカウントを選択し、**[次へ]** をクリックします。「**電子メール情報の入力**」のページで、電子メールメッセージの宛先、件名、メッセージを入力します。**[次へ]** をクリックし、電子メールメッセージを送信します。



電子メール プラグインは、Hotmail や Yahoo のようなインターネットベースの電子メール アプリケーションをサポートしていません。

スライドショー／スクリーン セーバーを共有する

ACDSee では、スライドショーやスクリーン セーバーを作成してご家族やお友だちと共有したり、Web サイトに掲載することができます。スライドショーまたはスクリーンセーバーのプロジェクトは、保存することができるため、後で編集することも可能です。スライドショーの作成ウィザードが手順をご案内します。

スライドショーを作成するには:

1. **[作成]** メニューから **[スライドショーファイルの作成]** を選択します。
2. **[ようこそ]** ページから、スライドショーを作成するには、**[新規スライドショーを作成する]** ラジオボタンを選択します。スライドショーの種類を指定するには、次のいずれかのオプションを選択します:

- **スタンドアロン スライドショー**：すべての画像とそれらの画像を表示するのに必要なものを含むシングル実行ファイル(.exe)を作成します。実行ファイルは、ACDSee ソフトウェアを持っていない人でも共有することができます。
 - **Windows スクリーン セーバー**：標準の Windows スクリーン セーバー ファイル(.scr)を作成し、Windows システムに保存して使用することができます。
 - **Adobe Flash スライドショー**：Web サイトに掲載することができる、コンパクトな Adobe Flash ファイル(.swf)を作成します。
3. 既存のスライドショーやスクリーンセーバーのプロジェクトを編集するには、**[既存のスライドショーをロードする]** ラジオボタンを選択し、**[参照]** をクリックしてプロジェクト(.asw ファイル)の保存先を指定します。
 4. **[次へ]** をクリックして続行します。
 5. 「**画像の選択**」のページで、スライドショーに表示される画像を確認することができます。ここで表示される画像の順番が、スライドショーの順番として設定されます。画像を変更するには**[追加]**または**[削除]**をクリックします。また、矢印ボタンを使って画像の順番を変更します。**[次へ]** をクリックして続行します。
 6. 「**ファイル固有オプションの設定**」のページで、サムネイルの横に表示されている下線をクリックし、各画像のオプションを設定します。ここで画像間のトランジション、トランジションとスライドの表示間隔(長さ)、テキスト キャプション、画像が表示される際のオーディオ ファイルを設定します。注意:オプションは出力ファイルのフォーマットによって異なり、すべてのフォーマットが全オプションをサポートしているわけではありません。**[次へ]** をクリックして続行します。
 7. 「**スライドショーのオプション設定**」のページで、各スライドを自動または手動で表示するか、スライドの表示順番、コントロールの表示／非表示を設定します。BGM に使うオーディオ ファイルを追加したり、画質、スピード、トランジションを調整することができます。**[次へ]** をクリックして続行します。
 8. 次のページでは、画像サイズのオプション、スライドショーファイルとプロジェクトファイルの保存先を設定します。オプション設定でヘルプが必要な場合は、ウィザードの右上にある**[ポップ ヒント]** ボタンをクリックし、ポップ ヒントを表示したいオプションをクリックします。
 9. 最後に**[次へ]** をクリックして、スライドショーの作成が完了するまで待ちます。完了したら、スライドショーを再生または終了します。または、ディスクの作成ウィザードを起動させて、スライドショーを CD/DVD に書き込むことができます。



オーディオ ファイルを画像に適用し、スライドショー オプションのページでもスライドショー全体にオーディオを設定している場合には、スライドショーの表示中に両方のオーディオが再生されることになります。

PDF ファイルを作成する

ACDSee では、画像を PDF (Portable Document Format) ファイルに変換することができます。PDF の作成ウィザードでは、画像から 1 つ以上の PDF ファイルを作成する方法や、画像を PDF スライドショーに追加する方法をご案内します。

PDF ファイルを作成するには:

1. ファイラー一覧ペインから、共有したい画像を選択します。
2. **[作成]** メニューから **[PDF ファイルの作成]** を選択します。
3. PDF ファイルの作成ウィザードの「ようこそ」のページで、次のいずれかのオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします:
 - **PDF スライドショーを作成する:** すべての画像をスライドショーとして表示することのできるシングル PDF ファイルを作成します。
 - **すべての画像を含む PDF ファイルを作成する:** 選択したすべての画像を含むシングル PDF ファイルを作成します。シングル PDF ファイルには複数のページが含まれます。
 - **画像ごとに PDF ファイルを作成する:** 画像ごとに別々の PDF ファイルを作成します。
4. 「**画像の選択**」のページで、選択した画像を変更したり、矢印ボタンを使って画像の順序を変更することができます。**[次へ]** をクリックして続行します。
5. 次のいずれかを実行します:
 - **[PDF スライドショーを作成する]** を選択した場合、「**トランジション オプション**」のページで、各画像の横にある **[トランジション]** リンクをクリックして、スライドショーに使用するトランジションを設定します。**[次へ]** をクリックし、スライドショーの順序、背景色、ファイル名オプションを指定します。**[次へ]** をクリックして続行します。
 - **[すべての画像を含む PDF ファイルを作成する]** または **[画像ごとに PDF ファイルを作成する]** を選択した場合、「**ファイル オプション**」のページで、ファイル名と保存先を指定し、**[次へ]** をクリックします。
6. **[完了]** をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

CD または DVD を作成する

ACDSee の「ディスクの作成バスケット」を使用して、CD や DVD に写真やファイルを焼いて、コンピュータで 사용할ことができます。ディスクの作成バスケットを使用するには、CD または DVD の書き込みデバイスがインストールされている必要があります。

ディスクの作成バスケットを使用すれば、ディスクへの書き込み準備が整うまで、画像やファイルの管理、並べ替え、格納を行うことができます。選択するディスク フォーマットによって、ユーザー指定のフォルダを作成する、既存フォルダを使用する、あるいはファイル構成を自動作成することができます。



テレビで再生可能な CD を作成したい場合には、VCD ウィザード を使用します。

CD または DVD を作成するには:

1. ディスクの作成バスケットを開くには、次のいずれかを実行します:
 - **[表示]** メニューから **[ディスクの作成バスケット]** をクリックします。
 - **[作成]** メニューから **[CD または DVD の作成]** をクリックします。
2. **[ディスクの作成バスケット]** 内で、ツールバーにある **[ディスク パーナー]** ドロップダウン リストから、ディスク作成のデバイスを選択します。このドロップダウン リストに表示されるオプションは、ご利用になっているコンピュータの CD/DVD ハードウェアによって変わります。
3. **[出力フォーマット]** ドロップダウン リストから、次のいずれかを実行します:

このドロップダウン リストに表示されるオプションは、上記の手順 2 で選択されたパーナーと、そのサポートするファイル フォーマットによって変わります。

 - **データディスク**: スタンダードの CD または DVD を作成します。フォルダ構造はユーザーが指定し、画像とあらゆる種類のファイルを含むことができます。**[フォーマット オプション]** ボタンをクリックし、ファイルと関連付けられている ACDSSee データベース情報を含むかどうか指定します。
 - **HTML スライドショー ディスク**: ディスクにコピーされた画像やメディアファイルを使ったスライドショーを、CD または DVD に作成します。スライドショーは、CD または DVD ドライブにディスクが挿入されると同時に開始されます。HTML スライドショー ディスクは複数のフォルダを含むことができませんので、ご注意ください。**[フォーマット オプション]** ボタンをクリックし、スライドショーに使用するオプションを選択します。
 - **HighMAT ディスク**: HighMAT 対応デバイスで再生することができるスライドショーを含んだ、HighMAT CD または DVD を作成します。HighMAT ディスクにはファイルにアクセスするためのグラフィカル ユーザーインターフェイスが含まれますが、ファイルが変更されたり、別のフォーマットに変換される場合があります。
 - **MPV ディスク**: MPV 対応デバイスで再生することができるスライドショーを含んだ、MPV CD または DVD を作成します。MPV ディスクにはファイルにアクセスするためのグラフィカル ユーザーインターフェイスが含まれますが、ファイルが変更されたり、別のフォーマットに変換される場合があります。
4. データディスク フォーマットを選択したら、**[ディスクの作成バスケット]** の左にあるペインで、ディスク作成に使用するフォルダ構成を編集します。新規フォルダを作成するには、フォルダ上を右クリックしショートカット メニューから**[新規フォルダ]**を選択します。新規フォルダの名前を入力し、**[Enter]** キーを押します。
5. ディスクの作成バスケットのペインに、フォルダをドラッグすることも可能です。左のペインにフォルダをドラッグする場合、マウスボタンをリリースする前に、フォルダ ツリーの既存フォルダにカーソルが置かれているかを確認します。
6. ディスクに画像やその他のファイルを追加するには、ファイル一覧ペインからディスクの作成バスケットにファイルを直接ドラッグする、あるいはファイルを選択した後に**[編集]**メニューから**[ディスクの作成バスケットに追加]**をクリックします。**[ディスクの作成バスケット]** ツールバーにあるボタンを使用してバスケット内の内容を調整したり、プロジェクトを保存あるいは開くことができます。詳細につきましては、以下の表をご覧ください。
7. ディスクの作成準備が完了したら、**[書き込み]** をクリックします。

ディスクの作成バスケット ツールバー ボタン

	フォーマット オプション	選択フォーマットに使用するオプションを設定できる、[フォーマット オプション] ダイアログが登場します。
	ディスクの作成バスケットに追加	現在選択されているファイルやフォルダを、ディスクの作成バスケットに追加します。
	ディスクの作成バスケットから削除	現在選択されているファイルやフォルダを、ディスクの作成バスケットから削除します。
	すべて解除	ディスクの作成バスケット内の項目をすべてクリアします。
	新規フォルダ	新規サブフォルダを作成します。
	名前を変更する	現在選択されているファイルまたはフォルダの名前を変更します。
	プロジェクトの保存	ディスクの作成バスケット内で使われている項目や設定をプロジェクト ファイルとして保存します。プロジェクト ファイルは後で編集することができます。
	プロジェクトを開く	保存されているプロジェクトを開きます。

ビデオファイルまたは VCD を作成する

新しい機能である [ビデオまたは VCD の作成] ウィザードを使用して、お気に入りの画像やメディアファイルをスライドショーのビデオファイルとして作成したり、テレビで再生可能な VCD を作成することができます。

(VCD ウィザードは CD または DVD の作成を使用した CD フォーマットとは異なるフォーマットを作成します。)

ビデオまたは VCD を作成するには:

1. [作成] メニューから [ビデオまたは VCD の作成] をクリックします。
2. [ようこそ] ページで、以下のいずれかのオプションを選択します:
 - VCD の作成
 - ビデオ ファイルの作成
3. ウィザードの手順に従って、スライドショーを作成します。ビデオファイルまたは VCD の作成に関する詳細につきましては、ウィザード内にある[ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

HTML アルバムを作成する

[HTML アルバム] ウィザードを使用して、画像コレクションをインターネットに掲載することができます。Web ページ アルバムは、スライドショーのコントロールやサムネイル表示を含みます。ギャラリー スタイル一覧から希望するテンプレートを選択し、気に入った画像をロゴとして追加したり、ヘッダーやフッターにテキストを入力してカスタマイズします。もちろんフォントの色やスタイルも設定可能です。

HTML アルバムを作成するには:

1. ファイラー一覧ペインから、共有したい画像を選択します。
2. **[作成]** メニューから **[HTML アルバムの作成]** を選択します。
3. **[HTML アルバムの作成]** ウィザードの **[スタイル設定]** ページで、**[ウェブ ページのスタイル]** ボックスからギャラリー スタイルを選択します。



ギャラリー スタイルとその他の設定を選択したら、**[ギャラリーのプレビュー]** をクリックして、HTML アルバムの仕上がりがプレビューを確認します。**[アルバムの作成]** をクリックして、**[HTML アルバムの作成]** ウィザードのあらゆるページから、HTML アルバムを作成することができます。

4. **[次へ]** をクリックします。
5. **[ギャラリーのカスタマイズ]** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
 - **[ギャラリー タイトル]** のテキスト ボックスに、ウェブ ページの上部に表示させるタイトルを入力します。
 - **[ヘッダーを含む]** を選択してページ上部にヘッダーを表示、あるいは **[ヘッダーを含む]** の選択を解除してヘッダー テキストを削除します。
 - **[フッターを含む]** を選択してページ上部にフッターを表示、あるいは **[フッターを含む]** の選択を解除してフッター テキストを削除します。
 - ヘッダーあるいはフッターに画像を表示させたい場合には、**[画像を使用する]** を選択した後に **[参照]** をクリックし、会社のロゴやユーザーのポートレイトなど希望する画像を選択します。
 - ヘッダーまたはフッターに特定の画像情報を表示させたい場合には、**[情報を使用する]** を選択した後に **[情報の設定]** をクリックし、希望する情報を選択します。
6. **[フォルダ設定]** セクションにある **[参照]** をクリックし、HTML アルバムファイルの保存先を指定します。
7. **[次へ]** をクリックします。
8. **[サムネイルと画像]** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
 - **[サムネイル設定]** セクションで、アルバムの外観とサムネイルのフォーマットを調整します。
 - **[画像設定設定]** セクションで、アルバムの外観とフルサイズ画像のフォーマットを調整します。
 - **[スライドショーの長さ]** セクションで、スライドショー内のフルサイズ画像の表示時間を指定します。
 - **[カラーとフォント設定]** セクションの **[カラーとフォント]** をクリックして、ウェブ ページに使用する色とフォントを設定したら、**[OK]** をクリックします。



[設定の保存] をクリックして、特定のウェブスタイルに選択した設定を保存します。設定を保存しておくと、**[HTML アルバムの作成]** ウィザードにある **[スタイルの設定]** ページで、その設定を次回から再利用できるため便利です。

9. **[次へ]** をクリックして HTML アルバムを作成します。ACDSee がウェブ ページとサムネイルを作成中、しばらくお待ちください。

10. **[別のアルバムを作成する]** をクリックして別のアルバムを作成するか、**[完了]** をクリックしてウィザードを閉じ ACDSee に戻ります。

HTML アルバムをウェブ サイトに掲載するには、FTP または別の方法を使う必要があります。

ウェブサイトに画像をアップロードする

ACDSee から Flickr のようなサイトに直接画像や写真をアップロードできるようになりました。これらのサイトにアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。ご希望の場合には、初めてアップロードするプロセスの一部として、アカウントを作成することができます。

承認する

Web サイトにアップロードする前に、そのサイトと ACDSee を承認する必要があります。ACDSee の承認を一度完了したら、アプリケーションを離れることなく、すばやくアップロードすることができます。承認のプロセスは、各サービスによって異なります。そのため、各サービスのダイアログ ボックスにある **[ヘルプ]** ボタンをクリックして、ヘルプファイルをご覧ください。ようお勧めします。

サービスについて情報を得るためには:

[アップロードするサービスの選択] ボックスから、名前をクリックします。

選択されたサービスに関する情報が、右手のボックスに表示されます。

Web サイトに画像をアップロードするには:

1. ACDSee のアプリケーション内からアップロードしたい画像を選択します。
2. ブラウザで、次のいずれかの操作を行います:
 - メニューバーで **[ファイル]** メニューから **[アップロードする]** をクリックします。
 - ツールバーで **[アップロードする]** をクリックします。
 - 右クリックして **[アップロードする]** を選択します。
3. **[アップロード マネージャ]** ダイアログから、使用するサービスを選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. ウィザードの指示に従って画像をアップロードします。各サービスによって手順が異なりますのでご注意ください。
5. ヘルプが必要な場合には、**[ヘルプ]** ボタンをクリックします。サービスごとにヘルプ ファイルが用意されています。ダイアログ ボックス内に該当のヘルプ ファイルが表示されます。

新規サービス

新規サービスがご利用いただけるようになると、サービスの名前が **[使用可能な新規サービス]** ボックスに表示されます。新規サービスにはフォト パブリッシュやその他のオンライン サービスを含んでいることがあります。新規サービスが使用できるようになると、ただちに **[使用可能な新規サービス]** ボックスに自動表示されます。そのため、すぐに新規サービスをインストールし、ご使用いただくことが可能です。

新規サービスをインストールするには：

1. **【使用可能な新規サービス】** ボックスに新規サービスが表示されたら、その名前を選択し **【インストール】** をクリックします。
2. 表示される指示に従ってインストールを行います。

コンタクトシートを作成する

ACDSee では、画像サムネイルをページに並べて表示することのできる「コンタクトシート」を作成することができます。コンタクトシートは、画像の管理または共有に大変便利です。「コンタクトシートの作成」ユーティリティを使用して作成したコンタクトシートは、マルチ画像フォーマットまたは HTML 画像マップとして保存することができます。また、現在のオプション設定を [プリセット](#) として保存することも可能です。

サムネイルのサイズは、コンタクトシートで設定された行／列数やサムネイル間のスペースによって異なります。

コンタクトシートを作成するには：

1. ブラウザから画像を選択し、**【作成】** メニューから**【コンタクトシートの作成】** を選択します。
2. **コンタクトシート フォーマット** 領域から、コンタクトシートのオプションを設定します。
3. **出力設定** 領域から、出力の設定オプションを設定します。
4. 必要に応じてページの **テキスト** を追加／変更します。
5. **【OK】** をクリックします。



出力ファイルのパスを指定しない場合、ファイルに「Contact Sheet.<ext>」という名前を付けて既定の画像フォルダ内に保存します。コンタクトシートがマルチページの場合、「*Contact Sheet3.bmp*」のようにファイル名の後に数字が加わります。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル 設定	サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
	間隔	行／列の間隔を指定します。[横] および [縦] スピンボックスに、表示されるサムネイル間のスペースの値を入力します。
フレーム オ プション	サムネイル フレームを使用 する	サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	無地	フレームの色を指定します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	フレームとして使う画像を指定します。[参照] をクリックして使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	マット	サムネイルのフレームにマット効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	V カット枠	サムネイルに V カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。
ページ背景 オプション	無地	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	ページの背景に並列画像を使用します。[参照] をクリックして使用する画像を指定します。

関連トピック

→ [ACDSee で画像を印刷する](#)

アーカイブ ファイルを作成する

アーカイブの作成 プラグインを使って、画像やメディアファイルのアーカイブ ファイルを作成することができます。「アーカイブの作成」機能は複数のアーカイブ フォーマットがサポートしており、圧縮、暗号、パスワードの保護ツールを使って画像を管理することができます。

アーカイブを作成するには:

1. ファイル一覧ペインから、ファイルまたはフォルダを選択します。

2. **【作成】**メニューから**【アーカイブの作成】**を選択します。
3. **【アーカイブの作成】**ダイアログ ボックスで、**【アーカイブの種類】**ドロップダウン リストから作成したいアーカイブフォーマットを選択します。
アーカイブ フォーマットによっては追加設定がありますので、**【設定】** ボタンをクリックして設定します。
4. 次のいずれかを実行します：
 - 選択したサブフォルダの内容を含むには、**【サブフォルダを含む】**チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブに隠しファイルを含むには、**【隠しファイルを含む】**チェックボックスをオンにします。
 - 選択したファイルとフォルダがアーカイブに追加された後にハードディスクから削除するには、**【アーカイブ作成後にファイルを削除する】**チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブの内容をパスワードで保護するには、**【アーカイブをパスワード保護する】**チェックボックスをオンにして、フィールドにパスワードを入力します。注意：パスワードは、すべてのアーカイブの種類でサポートされているわけではありません。
5. **【出力ファイル】**フィールドにファイルのパスを入力するか、または**【参照】**をクリックしてフォルダを検索します。
6. 次のいずれかのオプションを選択します：
 - **既存のアーカイブに追加する**：ファイルを既存のアーカイブに追加します。このオプションは**【出力ファイル】**フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
 - **既存のアーカイブを上書きする**：既存のアーカイブと作成したアーカイブを置換えます。このオプションは**【出力ファイル】**フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
7. 変更を確認したら、**【作成】** ボタンをクリックしてアーカイブ ファイルの作成を開始します。

アーカイブされたファイル (.zip) を展開する

ACDSee から離れることなく、アーカイブされたファイル (.zip) を素早く、簡単に展開することができます。フォルダに展開するか、ダブルクリックしてファイルの内容を表示することができます。

アーカイブされたファイルをフォルダに展開するには：

1. ブラウザで、フォルダ ペインを使用して アーカイブされたファイルを含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. ファイラー一覧で、アーカイブされたファイルの上をクリックして便利機能ツールバーを開きます。

ツールバーに**【フォルダに展開する】** アイコンが表示されます。

3. ツールバーで**【フォルダに展開する】**をクリックします。
4. **【フォルダに展開する】**ダイアログで、ファイルの保存先となるフォルダを指定します。
5. 新規フォルダを作成するには、**【フォルダの作成】** ボタンをクリックし、フォルダ名を入力してから**【Enter】**キーを押します。

6. 展開先のフォルダに同名のファイルが存在する場合の対応法を指定するには、**[重複ファイルを上書きする]** ドロップダウンから選択します。以下の選択肢から選択します：
 - **確認する** - 各ファイルに対する対応法を確認します。
 - **名前の変更** - 重複ファイルに新しい名前が付けられます。
 - **置換** - 重複ファイルは上書きされます。
 - **スキップ** - 重複ファイルが有る場合、ファイルは展開されません。

アーカイブされたファイルの内容を表示するには:

1. ブラウザで、[フォルダ ペインを使用して](#) アーカイブされたファイルを含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. アーカイブされたファイルをダブルクリックします。
アーカイブファイルが開かれます。
3. アーカイブフォルダをダブルクリックします。
ファイル一覧に、アーカイブファイルの内容を示したサムネイルが表示されます。

SendPix アルバムを作成する

ACDSee は、デジタル画像の無料共有サービスである SendPix を含んでいます。画像アルバムを作成し、ご家族やお友だちと共有することができます。作成したアルバムは、ACD Systems 社の保護サーバーに 30 日間保存されます。指定された受信者には、SendPix から電子メールが届き、標準の Web ブラウザを利用してアルバムを表示することができます。特別なソフトウェアは必要ありません。

また、個人のブログやサイトでホストすることができるフォト ウィジェットを作成することも可能です。フォト ウィジェットはスクロール可能なフォト ギャラリーのことで、クリックすると SendPix のフル アルバムにアクセスすることができます。

画像を SendPix で共有するには:

1. ファイル一覧ペインから、共有したい画像を選択します。
2. **[ファイル]** メニューから **[SendPix アルバム]** を選択します。
3. 「SendPix アルバムの作成ウィザード」の手順に従ってください。機能やコントロールについての詳細は、ウィザード内の **[ヘルプ]** ボタンをクリックしてください。

フォト ウィジェットを作成するには:

1. ブログにフォト ウィジェットを掲載する方法につきましては、[こちら](#) をクリックしてください。
2. リンクが上手く接続されない場合には、ご利用になっているブラウザのアドレス フィールドに次の URL を貼り付けてください: http://www.sendpix.com/help_ja/



PowerPoint プレゼンテーションを作成する

「PPT の作成ウィザード」を使用して、ACDSee 内から素早く PowerPoint プレゼンテーションを作成することができます。ウィザードは、ご希望の画像を使ったプレゼンテーションの作成または編集のプロセスをご案内します。スライドの長さ、ファイルの場所、各スライドの画像数を設定したり、背景にデザイン テンプレートを使用するかを指定することができます。また、各スライドにキャプション、タイトル、注記を追加することができます。



この機能は、ご使用のコンピュータに Microsoft PowerPoint がインストールされている場合にのみご利用いただけます。また、RAW ファイルはサポートされていないため、RAW ファイルを別のファイル フォーマットに変換する必要があります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成するには：

1. ファイラー一覧ペインから、共有したい画像を選択します。
2. **[作成]** メニューから **[PPT の作成]** を選択します。
3. PPT の作成ウィザードの **[画像の選択]** ページで、**[追加]** をクリックして画像を追加します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. **[プレゼンテーション オプション]** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
6. プレゼンテーションを新規作成する場合、**[プレゼンテーション オプション]** 領域で各スライドの表示時間(長さ)を指定します。
7. プレゼンテーションを編集している場合、**[既存プレゼンテーション]** を選択し **[パス]** フィールドをアクティブにした後、該当のプレゼンテーションを参照します。プレゼンテーションの開始、または終了にスライドを挿入したい場合は、**[スライドの挿入]** からオプションを選択します。
8. ドロップダウン リストから **[各スライドの画像数]** を選択します。(1 画像よりも大きい数を選択した場合、次ページで「タイトル」と「注記」オプションを設定することはできません。)

9. プレゼンテーションに画像を埋め込むのではなく、画像と ACDSee をリンクした状態に保ちたい場合には、**[画像ファイルヘリンク]** を選択します。
10. **[デザイン テンプレートの使用]** をクリックし、ご利用になっているコンピュータのフォルダを参照に背景用のテンプレートを選択します。(PowerPoint テンプレートは、通常 Microsoft Office | Templates | Presentation Designs に格納されています。)
11. **[次へ]** をクリックします。

[テキスト オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：

1. **[キャプション]** タブで、キャプションとなるテキストを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、ファイル名や画像サイズといったメタデータ情報を挿入することも可能です。キャプションはスライドの下部に表示されます。
2. **[タイトル]** タブで、スライドのタイトルを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したりメタデータ情報を挿入することも可能です。
3. **[注記]** タブで、各スライドに添付される「注記」セクションに表示されるテキストを入力します。注記は、スライド自体では表示されませんのでご注意ください。
4. **[作成]** をクリックします。

作成されたプレゼンテーションが PowerPoint で開かれます。他のプレゼンテーション同様、編集が可能です。

再生する

オーディオとビデオ ファイルを再生する

ACDSee のビューアでは、様々なオーディオ／ビデオ ファイル フォーマットを再生することができます。ビューアでは、再生ボリュームや外観を設定したり、メディア ファイルの一部を選択して再生または保存したり、ビデオ フレームから画像を作成することができます。

オーディオ／ビデオ ファイルを再生するには：

ファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します

- オーディオまたはビデオ ファイルをダブルクリックします。
- 1 つ以上のファイルを選択して、**[Enter]** キーを押します。
- 1 つ以上のファイルを選択して、それらのファイルを右クリックした後 **[表示]** を選択します。
- メディアツールバーを使用して、ボリューム調節、停止、一時停止、繰り返し、メディア ファイルの外観を変更します。

オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する

ビューアまたはブラウザの [プレビュー ペイン](#) で、オーディオまたはビデオ ファイルを開くと自動的に再生されるように設定することができます。

メディア ファイルを自動再生するには：

1. ブラウザまたはビューア内で、[ツール] メニューの [ACDSee オプション] をクリックし、[プレビュー] を選択します。
2. [オーディオおよびビデオクリップの 自動再生] チェックボックスをオンにします。
3. [OK] をクリックします。

メディア ツールバー

ビューアのメディア ツールバーを使用すれば、頻繁に使用するメディアの表示や編集ツールにすばやくアクセスすることができます。

メディア ツールバーのボタン

	再生	メディア ファイルまたは選択範囲を再生します。メディア ファイルまたは選択範囲の再生中は、一時停止ボタンに変わります。
	一時停止	メディア ファイルまたは選択範囲を一時停止します。
	停止	メディア ファイルまたは選択範囲の再生を停止します。

選択範囲とメディア コントロールのツールバー ボタン

	選択範囲の表示	選択ハンドルを表示または非表示にします。
	選択範囲の再生	メディア ファイルの選択範囲のみを再生します。
	名前を付けて保存	新しいファイル名を付けてビデオを保存します。
	フレームの抽出	ビデオフレームをコピー、保存、抽出することのできるメニューを開きます。
	ループ	メディア ファイルまたは選択範囲を繰り返し再生します。
	回転	ビデオを時計回りに 90 度回転します。
	自動レベル効果	ビデオの色と光のレベルを自動的に調整します。
	ガンマ効果	[ガンマ] ダイアログ ボックスを開き、ビデオのガンマ値を補正します。大きな値ほど、ビデオは明るくなります。ガンマ値をリセットするには、[既定値] をクリックします。

関連トピック

→ [ビデオファイルまたは VCD を作成する](#)

メディア ファイルの一部を選択する

オーディオまたはビデオ ファイルの一部を選択して再生することができます。

オーディオまたはビデオ ファイルの一部を選択するには:

1. **【選択範囲の表示】** ボタンをオンにします。
2. 開始部分と終了部分のハンドルを移動して再生する範囲を指定します。
3. 選択範囲を再生するには、メディア ツールバーの **【選択範囲の再生】** ボタンをクリックします。

ビデオのフレームを画像として保存する

ビデオのフレームから画像を抽出して静止画像として保存したり、複数のフレームをシングル画像として保存することができます。

ビデオのフレームを画像として保存するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ビデオの再生中に、保存したいフレームで **【一時停止】** ボタンをクリックします。
 - スライダをドラッグして、保存したいフレームを表示します。
2. [選択範囲とメディア コントロール](#) のツールバーの **【フレームの抽出】** ボタンをクリックし、**【現行フレームを抽出...】** を選択します。
3. **【現行フレームの抽出】** ダイアログ ボックスで、ファイルの保存先を選択します。
4. **【ファイル名】** フィールドにファイル名を入力します。
5. **【ファイルの種類】** ドロップダウン リストからファイル フォーマットを選択します。**【オプション】** ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットに関連したオプションを選択または変更をします。
6. **【保存】** ボタンをクリックします。

複数のビデオのフレームを複数の画像として保存するには:

1. ビデオの一部を [選択](#) します。
2. [選択範囲とメディア コントロール](#) のツールバーの **【フレームの抽出】** ボタンをクリックし、次のいずれかのオプションを選択します:
 - **選択されたフレームを抽出:** ビデオ ファイルの選択範囲に含まれるすべてのビデオのフレームを抽出します。
 - **すべてのフレームを抽出:** ビデオ ファイルのすべてのフレームを抽出します。
3. **【フレームを抽出する】** ダイアログ ボックスの **【参照】** ボタンをクリックし、ファイルの保存先を選択します。
4. **【ファイル名】** フィールドにファイル名を入力して画像を保存します。連番を挿入するには、「#」を入力します。
5. **【フォーマット】** ドロップダウン リストからファイル フォーマットを選択します。**【オプション】** ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットに関連したオプションを選択または変更をします。

6. [OK] をクリックします。

画像オーディオを追加／編集する

ACDSee は、オーディオが埋め込まれた画像やオーディオ ファイルと関連付けられた画像をサポートしています。

オーディオが埋め込まれた画像とは、オーディオがファイル内に保存されている TIFF または JPEG 画像を指します。画像にオーディオを追加することで、画像ファイルにオーディオを埋め込むことができます。

オーディオ ファイルと関連付けられた画像 とは、WAV ファイルとペアになっている画像のことです。画像ファイルと関連付けられたオーディオ ファイルは、同じフォルダ内に同じファイル名で保存されます。WAV ファイルに画像とファイル名を付けて同じフォルダ内に保存したり、画像にオーディオを追加することで、画像とオーディオを関連付けることができます。



関連付けられた画像ファイルまたはオーディオファイルの移動、または名前を変更する場合、同じフォルダ内で両方のファイルの名前を変更しなければなりません。そうでなければ関連付けが適切に行われません。なお、オーディオが埋め込まれた画像には適用されません。

画像にオーディオを追加するには：

1. 次のいずれかを実行します：
 - ブラウザで画像を選択します。
 - ビューアで画像を開きます。
2. [ツール] メニューから、[画像オーディオ] を選択し、[編集] をクリックします。
3. [オーディオの編集] ダイアログ ボックスで、[参照] ボタンをクリックします。
4. .WAV ファイルを選択し、[保存] をクリックします。
5. オーディオ ファイルの一部を削除したい場合、[マーカーを使用する] チェックボックスをオンにして、[開始マーカー] と [終末マーカー] のスライダをドラッグします。次のいずれかを実行します：
 - オーディオファイルの始まりと終わり(開始マーカーと最終マーカーの範囲外)を削除するには、[切り捨て] ボタンをクリックします。
 - オーディオ ファイルの一部(開始マーカーと最終マーカーの 範囲内)を削除するには、[クリップ] ボタンをクリックします。
6. ファイルのプレビューを聞くには、[再生] ボタンをクリックします。
7. [OK] をクリックします。

画像に録音したオーディオを追加する：

オーディオ ファイルを録音して、画像に追加することができます。JPEG または TIFF 画像にオーディオを追加する際、オーディオは画像に埋め込まれます。その他のファイル フォーマットでは、オーディオは画像に関連付けられます。オーディオ ファイルは画像と同じフォルダに保存され、画像が表示される際に再生されます。

オーディオ ファイルを録音し画像に追加するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - ブラウザで画像を選択します。
 - ビューアで画像を開きます。
2. [ツール] メニューから、[画像オーディオ] を選択し、[編集] をクリックします。
3. [オーディオの編集] ダイアログ ボックス内で、以下を参照にして [サウンドの録音設定] オプションを設定します。
4. [録音] をクリックし、次のいずれかを実行します:
 - マイクを使用してサウンドを録音します。
 - コンピュータのオーディオ プレイヤーでオーディオを再生します。
5. [録音] ボタンをもう一度クリックし、録音を停止します。
6. [名前をつけて保存] ボタンをクリックし、オーディオファイルを保存します。
7. [サウンド ファイルの保存] のダイアログ ボックスで、[ファイル名] のフィールドにファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。
8. [OK] をクリックします。

サウンドの録音設定 オプション

キャプチャ デバイス	オーディオの録音に使用するデバイスを指定します。
入力フォーマット	サウンドの録音に使用するサンプル レートとオーディオ タイプを指定します。表示されるフォーマットは、コンピュータにインストールされているサウンド カードにより異なります。
上書き	録音されたオーディオを [開始マーカー] のスライダの位置に上書きします。
ミックス	既存のオーディオ ファイルと録音を結合します。
開始マーカーの位置に挿入	開始マーカーの位置に録音を挿入します。[開始マーカー] スライダをドラッグし、位置を選択します。
サウンド ファイルに追加	既存のオーディオ ファイルに録音を追加します。
サウンド ファイルの置換え	オーディオ ファイル全体を新しい録音と置換えます。

関連トピック

- [ビデオファイルまたは VCD を作成する](#)
- [サポートされているファイル フォーマット](#)

第 8 章 : 印刷する

ACDSee で画像を印刷する

ACDSee の印刷ユーティリティでは、プリンタでサポートされている画像の用紙サイズ、方向、およびプリンタがサポートしている解像度から印刷に使用する解像度を設定することができます。また、印刷ユーティリティを使えば、ヘッダー／フッター／キャプションが追加された画像のコンタクトシートを印刷することもできます。

[印刷] ダイアログ ボックスのオプションを変更するたびに、アップデートされた画像のプレビューと用紙の位置が表示されます。その他に、出力サイズの調整、印刷部数の設定、各ページの画像の方向を変更することができます。

画像を印刷するには:

1. 印刷したい画像（1 つ以上）を選択します。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
3. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します:
 - [フルページ] を選択し、[フォーマット] 一覧から希望する印刷サイズを選択します。
 - [コンタクトシート] を選択し、[コンタクトシート フォーマット] オプションを設定して希望するコンタクトシートを定義します。
 - [レイアウト] を選択し、希望するレイアウトオプションを選択します。
4. [プリンタ オプション] タブをクリックし、使用するプリンタ、用紙サイズ、印刷部数、印刷範囲、解像度などを指定します。
5. [ページ設定] タブをクリックし、ページの位置や余白などを指定します。
6. 各画像の印刷部数を指定します。[フルページ] または [コンタクトシート] を印刷する場合、このオプションは [ページ設定] タブに表示されます。[レイアウト] を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加します。[フルページ] または [コンタクトシート] を印刷する場合、キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加することができます。
8. [印刷] ボタンをクリックします。

関連トピック

→ [カスタム印刷レイアウトを作成する](#)

プリンタ オプションを設定する

ACDSee で画像を印刷する際、使用するプリンタとプリンタ オプションを指定することができます。

プリンタ オプション

プリンタ	使用するプリンタを指定します。使用するプリンタをドロップダウン リストから選択したら、 [プロパティ] ボタンをクリックしてプリンタのオプションを設定します。詳細については、プリンタ製造元のヘルプ ファイルをご参照ください。
用紙サイズ	Letter、Legal、A4 など、用紙サイズを指定します。
方向	[縦] または [横] の印刷方向を指定します。
印刷部数	印刷する部数を指定します。
印刷範囲	次のいずれかのオプションを選択します： ● すべて：ドキュメントのすべてのページを印刷します。 ● ページ指定：指定されたページのみを印刷します。フィールドに開始ページと終了ページを入力します。
解像度	画像に使用する 1 インチあたりの解像度 (PPI=pixels-per-inch) を指定します。大きな値ではインチあたりのドット数が多くなり、印刷する画像の解像度が高くなります。例：600 PPI = 360,000 (600 x 600) PPI
フィルタ	画像を印刷する際に使用するリサンプル フィルタを指定します。ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します： ● Box：画像のサイズを変更した際、タイリング または ジャギーが目立ちがちになります。 ● Triangle：画像の拡大と縮小に適していますが、シャープなラインが表示される場合があります。 ● Bicubic：写真のような画像、複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 ● Bell：画像をスムーズにします。 ● B-Spline：画像をスムーズにしますが、ぼかし効果が強くなる場合もあります。 ● Lanczos：最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然な結果に仕上がることもあります。 ● Mitchell：写真のような細かい画像を拡大する際、スムーズに仕上げてます。[Lanczos] フィルタの不自然な仕上がり和其他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。
ガンマ補正を行う	印刷画像にガンマ補正値を適用します。 [ガンマ補正値] フィールドに 0.10 から 3.00 までの数字を入力して、画像のガンマ値を調整します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
可能な場合は EXIF 2.2 印刷を使用する	デジタルカメラの種類によっては EXIF 情報をキャプチャするものがあります。EXIF 印刷を使用すると印刷の最適化に繋がります。ご使用になっているデジタルカメラおよびプリンタが EXIF 2.2 印刷をサポートしている場合には、このオプションを選択してください。

画像サイズと位置を設定する

[印刷] ダイアログ ボックスの [ページ設定] タブのオプションでは、印刷する画像のサイズおよび各ページの位置を設定することができます。

ページ設定 オプション

ページの位置	各ページの画像の位置を指定します。
余白	余白のサイズを指定します。値を入力するか、「上」、「下」、「左」、「右」スピンボックスの矢印をクリックします。
画像単位の印刷部数	各画像の印刷部数を指定します。必要に応じてページが追加されます。
印刷フォーマットに合わせて画像を自動回転する	各画像の印刷方向を自動選択にするかどうか指定します。チェックボックスをオンにすると、印刷する画像に合わせて各ページの印刷方向を変更します。
縦横比を保持する	画像の縦横比を保持して印刷するかどうか指定します。次のいずれかのオプションを選択し、大きなサイズの画像の縦横比の扱い方を指定します。 ● 印刷フォーマットに合わせてトリミングする：印刷フォーマットに収まる画像の一部のみを印刷します。 ● 印刷フォーマットに合わせて縮小する：印刷フォーマットに合わせて画像全体を縮小します。

ページにテキストを追加する

ページにヘッダーやフッターを追加したり、画像の下にキャプションを追加することができます。

印刷画像にキャプションを追加するには：

1. [印刷](#) ユーティリティー内から、[キャプション] タブをクリックします。
2. [キャプション テキストを使用する] をクリックします。
3. [フォント] をクリックして [フォント] ダイアログ ボックスを開き、オプションを設定します。
4. テキスト フィールドに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
5. [メタデータの挿入] をクリックして、各画像のキャプションにファイルの固有情報を挿入します。
6. [テキストの配置] ドロップダウン リストから、キャプションの位置を選択します。
7. 各キャプションの最大行数を設定するには、[行数] チェックボックスを選択し値を指定します。

印刷ページにヘッダー／フッターを追加するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - [ヘッダー] タブをクリックし、[ヘッダー テキストを使用する] を選択します。
 - [フッター] タブをクリックし、[フッター テキストを使用する] を選択します。
 - [フォント] をクリックして [フォント] ダイアログ ボックスを開き、オプションを設定します。
2. テキスト フィールドに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
3. テキストに現在のページ番号、あるいは合計ページ数を入力するには、[ページ番号の挿入] をクリックし、メニューから希望するオプションを選択します。
4. [テキストの配置] ドロップダウン リストから、ヘッダーまたはフッターの位置を選択します。
5. テキストの最大行数を設定するには、[行数] チェックボックスを選択し値を指定します。

コンタクトシート オプションを設定する

印刷ユーティリティの [コンタクトシート フォーマット] セクションでは、サムネイルのサイズ、レイアウト、外観を設定することができます。フォーマット オプションが [プリセット](#) として既に保存されている場合、該当するプリセットを選択することができます。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル設定	サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
	間隔	行／列の間隔を指定します。[横] および [縦] スピンボックスに、表示されるサムネイル間の間隔の値を入力します。
フレーム オプション	サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	無地	フレームの色を指定します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	フレームとして使う画像を指定します。[参照] をクリックして使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	マット	サムネイルのフレームにマット効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。

ページ背景オプション	V カット枠	サムネイルに V カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。
	無地	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	ページの背景に並列画像を使用します。[参照] をクリックして使用する画像を指定します。

カスタム印刷レイアウトを作成する

カスタム印刷レイアウトを作成し、印刷オプションとしてそれらのレイアウトを保存することができます。

カスタム印刷フォーマットを作成するには:

- 1. [印刷] ダイアログ ボックスの [フルページ] をクリックします。
- 2. [フォーマット] フィールドにある、[追加] ボタンをクリックします。
- 3. [カスタム フォーマットの追加] ダイアログ ボックスで、[使用する単位] ドロップダウン リストから使用する単位を選択します。
- 4. [フォーマットの幅] および [フォーマットの高さ] フィールドに新規フォーマットのサイズを入力します。
- 5. [追加] をクリックします。

第 9 章 : カスタマイズ

オプションを設定する

全般 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスでは、ワンポイントの表示、日付の表示、特定の画像タイプの表示を設定することができます。

ACDSee 全般 オプションを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [全般] をクリックします。
3. 「全般」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

全般 オプション

ガンマ補正を行う	画像を表示またはプレビューする際に、指定されたガンマ補正值を適用します。
画像の取り込みウィザードの [ようこそ] ページを表示する	画像の取り込みウィザードを起動する度に、[ようこそ] ページを表示します。
プログラムのアップデートを自動チェックする	プログラムのアップデートを自動チェックします。
スクリーン キャプチャのワンポイントを表示する	スクリーン キャプチャ機能を使用する際、ワンポイントを表示します。
壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する	小さな画像を拡大してデスクトップ全体に合わせ、壁紙として設定します。
画像アニメーションを無効にする	ブラウザのプレビュー ペインおよびビューアで、画像アニメーションの最初のフレームのみが表示されます。
EXIF 方向を基準にして、JPEG および TIFF 画像を自動的に回転する	ACDSee で TIFF や JPEG 画像を表示する際、EXIF 方向を基準にして画像を自動回転させます。
ステータスバーの日付	ステータスバーに表示するファイルの日付を指定します。
既定のシステム フォーマット	既定のシステム フォーマットを使用して、ステータスバーに日付および時間を表示します。
カスタム フォーマット	カスタム フォーマットを使用して、ステータスバーに日付および時間を表示します。日付と時間のフォーマットを、ドロップダウン リストから選択します。

ブラウザ オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスでは、既定の開始フォルダや配色など、ブラウザのための様々なオプションを設定することができます。

ブラウザ オプションを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [ブラウザ] をクリックします。
3. 「ブラウザ」のページで、下記を参考にしてオプションの設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

ブラウザ オプション

既定の開始フォルダ	前回使用したフォルダ (すべてのブラウズ条件を含む)	ACDSee で前回使用したフォルダと同じフォルダをブラウザで開きます。前回使用したすべてのブラウズ条件は自動的に適用されます。
	フォルダの指定	指定されたフォルダをブラウザで開きます。[参照] ボタンをクリックして、ハードディスク上から開始フォルダを指定します。
タスクバー	タスクバーにアイコンを表示する	タスク バーの通知領域に ACDSee アイコンを表示します。
	終了時にタスクバーで ACDSee を起動し続ける	アプリケーション終了時に、バックグラウンドで ACDSee を起動し続けます。タスク バーの通知領域の ACDSee アイコンをクリックするだけで、ACDSee を再起動することができます。
	システム起動時に ACDSee をタスクバーに起動する	システム起動時に、ACDSee を自動的に起動します。
ブラウザの表示	ACDSee で使用する配色を指定します。既定値は [ブラック] です。	
終了時に履歴パスをクリアする	ACDSee の終了時に、最近使ったフォルダ パスを削除します。	
タイトルバーに完全なパスを表示する	画像の完全なパスを ACDSee タイトルバーに表示します。	
エラー報告	ACDSee にエラーが発生した場合、ログを表示させたくない場合はこのオプションを選択します。	

ファイル一覧ペイン オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスでは、ファイル一覧ペインのオプションを設定することができます。例えば、アーカイブ ファイルをサブフォルダでグループ化したり、異なる背景色を使用して画像タイプをハイライトすることができます。また、ファイル一覧ペインで表示されるファイルの種類やサムネイルをカスタマイズすることも可能です。

ファイル一覧ペイン オプションを設定するには:

- 1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
- 2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [ファイル一覧] をクリックします。
- 3. 「ファイル一覧」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
- 4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

ファイル一覧 オプション

ファイル一覧	新規ファイルを自動的に選択する	ファイル一覧ペインに表示されているフォルダに新規ファイルが追加された際、新規ファイルを自動的に選択します。
	アーカイブをフォルダでグループ化する	ファイル一覧ペインで項目を並べ替える際、アーカイブ ファイルをフォルダとして扱います。
	埋め込まれた JPEG サムネイルを使用する	RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれている場合、これらのサムネイルがファイル一覧ペインに表示されます。
	高画質のサムネイルを作成する	このオプションが選択されると、ACDSee はまず RAW ファイルに埋め込まれているサムネイルをファイル一覧 ペインで表示した後、高画質のサムネイルに変換して再表示します。
	フォルダにサムネイルを表示する	ファイル一覧ペインにあるフォルダ アイコンに、コンテンツのサムネイルを表示します。
	各フォルダの並べ替え設定を保存する	ACDSee に特定フォルダで使用した並べ替え設定を記憶させた場合には、このオプションを選択します。
	<Ctrl> キーでホットトラックを有効にする	[Ctrl] キーをホールドすると、ホットトラックが有効になります。このオプションが選択されると、ファイル一覧ペイン上で[Ctrl] キーをホールドしながらマウスポインタを動かすことで、ホットトラックが有効になります。ホットトラックとは、選択されたファイルを変更せずに、プレビューやプロパティ ペインの内容を更新することを指します。
	アニメーションを使用する	特定機能を開いたり、閉じたりする際にアニメーションを有効あるいは無効に設定します。例として、グループ ヘッダーがあります。
	既定の右クリック メニュー	ACDSee のショートカット メニューの代わりに、Windows エクスプ

	として、Windows エクスプローラのショートカット メニューを表示する	ローラのショートカット メニューを表示します。
設定 フィルタ	すべてのファイルを表示する	ファイル一覧に画像ファイル、フォルダ、メディアファイル、アーカイブファイルを表示します。
	フィルタ適用の条件	以下のファイルの種類から、選択されたもののみを表示します。 ■ 画像ファイルの表示 ■ フォルダの表示 ■ メディア ファイルの表示 ■ アーカイブ ファイルの表示
	隠しファイルとフォルダを表示する	通常隠しファイルとして設定されているシステム ファイルとその他のファイルを表示します。
	THM ファイルを表示する	ファイル一覧に Canon THM ファイルを表示します。
	XMP ファイルを表示する	ファイル一覧に XMP サイドカーファイルを表示します。
画像ファイルの ハイライト	画像ファイルをハイライトしない	「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードで画像ファイルをハイライトしません。
	画像ファイルをシングルカラーでハイライトする	「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをシングルカラーでハイライトします。
	画像ファイルをマルチカラーでハイライトする	「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをマルチカラーでハイライトします。
ポップアップ	マウスをファイル一覧の項目の上に置いた時ポップアップを表示する	ファイル一覧にマウスを置いた際、ポップアップのプレビューを表示するか、表示しないかを指定します。 以下の設定でポップアップに画像および/またはテキストを含むかを指定することができます。あるいはこのオプションをオフに設定すると、<Shift> キーをホールドしている場合にのみポップアップを有効にすることができます。
	<Shift> キーでポップアップを有効にする	ファイル一覧で、<Shift> キーをホールドしたままマウスキーを移動した場合のみ、ポップアップが有効になります。<Shift> キーでファイルを選択しにくい、という場合には、このオプションをオフに設定します。
	ポップアップを自動的に隠す	画像上にマウスが置かれていても、5 秒ポップアップを表示した後、自動的に隠します。
	サムネイルのポップアップを表示する	マウスが置かれると、ファイル一覧に画像のポップアップ プレビューを表示します。

**ポップアップにファイル情報
を表示する**

ポップアップにテキスト情報を表示します。[ポップアップの構成] をクリックして希望する情報をダイアログから選択し、ポップアップに表示する情報を指定します。

**ポップアップの
構成**

[ポップアップ情報の選択] ダイアログが開かれます。このダイアログで、ファイル一覧のポップアップに表示する情報を選択します。ファイル名、場所、サイズ、更新日時、画像サイズが既定として設定されていますが、EXIF、ファイル、画像、IPTC やマルチメディアなどその他のデータベース情報を選択することも可能です。

サムネイル情報オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧 ペイン内のサムネイルと一緒に表示する情報を指定することができます。これらのオプションは、[ファイル一覧] の下にある[サムネイル情報] で見つけることができます。

サムネイル情報オプションを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] から[サムネイル情報] をクリックします。
3. 「サムネイル情報」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

サムネイル情報オプション

情報	ファイル名	ファイル一覧ペインでサムネイルのファイル名を表示します。
	サムネイル表示情報の選択	ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル情報を選択します。
	タイル表示情報の選択	ダイアログ ボックスを開き、「タイル」表示モードで表示される情報を選択します。
オーバー レイ アイコン	サウンド	埋め込み／関連付けられたオーディオが含まれている画像のサムネイルに、サウンドのオーバーレイ アイコンを表示します。
	重要度	ACDSee データベースで、重要度が適用されているファイルのサムネイルに、重要度のオーバーレイ アイコンを表示します。
	データベース情報	ACDSee データベース情報を含むファイルのサムネイルに、データベースのオーバーレイ アイコンを表示します。
	アイコン	ファイル一覧ペイン内のサムネイルに、ファイル フォーマットのオーバーレイ アイコンを表示します。
	カテゴリ	カテゴリが設定されているファイルのサムネイルに、カテゴリのオーバーレイ アイコンを表示します。

ショートカット	アイテムが別のファイルへのショートカットである場合、サムネイルにショートカットのオーバーレイ アイコンを表示します。
オフライン	ファイルがオフラインのデバイスに保存されている場合、サムネイルにオフラインのオーバーレイ アイコンを表示します。
除外された項目	ACDSee データベースからファイルが除外されている場合、サムネイルに除外された項目のアイコンを表示します。
タグの付いた項目	サムネイルにタグの付いたオーバーレイ アイコンを表示します。ファイルにタグが付いている場合、アイコンにチェックマークが表示されます。
タグの付いていない項目	タグの付いていない画像のサムネイルに、タグの付いていない項目のオーバーレイ アイコンを表示します。
自動回転	ファイルが自動回転された場合、サムネイルに自動回転のオーバーレイ アイコンを表示します。

サムネイルのスタイル オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧 ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。これらのオプションは、[ファイル一覧] の下にある [サムネイルのスタイル] で見つけることができます。

サムネイルのスタイル オプションを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] から [サムネイルのスタイル] をクリックします。
3. 「サムネイル情報」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

サムネイルのスタイル オプション

サムネイル のフレーム	フレームの表示	サムネイルにフレームを追加します。
	ドロップシャドウの表示	サムネイルに 3D のドロップシャドウを追加します。
	スライド背景の表示	サムネイルとその情報の背景に、シェードの付いた背景を表示します。
	スライド枠の表示	サムネイルの外枠に黒いボーダーを追加します。
フォルダの スタイル	XP スタイル	Microsoft XP for Windows のスタイルでフォルダを表示します。
	3D スタイル	透明度の付いた 3D スタイルでフォルダを表示します。
サムネイル の比率	カスタム	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルの縦横比をカスタム設定します。スライダをドラッグして比率を設定します。スライダを動かすと、プレビューの形が変化します。
	縦	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、標準の縦比率 3:4 を指定します。
	横	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、標準の縦横比率 4:3 を指定します。
サムネイル の間隔	スライダ	各サムネイル間の間隔を増減します。
高画質な拡大縮小	ファイル一覧ペイン内のサムネイルを高画質で表示します。	

詳細表示 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧 ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。

詳細表示 オプションを変更するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、[ファイル一覧] から [詳細表示] をクリックします。
3. 「詳細表示」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

詳細表示 オプション

グリッドラインを表示する	「詳細」表示モードの行と列を、グリッドラインで区切ります。
行全体を選択する	行のヘッダーをクリックすると、行全体が選択されます。
列幅を自動調整する	内容に合わせて列の幅を自動調整します。
並べ替えに使用された列をハイライトする	列のタイトルをクリックすると、ファイルの並べ替えに使用された列をハイライトします。
詳細表示の設定	「詳細」表示モードで、ファイルの並べ替えに使用する列を指定します。

プレビュー オプションを設定する

プレビュー ペインでは画像の表示方法を指定することができます。また、プレビュー ペインでオーディオやビデオファイルを表示する際、自動再生するように設定することもできます。

プレビュー オプションを設定するには:

1. 次のいずれかを実行します:
 - [ツール] メニューから [ACDSee オプション] をクリックし、[プレビュー] を選択します。
 - [プレビュー] ペイン内の任意の場所を右クリックし、[プレビュー オプション] を選択します。
2. 「プレビュー」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

プレビュー オプション

表示間隔	ファイル一覧ペインで画像を選択した後、プレビュー ペインに画像が表示されるまでの時間を指定します。
サイズ	選択された画像に対するプレビュー画像のサイズを指定します。
オーディオおよびビデオ クリップのプレビュー	ファイル一覧ペインで選択されたメディア ファイルのプレビューを表示します。
オーディオおよびビデオ クリップの自動再生	プレビュー ペインでオーディオまたはビデオ クリップを自動再生します。
画像プレビュー	画像がデコードされる際、画質のよいインスタント プレビューを表示します。
プレビュー情報を表示する	プレビュー ペインで、画像の下に情報を表示させたい場合、このオプションを選択します。 [プレビュー情報の選択] ボタンをクリックし、表示させたい情報を選択します。また、プレビュー ペインを右クリックし、[プレビュー情報の表示] を選択あるいは選択解除することでも、このオプションの有効/無効を切り替えることができます。
プレビュー情報の選択	プレビュー ペインで、画像プレビューの下に表示する情報の詳細を指定します。

フォルダ オプションを設定する

イージーセレクト バーの表示／非表示、アーカイブの表示、隔離フォルダ識別を設定し、フォルダ ペインをカスタマイズすることができます。

フォルダ ペインをカスタマイズするには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスで、[フォルダ] をクリックします。
3. 「フォルダ」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

フォルダ ペイン オプション

イージーセレクト	イージーセレクトを表示する	複数のフォルダを選択する際に便利なイージーセレクトバーをフォルダ ペインに表示します。
	イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ワンポイントが表示されます。
フォルダ表示	フォルダ ペインにアーカイブを表示する	フォルダ ペインにアーカイブ ファイルを一覧表示します。
	フォルダ ペイン内で、ドラッグ & ドロップをする際に確認する	フォルダ ペイン内でフォルダが移動される際に、確認メッセージを表示します。
	除外されたフォルダのオーバーレイアイコンを表示する	ACDSee データベースから除外されたフォルダにオーバーレイ アイコンを表示します。

カテゴリ オプションを設定する

カテゴリ ペインのオプションを設定して、カテゴリの割り当て作業中に確認メッセージを表示するか、イージーセレクトバーの表示／非表示を指定することができます。

カテゴリ ペイン オプションを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択し、[カテゴリ] をクリックします。
2. 「カテゴリ」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
3. 設定を確認したら、[OK] をクリックします。

カテゴリ オプション

カテゴリの削除	カテゴリにファイルが割り当てられているか確認する	割り当てられたファイルを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
	カテゴリにサブ カテゴリが含まれているか確認する	サブカテゴリを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
ファイルの削除	カテゴリからファイルを削除する際に確認する	カテゴリからファイルを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
イージーセレクト	イージーセレクトを表示する	複数の[カテゴリ]、[スペシャル アイテム]、[重要度]を選択することができるイージーセレクト バーを、カテゴリ ペインに表示します。
	イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ワンポイントが表示されます。

カレンダー オプションを設定する

カレンダー ペインでは、各週を特定日で開始させたり、12 時間または 24 時間時計を使用したり、ファイルを並べ替える際に使用する日付の種類を選択することができます。

カレンダー ペイン オプションを設定するには:

- 1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
- 2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [カレンダー] をクリックします。
- 3. 「カレンダー」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
- 4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

カレンダー ペイン オプション

設定	日付の種類	データベースの日付	ACDSee データベースに保存されている日付に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
		メタデータ (EXIF) の日付	各アイテムの撮影日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
		ファイル更新日時	各アイテムの 最終更新日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
		ファイルの作成日時	各アイテムがコンピュータで作成された日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
		ファイル一覧フィルタの適用	ファイル一覧ペインで現在選択されている フィルタ設定 に基づいて、カレンダー ペインに表示されたアイテムをフィルタします。
		画像とメディアファイルのみ表示	画像、オーディオ、ビデオ ファイルのみをカレンダー ペインで表示します。
週の始まり		カレンダー ペインで使用する週の開始日を指定します。	
時計の表示形式	12 時間	カレンダー ペインで 12 時間時計を使用します。	
	24 時間	カレンダー ペインで 24 時間時計を使用します。	

CD/DVD 管理 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ディスクの作成ファイルの格納先フォルダやフォト ディスクの希望認識方法を設定することができます。

ディスクの作成 オプションを変更するには:

1. ブラウザから、[ツール] メニューの [ACDSee オプション] をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [CD/DVD ファイル管理] をクリックします。
3. [ディスクの作成ウィザード] の [ようこそ] ページを表示したくない場合には、[CD/DVD 管理] ページの [ディスクの作成バスケット] オプション領域から、[ディスクの作成ウィザードの開始ページを表示する] のチェックマークを外します。
4. [CD/DVD 管理] ページの [ディスクの作成バスケット] オプション領域から、[参照] をクリックしてフォルダの作成先を変更し、既存のフォルダまたは新規フォルダを作成した後 [OK] をクリックします。
5. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ブラウザに戻ります。

フォトディスクの ID 方法を変更するには:

1. ブラウザから、[ツール] メニューの [ACDSee オプション] をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [CD/DVD ファイル管理] をクリックします。
3. [CD/DVD 管理] ページの [フォトディスクの ID] オプション領域から、次のいずれかを選択します:
 - **ディスクのボリウム ラベルを使用する:** ディスクのボリウムラベルによって、フォトディスクを識別します。マルチセッションのフォトディスクで作業する場合には、この設定を選択してください。
 - **ディスクのシリアル番号を使用する:** ディスクのシリアル番号によって、フォトディスクを識別します。シングルセッションフォトディスクで作業する場合、あるいは ACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポート／変換する場合には、この設定を選択してください。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ブラウザに戻ります。

プロパティ ペイン オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、プロパティ ペインにカスタム タブを追加することができます。

プロパティ ペインにカスタム タブを追加するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [プロパティ ペイン] をクリックします。
3. [プロパティ ペイン] ページから、[カスタム プロパティ タブを表示する] を選択します。
4. [ACDSee オプション] 領域で、カスタム タブに使用する名前を入力します。

- 5. **【表示情報の選択】**をクリックしてカスタム タブに表示するプロパティを選択し、**【OK】** をクリックします。
- 6. **【OK】** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

ファイル管理 オプションを設定する

ACDSee では、名前変更や削除、デスクトップのごみ箱への一時保存など、ファイルおよびフォルダの取扱い方法を既定値として設定することができます。

ファイル管理 オプションを設定するには:

- 1. **【ツール】**メニューから**【ACDSee オプション】**を選択します。
- 2. **【ACDSee オプション】** ダイアログ ボックスの**【ファイル管理】**をクリックします。
- 3. 「ファイル管理」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
- 4. **【OK】** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

ファイル管理 オプション

確認	フォルダ削除の確認	フォルダを削除する際に、確認メッセージを表示します。
	ファイル削除の確認	ファイルを削除する際に、確認メッセージを表示します。
	読み取り専用の名前変更/削除の確認	読み取り専用アイテムを名前変更または削除する際に、確認メッセージを表示します。
重複ファイルの上書き	確認する	ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。
	名前を変更する	ファイルを移動またはコピーする際に、ソースファイルの名前を変更することによって、名前の重複を自動的に対処します。ファイル名の自動変更システムで使用するファイル名を分離する文字を 【分離文字】 フィールドに入力します。
	置換する	確認メッセージを表示せずに、指定したフォルダのファイルを自動的に上書きします。
	スキップする	ファイル名が重複した場合、上書き、移動、コピーのいずれも実行されません。
その他	ファイル名をクリックして変更する	ファイル一覧ペインのファイル名をクリックするだけで、ファイル名を変更することができます。
	ごみ箱を使用する	デスクトップのごみ箱に削除したファイルを保存します。このチェックボックスがオンになっていない場合、削除したファイルはハード ディスクから完全に削除されます。

カラーマネージメント オプションを設定する

ACDSee Pro のカラーマネージメント システム (CMS) を使うと、ご使用のコンピュータと、モニタ、プリンタ、スキャナなどの外部デバイスの色の誤差を減らすことができます。カラーマネージメント オプションでは、デバイスごとに特定のカラー プロファイルを使用することができます。

カラーマネージメントの設定を変更する前に、各デバイス用のカラー プロファイルが正確であるか確認してください。デバイスのソフトウェアにプロファイルが含まれていない場合は、デバイスの製造元、あるいはプロの印刷業者に問い合わせてプロファイルを入手してください。



カラーマネージメントは複雑な作業を伴います。カラーマネージメント システムについてあまり詳しくない方は、オプションの変更をしないで既定の設定をそのまま使用するようお勧めします。

カラーマネージメント オプション

有効	カラーマネージメントを有効にする	ACDSee でカラーマネージメント システムを有効にし、このダイアログ ボックスの各フィールドが選択可能になります。
	サムネイルとプレビューに適用する	サムネイルとブラウザのプレビュー画像用にカラーマネージメントを有効にします。このオプションが選択されていない場合、サムネイルまたはプレビューと画像のカラーズペックが異なります。
	sRGB を既定値に設定	クリックして、sRGB カラー プロファイルを使用するための入力、出力オプションを変更します。sRGB 色空間は、モニタ用に一般に使用されています。
入力	既定の入力プロファイル:	ACDSee で使用する既定のカラー プロファイルを指定します。このオプションを選択すると、 [画像ファイルに埋め込みプロファイルを使用する] が選択されていない限り、すべての画像にこのプロファイルが適用されます。
	プロファイル詳細	現在コンピュータに格納されている、すべてのカラープロファイルの詳細が表示されます。スクロールして、sRGB など特定の色空間用に指定されているカラープロファイルを探します。
	画像ファイルに埋め込みプロファイルを使用する	画像ファイルにカラープロファイルが埋め込まれている場合、そのカラープロファイルが使用されます。埋め込まれたプロファイルが存在しない場合、 [既定の入力プロファイル] に選択されているプロファイルが使用されます。
出力	基本カラーマネージメント	モニタとプリンタ用に別のプロファイルを選択したい場合、このオプションを選択します。 モニタのプロファイル と プリンタのプロファイル オプションから、適切なプロファイルを選択します。
	モニタまたはプリンタの色を別のデバイスで表示される色と同じになるように	校正を目的として、モニタまたはプリンタの色を別のデバイスで表示される色と同じようにしたい場合に、このオプションを選択します。プリンタのプロファイルをエミュレートするデバイスとして設定し、プリンタから出力されるであろうプレビューをモニタで確認することができます。また、エミュレート

補正する	するデバイスに印刷業者や第三者のプリンタ用のプロファイルを設定し、使用しているプリンタで印刷結果を確認することも可能です。 モニタのプロファイル、プリンタのプロファイル、エミュレートされたデバイスのプロファイル から、適切なプロファイルを選択します。
モニタのプロファイル	モニタで使用するカラー プロファイルを指定します。
プリンタのプロファイル	プリンタで使用するカラー プロファイルを指定します。
エミュレートされたデバイスのプロファイル	モニタまたはプリンタでエミュレートするカラープロファイルを選択します。これで適切なカラー プロファイルで校正を行うことができます。
レンダリング インテント	出力デバイスで使用するレンダリング インテントを指定します。基本出力デバイスの既定値は「知覚」です。選択されたカラー プロファイルにレンダリング インテントが埋め込まれている場合、ACDSee はそれらのインテントを優先して使用します。プロファイルによってはレンダリング インテントを無視するものもあるため、出力結果が安定しないこともあります。ご注意ください。

ファイル オプションの設定－露出調整

露出調整ツールの [オプション] ダイアログ ボックスでは、修正された画像の格納先、重複ファイルの対処方法、ファイルの最終更新日の保存などを設定することができます。

オプション

ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： ● 元のファイルを削除／置換する：新しい画像で元のファイルを上書きします。 ● 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する：修正された画像に別の名前を付け、元の画像と同じフォルダに保存します。 ● 修正済み画像を次のフォルダに保存する：修正された画像を指定先のフォルダに保存します。[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ファイルの上書き方法を指定します。ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択してください： ● 確認する：ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。 ● スキップ：同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。 ● 置換：ファイルを上書きします。 ● 名前の変更：ファイル名の変更の際、メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付／時間を保存します。

すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する

すべての画像の操作が完了したら、ダイアログ ボックスを自動的に閉じます。

現在の設定を既定値として保存する

画像の露出変更ウィザードを次回使用する際に、現在の設定が既定値として保存されます。

関連トピック

- [複数の画像の露出を調整する](#)
- [ACDSee でファイルを管理する](#)

データベース オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスでは、アラームの設定、データベース情報のコントロール、データベース ファイルやサムネイル キャッシュをハードディスクに保存することができます。

データベース オプションを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択し、[データベース] をクリックします。
2. 「データベース」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
3. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

データベース オプション

データベースの保存先	ACDSee データベースの保存先を指定します。[参照] ボタンをクリックし、フォルダを選択します。
バックアップ アラームの表示	ACDSee データベースのバックアップをアラームで自動的に知らせます。[間隔] ドロップダウン リストをクリックして、アラームを表示する間隔を選択します。
フォルダの除外	[除外されたフォルダ] 一覧のダイアログ ボックスを開き、ACDSee データベースから除外したいフォルダを指定します。
データベースの日付設定	フォルダの内容をカタログ化する際、ACDSee データベースに最終更新日を自動的に追加します。データベースの日付として使用する日付を、次のいずれかのオプションから選択します: ● EXIF 日付 ● ファイル更新日時 ● 日付指定 (ドロップダウン リストから使用する日付を選択します)。
カタログ化されたファイルから EXIF と IPTC メタデータをインポートする	フォルダの内容をカタログ化する際、ACDSee データベースに EXIF と IPTC 情報を自動的にインポートします。 このオプションが選択されない場合、EXIF と IPTC 情報がインポートされませんが、情報はデータベースの履歴内に格納されます。空の履歴を削除するために、

定期的に [データベースの最適化](#) を行うようにしてください。

IPTC キーワード用に分離文字のコンフリクトダイアログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC キーワード ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更／調整します。
IPTC の補充カテゴリ用に分離文字のコンフリクトダイアログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC 補充カテゴリ ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更／調整します。

ビューア オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスでは、表示される画像のスピードを向上させたり、ビューアをユーザー好みにカスタマイズすることができます。

ビューア オプションを設定するには:

- 1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
- 2. [オプション] ダイアログ ボックスの [ビューア] をクリックします。
- 3. 「ビューア」オプションのページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
- 4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

ビューア オプション

デコード/キャッシュ	次の画像を前もってデコードする	ビューアで表示される次の画像を自動的にデコードするため、ロードする時間の短縮に繋がります。
	以前の画像をメモリに保存する	ビューアですばやく表示されるように、以前デコードした画像をメモリに保存します。
起動ファイル	一覧の画像を置換する	画像が他のアプリケーションで表示されている場合、新規ビューア ウィンドウで表示しません。
	画像を新規ウィンドウで表示する	他のアプリケーションで表示されている画像を、新規ビューア ウィンドウで開きます。
リサンプリング アルゴリズム	Bicubic	画像の拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えるために、ビューアの画像をリサンプルします。
	Bilinear (ソフト)	画像をスムーズにするために、ビューアの画像をリサンプルしますが、ぼやける場合があります。
	Nearest Neighbour (単純拡大)	ビューアで表示されている画像をリサンプルしません。

ドロップ ファイル	一覧の画像を置換する	他のアプリケーションからビューアに移動した画像と、ビューアで表示されている画像の一覧を置き換えます。
	一覧に画像を追加する	他のアプリケーションからビューアに移動した画像を、ビューアで既に表示されている画像の一覧に追加します。
常に手前に表示する	ビューアを重ねたウィンドウの手前に常に表示します。	
フルスクリーンにする	ビューアで、画像をフルスクリーン モードで表示します。	
フルスクリーンでマウスポインタを隠す	フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。	
画像プレビュー	画像がデコードされる際、画質のよいインスタント プレビューを表示します。	
削除/移動後に終了する	ビューアの画像を移動／削除した後に、自動的にブラウザに戻ります。	
フォルダ内のすべての画像を表示する	フォルダ内のすべての画像が現行の画像の一覧に追加されます。	
画像ファイルの完全なパスを表示する	ビューアのタイトルとステータスバーに、画像ファイルの完全なパスを表示します。	

ビューアの表示 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ビューアのウィンドウ サイズ、背景、ズーム方法を設定することができます。

ビューアの表示 オプションを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、[ビューア] の下にある [表示] をクリックします。
3. 「表示」オプションのページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

表示オプション

ウィンドウ サイズ	画像に合わせてウィンドウ サイズを変更する	表示された画像に合わせてビューア ウィンドウのサイズを自動変更します。
	画面の中央にウィンドウを配置する	ビューア ウィンドウを画面の中央に自動配置します。
	ウィンドウ サイズを固定する	ズーム オプションの設定に基づいてビューア ウィンドウのサイズを変更します。
	ウィンドウの位置を保持する	ビューア ウィンドウを移動またはサイズ変更する際、ウィンドウの位置およびサイズを保持します。
背景	既定色	ビューア ウィンドウの背景に、ACDSee の既定色を使用します。
	カスタム色	ビューア ウィンドウの背景に使用する色を指定します。
	並列画像	ビューア ウィンドウの背景に並列画像を使用します。 [参照] をクリックして、ハードディスク上にある画像を選択します。
ズーム オプション	ズームモードの既定値	ビューアで表示される画像に対する、 ズーム レベル の既定値を指定します。
	画像の変更時に、ズーム レベルを既定値にリセットする	表示される画像が変更されるたびに、ズームモードを指定した既定値にリセットします。
	サイズ変更	設定されたオプションに基づいて画像のサイズを変更します。これらの選択肢がどのようにビューアに影響するかについての詳細は、 画像を自動的に拡大/縮小する をご覧ください。

RAW 画像プレビュー オプションを設定する

RAW 処理ツールを使用して RAW ファイルを処理すると、ACDSee のデータベースにその処理設定が保存されます。また、既定として、ACDSee はユーザーが使用しているコンピュータのハードディスクに、処理された画像のプレビューをキャッシュとして保存します。画像のプレビューがキャッシュされると、ビューア内で素早く表示することができます。しかし、大量の画像を扱う場合ディスクの空き容量が少なくなってしまうです。RAW 画像プレビュー オプションでは、キャッシュが使用するハードディスクの容量を制限する、キャッシュを空にする、あるいは RAW 画像プレビュー オプションを無効にするなどを設定できます。

RAW 画像プレビュー オプションを変更するには:

1. ブラウザから、[ツール] メニューの **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. **[ACDSee オプション]** ダイアログ ボックスの **[RAW プレビュー]** をクリックします。
3. RAW 画像のプレビューを使用したい場合には、**[RAW 画像のプレビューを使用する]** を選択します。
4. このオプションを選択すると、その他のオプションがアクティブになります。

5. プレビュー ファイルの格納先フォルダを変更するには、**[参照]** をクリックして別のフォルダを選択した後、**[OK]** をクリックします。
6. 以下を参照して、その他のオプションを選択または変更します。
7. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ブラウザに戻ります。

RAW 画像プレビュー オプション

RAW 画像のプレビューを使用する	チェックボックス	このセクションのその他のコントロールをアクティブ、または非アクティブにします。
	キャッシュ場所	RAW 画像のプレビュー ファイルをキャッシュするための別の場所を選択します。
	ディスクの使用	次のオプションから選択します： ● 無制限キャッシュ – RAW 画像のプレビュー ファイル (RIP) がハードディスクに占める容量を無制限に設定します。 ● ディスクの最大キャッシュ サイズ – RIP ファイルがハードディスクを占拠する最大容量の値を、MB 単位で指定します。最大容量の値を超えると、最も古いファイルから順に新しいファイルと置き換えられます。
	キャッシュを空にする	キャッシュからすべての RIP ファイルを削除します。
RAW パフォーマンス	ハイクオリティパス	低画質の画像を表示している間に、バックグラウンドで高画質の画像を作成します。高画質のプロセスには、モザイク解除、シャープネス、ノイズ除去が含まれます。高画質の画像処理が完了すると、高画質の画像が表示されます。 このオプションをオフにすると表示スピードが早くなりますが、画質が下がってしまいますのでご注意ください。

ACDSee Showroom オプションを設定する

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーは、スライドの間隔、順序、トランジション、フレームの不透明度、サイズ、スタイルの変更などを含む様々な方法でカスタマイズすることができます。

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーをカスタマイズするには：

1. 次のいずれかの手順で ACDSee Showroom を起動します：
2. **[作成]** メニューから **[ACDSee Showroom の作成]** を選択します。
3. **[スタート]** ボタンから **[プログラム]**、次に **[ACD Systems]** から **[ACDSee Showroom]** をクリックします。
4. ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、**[オプション]** を選択します。
5. 以下を参照して、その他のオプションを選択または変更します。

- 現在選択されているオプションを、次回以降のスライドショー ウィンドウの既定値として保存するには、**[既定値として設定]** をクリックします。
- [OK]** をクリックして変更を適用します。

ACDSee Showroom オプション

画像フォルダ	サブフォルダを含む	スライドショーにサブフォルダの画像も含みたい場合には、このオプションを選択します。
スライド	長さ	各画像の表示時間を短くするにはスライドを左に、長くするにはスライドを右にドラッグします。
	順序	ドロップダウンから、[順序通り] を選択して画像を順序に表示するか、[ランダム]を選択してランダムに表示します。
	トランジション	[トランジション] ドロップダウンから、トランジション効果を使用しない場合には [なし] を、画像を右から左に移動する場合には [スライド] を、画像から別の画像へ移動する際に透明度をブレンドさせる場合には [フェード] を選択します。
	不透明度	スライドショーの不透明度を減らすにはスライドを左に、増やすにはスライドを右にドラッグします。
Showroom ウィンドウ	サイズ	ドロップダウンから、スライドショーのウィンドウフレームのサイズを [小]、[中]、[大]のいずれかから選択します。
	フレーム	[フレーム] ドロップダウンから、フレームのスタイルを選択します。
常に手前に表示する	スライドショーウィンドウをその他のアプリケーションの上に表示するには、[常に手前に表示する] を選択します。	
起動時に実行する	コンピュータの起動時に、ACDSee Showroom を自動実行するには、[起動時に実行する] を選択します。	

ACDSee Quick View オプションを設定する

開かれているウィンドウの最前面に表示、フルスクリーンで表示、Quick View ウィンドウの背景色を変更するなど、ACDSee Quick View をカスタマイズすることができます。

ACDSee Quick View をカスタマイズするには:

- 画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラで参照中の画像、または電子メールに添付されている画像をダブルクリックします。
- [ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
- 以下を参照して、その他のオプションを選択または変更します。
- [OK]** をクリックして変更を適用します。

ACDSee Quick View オプション

ACDSee Quick View を使用		このオプションが選択されると、ACDSee が閉じられている時、ACDSee Quick View が画像の既定ビューアとして設定されます。
ガンマ補正を行う		画像を表示する際、指定されたガンマ補正値を適用します。
アニメーションを無効にする		動画ファイルの最初のフレームだけを表示します。
ズームモードの既定値	画像に合う	Quick View ウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。Quick View ウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
	実寸表示	画像の実寸サイズで表示します。
常に手前に表示する		Quick View ウィンドウを重ねたウィンドウの手前に常に表示します。
フルスクリーン		Quick View ウィンドウで、画像をフルスクリーン モードで表示します。
マウスポインタを隠す		フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。
背景	既定色	ACDSee ビューアの背景色を使用します。
	カスタム色	Quick View ウィンドウの背景に使用する色を指定します。

JPEG オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を変更して、JPEG 画像の画質、エンコードの方法、カラー サブサンプリングの方法、JPEG 画像に埋め込まれたサムネイルの更新あるいは作成の有無などを指定することができます。

オプション

画質	スライダをドラッグして、JPEG 画像の画質を指定します。	
エンコード	●	プログレッシブ : プログレッシブ エンコードを有効にします。
	●	ハフマン圧縮を使用 : ハフマン圧縮を有効にして圧縮率を増やします。
カラー コンポーネント サブプリング	●	2:1 水平方向 : 水平軸に 2:1 の割合で、カラー チャンネルをサブサンプルします。
	●	2:1 垂直方向 : 垂直軸に 2:1 の割合で、カラー チャンネルをサブサンプルします。
埋め込みサムネイル	●	既存のサムネイルのみ更新 : 既存の埋め込みサムネイルを更新します。
	●	常にサムネイルを追加/更新 : 既存の埋め込みサムネイルがある場合には更新を、存在しない場合には埋め込みサムネイルを作成します。
	●	サムネイルを追加/更新しない : 既存の埋め込みサムネイルを更新したくない、あるいは埋め込みサムネイルを作成したくない場合に選択します。
	●	DCF 互換サムネイルの生成 : デジタルカメラ (DCF) の仕様にあったサムネイルを作成します。デジタルカメラの LCD でサムネイル表示が可能になります。160 x 120 の固定解像度に強制変換し、空白部分は黒で埋められます。

これらの設定を既定値として保存する 現在の JPEG 設定を既定値として保存する場合には、このオプションを選択します。

関連トピック

→ [ACDSee でファイルを管理する](#)

サイズ変更済みファイルのオプションを設定する

[オプション] ダイアログ ボックスでは、修正された画像の格納先、重複ファイルの対処方法、ファイルの最終更新日の保存などを設定することができます。

オプション

ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次の 3 つのオプションから 1 つを選択します： ● 元のファイルを削除／置換する：新しい画像で元のファイルを上書きします。 ● 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する：修正された画像に別の名前を付け、元の画像と同じフォルダに保存します。 ● 修正済み画像を次のフォルダに保存する：修正された画像を指定先のフォルダに保存します。[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ファイルの上書き方法を指定します。ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択してください： ● 確認する：ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。 ● スキップ：同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。 ● 置換：ファイルを上書きします。 ● 名前の変更：ファイル名の変更の際、メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付／時間を保存します。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログ ボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回画像のサイズ変更ウィザードを使う際に適用することができます。
JPEG 圧縮オプション	[JPEG オプション] ダイアログが登場します。サイズ変更されたファイルの詳細オプションを指定することができます。

回転/反転済みファイルのオプションを設定する

[オプション] ダイアログ ボックスでは、修正された画像の格納先、重複ファイルの対処方法、ファイルの最終更新日の保存などを設定することができます。

オプション

JPEG 可逆回転を行う	JPEG 情報を展開または再圧縮することなく、JPEG 画像を回転することができます。非可逆回転では、画像を回転／反転しても画質に変化はありません。
ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： ● 元のファイルを削除／置換する：新しい画像で元のファイルを上書きします。 ● 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する：修正された画像に別の名前を付け、元の画像と同じフォルダに保存します。 ● 修正済み画像を次のフォルダに保存する：修正された画像を指定先のフォルダに保存します。[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	ファイルの上書き方法を指定します。ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択してください： ● 確認する：ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。 ● スキップ：同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。 ● 置換：ファイルを上書きします。 ● 名前の変更：ファイル名の変更の際、メッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付／時間を保存します。
最後に行った回転を適用する	次回画像を回転する際、現在の回転設定が自動的に適用されます。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログ ボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回画像の回転／反転ウィザードを使う際に適用することができます。

カスタマイズと設定

ブラウザ レイアウトのカスタマイズ

ユーザーの好みや頻繁に使用するタスクに基づいて、カスタムのブラウザ レイアウトを作成/保存することができます。例えば、編集、管理、ブラウズの各レイアウトに、ユーザーが使いやすいツールとペインを配置したカスタム レイアウトを作成/保存できるわけです。

カスタムのブラウザ レイアウトを作成/保存するには:

1. 特定のペインを表示/非表示したり、ペインのサイズを変更、重ねて表示、移動や固定を行って、ブラウザ レイアウトを変更します。
2. 出来上がったレイアウトに満足したら、**[表示]** メニューから **[作業領域]** をクリックします。
3. **[設定の新規作成]** をクリックします。
4. 作業領域の名前を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

保存されているブラウザ レイアウトをロードするには:

1. **[表示]** メニューから **[作業領域]** を選択します。
2. 希望するカスタム作業領域の名前を選択します。
3. **[適用]** をクリックします。

既定のブラウザ レイアウトに戻すには:

[表示] メニューから**[既定の作業領域にリセット]** を選択します。

ペインやパネルを自動非表示にする

自動非表示ボタンを使えば、ACDSee 内のパネルやペインを自動的に隠すことができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン領域外をクリックするとペインがロールアップされ、タブが表示されます。タブ上にマウスポインタを合わせると、ペインが再表示されます。ペインやパネルが固定されていない場合、自動非表示機能は使えません。また、自動非表示に設定されているペインを移動することはできません。

ペインのタイトル バーに表示されている自動非表示ボタンは、現在の設定を表示します:

-  水平に刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックすると自動非表示になるように設定されていることを示します。
-  斜めに刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックしても場所が固定され常に表示されることを示します。

自動非表示を設定／解除するには:

パネルのタイトル バーにある **[自動非表示]** ボタンをクリックし、水平または斜めの画びょうのアイコンを表示します。

プロパティ ペインでカスタム タブを使用する

プロパティ ペインにはカスタム タブが用意されており、頻繁に使用するプロパティ、データベース、EXIF、IPTC 情報で表示するように設定できます。これは、データに影響を与えず、ファイルの参照や表示中に希望するデータをカスタム タブに表示できることを意味します。

[カスタム] タブを設定するには:

1. **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックし、**[プロパティ ペイン]** を選択します。
2. **[カスタム プロパティ タブを表示する]** を選択して、カスタム タブを表示します。
3. 必要な場合、**[カスタム タブのタイトル]** に希望する名前を入力します。
4. **[表示情報の選択]** をクリックします。
5. カスタム タブから項目を削除するには、ダイアログの右手にある **[現在表示されている詳細]** ボックスから、該当項目を選択し、**[削除]** をクリックします。
6. カスタム タブに項目を追加するには、ダイアログの左手にある **[選択可能な詳細]** ボックスから、**[追加]** をクリックします。
7. 項目をグループとしてまとめる、また項目の配置を変更するには、次のいずれかを実行します:
 - **[グループの追加]** をクリックし、**[タイトル]** ボックスにグループの名前を入力後、**[OK]** をクリックします。そのグループに該当項目を追加します。
 - **[現在表示されている詳細]** ボックスから該当項目を選択し、**[上へ移動]** をクリックしてその項目を一覧内の上に移すか、**[下へ移動]** をクリックして一覧内の下に移す。
8. 既定のカスタム タブ設定に戻すには、**[リセット]** をクリックします。
9. **[OK]** をクリックします。

タスクペインを使用する

タスクペインは、現在の位置や ACDSee で使用された選択範囲をもとに、メニューやツールバーから頻繁に使用されるタスクをまとめて表示します。タスクペインは通常、ブラウザの右手に開かれます。

タスク ペインを開くまたは閉じるには:

ブラウザまたはビューア内で、**[表示]** メニューから **[タスクペイン]** をクリックします。

タスクペインのメニューは、作業中のインターフェイスの領域や、選択している項目によって変わります。例えば、ファイル一覧リストで複数のフォルダを開いている場合、タスクペインには 1 つの画像またはメディア ファイルを開いている場合とは異なるメニューが表示されます。

また、タスクペイン メニューのオプションも動的に変化します。例えば、ファイル一覧で複数の画像を選択している場合、複数の画像に使用できるオプションの一覧が [画像の補正と修整] メニューに表示されます。

便利機能ツールバーを使用する

便利機能ツールバーは、ファイル一覧ツールバーの上に位置します。便利機能ツールバーに表示されるアイコンは、ブラウザで選択されているペイン、画像によって変化します。便利機能ツールバーには、編集、管理、共有などの機能へのショートカット アイコンが表示されます。

例えば、カテゴリ ペインで [人物] カテゴリを選択した場合、そのカテゴリに割り当てられている全画像がファイル一覧に表示されます。画像が表示されたら、便利機能ツールバーには [CD または DVD の作成] や [自動スライドショー] のショートカット アイコンが表示されます。これらは次に行う可能性のある機能だからです。

ツールバーをカスタマイズする

ACDSee では、ツールバーおよびツールバーに表示したいボタンやコマンドを選択して、ブラウザおよびビューアのメインツールバーとファイル一覧ペインのツールバーの外観をカスタマイズすることができます。また、変更を破棄して、既定のレイアウトにいつでもリセットすることができます。

ツールバーを表示／非表示にするには：

次のいずれかを実行します：

- ブラウザでは、[表示] メニューから [ツールバー] を選択し、表示または非表示にするツールバーを選択します。
- ビューアでは、[表示] メニューをクリックし、表示または非表示にするツールバーを選択します。

ツールバーの内容をカスタマイズする

次の 3 つのツールバーをカスタマイズすることができます：

- メイン ツールバー：ブラウザとビューア内に表示されるツールバーのことです。
- ファイル一覧 ツールバー：ブラウザ内に表示されるツールバーのことです。
- 編集タスク ツールバー：ビューア内に表示されるツールバーのことです。

これらのツールバーでは、ボタンを追加、削除、またボタンの表示順序をカスタマイズすることができます。ラベルやボタンのワンポイントの表示/非表示を選択したり、ボタンのサイズを変更することも可能です。ツールバーのカスタマイズオプションはすべて、[カスタマイズ] ダイアログボックスに表示されます。

[カスタマイズ] ダイアログボックスを表示するには:

次のいずれかを実行します:

- ブラウザの[表示] メニューから [ツールバー] をクリックし、[カスタマイズ] を選択します。
- ブラウザ内で、メイン ツールバーまたは [ファイル一覧] ツールバーの右上にあるドロップダウン 矢印をクリックし、[カスタマイズ] を選択します。
- ビューア内で、メイン ツールバーの一番右または [編集タスク] ツールバーの一番下にあるドロップダウン矢印をクリックし、[追加または削除ボタン] を選択してから [カスタマイズ] をクリックします。
- ブラウザまたはビューアで、メインツールバーを右クリックして [カスタマイズ]を選択します。

ツールバーボタンを追加/削除するには:

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. [コマンド] タブをクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
 - [コマンド] 一覧からコマンドをドラッグして、メインツールバーの新しい場所にボタンを追加します。
 - 不要なボタンをツールバーから [コマンド] 一覧にドラッグしてボタンを削除します。
 - ボタンをツールバーの新しい場所にドラッグして再配置します。
4. [閉じる] をクリックします。

ツールバーボタンの下にラベルを表示/非表示するには:

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. [コマンド] タブをクリックします。
3. [ファイル一覧ツールバー] または [メイン ツールバー] を選択します。
4. [テキスト ラベルを表示する] チェックボックスを選択してラベルを表示するか、[テキスト ラベルを表示する] チェックボックスをクリアにしてラベルを非表示に設定します。
5. [閉じる] をクリックします。

ツールバーボタンの下にワンポイントを表示/非表示するには:

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. [ACDSee オプション] タブをクリックします。

3. **「ツールバーにワンポイントを表示する」**を選択してワンポイントを表示するか、**「ツールバーにワンポイントを表示する」**をクリアしてワンポイントを非表示に設定します。このオプションを選択すると、**「ワンポイントにショートカット キーを表示する」** オプションを選択して、ワンポイントにショートカット キーを表示することができます。
4. **「閉じる」** をクリックします。

ツールバーボタンのサイズを変更するには:

1. **「カスタマイズ」** ダイアログボックスを表示します。
2. **「ACDSee オプション」** タブをクリックします。
3. **「大きなアイコン」** を選択すると大きなアイコンが、**「大きなアイコン」** をクリアすると小さなアイコンがツールバーに表示されます。
4. **「閉じる」** をクリックします。

ツールバーをリセットする

すべての変更を破棄して、既定のツールバーとボタンに戻すことができます。

ツールバーをリセットするには:

1. ブラウザまたはビューアで、メインツールバーを右クリックして **「カスタマイズ」**を選択します。
2. **「ツールバー」** タブで、**「すべてリセット」** をクリックします。
3. **「はい」** をクリックして、ツールバーをリセットします。
4. **「閉じる」** をクリックします。

編集パネルをカスタマイズする

編集パネルは、サイズ変更、移動、固定、自動非表示 などユーザー好みにカスタマイズすることができます。

編集パネルをカスタマイズするには:

1. 編集パネルのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。編集パネルをウィンドウの端にドラッグすると、ウィンドウの端に合わせて固定されます。
2. 編集パネルのサイズを変更するには、エッジのいずれかをドラッグします。



編集パネルが自動非表示に設定されている場合、別の場所に移動することはできません。

画像エディタを設定する

Canvasr など、多数の画像エディタの中から、ACDSee の既定画像エディタを指定することができます。ACDSee 内から、既定画像エディタのいずれかで画像を開くことができます。

ACDSee に画像エディタを追加するには:

1. **[ツール]** メニューから **[エディタで開く]** を選択し、**[エディタの設定]** をクリックします。
2. **[エディタの設定]** ダイアログ ボックスの **[追加]** ボタンをクリックします。
3. ハードディスク上で、画像編集アプリケーションが格納されているフォルダを参照します。
4. 画像編集アプリケーションの実行ファイルを選択します。例: Canvas9.exe
5. **[開く]** をクリックします。
6. **[名前]** フィールドにエディタ名を入力し、**[OK]** をクリックします。

画像エディタを管理するには:

1. **エディタの一覧** から、変更したいアプリケーションを選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
 - エディタの一覧に表示されている実行ファイルの保存先、またはアプリケーション名を変更するには、**[編集]** をクリックします。**[エディタ の設定]** ダイアログ ボックスで、アプリケーションの保存先と名前を設定し、**[OK]** をクリックします。
 - 選択したアプリケーションを ACDSee の既定画像エディタとして設定するには、**[既定値として設定]** をクリックします。ブラウザ内で右クリック メニューを使用する、あるいは **[Ctrl] + [E]** をクリックすると、既定のエディタが開かれます。
 - アプリケーションが一度に複数の画像をサポートするかどうかの設定は、**[複数画像のサポート]** チェックボックスをオンまたはオフにします。
 - アプリケーションを一覧から削除するには、**[削除]** をクリックします。
3. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

キーボード ショートカットのカスタマイズ

ブラウザやビューア内で頻繁に使用されるコマンドには、既定のキーボード ショートカットが設定されています。既定のショートカットを使用しやすい組み合わせに変更したり、現在ショートカットが定義されていないコマンドにショートカットを作成することができます。

[開く] や **[コピー]** など、コマンドの中にはブラウザとビューアの両方で使用可能なものがあります。ブラウザとビューアの両方で同じキーボード ショートカットを使用するように、あるいはブラウザとビューアでは別のショートカットを使用するように設定することが可能です。一方、**[赤目補正]** などのコマンドは、ある表示モードでのみ利用可能です。特定表示モードでのみ利用可能なショートカットを設定するには、該当の表示モードから **[カスタマイズ]** ダイアログを開きます。

キーボード ショートカットのカスタマイズするには:

1. 次のいずれかを実行します:

- ブラウザの **[表示]** メニューから **[ツールバー]** をクリックし、**[カスタマイズ]** を選択します。
- ブラウザ内で、メイン ツールバーまたは **[ファイル一覧]** ツールバーの右上にあるドロップダウン 矢印をクリックし、**[カスタマイズ]** を選択します。
- ビューア内で、メイン ツールバーの一番右または **[編集タスク]** ツールバーの一番下にあるドロップダウン矢印をクリックし、**[ボタンの追加または削除]** を選択してから **[カスタマイズ]** をクリックします。
- ブラウザまたはビューアで、メインツールバーを右クリックして **[カスタマイズ]** を選択します。

2. **[カスタマイズ]** ダイアログボックスで、**[キーボード]** タブをクリックします。

3. **[カテゴリ]** ドロップダウンから、**[ファイル]**、**[編集]**、**[表示]** など最上位のメニューを選択します。

そのメニューから選択可能なコマンドが、**[コマンド]** 一覧ボックスに表示されます。

4. **[コマンド]** 一覧ボックスから、コマンドを選択します。

- 選択されたコマンドにキーボード ショートカットが既に設定されている場合、**[現行キー]** ボックスにその組み合わせが表示されます。
- 選択されたコマンドにキーボード ショートカットがまだ設定されていない場合、**[現行キー]** ボックスは空白で表示されます。

5. 既定のキーボード ショートカットを削除するには、**[現行キー]** ボックスからキーボード ショートカットを選択し、**[削除]** をクリックします。

新規のキーボード ショートカットを設定するには:

1. **[新規のショートカットキー]** テキストボックスをクリックします。

2. 新規のショートカットとして使用したいキーの組み合わせを、実際のキーボード上で押します。

[新規のショートカットキー] ボックスにその組み合わせが表示されます。

3. **[適用]** をクリックします。

[現行キー] に新規のキーボード ショートカットが表示されます。

4. カスタマイズしたキーボード ショートカットを削除して、既定のショートカットに戻すには、**[リセット]** をクリックします。

5. **[閉じる]** をクリックします。

プラグイン

プラグインについて

プラグインの種類

- **画像デコード:** ACDSee で画像を表示させるために、ファイルを 2 進法フォーマットに変換します。デコード プラグインを使用すると、様々なファイル フォーマットの画像を表示することができます。ACDSee で表示できるファイルは、コンピュータにインストールされているデコード プラグインに依存しています。
- **画像エンコード:** ACDSee で表示された画像を 2 進法フォーマットに変換します。エンコード プラグインを使用すると、さまざまなファイル フォーマットの画像を保存 (または変換) することができます。ACDSee で編集および保存可能なファイルは、コンピュータにインストールされているエンコード プラグインに依存しています。
- **アーカイブ:** ACDSee で異なるファイル フォーマットのアーカイブを表示および保存します。ACDSee で表示および作成できるアーカイブは、コンピュータにインストールされているアーカイブ プラグインに依存しています。
- **カメラ:** デジタル カメラの画像を参照し、ハード ディスク上のフォルダに転送することができます。
- **コマンド拡張:** ACDSee に機能を追加します。例として、インターネットで画像を共有する際に使用することができます。
- **ペイン拡張:** ACDSee ブラウザにデジタル画像の印刷オーダーのようなタスク実行ペインを追加します。



ACD Systems 社が認証していないプラグインの品質を保証することはできません。他のソフトウェアと同様、プラグインはウィルス感染の可能性がなく、プラグインの製造元を信頼できるものとします。

プラグインを管理する

[プラグイン設定] ダイアログ ボックスには、システムにインストールされているすべての ACD Systems プラグインの一覧が表示されます。[プラグイン設定] ダイアログボックスを使って、ACDSee が使うプラグインをコントロールすることができます。

[プラグインの設定] ダイアログ ボックスを開くには:

[ツール] メニューから [プラグイン] そして **[プラグインの設定]** をクリックします。.

プラグインを無効にする

[プラグイン設定] ダイアログ ボックスでは、不要なプラグインを無効にして ACDSee で使用されないように設定できます。

プラグインを無効にするには:

1. [プラグインの設定] ダイアログ ボックスで、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. ACDSee が使用しないプラグイン名の横のチェックインボックスをクリアにします。

3. **[OK]** をクリックします。

プラグインの優先順序を変更する

一部のファイル フォーマットは複数のプラグインでサポートされています。この場合、特定のファイル フォーマットの読み込み、もしくは書き込みににどのプラグインを使用するかを指定できます。**[プラグイン設定]** ダイアログ ボックスでのプラグインの表示順序が、ACDSee がファイルを読み込み、または書き込みするときに使用するプラグインの優先順序になります。

プラグインの優先順序を変更するには:

1. **[プラグインの設定]** ダイアログ ボックスで、**[プラグイン]** タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグイン名を選択します。
3. 次のいずれかを実行します:
 - **[上へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の上位に移動します。
 - **[下へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の下位に移動します。
 - **[OK]** をクリックします。



Susie プラグインは、ACD Systems 社のプラグイン機能と速度を備えていません。ACD Systems 社のプラグインの代用として使用されないように、Susie プラグインの優先順位を最階位に設定してください。また、ACD Systems 社のプラグインがサポートするファイル フォーマットと重複する Susie プラグインを無効にすることも可能です。

プラグインのプロパティとヘルプを表示する

特定のプラグインのプロパティを表示および設定することができます。

プラグイン プロパティを表示するには:

1. **[プラグインの設定]** ダイアログ ボックスで、**[プラグイン]** タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグインを選択します。
3. **[プロパティ]** ボタンをクリックします。

プラグインのヘルプファイルを表示するには:

1. **[プラグインの設定]** ダイアログ ボックスで、**[プラグイン]** タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグイン名を選択します。
3. **[プラグイン ヘルプ]** ボタンをクリックします。

付録

ショートカット

ブラウザのキーボード ショートカット

キーボード ショートカットを使用することで、ブラウザでの作業をスピードアップすることができます。[カレンダー ペイン](#)内でも使用可能なショートカットもあります。



このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット ▼	操作 ▼
` (アクサングラープ `)	画像オーディオの切り替え
- (テンキー -)	ファイル一覧ペインの内容を降順に並べる
+ (テンキーのプラス)	ファイル一覧ペインの内容を昇順に並べる
Alt + <左矢印>	ファイル一覧ペインで最後に表示されたフォルダを表示する
Alt + <右矢印キー>	ファイル一覧ペインで最後に [戻る] で表示したフォルダに戻る
Alt + G	画像の取り込みウィザードを起動
Alt + C	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像をコピーする
Alt + ,	プロパティ ペイン内で最後に使用したタブを開く
Alt + ENTER	プロパティ ペインを開く／閉じる
Alt + F4	ACDSee を閉じる
Alt + I	[フィルタ] ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインに表示するファイル タイプを指定する
Alt + M	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像を移動する
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
Alt + .	プロパティ ペイン内の次のタブを開く
Alt + Shift + F	ファイル一覧ペインを最大化する
Alt + W	ACDSee の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する
Alt + X	バスケットから選択された項目を削除する
Backspace	現行ドライブのフォルダ構造内で 1 つ上に移動する
Ctrl + 0 ～5	現在選択されている画像に、重要度を割り当てる。(このショートカットは、テンキーから

	の入力のみ有効) 重要度の解除には Ctrl + 0 を使用
Ctrl + プラスキー	現在の表示モードの列のサイズを自動調整する
Ctrl + A	現在のフォルダの内容全体を選択する
Ctrl + B	選択された項目をバスケットに追加する
Ctrl + C	選択された項目をクリップボードにコピーする
Ctrl + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + E	現在選択されている画像を既定の画像エディタで開く
Ctrl + Enter	プロパティ ペインを開く／閉じる
Ctrl + F	[ファイル フォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + G	ファイル一覧をテキスト ドキュメントに作成する
Ctrl + I	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する
Ctrl + INSERT	選択された項目をクリップボードにコピーする
Ctrl + J	[画像の回転／反転] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + K	プロパティ ペイン内にあるデータベースタブのキーワード フィールドにカーソルを置く
Ctrl + L	[画像の露出調整] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + M	[情報の一括設定] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + N	ACDSee ブラウザを 2 つ同時に開く
Ctrl + O	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、ビューアで表示する画像を 1 つ以上選択する
Ctrl + P	ACDSee 印刷ユーティリティで現在選択されている画像を開く
Ctrl + R	[画像のサイズ変更] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + S	現在選択されている画像を使ってスライドショーを作成する
Ctrl + T	[更新日時の変更] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Tab	現在表示されているペイン内で、ブラウザのフォーカスを移動する
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける
Ctrl + W	ACDSee を閉じる

Ctrl + X	現在選択されている項目を切り取って、クリップボードにコピーする
Ctrl + Shift +1	フォルダ ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift +2	カテゴリ ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift +3	検索ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift +4	カレンダー ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift +5	バスケットを開く／閉じる
Ctrl + Shift + A	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する
Ctrl + Shift + B	ステータス バーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + C	現在選択されている画像をクリップボードにコピーする
Ctrl + Shift + D	現在の選択項目を解除する
Ctrl + Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーションで開く／アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Shift + F	フルスクリーン表示とファイル一覧ペインを切り替える
Ctrl + Shift + I	現在選択されている項目以外を選択する
Ctrl + Shift + L	ブラウザ検索ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + M	ブラウザのメイン メニューを切り替える
Ctrl + Shift + O	ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く
Ctrl + Shift + P	プレビュー ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + S	便利機能ツールバーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + T	ブラウザの既定ツールバーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + Tab	現在表示されているペイン内で、ブラウザのフォーカスを移動する
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する
Delete	現在選択されている画像をごみ箱に移動する
F1	ACDSee ヘルプ ファイルを開く
F2	1 つ以上の選択されたファイル名を変更する
F3	検索ペインを開く

F4	コンテンツ バーを表示する
F5	ブラウザを更新する
F6	「サムネイル + 詳細」表示モード
F7	「フィルム ストリップ」表示モード
F8	「サムネイル」表示モード
F9	「タイル」表示モード
F10	「アイコン」表示モード
F11	「ファイル一覧」表示モード
F12	「詳細」表示モード
Shift + Delete	選択された項目をハードディスクから削除する
Shift + F5	ファイル一覧ペインを更新する
Shift + Insert	クリップボードの内容を貼り付ける
Shift + Tab	ブラウザで以前フォーカスされたペインまたはツールに移動する
Tab	ブラウザで次にフォーカスされたペインまたはツールに移動する

関連トピック

→ [キーボード ショートカットのカスタマイズ](#)

ビューアのキーボード ショートカット

キーボード ショートカットを使用することで、ビューアでの作業をスピードアップすることができます。



このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット

操作

¥ (円記号)	原寸表示
= (等号)	画像の拡大
` (アクサングラフ)	画像オーディオの切り替え
- (テンキーのマイナス記号)	画像の縮小
Alt + <下矢印キー>	ビューアの高さに合わせて画像をズームする (拡大はせず、縮小のみ)
Alt + <右矢印キー>	ビューアの幅に合わせて画像をズームする (拡大はせず、縮小のみ)
Alt + ¥	ズーム固定のオンとオフを切り替え
Alt + C	現在の項目を指定されたフォルダに移動する
Alt + ,	プロパティ ペインで以前のタブにフォーカスを移動する
Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
Alt + ENTER	プロパティ ペインを開く／閉じる
Alt + F4	ビューアを閉じる
Alt + M	現在の項目を指定されたフォルダに移動する
Alt + O	[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスを開く
Alt + .	プロパティ ペインで次のタブにフォーカスを移動する
Alt + R	[ファイル名の変更] ダイアログ ボックスを開く
Alt + S	画像の自動表示 (スライドショー) を開始／停止する
Alt + Shift + L	順序の前の画像を表示する
Alt + W	ACDSee の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する
Alt + X	現在表示されている項目をブラウザのバスケットから削除する

B	ステータス バーを表示／非表示にする
Backspace	スライドショー、画像の自動表示またはビューアの順番で前の画像を表示する
Ctrl + A	ヘッダーおよびフッターを表示／非表示にする
Ctrl + B	現在表示されている項目をブラウザのバスケットに追加する
Ctrl + C	現在選択されているファイルをクリップボードにコピーする
Ctrl + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + E	現在の画像を既定の編集エディタで開く
Ctrl + F	[ファイル フォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + F4	現在の項目を閉じる
Ctrl + INSERT	現在選択されている画像の一部をクリップボードにコピーする
Ctrl + J	[画像の回転／反転] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + L	現在の画像を編集モードで開き、[露出の調整] ツールを開く
Ctrl + マイナスキー	虫めがねペインに表示される画像領域を縮小する
Ctrl + O	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、ビューアで表示する画像を 1 つ以上選択する
Ctrl + P	印刷ユーティリティで現在の画像を開く
Ctrl + プラスキー	虫めがねペインに表示される画像領域を拡大する
Ctrl + Q	現在の選択項目を解除する
Ctrl + R	編集モードで現在の画像を開き、[サイズ変更] ツールを開く
Ctrl + S	[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスを開き、画像名の変更／ファイル フォーマットの変更をする
Ctrl + T	[更新日時の変更] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける
Ctrl + W	ビューアを閉じる
Ctrl + X	現在の項目を切り取って、クリップボードにコピーする
Ctrl + Y	最近元に戻された操作をやり直す

Ctrl + Z	前に行った操作を元に戻す
Ctrl + Alt + <左矢印キー>	現在の画像を反時計回りに 90 度回転する
Ctrl + Alt + <右矢印キー>	現在の画像を時計回りに 90 度回転する
Ctrl + Shift + A	虫めがねペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + B	ステータス バーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + C	現在表示されている画像をクリップボードにコピーする
Ctrl + Shift + F	フルスクリーン モードの切り替え
Ctrl + Shift + F4	すべての画像を閉じる
Ctrl + Shift + G	ビューアの背景からタイル画像を削除する
Ctrl + Shift + H	ヒストグラム ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + L	前の画像を開く
Ctrl + Shift + M	メイン メニューバーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + P	現在選択されているすべての画像／現在のフォルダ内のすべての画像を印刷する
Ctrl + Shift + Q	[ヘッダー／フッターの編集] ダイアログ ボックスを開き、ビューアで画像に表示するテキストを編集する
Ctrl + Shift + S	ナビゲータ ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + T	ビューアのメイン ツールバーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + V	複数ページの画像を表示する際、ページ表示ペインを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する
Ctrl + Shift +1	色深度をモノクロに変更する
Ctrl + Shift +2	色深度を 16 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +3	色深度を 256 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +4	色深度を 16 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +5	色深度を 256 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +6	色深度を Hi Color に変更する

Ctrl + Shift +7	色深度を True Color に変更する
Delete	現在の画像をごみ箱に移動する
End	選択項目の最後の項目を表示する、または現在のフォルダ内にある最後の項目を表示する
Enter	ビューアを閉じてブラウザに戻る
Esc	現在のダイアログ ボックスを閉じる、またはビューアを閉じてブラウザに戻る
F	フルスクリーン モードの切り替え
F1	ACDSee ヘルプ ファイルを開く
F2	[ファイル名の変更] ダイアログ ボックスを開く
F5	ビューアを更新し、現在の画像を再ロードする
Home	選択項目の最初の項目を表示する、または現在のフォルダ内にある最初の項目を表示する
Insert	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、ビューアで表示する画像を 1 つ以上選択する
L	[パンの固定] の切り替え
Page Down	次の項目を表示する
PageUp	前の項目を表示する
Pause	画像の自動表示 (スライドショー) を開始 / 停止する
Shift + Backspace	マルチページ画像の前のページを表示する
Shift + Delete	現在の項目をハードディスクから削除する
Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーションで開く / アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開く
Shift + End	現在のマルチページ画像の最後のページを表示する
Shift + Enter	ビューアを閉じてブラウザに戻る
Shift + Esc	ビューアを最小化する
Shift + F1	スクロール ツールを有効にする
Shift + F2	選択ツールを有効にする
Shift + F3	ズーム ツールを有効にする
Shift + Home	現在のマルチページ画像の最初のページを表示する
Shift + Insert	クリップボードの内容を貼り付ける

Shift + L	ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く
Shift + Page Down	マルチページ画像の次のページを表示する
Shift + Page Up	マルチページ画像の前のページを表示する
Shift + Spacebar	マルチページ画像の次のページを表示する
Shift + Tab	プロパティ ペインで以前フォーカスされたフィールドに移動する
Shift + Z	選択ツールを使って、選択領域をズームする
Spacebar	スライドショー、画像の自動表示、ビューアで、次の画像を表示する
T	ビューアのメイン ツールバーを表示／非表示にする
Tab	プロパティ ペインで次にフォーカスされたフィールドに移動する
Z	[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを開く

注意: 次のビューアのキーボード ショートカットにはテンキーを使用してください。

* (テンキーのアスタリス ビューアの画面に合わせて表示
ク)

- (テンキーのマイナス 画像の縮小
記号)

+ (テンキーのプラス記 画像の拡大
号)

/ 原寸表示

1 現在のフォルダの最後の項目を表示する

3 次の項目を表示する

7 前の項目を表示する

9 現在のフォルダの最後の項目を表示する

関連トピック

→ [キーボード ショートカットのカスタマイズ](#)

ビューアのマウス ショートカット

キーボード ショートカットを使用することで、ビューアでの作業をスピードアップすることができます。



このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット ▼ 操作 ▼

ダブルクリック	ビューアを閉じてブラウザに戻る
右クリック	ビューアのショートカット メニューを開く
中央ボタン クリック	フルスクリーン モードの切り替え (3 つボタンのマウス)
ホイール クリック	フルスクリーン モードの切り替え
ホイールを上げる	前の項目を表示する
ホイールを下げる	次の項目を表示する
Ctrl + ホイールを上 げる	画像の拡大
Ctrl + ホイールを下 げる	画像の縮小
Shift + ホイールを下 げる	マルチページ画像の前のページを表示する
Shift + ホイールを下 げる	マルチページ画像の次のページを表示する

カレンダー ペインのショートカット

カレンダー ペインのショートカット

基本的なカレンダーペインのオプションに慣れてきたら、次のショートカットの使用をお勧めします：

- タイトルバーにある年、月、日テーブルをクリックし、該当の年、月、日に含まれる画像を表示します。
- 年、月または日テーブルのタイトルバーを右クリックし、隣接する年、月、日をスクロールして選択します。
- 年モードのある月をダブルクリックすると、月モードに切り替わります。あるいは、月モードで任意の日をクリックすると、日モードに切り替わります。
- 月モードで、週の日を示す文字をクリックして、週のその日に含まれる画像を表示します。例えば、「**金曜日**」をクリックすると、その月のすべての金曜日が選択されます。
- 日モードで「**AM**」または「**PM**」をクリックして、その日の午前または午後を選択します。

- イベントモードで、[Ctrl] キーを押しながら月や日をクリックして、該当の月や日に含まれる画像を表示します。
- 任意の月カレンダーのタイトルをクリックすると、その月に含まれているすべての画像が選択されます。
- 週の名前をクリックすると、該当の週に含まれているすべての画像が選択されます。
- カレンダーのあらゆる日をドラッグ + 選択すると、それらの日に含まれるすべての画像が選択されます。

ファイル フォーマット

サポートされているファイル フォーマット

ACDSee は 50 種類以上のファイル フォーマットをサポートしています。ACDSee で表示、編集、保存できるファイルは、コンピュータにインストールされているファイル フォーマット サポート プラグインに応じて決まります。



フォーマットのフルサポートは、システム必要条件をご覧ください。

画像フォーマット

- [読み取りサポート](#)
- [書き込みサポート](#)

アーカイブ フォーマット

- [読み取りサポート](#)
- [書き込みサポート](#)

ビデオとオーディオ フォーマット

[読み取りサポート](#)

画像読み取り サポート フォーマット

ABR	Adobe TM ブラシ ファイル	
ANI	Windows アニメーション カーソル	<i>アニメーション カーソルを表示します</i>
ART	AOL ART	<i>静止画像</i>
ARW	Sony RAW	
BMP	Windows ビットマップ	<i>Windows と OS/2; 2/8/16/24/32 bpp; RLE および未圧縮</i>
CNV	Canvas	<i>サムネイルのみ</i>

CR2	Canon RAW CR2	
cRAW	Sony cRAW	
CRW	Canon RAW CRW	
CUR	Windows カーソル	
CVX	Canvas	サムネイルのみ
DCR	Kodak RAW DCR	
DCX	マルチページ PCX	すべてのサブタイプとマルチページがサポートされています
DNG	Digital negative	RAW 画像ファイル用に一般公開されたアーカイブ フォーマット
DJV	DjVu	
EMF	エンハンスド メタファイル フォーマット	Win32 拡張配置可能メタファイル
ERF	Epson RAW	
EPS	EPS ファイル (Encapsulated PostScript)	埋め込みサムネイル (TIFF フォーマット) と最初のページのみを表示します
FPX	FlashPix	マルチ解像度サポート
GIF	GIF 形式 (Graphics Interchange Format)	シングル ページとアニメーション; 87a および 89a
HDR	Creo RAW	
ICN	AT&T ICN	
ICO	Windows アイコン	別のページとしてマルチ解像度を表示します
IFF	EA/Amiga インターチェンジ ファイル形式	HAM および HAM8 を含む 1-24 bpp; マルチページとアニメーションはサポートされていません
JBR	Corel ^(R) ブラシ フォーマット	
JP2	JPEG2000	48-bit サポート
JPC	JPEG2000	48-bit サポート
JPG	JPEG JFIF	JFIF および Adobe ^(TM) CMYK
KDC	Kodak ^(TM) KDC	フル画像と埋め込みサムネイルの両方を読み込みます
MAG	MAG	すべてのサブタイプがサポートされています
MRW	Konica Minolta RAW	

NEF	Nikon RAW	
ORF	Olympus RAW	
PBM	ポータブル ビット マップ	
PBR	Corel ^(R) Paint Shop Pro ^(R) ブラシ フォーマット	
PCD	Kodak ^(TM) PhotoCD	最大解像度 3072 x 2048 (16BASE)
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	すべてのサブタイプがサポートされています
PEF	Pentax RAW PEF	
PGM	ポータブル グレー マップ	
PIC	SoftImage PIC	すべてのサブタイプがサポートされています
PCT	Macintosh PICT	
PDF	Adobe Acrobat ドキュメント	すべてのページを読み込むことができます
PIX	エイリアス ピックス	(24 ビット)
PNG	ポータブル ネットワーク グラフィックス	すべてのサブタイプがサポートされています
PPM	ポータブル ピックス マップ	
PS	Adobe Postscript	最初のページのみ
PSD	Adobe PhotoShop ドキュメント	RGB、グレースケール、デュオトーン、インデックスカラー デュオトーンおよび Lab カラーはグレースケールとして解釈されます
PSP	Paint Shop Pro	バージョン 5 と 6
QuickTime ^(TM)	.qtif, .qif, .qfi	Apple QuickTime ^(TM) 静止画像コーデックスをサポート
RAF	Fujifilm RAW	
RAS	Sun Raster	未圧縮と RLE 圧縮
RAW	Pentax RAW、Leica RAW、Contax RAW、Casio RAW	
RSB	Red Storm 画像フォーマット	すべてのサブタイプがサポートされています
sRAW	Canon sRAW	
SGI	SGI 画像フォーマット	8-32 bpp; カラーマップなし; RLE または未圧縮

TGA	Targa TGA	すべてのサブタイプがサポートされています
TIFF	タグ 画像ファイル フォーマット	サンプルごとに 1/2/4/8/12/16 ビット、ピクセルごとに 1-4 サンプル Bilevel/RGB/Palettred/CMYK/YCrCb/LOGL/LOGLUV; 未圧縮/PackBits/LZW//ThunderScan/ SGILog/CCITT/ZIP/NEXT/New-JPEG (v6.0 JPEG のサポートなし) マルチページドキュメントのサポート Kodak RAW TIFF, Canon RAW TIFF
WBMP	ワイヤレス ビットマップ	
WMF	Windows メタファイル フォーマット	Win 3.x 配置可能メタファイル
XBM	X ビットマップ	
XPM	X pixmap	

画像書き込み サポート フォーマット

BMP	Windows ビットマップ	Windows 1/8/24 bpp
GIF	GIF 形式 (Graphics Interchange Format)	非インターレース GIF 89a のみ
IFF	EA/Amiga インターチェンジ ファイル 形式	HAM および HAM8 を含む 1-24 bpp; マルチページとアニメーションはサポートされていません
JP2	JPEG2000	
JPEG	JPEG JFIF	
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	8 および 24 bpp; RLE 圧縮
PNG	ポータブル ネットワーク グラフィックス	1/4/8 bpp カラーマップ済み; 24 bpp RGB
PSD	Adobe(™)PhotoShop ドキュメント	RGB、グレースケール、デュオトーン、パレット付き、およびバイレベル Lab カラーはグレースケールとしてのみ解釈されます
RAS	Sun Raster	未圧縮と RLE 圧縮
RSB	Red Storm 画像フォーマット	すべてのサブタイプがサポートされています
SGI	SGI 画像フォーマット	8-32 bpp; カラーマップなし; RLE または未圧縮

WBMP	ワイヤレス ビットマップ	
TGA	Targa TGA	8 および 24 bpp。RLE および未圧縮、トップダウンとボトムアップ
TIFF	タグ 画像ファイル フォーマット	1 ピクセルあたり 1/8/24 ビット、シングルページ、未圧縮、CCITT3、CCITT4、LZW、デフレート (ZIP)、および JPEG 圧縮; 調整可能 DPI タグ

アーカイブ 読み取りサポート フォーマット

ARJ	ARJ アーカイブ	ARJ フォーマット
CAB	CAB アーカイブ	Microsoft CAB ファイル フォーマット
GZ	GZ アーカイブ	Unix GZIP (GnuZIP)
LHA	LHA および LZH アーカイブ	Lhd、lz4、lh0、lh1、lh4、lh5、lh6、lh7、Lzh
RAR	RAR アーカイブ	RAR フォーマット
TAR	TAR アーカイブ	Unix TAR フォーマット
TGZ	TGZ アーカイブ	GZIP で圧縮された TAR フォーマット
UU	UU アーカイブ	UUEncoded ファイル
ZIP	ZIP アーカイブ	ストアおよびデフレート

アーカイブ 書き込みサポート フォーマット

LHA	LHA および LZH アーカイブ	Lhd、lz4、lh0、lh1、lh4、lh5、lh6、lh7、Lzh
ZIP	ZIP アーカイブ	ZIP フォーマット

ビデオ・オーディオ 読み込みサポート フォーマット

AIF	オーディオ インターチェンジ ファイル フォーマット	
AIFC	オーディオ インターチェンジ ファイル フォーマット	
AIFF	オーディオ インターチェンジ ファイル フォーマット	
ASF	アクティブ ストリーミング ファイル - HoTMetaL Pro	
AU	Sun Microsystems やその他の UNIX コンピュータで使われるサウンド ファイル フォーマット	
AVI	AVI ムービー フォーマット	

GSM	モバイル オーディオ用のグローバル システム
M15	Apple MPEG-1 ビデオ
M1A	Apple MPEG-1/2 オーディオ
M1V	Apple MPEG-1 ビデオ
M2A	Apple MPEG-1/2 オーディオ
M3U	MP3 プレイリスト ファイル
M75	Apple MPEG-1 ビデオ
MOV	QuickTime ムービー
MP2	MPEG Layer II 圧縮オーディオ
MP3	MPEG Layer III 圧縮オーディオ
MPA	Apple MPEG-1/2 オーディオ
MPEG	MPEG ムービーまたはアニメーション ファイル
MPG	MPEG エンコード済みファイル
MPV	Apple MPEG-1 ビデオ
QCP	Qualcomm PureVoice
QTPF	QuickTime PreFlight Text
SD2	Sound Designer II
SMI	Synchronized Multimedia Integration Language
SMIL	Synchronized Multimedia Integration Language
SML	Synchronized Multimedia Integration Language
SND	サウンド ファイル
SWA	MPEG layer III オーディオ
SWF	Adobe Flash 4
ULW	ULAW – Sun/NeXT
VFW	Windows 用のビデオ
WAV	サウンド ファイル
WMV	Windows メタファイル

サポートされている RAW フォーマット

サポートされているフォーマットの最新一覧につきましては、弊社のウェブサイトをご覧ください:

<http://www.acdsee.com/products/acdseepro/rawformats>

ACDSee がサポートしている RAW フォーマット カメラは次の通りです:

- Adobe Digital Negative (DNG)
- Canon EOS-1D
- Canon EOS-1D Mark II
- Canon EOS-1D Mark II N
- Canon EOS-1Ds
- Canon EOS-1Ds Mark II
- Canon EOS 5D
- Canon EOS 10D
- Canon EOS 20D
- Canon EOS 30D
- Canon EOS 300D/Digital Rebel/Kiss Digital
- Canon EOS 350D/Digital Rebel XT
- Canon EOS D30
- Canon EOS D60
- Canon EOS D2000C
- Canon PowerShot 600
- Canon PowerShot A5
- Canon PowerShot A5 Zoom
- Canon PowerShot A50
- Canon PowerShot G1
- Canon PowerShot G2
- Canon PowerShot G3
- Canon PowerShot G5
- Canon PowerShot G6
- Canon PowerShot Pro1
- Canon PowerShot Pro70

- Canon PowerShot Pro90 IS
- Canon PowerShot S30
- Canon PowerShot S40
- Canon PowerShot S45
- Canon PowerShot S50
- Canon PowerShot S60
- Canon PowerShot S70
- Casio EX-P600
- Casio QV-2000UX
- Casio QV-3000EX
- Casio QV-3500EX
- Casio QV-4000
- Casio QV-5700
- Contax N DIGITAL
- Creo Leaf Valeo 22
- Epson R-D1
- FujiFilm F710
- FujiFilm FinePix E550
- Fujifilm FinePix E900
- FujiFilm FinePix F700
- FujiFilm FinePix S20Pro
- FujiFilm FinePix S2Pro
- FujiFilm FinePix S3Pro
- FujiFilm FinePix S5000
- Fujifilm FinePix S5500
- FujiFilm FinePix S7000
- FujiFilm FinePix S9000/S9500
- Imacon Ixpress
- Kodak DCS Pro 14n
- Kodak DCS Pro 14nx

- Kodak DCS Pro SLR/c
- Kodak DCS Pro SLR/n
- Kodak DCS315C
- Kodak DCS330C
- Kodak DCS420
- Kodak DCS460
- Kodak DCS520C
- Kodak DCS560C
- Kodak DCS620C
- Kodak DCS620X
- Kodak DCS660C
- Kodak DCS720X
- Kodak DCS760C
- Kodak EOSDCS1
- Kodak EOSDCS3B
- Kodak ProBack
- Kodak ProBack645
- Konica Minolta A200
- Konica Minolta DiMAGE 5
- Konica Minolta DiMAGE 7
- Konica Minolta DiMAGE 7Hi
- Konica Minolta DiMAGE 7i
- Konica Minolta DiMAGE A1
- Konica Minolta DiMAGE A2
- Konica Minolta DiMAGE A200
- Konica Minolta Dynax/Maxxum 5D
- Konica Minolta Dynax/Maxxum 7D
- Leica Digilux 2
- Nikon D1
- Nikon D50

- Nikon D100
- Nikon D200
- Nikon D1H
- Nikon D1X
- Nikon D2H
- Nikon D2Hs
- Nikon D2X
- Nikon D50
- Nikon D70
- Nikon D70s
- Nikon E5000
- Nikon E5400
- Nikon E5700
- Nikon E8700
- Nikon E8800
- Olympus C-5050 Zoom
- Olympus C-5060 Wide Zoom
- Olympus C-7000 Zoom
- Olympus C-7070 Wide Zoom
- Olympus C-8080 Wide Zoom
- Olympus E-1
- Olympus E-10
- Olympus E-20
- Olympus E-300
- Olympus E-330
- Olympus E-300 DSLR
- Olympus E-500
- Olympus SP-500 UZ
- Panasonic DMC-FZ30
- Panasonic DMC-LC1

- Pentax *ist D
- Pentax *ist DL
- Pentax *ist DS
- Pentax *ist DS2
- Pentax Optio S
- Pentax Optio S4
- Phase One H 10
- Phase One H 20
- Phase One H 25
- Phase One LightPhase
- Sinar 12582980-byte
- Sony DSC-F828
- Sony DSC-R1
- Sony DSC-V3

ファイルの登録と関連付け

ACDSee は様々なファイルフォーマットに対応しています。Microsoft XP をご使用の場合、指定したファイルフォーマットを開くために ACDSee を既定アプリケーションとして設定することができます。このプロセスはファイルの関連付けと呼ばれています。

Microsoft Windows Vista が市場に導入されたことで、ユーザーが ACDSee とファイルを関連付ける方法が変わりました。そのため、Windows Vista 版以降では、ファイルの関連付けだけでなく、ファイルの種類(あるいは拡張子)も登録する必要があります。ファイルの種類を登録すると、ACDSee で使用するファイルの種類を Microsoft Windows Vista に認識させることになります。ファイルの種類を関連付けすると、ファイルをダブルクリックする際に開く既定のプログラムとして ACDSee を設定することになります。

Microsoft XP をご使用の場合

ファイル フォーマットを ACDSee に関連付けるには:

1. [ツール] メニューから [ファイルの関連付け] をクリックします。
2. 以下のいずれかを選択します:
 - [画像ファイル] タブを選択し、ACDSee と関連付けたい画像ファイル フォーマットの横にあるチェックボックスをオンにします。

- **【アーカイブ】** タブを選択し、ACDSee と関連付けたいアーカイブ ファイル フォーマットの横にあるチェックボックスをオンにします。

3. **【OK】** をクリックします。

Microsoft Windows Vista をご使用の場合

ACDSee でファイルの関連付けオプションを設定するには:

1. **【ツール】** メニューから**【ファイルの関連付け】****【ファイルの関連付けの設定】** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **画像ファイルの種類すべて** - ACDSee が画像ファイルの種類すべてを開くための既定アプリケーションとして設定されます。
 - **ACDSee またはその他のプログラムと現在関連付けられていない画像ファイルの種類** - ACDSee またはその他のプログラムと関連付けられていないファイルの種類を ACDSee で開くように追加します。
 - **ユーザーが画像ファイルの種類を指定する** - ユーザーが ACDSee と関連付けるファイルを指定できるダイアログが表示されます。
3. **【OK】** をクリックします。

Microsoft Windows Vista と新規のファイル拡張子を登録するには:

新規ファイルの種類を扱うことができるプラグインを ACDSee に追加する際、ACDSee がその新規ファイルフォーマットを使用できるように、ファイルフォーマットとオペレーティングシステムを登録する必要があります。その後、同じダイアログを使用して、ACDSee とそれらのファイルの種類を関連付けます。

1. **【ツール】** メニューから**【ファイルの関連付け】****【新規ファイルフォーマットの登録】** をクリックします。
2. 一覧に表示されている新規ファイルフォーマットすべてを **登録** するには、**【OK】** をクリックします。
3. ACDSee とファイルを **関連付ける** には、各ファイルの種類横に示されている正方形をクリックします。これで該当のファイルを ACDSee で開くことができます。
4. **【OK】** をクリックし、新規ファイルを登録/関連付けします。



Microsoft Windows Vista から直接、ファイルの関連付けを変更することができます。デスクトップの **【スタート】** から **【既定プログラム】** をクリックします。

用語集

英字

ACDSee Showroom

ACDSee Showroom を使用して、お気に入り画像のスライドショーを作成し、デスクトップに小さなウィンドウとして表示することができます。

ACDSee Quick View

ACDSee Quick View は、ACDSee を開かずに画像を素早く表示するためのビューアです。

CMYK

シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、クロ(K) の 4 色を原色とするカラーモデル。

DDE (Dynamic Data Exchange)

Macintosh と Windows の OS で使用されるマルチ処理の通信システム。DDE では、実行している 2 つのアプリケーションで同じデータを共有することができます。

EXIF (Exchangeable Image File)

JPEG 圧縮の画像を主とする、情報保存の標準規格。ほとんどのデジタルカメラは EXIF 情報を作成し、画像ファイル内に埋め込みます。例えば、EXIF 情報にはシャッタースピードやフラッシュ発光の有無などの情報が含まれます。

DPI (ドット/インチ)

画像の表示解像度を示す単位。例: 92 DPI = 横 92 ドット x 縦 92 ドット = 8,464 ドット/スクエアインチあたりのドット数が増えるほど、高解像度、高画質になります。

IPTC

画像内に情報をエンコードする標準方法で、説明的なコメント、著作権などの情報を画像と一緒に転送することができます。

PDF

Portable Document Format を省略したもの。無料の Adobe Reader を使用して、PDF ファイルを表示します。

PPI (pixels per inch)

画像解像度の単位。インチあたりのピクセル数が増えるほど、高画質になります。

RAW

画像ファイル フォーマット。RAW ファイルには、デジタルカメラのセンサーがキャプチャした、画像の全データが含まれています。RAW ファイルはカメラによって処理されないため、ユーザーが処理する必要があります。

RGB

赤(R)、緑(G)、青(B)の 3 色を原色として使用するカラーモデル。

SendPix

ACD Systems 社が提供する、無料の画像共有サービスです。

Showroom

ACDSee Showroom を参照。

TWAIN

スキャナや一部のデジタルカメラに使用される標準インターフェース。

USB (Universal Serial Bus)

マウス、キーボード、カメラ、スキャナなどの外部デバイスに接続するためのコンピュータ ポート。

VCD

Video Compact Disc、あるいは通常の CD に格納されたビデオを指します。

XML (Extensible Markup Language)

Web ドキュメントに使用される標準言語。

あ

アーカイブ

保存を目的として、複数のファイルを単数ファイルとして保存すること。通常、サイズを減らすために圧縮が使用されます。ACDSee や ACDZip のようなアーカイビング ソフトウェアを使えば、アーカイブ ファイルの作成と表示が可能です。

赤目

デジタルカメラのフラッシュが、撮影される対象者の目の網膜に反射されることによって起こります。被写体の実際の目の色ではなく、赤く見えるのが特徴です。

明るさ

画像の明るさ。明るさを調整して、画像を明るくしたり暗くしたりすることができます。

圧縮

元のデータよりもサイズが小さくなる保存用のフォーマットに、データを変換すること。

アルバム

複数の画像を集めたもので、通常テーマやイベント毎にまとめられています。アルバムには、ハードディスクに保存されている画像へのショートカットが含まれます。ACDSee 5.0 以前のバージョンでは、アルバムに .ais の拡張子が付いています。

アンカー

画面やページに、スクリーンやページの選択範囲、画像の場所などのオブジェクトを固定する方法。ACD フォト エディタでは、選択された範囲を固定すると、マーキーが非表示になります。

暗号化

データを安全なフォーマットに変換する方法。暗号化されたファイルを読解するには、パスワードまたはキーが必要です。

アンシャープマスク

アンシャープマスクは、画像をシャープにするツールの 1 つです。オリジナル画像が、わずかながらぼやけていると仮定します。オリジナル画像からぼかしのかかった画像が差し引かれ、オリジナル画像のエッジが強調されます。

アンチエイリアシング

ギザギザの線やカーブを除去するテクニックのこと。グレイとカラーの影を使って、近隣のピクセル間にあるコントラストをスムーズにします。このテクニックを使用すると、ギザギザを大幅に減らすことができますが、画像全体がぼやけて表示されることにもなりかねません。

一括処理

サイズ変更、変換、名前の変更のように、複数の画像やファイルを同時に調整するために使用される操作やツールのこと。

色空間

色空間には、デバイス独立(デバイス・インディペンデント)、デバイス依存(デバイス・ディペンデント)の 2 種類があります。RGB を代表とするデバイス独立(デバイス・インディペンデント)色空間では、可能な色で表現されます。デバイス依存(デバイス・ディペンデント)色空間は、特定のデバイスで再現することができる、デバイス独立色空間から集められた色で表示されます。

色の範囲

プリンタやモニターといったデバイスが再現することのできる色の範囲。

インポート

取り込み先のアプリケーションが理解できるフォーマットを使って、別のアプリケーションからデータを取り込むこと。

エイリアシング

低解像度のためにギザギザに表示されてしまうデジタル画像のラインを、スムーズに丸める手順のこと。

エクスポート

あるアプリケーションから別のアプリケーションへ、データを移動すること。エクスポートされたデータは、別のアプリケーションが理解できるフォーマットに置き換えられます。

エディタ

[画像エディタ](#) を参照。

エンコード

ファイルフォーマットを書き込み、あるいは保存すること。

か

解像度

ピクセル、DPI (Dots Per Inch) または PPI (Pixels Per Inch)、で測定された画質。

階調

画像の想像上の光源の高さ。光の階調は影の方向に関連して、3D のエンボス効果を作成します。

可逆圧縮

全画像データと画質を保ったまま圧縮する方法。

可逆回転と反転

JPEG 画像の回転方法で、画質を失いません。8 または 16 の倍数の画像サイズに最も適しています。

画像エディタ

画像を作成したり編集することができるプログラムのこと。ACD フォト エディタは画像エディタです。

画像オプティマイザ

インターネットに適した画像を作成することができるプログラム。ACD RealOptimizer は画像オプティマイザです。

画像解像度

画像の詳細と色のクオリティ。モニタの表示能力やプリンタ印刷能力を表す際にも使われます。

画像ビューア

画像を表示するプログラム。ACDSee と ACD フォト エディタは画像ビューアです。

カタログ化

ファイル情報を ACDSee データベースに追加すること。

カテゴリ

画像にカテゴリを適用すると、管理と検索作業をよりスムーズに行うことができます。

カラーキャスト

彩度と輝度を保ったまま、画像の色相を変更すること。例えば、ほとんどのデジタルカメラはわずかながらも青みがかった色相で画像を撮影します。ACDSee には、希望しないカラーキャストを削除するツールが含まれています。

カラー チャンネルの値

シングルのカラーに対するすべてのピクセル情報が含まれています。グレースケールの画像には 1 つのチャンネル、RGB 画像には 3 つの (赤、緑、青) のチャンネルがあります。カラーを編集する際、赤・緑・青の値調整することができます。

カラーマネージメント

プリンタで印刷される色と、モニタで表示される色がマッチするようにコンピュータを設定すること。

ガンマ

モニタ、スキャナ、プリンタで表示することができる色の値の範囲。ガンマ値を補正して、光のスペクトルの強さを調整します。ガンマ値が補正された画像は、保存されると調整されたディスプレイと同じになります。

キャッシュ

高速の格納メカニズム。ACD Systems のデータベースはキャッシュです。

キャプション

印刷画像に追加されるファイルに関連するテキスト、コメント、説明。

Quick View

ACDSee Quick View を参照。

クリップボード

Microsoft Windows のツールで、あるソースから別のソースにデータをコピーする方法。スタンダードのコピー／切り取りツールを使用してクリップボードに移動した後、貼り付けツールを使用してクリップボードから項目をインポートすることができます。

グレースケール画像

グレーの濃淡で構成されている画像。

原色

混ぜ合わせることで他の色を生み出すことができる色のこと。例：RGB カラーモデルでは、赤(R)、緑(G)、青(B) が原色。

更新日時

ファイルに関連付けられた日時。

コーデック

データの圧縮と解凍を行う技術。コーデックは保存目的、あるいはインターネットのようなネットワーク上に転送する目的でファイルを圧縮する際に使用されます。圧縮されたファイルは同じコーデックを使用して元のサイズに解凍できるため、コンピュータで再生または表示が可能です。

コマンドライン

通常 MS-DOS プロンプトのことをさします。ユーザーは特定の構文を使ってコマンドを入力し、アプリケーションを開始することができます。

コンタクトシート

複数の小さい画像をまとめたページのことで、通常縦横に並べられます。

コントラスト

画像のカラーと輝度の違い。

さ

再帰的

スライドショーのように反復を繰り返すことができるプログラムまたはタスクのこと。

彩度

色の純度。彩度の値が高くなるほど、グレーが強くなります。

彩度（レンダリングの方法）

ある色の範囲から別の色の範囲に、色の彩度を保ちながらレンダリングする方法。実際に表示される色よりも、色の鮮度が重要な画像に適しています。

サムネイル

画像の小さなプレビュー。

サンプル

オーディオ周波数。単位はビット(bits)。サンプルのビット数が多いほど、よりクリアで正確なサウンドになります。

サンプル サイズ

オーディオ サンプルのサイズ。単位はビット(bits)。

サンプリング レート

サウンドをデジタルに変換するためのサンプル数のこと。単位は 1 秒間のサイクルであるヘルツ(HZ)。秒あたりのサンプル数が増えるほど、サウンドのデジタル化がより正確に行われることになります。オーディオを録音するサンプリング レートは、オーディオ ファイル全体のクオリティを左右する重要な要素です。

色相

画像の主な色。

自動カテゴリ

自動カテゴリは、画像とデータベースに追加された説明情報で、属性が類似している画像を素早く検索するために使用します。

ジャギー

解像度の低い画像に見られるギザギザのこと。画像のピクセルが大きく表示されるために、画像に線や曲線が加わって見えます。

シェル

ユーザー インターフェースを指す別の用語。ACD Systems のソフトウェアが指すシェルとは、OS または親アプリケーションのことです。シェル コマンドを使って、ACD Systems のソフトウェアから別のプログラムまたはアプリケーションにアクセスすることができます。

シェル コマンド

別のプログラムまたはアプリケーションから、OS や親アプリケーションに送信されるコマンド。

重要度

1 から 5 までの値を画像に割り当てることで、管理と検索が簡単になります。

ショートカット メニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。コンテキスト メニューとも呼ばれます。

透かし

著作権保護を目的とした、画像の背景に埋め込まれたテキストやグラフィックのこと。

ズーム

ACDSee では、ズームは画像表示の拡大/縮小プロセスを指します。拡大すると画像の一部を細かく表示することができます。縮小すると画像全体、あるいは画像のより広い範囲を表示することができます。

ストリーミング

ダウンロードの完了を待ってから再生するのではなく、インターネットからのダウンロードを継続しながら、オーディオまたはビデオを再生すること。

スライドショー

複数の画像を順番に表示させる機能。ACDSee や ACD FotoAngelo などのソフトウェアを使って、スライドショーを作成したり表示することができます。

絶対カラー メトリック

レンダリングの方法で、一般にプルーフ用に使われています。使用できる色の範囲内で忠実に色を再現し、色の範囲外にある色を減らして最も近い色相に変更します。そのため彩度が劣る可能性があります。

説明

ファイルに関連付けられた自由形式のテキスト。ACDSee 6.0 以前のバージョンでは、説明は `descripto.ion` という 1 つの隠しファイルに全て保存されていました。それ以降のバージョンでは、各フォルダ毎に `descript.icn` が作成されます。ACDSee 6.0 以降では、説明はキャプションと呼ばれています。

セピア

セピア画像は、茶色のトーンで構成されています。古い写真のほとんどに、セピアトーンが見られます。

選択範囲

選択ツールを使って定義した画像の一部分。選択範囲の周りにはマーキーが表示されます。ACDSee と ACD フォト エディタには選択ツールが含まれています。

相対比色

入力と出力デバイスの両方に忠実な色の範囲を使って色をマップするレンダリングの方法。色の範囲外にある色は単色としてマップされることがあるため、単色または色に限界のある画像に適しています。

た

ダイナミックレンジ

画像のダイナミックレンジは、その画像を撮影したデジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジと直接関係しています。デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジが大きいと、最も暗い影と最も明るいハイライトを、同時にまた忠実に撮影することができます。(RAW 画像は、デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジを保持します。)画像のトーン範囲を調整すると、モニタあるいは画像に表示されているダイナミックレンジを変更することになります。

タグ

カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。クリックひとつでタグを付けることができます。

縦横比

画像の縦と横の比率。3 : 1 の縦横比の画像は、幅が高さの 3 倍ということになります。

知覚

別の色の範囲内に収まるよう、全色をある色の範囲内に調整するレンダリングの方法。色そのものよりも他の色間との関係を忠実に保つため、写真に最も適した方法です。

ディザリング

ピクセルのサイズや形を変更して、画像に表示される色や影を調整すること。

データベース

格納されたデータに素早くアクセスする電子ファイルシステムのこと。ACD Systems データベースは次の 2 つから構成されています: キャッシュされたサムネイル ファイルと情報ファイル。キャッシュされたサムネイル ファイルは、小さな画像のコピー(サムネイル)を含んでいます。また情報ファイルには、システム上のファイルに関する詳細情報(説明、日付、作者、注記、キーワード、カテゴリなど)が含まれています。

データベースの日付

ファイルのプロパティに適用されている日付で、ACD Systems データベースに保存されます。

デコード

ファイルフォーマットを読み込み、あるいは表示すること。

デバイス プロファイル

特定のデジタルカメラ、スキャナまたは他のリムーバブルデバイス用に設定されたオプションのことで、デバイスから画像を取り込む際にそれらの設定が自動的に使用されます。

透視歪み

透視歪みはワイドアングルとテレフォト レンズによって引き起こされる歪みで、大型あるいは遠方のオブジェクトが歪んで見えます。例えば、高層ビルを撮影した場合、ビルの上部ほど幅が狭く見えます。

ドッキング

画面の別の領域に、ツールバー、ウィンドウ、ペイン、パネル、ダイアログボックスを固定させること。

トランジション

スライドショー、スクリーンセーバー、ビデオ内の画像またはビデオ間に使われる特殊効果のこと。

取り込み

外部デバイス(スキャナ、デジタル カメラなど)から画像を取り込み、ハードディスクに追加すること。スクリーン キャプチャで画像を取り込むことも含まれます。

トリミング

不必要な画像領域を削除します。

な

ニュースリーダー

インターネット ニュースグループ(オンライン ディスカッション グループ)のメッセージを読んだり、掲載したりするためのアプリケーション。

ノイズ

同系色の範囲内で、様々なピクセル カラーが使用されている場合に生じます。ノイズは画像のサイズを変更する際や、別のフォーマットに変換する際に生じます。

は

バーレル

バーレルでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。

ハイライト

ハイライトとは、画像の最も明るい部分、最も白い部分を指します。

バックグラウンド処理

ユーザー操作なしに起動するタスクまたはプログラムのこと。

バンディング

デジタル画像の色のグラデーションを分割すること。バンディングはマルチパスのカラープリンタで画像を印刷する際にも起こります。

バンド幅

一定時間内にネットワーク接続を通じて送信できるデータの量。単位は、キロビット/秒 (Kbps)。

パンニング

上下、左右、対角線上に画像をズーム移動して、画像の特定部分を大きく表示します。

非可逆圧縮

不要なデータを削除した圧縮方法。データを削除するため、画質に影響を及ぼします。

ピクセル (PICture ELement)

デジタル画像を構成する最小単位。縦横に並べられた色のついた「点」。

ピクチャビューア

[画像ビューア](#) を参照。

ヒストグラム

画像のシャドウとハイライトのダイナミックレンジを表した棒グラフ。

ビット

ビットは、コンピュータで扱うデータの最小単位のことです。画像の色深度は、色情報を格納するために必要なビット数で制約されています。例えば、8 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 256 の異なる値を格納することができます。同様に、18 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 65,536 の異なる値を格納することができます。

ビューア

[画像ビューア](#) を参照。

ファイル一覧

ACDSee では、ブラウザで現在表示されているファイルの一覧。

ファイル名の衝突

項目の移動先またはコピー先のフォルダ／ドライブに、同一ファイル名が既存することから生じる処理。

ファイル フォーマット

ファイルの情報をエンコードするためのメディア。ファイルの種類ごとに、情報の管理方法を指定する異なったファイル フォーマットが含まれています。

フィルタ

エンボスやセピアなど、画像に効果を加えることができるプログラムのこと。

フェザー

画像のエッジを背景とブレンドし、画像をソフトに仕上げること。

フォト アルバム

[アルバム](#) を参照。

フォト エディタ

[画像エディタ](#) を参照。

不自然な結果

画像の圧縮やサイズ変更によって生じた、画像のエッジに見られる歪み。

フッター

画像の下に追加されるコメントや説明のこと。キャプションと呼ばれることもあります。

不透明

不透明度は画像または選択範囲に適用された場合、どの程度不透明に表示されるかを定義します。不透明度の値を上げると目で確認できるような効果が得られますが、値が下げすぎるとほとんど変化がわからないという結果になりかねません。

プライベート フォルダ

プライベート フォルダは、秘密のファイルを格納することができるセキュリティ保護されたフォルダです。プライベート フォルダはパスワード保護されており、ACDSee 内でのみ表示することができます。

ブラウザ

デスクトップのショートカット アイコンを使って ACDSee を起動すると、最初に登場するインターフェイスがブラウザです。ブラウザでは、ファイルの検索、移動、プレビュー、並べ替え、管理／共有ツールへアクセスすることができます。

ブラックポイント

画像の最も暗い領域。ブラックポイントを調整して、画像の暗さをコントロールすることができます。

プラグイン

プログラムに機能を追加するソフトウェア モジュール。

フレーム

フィルムまたはビデオ内のスチル画像。

フレーム レート

フィルムまたはビデオがフレームを表示する速度のこと。フレーム レートに使用される単位は、フレーム／秒 (FPS) です。

ブレンドモード

ツールの効果、あるいは選択された項目の見た目を変更するフィルタのこと。

ベクタ画像

ピクセルではなく個々のオブジェクトから構成されている画像のこと。オブジェクトは数学的な方程式で定義されます。ベクタ画像のサイズを変更しても、画質に影響はありません。

ヘッダー

画像の上に追加されるコメントや説明のこと。キャプションと呼ばれることもあります。

変換

あるフォーマットから別のフォーマットにファイルを変換すること。例えば、ファイルのサイズを減らすために、ビットマップ (.bmp) を JPEG (.jpg) に変換することを指します。

編集モード

ACDSee の編集モードでは、ツールや特殊効果を使って画像を編集することができます。

方向

画像のエッジから伸びる影の方向を指定します。ACDSee とフォト エディタでは、画像にエンボス効果を適用する際、方向を指定することができます。

補間法

近隣のピクセルを使って、新しいピクセルの色を推定し、大きな画像にそれらの色を加える方法。例えば、補間法はデジタル画像を引き伸ばす際に使用されます。

ホワイトポイント

画像の最も明るい領域。ホワイトポイントを調整して、画像の明るさをコントロールすることができます。

ま

マーキー

画像の選択範囲を示すための、破線で囲まれた枠のこと。ツールによっては、画像に変化を加えるあるいは変化を加えることなく、マーキーのサイズを変更したり移動することができます。

マルチページ画像

シングルのファイルながら、複数の画像を含んでいる画像ファイル。例えば、TIFF フォーマットは複数の画像を含むことができます。

メタデータ

画像の撮影状態を示す情報。例えば、デジタルカメラで撮影された画像のメタデータには、画像が撮影された日時、シャッタースピード、カメラの露出設定、フラッシュ発光の有無などが含まれます。

モノクロ画像

白黒の画像。

ら

ラスタ画像

長方形のピクセル グリッドで構成された画像。ピクセルには、色、サイズ、画像の場所を定義した値が含まれています。そのため、画像のサイズ変更は、画質に影響を与えます。

レンダー

画像をスクリーンに描くこと。

レンダリングの方法

ある色の範囲 から別の色の範囲へ、色をマップする方法のこと。4 つのレンダリング方法があります：[知覚](#)、[相対比色](#)、[彩度](#)、[絶対比色](#)

露出

露出とは、画像撮影時にデジタルカメラが光に露出された時間を指します。

露出アンダー

露出アンダーの画像には、影がたくさん含まれています。通常、デジタルカメラのセンサーを十分な時間光に露出しないことによって引き起こされます。

露出オーバー

ハイライト過多によって、画像がぼやけたり粗く見える状態を指します。通常、デジタルカメラのセンサーを長時間光に露出することによって引き起こされます。

索引

ACDSee

myACD, 16

システムの必要条件, 15

データベース, 189

ハイライト機能, 2

ユーザー インターフェイス, 6

起動する, 5

ACDSee とファイルを関連付ける, 288

CD

CD/DVD 管理 オプションを設定する, 245

VCD, 214

フォトディスク, 63

画像を取り込む, 27

作成する, 212

description ファイル, 192

DVD

CD/DVD 管理 オプションを設定する, 245

VCD, 214

作成する, 212

EXIF

EXIF 情報を追加する, 182

情報の一括設定, 182

表示する, 186

High Color, 107

HSL, 108

HTML アルバム, 214

IPTC

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する, 184

IPTC 情報を追加する, 182

表示する, 187

JPEG オプション, 255

myACD, 16

PDF, 212

RAW 画像

RAW 画像プレビュー オプションを設定する, 252

サポートされているフォーマット, 284

一括処理する, 143

参照する, 40

処理する, 135, 142

処理について, 135

処理の設定を共有する, 144

処理の設定を削除する, 144

表示する, 62

編集する, 145

RGB, 108

SendPix アルバム, 220

True Color, 107

TWAIN

画像を取り込む, 26

情報, 20

USB 大容量記憶装置

画像を取り込む, 26

情報, 20

アングル 特殊効果, 161

アンシャープ マスク, 110

アンティーク 特殊効果, 154

イメージ ウェル, 208

ヴィネット 特殊効果, 165

ウォーター 特殊効果, 166

ウォータードロップ 特殊効果, 167

エッジ検出 効果, 150

エンボス 特殊効果, 150

オイルペイント 特殊効果, 153

オーディオ

画像に追加する, 225

画像に録音する, 225

再生する, 222

オプション

ACDSee Quick View, 64

カテゴリ ペイン, 243

カレンダー ペイン, 244

コンタクトシート, 231

データベース, 249

デバイス プロファイル, 25

ビューア, 250

ファイル管理, 246

フォルダ, 242

ブラウザ, 235

プレビュー ペイン, 241

情報の一括設定, 183

全般, 234

お気に入り ペイン, 39

カスタマイズ

カテゴリ ペイン, 243

カレンダー ペイン, 244

キーボード ショートカット, 263	カラーマネージメント オプションを設定する, 247
ツールバー, 260	自動カラー, 106
データベース, 249	色深度を変更する, 107
ビューア, 250	キーボード ショートカット
ファイル一覧 ペイン, 236	カスタマイズ, 263
ファイル管理, 246	ビューア, 272
フォルダ ペイン, 242	ブラウザ, 268
ブラウザ レイアウト, 258	グラナイト 特殊効果, 152
プレビュー ペイン, 241	グレースケール, 107
ペインを移動する, 8	クレヨン画 特殊効果, 149
編集パネル, 262	クロスハッチ 効果, 149
カスタム タブ, 259	コピーする
カテゴリ	ファイル, 172
管理する, 180	画像, 173
設定する, 181	コンタクトシート
未分類の画像を検索する, 208	印刷, 231
カテゴリ ペイン	作成する, 217
カスタマイズ, 243	サイズを変更する
カテゴリと重要度を設定する, 181	画像, 75
カラー	サイズ変更
カラーキャストを削除する, 106	複数の画像, 117
カラープロファイルを変更する, 119	サウンド

- 画像に追加する, 225
- 録音, 225
- サポートされているファイル フォーマット, 278
- サムネイル
 - 再構築, 199
 - 比率オプションを設定する, 239
 - 表示オプションを設定する, 238
 - 表示モード, 40
- システムの必要条件, 15
- シフト 特殊効果, 160
- シャープネス, 110
- ショートカット
 - ビューア, 272
 - ブラウザ, 268
 - マウス, 277
- ズーム
 - ビューア, 52
 - レベルを設定する, 53
 - 自動, 53
- スキャナ, 26
- スクリーン キャプチャ, 28
- スクリーン セーバー
 - 共有する, 210
 - 作成する, 66
- ステンドグラス 特殊効果, 162
- スライドショー
 - 共有する, 210
 - 自動再生する, 58
 - 自動表示, 60
 - 設定する, 56
- セピア 効果, 159
- ソーベル 効果, 161
- ソラリゼーション 特殊効果, 162
- ダウンロードする
 - CD からの画像, 27
 - スキャナからの画像, 26
 - デジタルカメラからの画像, 25
 - 携帯電話からの画像, 28
 - 自動的に, 24
 - 大容量記憶装置から, 26
- ツールのプリセット, 90
- ツールバー, 260
- ディスクの作成/バスケット, 212
- データベース

description ファイル, 192

インポートする, 192

エクスポートする, 194

オプション, 249

キーワード, 181, 199

サムネイルの再構築, 199

ドライブをマップする, 200

バックアップする, 195

ファイルのカタログ化, 190

ファイルを隔離する, 199

フォルダを除外する, 190

メンテナンス, 198

ワンポイント, 196

最適化する, 198

情報, 189

情報を追加する, 182

復元する, 197

変換する, 191

データベースからフォルダを除外する, 190

データベースを最適化する, 198

データベース情報をインポートする, 192

データベース情報をエクスポートする, 194

データベース情報を復元する, 197

テキスト

ビューアで画像上に表示する, 61

ファイル一覧, 195

ページに追加する, 230

画像に追加する, 86

デジタルカメラ

プラグイン, 20

画像を取り込む, 25

デバイス プロファイル

画像を取り込む, 24

作成する, 23

編集する, 24

デバイス検出, 20

トリミングする, 78

ナビゲータ, 54

ネオン効果, 152

ネガティブ 効果, 153

ノイズ

画像から削除する, 112

画像に追加する, 113

情報, 112

バーレル歪み, 95

ハイライト, 97

バスケット, 50

バックアップ

 ワンポイント, 196

バックアップする

 データベース, 195

ピクセルのサイズ変更オプション, 91

ピクセル爆発 特殊効果, 155

ヒストグラム, 106

ビデオ ファイル

 再生する, 222

 作成する, 214

ビデオファイル

 フレームを抽出する, 224

ビューア

 カスタマイズ, 250

 キーボード ショートカット, 272

 ズーム レベルを設定する, 53

 テキストを表示する, 61

 ナビゲータ, 54

 パンニング, 55

ヒストグラム, 106

フォルダと同期する, 63

フルスクリーン モード, 11

マウス ショートカット, 277

画像をズームする, 52

使用方法, 10

自動ズーム, 53

自動表示, 60

虫めがね, 55

表示オプションを設定する, 251

ピンクッション歪み, 95

ファイル

 ACDSee と関連付ける, 288

 アーカイブする, 219

 オーディオとビデオ ファイルを再生する, 222

 コピーまたは移動する, 172

 サポートされているフォーマット, 278

 データベースのカatalog化, 190

 フォルダを同期する, 188

 プロパティ, 185

 一覧, 195

 隔離する, 199

管理オプション, 246	詳細表示 オプションを設定する, 240
管理する, 13	ファイルー覧ペイン
重複を検索する, 207	ファイルのフィルタ, 42
詳細, 40	フルスクリーン, 33
選択する, 46	使い方, 32
置き換える, 173	表示モード, 40
貼り付け, 173	フィルタを適用する, 42
日時を変更する, 184	フォトディスク, 63
並べ替える, 45	フォルダ
名前を変更する, 174	データベースから除外する, 190
ファイル フォーマット, 278	ビューア内で同期する, 62
ファイルのアーカイブ, 218	ファイルを同期する, 188
ファイルをカタログ化する, 190	携帯電話, 28
ファイルを隔離する, 199	参照する, 34
ファイルを上書きする, 173	貼り付け, 173
ファイルを置き換える, 173	名前を変更する, 174
ファイルを並べ替える, 45	フォルダ ペイン
ファイルー覧, 195	オプション, 242
ファイルー覧 ペイン	使い方, 34
カスタマイズ, 236	フッター
サムネイル表示オプションを設定する, 238	ビューア, 61
ファイルー覧ペイン オプションを設定する, 236	ページに印刷する, 230

ブラウザ

RAW ファイル, 40

お気に入りペイン, 39

キーボード ショートカット, 268

ツールバーをカスタマイズする, 260

ディスクの作成, 212

バスケット, 50

ファイル一覧 ペイン, 32

フォルダ ペイン, 34

ブラウズ検索ペイン, 203

プロパティ ペイン, 185

レイアウトのカスタマイズ, 258

検索ペイン, 201

使用方法, 7

表示モード, 40

便利機能ツールバー, 260

ブラウザ

オプション, 235

ブラウズ検索, 203

プラグイン

プロパティを表示する, 266

管理する, 265

情報, 265

プリセット オプション, 90

フルスクリーン モード, 11

プレビュー ペイン

カスタマイズ, 241

使い方, 46

ブレンドモード; テキスト

ブレンドモード, 88

プロパティ ペイン, 185

プロパティ ペイン オプション, 245

ペイン

移動する, 8

既定レイアウトにリセット, 7

自動非表示, 258

ヘッダー

ビューア, 61

ページに印刷する, 230

ペンキ画 特殊効果, 149

ぼかす, 111

ポスタライズ 特殊効果, 156

マウス ショートカット, 277

ミラー 特殊効果, 153

メディアン ノイズ除去, 112

モザイク 特殊効果, 156

モノクロ, 107

モノクロ調整 特殊効果, 164

ユーザー インターフェイス, 6

ライト, 104

リムーバブル デバイス, 20

ローカル コントラスト, 97

ワイルドカード, 202

移動

ブラウザ ペイン, 7

移動する

ファイル, 172

一括処理

カラープロファイル, 119

一括編集

サイズ変更, 117

一括処理, 119

回転する, 115

情報, 114

反転する, 115

名前を変更する, 177

露出, 118

印刷

カスタム印刷レイアウト, 232

コンタクトシート オプション, 231

ページにテキスト, 230

画像サイズと位置を設定する, 230

雨 特殊効果, 157

渦巻き 特殊効果, 163

鉛筆画 効果, 155

画像

オーディオを追加する, 225

コピーする, 173

サポートされているフォーマット, 278

すばやく検索する, 208

パンニング, 55

ビデオファイルから抽出する, 224

電子メール, 210

比較する, 47

表示する, 11

別のフォーマットに変換する, 115

画像オーディオを録音する, 225

画像にタグを付ける, 178

画像の取り込み

デバイス検出, 20

名前の変更テンプレート, 28

画像の修整ツール, 92

画像の転送設定

デバイス プロファイルを設定する, 21

設定済みデバイスから画像を取り込む, 24

転送先オプション, 23

画像を取り込む

CD から, 27

スキャナから, 26

デジタルカメラから, 25

携帯電話から, 28

大容量記憶装置から, 26

画像を比較する, 47

回転する

複数の画像, 115

編集モード, 76

管理

すばやく検索する, 208

管理する

カテゴリを作成する, 180

カテゴリを設定する, 181

ファイル, 13

重要度を設定する, 181

起動する

ACDSee, 5

スライドショーを自動的に, 58

魚眼歪み, 95

共有する, 97

ACDSee, 14

HTML アルバム, 214

PDF ファイル, 212

SendPix アルバム, 220

VCD, 214

アーカイブ, 218

コンタクトシート, 217

スクリーン セーバー, 210

スライドショー, 210

ビデオ ファイル, 214

電子メール, 210

金属シート 特殊効果, 160

傾いている画像, 94

携帯電話から, 28

検索

ACDSee で, 14

イメージ ウェル, 208

検索する

ファイル名のパターン, 202

ワイルドカード, 202

検索ペイン, 201

重複ファイル, 207

検索ペイン, 201

光線ぼかし 特殊効果, 157

効果

アンティーク, 154

ヴィネット, 165

ウォーター, 166

ウォータードロップ, 167

エンボス, 150

オイルペイント, 153

カスタム, 170

カラーエッジ, 148

グラナイト, 152

クレヨン画, 149

シフト, 160

スタンドグラス, 162

ソラリゼーション, 162

ネオン効果, 152

ピクセル爆発, 155

ブラインド, 146

ペンキ画, 149

ポスタライズ, 156

ミラー, 153

モザイク, 156

モノクロ調整, 164

雨, 157

渦巻き, 163

金属シート, 160

光線ぼかし, 157

柔毛エッジ, 151

情報, 146

織り, 168

太陽スポット, 163

地形図, 164

等高線, 148

曇ガラス, 146

波, 168

波紋, 158

飛散タイル, 159

風, 169

膨張, 147

輪郭, 154

効果アングル, 161

自動カラー, 106

自動表示, 60

柔毛エッジ 特殊効果, 151

重複の検索, 207

重要度

設定する, 181

詳細表示 オプション, 240

詳細表示モード, 40

織り 特殊効果, 168

赤目の削除, 93

選択する

ファイル, 46

メディア ファイルの一部, 223

画像の一部, 85

太陽スポット 特殊効果, 163

地形図 特殊効果, 164

虫めがね, 55

電子メールで画像を送信, 210

透かし, 88

透視歪み, 94

同期する

ビューアとフォルダ, 62

フォルダのファイル, 188

特殊効果

エッジ検出, 150

クロスハッチ, 149

セピア, 159

ソーベル, 161

ネガティブ, 153

鉛筆画, 155

日時, 184

複数ファイルを変更する, 184

波 特殊効果, 168

波紋 特殊効果, 158

反転する

複数の画像, 115

編集モード, 77

飛散タイル 特殊効果, 159

美肌効果, 92

表示

スライドショー, 58

ビューアに画像のテキストを表示する, 61

ファイル一覧にファイル タイプ, 42

表示する

ファイル プロパティ, 185

フルスクリーン, 11

画像, 10

別のアプリケーションで画像を表示する, 66

風 特殊効果, 169

複数の画像

サイズ変更, 117

露出を調整する, 118

複数画像

名前を変更する, 177

壁紙, 68

変換する

description ファイル, 192

グレースケール, 107

データベース, 191

画像をビデオに, 214

別のファイル フォーマットに, 115

編集

HSL 値, 108

RGB 値, 108

アンシャープ マスク, 110

エディタを設定する, 263

カーブ, 105

カラーキャストを削除する, 106

クローン, 92

サイズ変更, 75

シャープネス, 110

シャドウとハイライトを調整する, 97

ツールのプリセット, 90

ツールバー, 260

テキストを追加する, 86

トリミングする, 78

ノイズを除去する, 112

ノイズを追加する, 113

パーレルの歪み補正, 95

ピンクッションの歪み補正, 95

ぼかす, 111

回転する, 76

魚眼の歪み補正, 95

傾いている画像を補正する, 94

光のレベル, 104

自動カラー, 106

修整する, 92

赤目を補正する, 93

透視歪みの補正, 94

特殊効果, 146

反転する, 77

編集モード, 12

明るさ, 96

露出, 96

編集モード

ツールのプリセット, 90

プレビューバー, 74

画像を保存する, 89

元に戻す/やり直し, 74

編集パネルをカスタマイズする, 262

便利機能ツールバー, 260

名前の変更

画像を取り込み中, 28

名前を変更する

ファイルまたはフォルダ, 174

複数ファイル, 177

明るさ, 96

輪郭 特殊効果, 154

露出

自動調整する, 96

複数の画像を調整する, 118



© 2006-2007 ACD Systems International Inc. All Rights Reserved Worldwide.